

吉野ヶ里遺跡

—弥生時代の墓地—（第1分冊）

（遺跡南部・中央部1）

平成 28（2016）年3月

佐賀県教育委員会

序

吉野ヶ里遺跡の発掘調査は、工業団地計画に伴い昭和61年5月から開始しましたが、国内最大規模の弥生時代環壕集落跡や墳丘墓の発掘などにより、平成元年2月以来大いに注目されてきました。その後、吉野ヶ里遺跡を取り巻く状況は、平成元年3月の工業団地計画中止と遺跡保存の決定、平成2年の史跡指定、平成3年の特別史跡指定、平成4年の国営公園化の閣議決定、平成7年11月からの歴史公園整備工事着手、平成13年4月23日の第1期開園と急速な展開を遂げました。歴史公園整備は平成25年3月20日に「古代の森ゾーン」が開園したことにより、国営公園部分の大規模な整備工事はほぼ終了しており、弥生時代の集落のたたずまいが復元された歴史公園は、現在多くの来園者で賑わっています。

このような状況の中で、当委員会では平成元年度から文化庁の補助事業、平成9年度から国土交通省九州地方整備局の受託事業、佐賀県県土づくり本部の再配当事業によって、遺跡の範囲確認や内容解明のための確認調査を実施しています。その中で、北内郭や高床倉庫群、九州初となる銅鐸の発見など多くの成果を上げることができ、ますます遺跡の重要性が認識されています。

本書は、吉野ヶ里遺跡の弥生時代の墓地について文化庁の補助を受け、これまでの調査成果をまとめたものです。本書を学術資料としてお役立ていただき、吉野ヶ里遺跡の今後の調査研究や保存活用に関して、適切な御指導、御助言をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまでの発掘調査にあたり適切な御指導をいただいた文化庁はじめ諸先生方、調査や遺跡の保存などに多大な御協力をいただいた地元市町教育委員会や国土交通省九州地方整備局国営海の中道海浜公園事務所歴史公園課をはじめ関係機関、発掘や整理作業に従事いただいた作業員の方々には、衷心より厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

佐賀県教育委員会
教育長 古谷 宏

例　言

- 1 本書は、佐賀県教育委員会が実施した佐賀県神埼市大字志波屋・鶴・田道ヶ里、吉野ヶ里町大字田手・大曲に所在する吉野ヶ里遺跡の発掘調査報告書で、これまでの調査成果のうち、弥生時代の墓地についての報告（第1分冊）である。
- 2 本書の作成は国庫補助事業として実施したが、報告の対象は昭和61～63年度に実施した神埼工業団地計画に伴う発掘調査、平成元～23年度に実施した国庫補助事業による発掘調査、平成9～24年度に実施した国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う発掘調査とする。
- 3 発掘調査は佐賀県教育委員会が主体となり、神埼町（現：神埼市）教育委員会、三田川町（現：吉野ヶ里町）教育委員会、及び地元各位の協力を得た。
- 4 吉野ヶ里遺跡の範囲・地区名については、現行の『佐賀県遺跡地図』に従った。
- 5 本書での報告対象は弥生時代の墓地であるが、遺跡全体での遺構数が膨大であるため、田手二本黒木地区Ⅱ区、吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ区、志波屋四の坪地区Ⅰ区について報告し、その他の地区的報告は次年度以降行う。
- 6 土坑墓として遺構番号を付された遺構には、墓と認定できないと考えられるものも含まれているが、現場での判断を優先して、本書では土坑墓として報告している。土坑墓の認定は、今後の検討課題である。
- 7 平成14年4月に改正測量法が施行されたが、調査時の記録はすべて日本測地系による旧国上座標であることから、混乱を回避するため、吉野ヶ里遺跡の発掘調査では今のところ世界測地系による座標を使用していない。
- 8 遺構の実測は、調査員・調査補助員・作業員が行ったが、一部を業者に委託し、遺構の写真撮影は、調査員・調査補助員が行った。なお、発掘作業から報告書作成までの作業に從事していただいた方の御芳名は、報告対象が長期間にわたるため、紙数の都合で省略せざるを得なかった。御了承願いたい。
- 9 報告書作成に係る整理作業は吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所で実施したが、一部を業者に委託した。
- 10 本書の編集は、渡部芳久・大森武志の協力を得て、渋谷格が行った。執筆分担は下記のとおりである。
第1章第1節：渋谷格
第1章第2・3節：渡部芳久
- 11 吉野ヶ里遺跡の出土遺物・記録類は、吉野ヶ里遺跡発掘調査事務所で保管・管理しているが、一部の写真類は佐賀県文化財調査研究資料室で保管している。
- 12 吉野ヶ里遺跡の発掘調査は、文化庁や佐賀県文化財保護審議委員の先生方をはじめ多くの研究者の御指導・御助言、発掘・整理作業員をはじめ地元の方々や関係機関の御協力によって成り立っている。紙数の都合などで御芳名を記すことができなかつたが、感謝申し上げます。

本書の記載方法

- 1 吉野ヶ里遺跡の調査では、神埼工業団地計画に伴う発掘調査開始時において、当時の遺跡地図に基づく遺跡名を使用しており、遺跡の略号についてもそれぞれに与えていた。その後、それらの遺跡を統合し吉野ヶ里遺跡として登録しているが、当初の遺跡名を地区名として使用しており、混乱を防ぐため、略号の変更を行わず、当時と同じ英大文字3字の略号を使用して、実測図・写真等の記録類や出土遺物の注記に利用している。本書で報告した吉野ヶ里遺跡の各地区の略号は、次のとおりである。

TDN：田手二本黒木地区

YKG：吉野ヶ里丘陵地区

SYT：志波屋四の坪地区

- 2 個々の遺構名は、遺構記号と4桁の算用数字の組み合わせで示す。番号は、地区ごとに通し番号で数字を付している。今回用いた遺構記号は、次の通りである。このほか、小穴については調査区ごとの通し番号を基本とし、頭にPを付して表現する。

SC：石棺墓

SK：土坑

SJ：喪棺墓

SP：土坑墓・木棺墓

- 3 出土遺物の○○形土器は、○○とのみ表現する。例) 龍形土器→龍

- 4 実測した遺物には8桁の佐賀県遺物登録番号を1点ずつ付し、挿図では本書内の章又は節ごとに通し番号を付した。

- 5 本書で示す方位は、国土地理院の旧国土地標第II系の座標北である。

- 6 表で示した各項目の計測値は、復元値に*、残存値に+を付けて表現する。

- 7 遺構一覧表の「新旧関係」は、当該遺構より古い遺構を「旧」に、新しい遺構を「新」に記載した。また、煩雑さを避けるため、多数の遺構が重複している場合は、主な遺構の新旧関係のみ記載した。

- 8 弥生時代の時期区分については、『吉野ヶ里遺跡－弥生時代の集落跡－』(佐賀県文化財調査報告書第207集)の要領で次のように記している。

前期初頭（板付I式並行）、前期前半（板付IIa式並行）、前期後半（板付IIb式古段階並行）、前期末（板付IIb式新段階並行）、中期初頭（城ノ越式並行）、中期前半（須玖I式並行）、中期後半（須玖II式古段階並行）、中期末（須玖II式新段階並行）、後期前半（高三瀬式並行）、後期後半（下大隈式並行）、終末（西新式並行）

なお、喪棺の時期については、およそ金海・城ノ越式を中期初頭、渡田式を中期前半、須玖式を中期後半、立岩式を中期末、三津式（桜馬場式）を後期（初頭～）前半と記す。

10 神埼工業団地計画に伴う調査以降、佐賀県教育委員会が主体となって発掘調査を実施した吉野ヶ里遺跡関係の調査報告書は以下の通りである。この一連の報告書は、本書全体で頻繁に引用・参照されるため、本文中などで引用・参照する場合は、佐賀県文化財調査報告書の番号を用いて、『100集』『113集』と表記し、各章などの文献一覧では省略している。

- 佐賀県教育委員会（1990）『吉野ヶ里遺跡－佐賀県神埼郡三田川町・神埼町に所在する吉野ヶ里遺跡の確認調査報告書－』佐賀県文化財調査報告書第 100 集
- 佐賀県教育委員会（1992）『吉野ヶ里－神埼工業団地計画に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』佐賀県文化財調査報告書第 113 集
- 佐賀県教育委員会（1997）『吉野ヶ里遺跡－平成 2 年度～7 年度の発掘調査の概要－』佐賀県文化財調査報告書第 132 集
- 佐賀県教育委員会（2001）『杉籠遺跡－国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書 1 －』佐賀県文化財調査報告書第 146 集
- 佐賀県教育委員会（2002）『吉野ヶ里銅鐸－吉野ヶ里遺跡大曲一の坪地区発掘調査概要報告書－』佐賀県文化財調査報告書第 152 集
- 佐賀県教育委員会（2003）『吉野ヶ里遺跡－平成 8 年度～10 年度の発掘調査の概要－』佐賀県文化財調査報告書第 156 集
- 佐賀県教育委員会（2004）『吉野ヶ里遺跡－平成 11 年度～12 年度の発掘調査の概要－』佐賀県文化財調査報告書第 160 集
- 佐賀県教育委員会（2005）『吉野ヶ里遺跡－田手二本黒木地区弥生時代前期環壕出土の土器と石器－』佐賀県文化財調査報告書第 163 集
- 佐賀県教育委員会（2007）『吉野ヶ里遺跡大曲一の坪地区・枝町遺跡－県立吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書－』佐賀県文化財調査報告書第 172 集
- 佐賀県教育委員会（2007）『吉野ヶ里遺跡－国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書 2 －』佐賀県文化財調査報告書第 173 集
- 佐賀県教育委員会（2008）『吉野ヶ里遺跡－田手二本黒木地区の弥生時代中期の石器－』佐賀県文化財調査報告書第 177 集
- 佐賀県教育委員会（2015）『吉野ヶ里遺跡－弥生時代の集落跡－』佐賀県文化財調査報告書第 207 集
- 佐賀県教育委員会（2016）『吉野ヶ里遺跡－国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う埋蔵文化財調査報告書 3 －』佐賀県文化財調査報告書第 211 集

目次

本文目次

第1章 弥生時代墓地の調査

第1節 弥生時代の概要	2
1. はじめに	2
2. 遺跡南部の概要	2
3. 遺跡中央部の概要	5
4. 遺跡北部の概要	7
第2節 遺跡南部の遺構と遺物	11
1. 田手二本黒木地区Ⅱ区	11
(1) 概要	11
(2) 遺構	14
(3) 出土遺物	24
第3節 遺跡中央部の遺構と遺物	33
1. 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	33
(1) 概要	33
(2) 遺構	33
(3) 出土遺物	102
(4) 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区の弥生時代墳墓について	137
2. 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	138
(1) 概要	138
(2) 遺構	138
(3) 出土遺物	246
(4) 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区の弥生時代墳墓について	281

挿図目次

図 1 吉野ヶ里遺跡の地形と主な調査区 (1/7,500)	3
図 2 吉野ヶ里遺跡南部 調査区の位置 (1/5,000)	9
図 3 田手二本黒木地区Ⅱ区 調査区の位置 (1/2,000)	10
図 4 田手二本黒木地区Ⅱ区 遺構の分布 (1/1,500)	11
図 5 田手二本黒木地区Ⅱ区 弥生時代遺構の分布1 (1/1,000)	12
図 6 田手二本黒木地区Ⅱ区 弥生時代遺構の分布2 (1/1,000)	13
図 7 田手二本黒木地区Ⅱ区 遺構の分布詳細図の位置 (1/1,500)	14
図 8 田手二本黒木地区Ⅱ区 遺構の分布詳細1 (1/300)	15
図 9 田手二本黒木地区Ⅱ区 遺構の分布詳細2 (1/300)	16
図 10 田手二本黒木地区Ⅱ区 貴棺墓1 (1/30)	17
図 11 田手二本黒木地区Ⅱ区 貴棺墓2 (1/30)	18
図 12 田手二本黒木地区Ⅱ区 貴棺墓3 (1/30)	19
図 13 田手二本黒木地区Ⅱ区 土坑墓・祭祀土坑 (1/30)	20
図 14 田手二本黒木地区Ⅱ区 貴棺部分実測 (1/6)	23
図 15 田手二本黒木地区Ⅱ区 SK0125 出土土器1 (1/4)	25
図 16 田手二本黒木地区Ⅱ区 SK0125 出土土器2 (1/4)	26
図 17 田手二本黒木地区Ⅱ区 SK0125 出土土器3 (1/4)	27
図 18 田手二本黒木地区Ⅱ区 SK0125 出土土器4 (1/4)	28
図 19 吉野ヶ里遺跡中央部 調査区の位置 (1/5,000)	31
図 20 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 調査区の位置 (1/2,500)	32
図 21 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布 (1/1,000)	34
図 22 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 弥生時代墓地遺構の分布 (1/1,000)	35
図 23 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細図の位置1 (1/1,000)	36
図 24 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細1 (1/500)	37
図 25 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細図の位置2 (1/500)	38
図 26 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細2 (1/200)	39
図 27 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細3 (1/150)	40
図 28 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細4 (1/200)	41
図 29 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細5 (1/200)	42
図 30 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓1 (1/30)	44
図 31 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓2 (1/30)	45
図 32 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓3 (1/30)	46
図 33 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓4 (1/30)	47
図 34 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓5 (1/30)	48
図 35 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓6 (1/30)	49
図 36 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓7 (1/30)	50
図 37 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓8 (1/30)	51
図 38 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓9 (1/30)	52
図 39 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓10 (1/30)	53
図 40 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 貴棺墓11 (1/30)	54

図 41	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 12 (1/30)	55
図 42	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 13 (1/30)	56
図 43	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 14 (1/30)	57
図 44	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 15 (1/30)	58
図 45	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 16 (1/30)	59
図 46	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 17 (1/30)	60
図 47	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 18 (1/30)	61
図 48	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 19 (1/30)	62
図 49	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 20 (1/30)	63
図 50	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 21 (1/30)	64
図 51	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 22 (1/30)	65
図 52	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 23 (1/30)	66
図 53	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 24 (1/30)	67
図 54	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 25 (1/30)	68
図 55	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 26 (1/30)	69
図 56	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 27 (1/30)	70
図 57	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 28 (1/30)	71
図 58	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 29 (1/30)	72
図 59	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 30 (1/30)	73
図 60	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 31 (1/30)	74
図 61	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 32 (1/30)	75
図 62	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 33 (1/30)	76
図 63	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 34 (1/30)	77
図 64	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 35 (1/30)	78
図 65	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 36 (1/30)	79
図 66	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 37 (1/30)	80
図 67	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 38 (1/30)	81
図 68	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺墓 39 (1/30)	82
図 69	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	土坑墓・木棺墓 1 (1/30)	90
図 70	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	土坑墓・木棺墓 2 (1/30)	91
図 71	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	土坑墓・木棺墓 3 (1/30)	92
図 72	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 1 (1/30)	93
図 73	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 2 (1/30)	94
図 74	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 3 (1/50)	95
図 75	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 4 (1/30)	96
図 76	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 5 (1/30)	97
図 77	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 6 (1/40)	98
図 78	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 7 (1/30)	99
図 79	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 8 (1/30)	100
図 80	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑 9 (1/30)	101
図 81	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺 1 (1/12)	103
図 82	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	裴棺 2 (1/12)	104

目次

図 83 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測1 (1/6)	105
図 84 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測2 (1/6)	106
図 85 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測3 (1/6)	108
図 86 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測4 (1/6)	109
図 87 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測5 (1/6)	111
図 88 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測6 (1/6)	112
図 89 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺部分実測7 (1/6)	114
図 90 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器1 (1/4)	117
図 91 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器2 (1/4)	118
図 92 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器3 (37は1/8、他は1/4)	119
図 93 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器4 (1/4)	120
図 94 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器5 (1/4)	121
図 95 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器6 (1/4)	122
図 96 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器7 (1/4)	123
図 97 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器8 (1/4)	124
図 98 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器9 (1/4)	125
図 99 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器10 (1/4)	127
図 100 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器11 (1/4)	128
図 101 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器12 (1/4)	129
図 102 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器13 (1/4)	130
図 103 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	墳墓出土遺物 (185～189は2/3、190・191は1/2)	136
図 104 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	調査区の位置 (1/2,000)	139
図 105 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布 (1/800)	140
図 106 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	弥生時代墓地遺構の分布 (1/600)	141
図 107 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細図の位置 (1/600)	142
図 108 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細1 (1/200)	143
図 109 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細2 (1/200)	144
図 110 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細3 (1/200)	145
図 111 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細4 (1/200)	146
図 112 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細5 (1/200)	147
図 113 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	遺構の分布詳細6 (1/200)	148
図 114 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓1 (1/30)	150
図 115 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓2 (1/30)	151
図 116 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓3 (1/30)	152
図 117 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓4 (1/30)	153
図 118 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓5 (1/30)	154
図 119 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓6 (1/30)	155
図 120 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓7 (1/30)	156
図 121 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓8 (1/30)	157
図 122 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓9 (1/30)	158
図 123 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓10 (1/30)	159
図 124 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓11 (1/30)	160

図 125	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 12 (1/30)	161
図 126	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 13 (1/30)	162
図 127	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 14 (1/30)	163
図 128	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 15 (1/30)	164
図 129	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 16 (1/30)	165
図 130	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 17 (1/30)	166
図 131	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 18 (1/30)	167
図 132	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 19 (1/30)	168
図 133	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 20 (1/30)	169
図 134	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 21 (1/30)	170
図 135	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 22 (1/30)	171
図 136	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 23 (1/30)	172
図 137	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 24 (1/30)	173
図 138	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 25 (1/30)	174
図 139	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 26 (1/30)	175
図 140	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 27 (1/30)	176
図 141	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 28 (1/30)	177
図 142	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 29 (1/30)	178
図 143	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 30 (1/30)	179
図 144	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 31 (1/30)	180
図 145	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 32 (1/30)	181
図 146	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 33 (1/30)	182
図 147	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 34 (1/30)	183
図 148	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 35 (1/30)	184
図 149	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 36 (1/30)	185
図 150	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 37 (1/30)	186
図 151	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 38 (1/30)	187
図 152	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 39 (1/30)	188
図 153	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 40 (1/30)	189
図 154	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 41 (1/30)	190
図 155	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 42 (1/30)	191
図 156	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 43 (1/30)	192
図 157	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 44 (1/30)	193
図 158	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 45 (1/30)	194
図 159	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 46 (1/30)	195
図 160	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 47 (1/30)	196
図 161	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 48 (1/30)	197
図 162	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 49 (1/30)	198
図 163	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 50 (1/30)	199
図 164	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 51 (1/30)	200
図 165	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 52 (1/30)	201
図 166	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 53 (1/30)	202

図 167	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 54 (1/30)	203
図 168	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺墓 55 (1/30)	204
図 169	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 1 (1/30)	213
図 170	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 2 (1/30)	214
図 171	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 3 (1/30)	215
図 172	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 4 (1/30)	216
図 173	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 5 (1/30)	217
図 174	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 6 (1/30)	218
図 175	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 7 (1/30)	219
図 176	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 8 (1/30)	220
図 177	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 9 (1/30)	221
図 178	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 10 (1/30)	222
図 179	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 11 (1/30)	223
図 180	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 12 (1/30)	224
図 181	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 13 (1/30)	225
図 182	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 14 (1/30)	226
図 183	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 15 (1/30)	227
図 184	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 16 (1/30)	228
図 185	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 17 (1/30)	229
図 186	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 18 (1/30)	230
図 187	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 19 (1/30)	231
図 188	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 20 (1/30)	232
図 189	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 21 (1/30)	233
図 190	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 22 (1/30)	234
図 191	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 23 (1/30)	235
図 192	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 24 (1/30・1/40)	236
図 193	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 25 (1/30)	237
図 194	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓 26 (1/30)	238
図 195	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑 1 (1/30)	243
図 196	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑 2 (1/30)	244
図 197	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑 3 (1/30)	245
図 198	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 1 (1/12)	247
図 199	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 2 (1/12)	248
図 200	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 3 (1/12)	250
図 201	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 4 (1/12)	251
図 202	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 5 (1/12)	253
図 203	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 6 (1/12)	254
図 204	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺 7 (1/12)	255
図 205	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図 1 (1/6)	257
図 206	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図 2 (1/6)	258
図 207	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図 3 (1/6)	260
図 208	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図 4 (1/6)	262

図 209	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図5(1/6)	264
図 210	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	壇棺部分実測図6(1/6)	266
図 211	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器1(82は1/8、他は1/4)	269
図 212	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器2(1/4)	270
図 213	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器3(1/4)	271
図 214	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器4(1/4)	272
図 215	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器5(1/4)	273
図 216	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器6(1/4)	274
図 217	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	墳墓出土遺物1(153は1/2、他は2/3)	275
図 218	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	墳墓出土遺物2(1/3)	276
図 219	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	墳墓出土遺物3(1/3)	277

表目次

表1	田手二本黒木地区Ⅱ区	甕棺墓	21
表2	田手二本黒木地区Ⅱ区	土坑墓・祭祀土坑	22
表3	田手二本黒木地区Ⅱ区	甕棺部分実測	22
表4	田手二本黒木地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器	29
表5	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	甕棺墓	83
表6	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	土坑墓・木棺墓	89
表7	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑	101
表8	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	出土甕棺	104
表9	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	出土甕棺部分実測	107
表10	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	祭祀土坑出土土器	131
表11	吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区	填墓出土石器・石製品・鐵器	135
表12	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺墓	205
表13	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	土坑墓・木棺墓	239
表14	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑	242
表15	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	出土甕棺	255
表16	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	甕棺部分実測	259
表17	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	祭祀土坑出土土器	278
表18	吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区	填墓出土石器・鐵器・ガラス製品・貝製品	280

写真図版

写真図版 1

古野ヶ里道路全景（上空から 昭和 23 年度撮影）

写真図版 2

古野ヶ里道路南部・中央部全景（国土地理院撮影の空中写真：昭和 42 年撮影）

写真図版 3

古野ヶ里道路全景（南から）

写真図版 4

田手二本黒木地区Ⅱ区 東部（北東から）

田手二本黒木地区Ⅱ区 遠景（北から）

写真図版 5

SK0125（北東から）

SP0126（北から）

SJ0136（東から）

SJ0138（西から）

SK0125 道路出土状況（南西から）

SJ0135・SJ0134（手前）（南から）

SJ0137（南から）

SJ0139（西から）

写真図版 6

SJ0140・0141（右）（南から）

SJ0155（南から）

SJ0158（南から）

SJ0160（北から）

SJ0142（東から）

SJ0157（南から）

SJ0159（南から）

SJ0161（北から）

写真図版 7

SJ0162（北から）

SJ0580（西から）

SJ0582（南から）

SJ0584（北西から）

SJ0163（北から）

SJ0581（南から）

SJ0583（北東から）

SJ0585（南東から）

写真図版 8

古野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 全景（南から）

古野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 植列全景（南から）

写真図版 9

古野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 植列中央部（上空から 上が東）

古野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 植列北部（上空から 上が東）

写真図版 10

SJ0624（東から）

SJ0626（西から）

SJ0659（北から）

SJ0662（北から）

SJ0625（北から）

SJ0655（東から）

SJ0660（大）・0661（小）（北西から）

SJ0663（北から）

写真図版 11

SJ0664（東から）

SJ0666（北から）

SJ0668（北から）

SJ0670（西から）

SJ0665（東から）

SJ0667（北から）

SJ0669（北から）

SJ0671（東から）

写真図版 12

SJ0672（北東から）

SJ0674（前）・0675・0676（東から）

SJ0673（西から）

SJ0675（北から）

SJ0677（東から）

SJ0678（東から）

SJ0674（東から）

SJ0676（北から）

写真図版 13

SJ0679（東から）

SJ0681（東から）

SJ0683（北から）

SJ0687（西から）

SJ0680（東から）

SJ0682（南から）

SJ0685（北から）

SJ0688（西から）

写真図版 14

SJ0689（左）・0690・SJ0691（南から）

SJ0693（西から）

SJ0692（西から）

SJ0695（西から）

SJ0697（西から）

SJ0698（北から）

SJ0694（東から）

SJ0696（南から）

目次

写真図版 15

SJ0699 (西から)	SJ0701 (大)・0702 (小) (東から)	SJ0704 (東から)
SJ0707 (前)・0708 (奥) (東から)	SJ0700 (東から)	SJ0703 (南から)
SJ0705 (小)・0706 (大) (東から)	SJ0709 (南から)	

写真図版 16

SJ0710 (南から)	SJ0712 (東から)	SJ0714 (北から)
SJ0716 (北から)	SJ0711 (北から)	SJ0713 (東から)
SJ0715 (西から)	SJ0717 (東から)	

写真図版 17

SJ0718 (東から)	SJ0721 (北から)	SJ0723 (東から)
SJ0725 (西から)	SJ0719 (北から)	SJ0722 (東から)
SJ0724 (西から)	SJ0726 (東から)	

写真図版 18

SJ0727 (東から)	SJ0729 (南から)	SJ0731 (南から)
SJ0736 (東から)	SJ0728 (南から)	SJ0730 (北から)
SJ0735 (西から)	SJ0737 (南から)	

写真図版 19

SJ0738 (南から)	SJ0740 (西から)	SJ0742 (南から)
SJ0744 (北から)	SJ0739 (南から)	SJ0741 (北から)
SJ0743 (西から)	SJ0745 (東から)	

写真図版 20

SJ0749 (大)・0752 (小) (東から)	SJ0753 (北から)	SJ0755 (東から)
SJ0757 (東から)	SJ0750 (右)・0751 (左) (東から)	SJ0754 (東から)
SJ0756 (大)・0757 (小) (東から)	SJ0758 (東から)	

写真図版 21

SJ0759 (東から)	SJ0761 (東から)	SJ0763 (東から)
SJ0766 (東から)	SJ0760 (西から)	SJ0762 (東から)
SJ0764 (手前)・0765 (東から)	SJ0767 (北から)	

写真図版 22

SJ0768 (北から)	SJ0770 (西から)	SJ0772 (西から)
SJ0774 (前)・0775 (奥) (東から)	SJ0769 (西から)	SJ0771 (南から)
SJ0773 (北から)	SJ0779 (南から)	

写真図版 23

SJ0780 (西から)	SJ0783 (西から)	SJ0785 (西から)
SJ0787 (北から)	SJ0781 (南から)	SJ0784 (西から)
SJ0786 (東から)	SJ0788 (西から)	

写真図版 24

SJ0790 (北から)	SJ0791 (南から)	SJ0793 (西から)
SJ0795 (北から)	SJ0789 (北から)	SJ0792 (北から)
SJ0794・0949 (手前) (東から)	SJ0796 (西から)	

写真図版 25

SJ0797 (北から)	SJ0799 (東から)	SJ0801 (東から)
SJ0805 (北から)	SJ0798 (東から)	SJ0800 (西から)
SJ0804 (西から)	SJ0806 (東から)	

写真図版 26

SJ0807 (南東から)	SJ0809 (東から)	SJ0810 人骨 (北から)
SJ0817 (西から)	SJ0808 (東から)	SJ0810 (東から)
SJ0815 (西から)	SJ0818 (南から)	

写真図版 27

SJ0820 (西から)	SJ0823 (西から)	SJ0830 (北から)
SJ0831 人骨 (東から)	SJ0821 (東から)	SJ0829 (東から)
SJ0831 (北から)	SJ0832 (南から)	

写真図版 28

SJ0833 (北から)	SJ0835 (北から)	SJ0837 (西から)
SJ0855 (南から)	SJ0834 (西から)	SJ0836 (西から)
SJ0838 (北から)	SJ0873 (東から)	

写真図版 29

SJ0882 (東から)	SJ0887 (東から)	SJ0889 (南から)
SJ0894 (東から)	SJ0885 (右)・0886 (左) (北から)	
SJ0888 (西から)	SJ0892 (北から)	SJ0897 (北から)

写真図版 30

SJ0898 (東から)	SJ0901 (北から)	SJ0904 (西から)
SJ0906 (東から)	SJ0899 (南から)	SJ0903 (南から)
SJ0905 (西から)	SJ0914 (東から)	

写真図版 31

SJ0915 (東から)	SJ0926 (西から)	SJ0935 (東から)
SJ0937 鋼型土表況 (西から)	SJ0916 (大)・0917 (小) (東から)	SJ0928 (西から)
SJ0937 (西から)	SJ0948 (北から)	

写真図版 32

SJ0950 (南から)	SJ0952 (北から)	SP0684 (西から)
SP0802 (東から)	SJ0951 (東から)	SJ0956 (真上から)
SP0720 (東から)	SP0803 (南から)	

写真図版 33

SP0890 (北から)	SP0896 (南から)	SP0912 (南から)
SP0923 (東から)	SP0891 (東から)	SP0900 (北から)
SP0912 相引 (北から)	SP0927 (西から)	

写真図版 34

SP0934 (東から)	SK0605 (西から)	SK0609 全景 (東から)
SK0609B (東から)	SP0957	SK0606 (東から)
SK0609A (東から)	SK0609C (東から)	

写真図版 35

SK0609D (北から)	SK0617 (東から)	SK0619 (東から)
SK0656 (東から)	SK0614 (北から)	SK0618 (東から)
SK0638 (東から)	SK0686 (北東から)	

写真図版 36

SK0748 (西から)	SK0811 (南から)	SK0814 (北から)
SK0895 (西から)	SK0782 (東から)	SK0813 (北から)
SK0881 (北から)	SK0902 (西から)	

写真図版 37

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 出土實物

写真図版 38

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 駕籠土坑出土土器

写真図版 39

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区中央部 (南西から) 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区中央部 (北東から)

目次

写真図版 40	SJ0135 片輪出土状況（西から）	SJ0154 人骨・頭蓋出土状況	
写真図版 41	SJ0307 人骨・鉄矛出土状況（南から）	SJ0312 人骨・鐵出土状況（南から）	
写真図版 42	SJ0314 片輪出土状況（北から）	SJ0384 片輪出土状況（南から）	
写真図版 43	SJ0061（北から） SJ0071（東から） SJ0070（西から）	SJ0066（南から） SJ0065（南から） SJ0072（東から）	SJ0068（南から） SJ0067（北から）
写真図版 44	SJ0073（北から） SJ0078・0079（東から） SJ0078（東から）	SJ0075（東から） SJ0074（東から） SJ0079（東から）	SJ0077（東から） SJ0076（南から）
写真図版 45	SJ0080（東から） SJ0085（東から） SJ0084（西から）	SJ0081（南から） SJ0080 人骨（南から） SJ0086（北から）	SJ0083（西から） SJ0082（西から）
写真図版 46	SJ0087（東から） SJ0093（東から） SJ0092（東から）	SJ0089（西から） SJ0088（南から） SJ0094（東から）	SJ0091（南から） SJ0090（西から）
写真図版 47	SJ0095（東から） SJ0099（前）・0100（奥）（西から） SJ0098（西から）	SJ0097（東から） SJ0102（西から） SJ0101（東から）	SJ0096（北から） SJ0103（西から）
写真図版 48	SJ0104（西から） SJ0109（東から） SJ0108（北から）	SJ0106（東から） SJ0105（北から） SJ0110（東から）	SJ0107 人骨（南から） SJ0107（東から）
写真図版 49	SJ0111（西から） SJ0118（東から） SJ0117（南から）	SJ0112（左）・0114（右）（東から） SJ0113（北から） SJ0119・0120（小）（東から）	SJ0116（北から） SJ0115（北から）
写真図版 50	SJ0121（西から） SJ0127（西から） SJ0126（東から）	SJ0123（西から） SJ0122（北から） SJ0128（東から）	SJ0125（北から） SJ0124（北から）
写真図版 51	SJ0129（東から） SJ0134 人骨（東から） SJ0134（北から）	SJ0131（北から） SJ0130（東から） SJ0135（北から）	SJ0133（南から） SJ0132（北から）
写真図版 52	SJ0135 人骨・片輪（西から） SJ0141（北から） SJ0140（北から）	SJ0137（東から） SJ0136（西から） SJ0142（南から）	SJ0139（西から） SJ0138（西から）

写真図版 53

SJ0143 (北から)	SJ0145 (北から)	SJ0147 (北から)
SJ0229・0366	SJ0144 (南から)	SJ0146 (東から)
SJ0148 (東から)	SJ0150 (北から)	

写真図版 54

SJ0151 (南から)	SJ0272 (西から)	SJ0153 (北から)
SJ0154 人骨 (東から)	SJ0152 (東から)	SJ0156 (西から)
SJ0152・0153・0272 (西から)	SJ0154 (西から)	

写真図版 55

SJ0157 (南から)	SJ0159 (南から)	SJ0161 (南から)
SJ0163 (北から)	SJ0158 (東から)	SJ0160 (北から)
SJ0162 (東から)	SJ0164 (北から)	

写真図版 56

SJ0165 (東から)	SJ0182 (東から)	SJ0193 (東から)
SJ0227 (北から)	SJ0180 (西から)	SJ0192 (西から)
SJ0226 (西から)	SJ0218 (東から)	

写真図版 57

SJ0219 (東から)	SJ0221 人骨 (北から)	SJ0231 (東から)
SJ0232 (西から)	SJ0221 (西から)	SJ0230 (北から)
SJ0232・0270・0271 (北から)	SJ0233 (南から)	

写真図版 58

SJ0235 (北から)	SJ0236 (東から)	SJ0237 (南から)
SJ0247 (南から)	SJ0235 人骨 (西から)	SJ0236 人骨 (北から)
SJ0237 人骨 (南から)	SJ0247 (北から)	

写真図版 59

SJ0248 (北から)	SJ0250 (西から)	SJ0252 (北から)
SJ0256 (北から)	SJ0249 (南から)	SJ0251 (東から)
SJ0256 (南から)	SJ0257 (東から)	

写真図版 60

SJ0261 (西から)	SJ0264 (西から)	SJ0270 (北から)
SJ0272 人骨 (南から)	J0261 人骨 (西から)	SJ0268 (北から)
SJ0271 (西から)	SJ0279 (南から)	

写真図版 61

SJ0280 (南から)	SJ0281 (西から)	SJ0286 (西から)
SJ0292 (東から)	SJ0280 人骨 (北から)	SJ0283 (東から)
SJ0290 (南から)	SJ0295 (西から)	

写真図版 62

SJ0299 (南から)	SJ0302 (東から)	SJ0309 (北から)
SJ0312 (大)・0334 (小) (西から)	SJ0301 (北から)	SJ0307 (東から)
SJ0309 人骨 (西から)	SJ0314 (南から)	

写真図版 63

SJ0317 (北から)	SJ0328 (南から)	SJ0330 (東から)
SJ0335 (南から)	SJ0318 (西から)	SJ0329 (南から)
SJ0333 (東から)	SJ0336 (東から)	

写真図版 64

SJ0336 人骨 (北から)	SJ0344 (東から)	SJ0348 人骨 (東から)
SJ0351 (北から)	SJ0343 (南から)	SJ0348 (東から)
SJ0349 (西から)	SJ0393・0353 (西から)	

目次

写真図版 65

SJ0355 (北から)	SJ0361 (東から)	SJ0363 (北から)
SJ0365 (東から)	SJ0356 (南から)	SJ0362 (西から)
SJ0364 (西から)	SJ0367 (東から)	

写真図版 66

SJ0367 (東から)	SJ0369 (東から)	SJ0371 (東から)
SJ0373 (東から)	SJ0367 (北から)	SJ0370 (北から)
SJ0372 (南から)	SJ0373 人骨 (東から)	

写真図版 67

SJ0377 (東から)	SJ0380 (南から)	SJ0384 人骨・貝輪 (南から)
SJ0385 (北から)	SJ0378 (東から)	SJ0384 (西から)
SJ0384 貝輪 (東から)	SJ0386 (南から)	

写真図版 68

SJ0386 人骨 (北から)	SJ0387 (北から)	SJ0389 人骨 (南から)
SJ0394 (西から)	SJ0387 (北から)	SJ0389 (北から)
SJ0393 (西から)	SJ0395 (北から)	

写真図版 69

SJ0396 (西から)	SJ0402 (西から)	SJ0415 (東から)
SJ0416 (南から)	SJ0397 (南から)	SJ0413 (東から)
SJ0415 (東から)	SJ0417 (東から)	

写真図版 70

SJ0421 (西から)	SJ0424 (南から)	SJ0427 (南から)
SJ0428 (南から)	SJ0422 (北から)	SJ0425 (西から)
SJ0427 人骨	SJ0432 (南から)	

写真図版 71

SJ0434 (北から)	SJ0438 (西から)	SJ0440 (西から)
SJ0451・0452 (西から)	SJ0437 (北から)	SJ0439 (東から)
SJ0451	SJ0452 (西から)	

写真図版 72

SJ0453 (北から)	SP0412 (南から)	SP0168 (北から)
SP0172 (南から)	SP0069 (西から)	SP0166 (北から)
SP0170 (南から)	SP0173 (西から)	

写真図版 73

SP0175 (南から)	SP0177 (北から)	SP0201・0202 (西から)
SP0211 (北から)	SP0176 (東から)	SP0191 (東から)
SP0210 (北から)	SP0212 (北から)	

写真図版 74

SP0216 (北から)	SP0222 (北から)	SP0238 (西から)
SP0254 (西から)	SP0220 (北から)	SP0225 (北から)
SP0246 (東から)	SP0259 (南から)	

写真図版 75

SP0260 (北から)	SP0267 (西から)	SP0274 (北から)
SP0276 (南から)	SP0265 (右)・0266 (西から)	SP0269 (北から)
SP0275 (北から)	SP0277 (右)・0278 (東から)	

写真図版 76

SP0282 (南から)	SP0297 (東から)	SP0315 (西から)
SP0322 (北から)	SP0288 (西から)	SP0306 (北から)
SP0319 (南から)	SP0324 (東から)	

写真図版 77

SP0326（東から）	SP0341（南から）	SP0374（北から）
SP0375（北から）	SP0340（北から）	SP0368（東から）
SP0374 人骨	SP0376（東から）	

写真図版 78

SP0383（西から）	SP0399（東から）	SP0405
SP0418（西から）	SP0390（北から）	SP0400（東から）
SP0414（北から）	SP0423（南から）	

写真図版 79

SP0429（東から）	SP0448（南から）	SP0289（南から）
SP0455（北から）	SP0435（西から）	SP0448 人骨（東から）
SP0418（西から）	SP0456（北西から）	

写真図版 80

SK0167（西から）	SK0206（西から）	SK0291（西から）
SK327（東から）	SK0174（北から）	SK0228（西から）
SK0296（東から）	SK0407（北から）	

写真図版 81

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 1

写真図版 82

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 2

写真図版 83

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 3

写真図版 84

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 4

写真図版 85

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 5

写真図版 86

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 6

写真図版 87

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 7

写真図版 88

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 出土櫛組 8

写真図版 89

SJ0384 出土貝輪 SJ0312 出土鐵

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ区墳墓出土石器・铁器

写真図版 90

SJ0135 出土貝輪	SJ0135 出土平組	SJ0135 出土透網
SJ0135 出土布片	SJ0134 出土貝輪片	SJ0135 出土網
SJ0135 出土布片	SJ0135 出土麻布	

第1章 弥生時代墓地の調査

第1節 弥生時代の概要

1. はじめに

本書は、平成26年度に吉野ヶ里遺跡の弥生時代集落についてまとめた『吉野ヶ里遺跡－弥生時代の集落跡－（207集）』に引き続き、弥生時代墓地について報告するものである。ただ、平成27年度にすべての墓地を報告できなかったため、平成28年度にも引き続き墓地の報告を行い、また弥生時代墓地の総括については、平成28年度以降に作成予定の弥生時代全体の総括の中で行う予定である。なお、調査の経過、位置と環境については『207集』を参照にされたい。

ここでは、『207集』第3章第1節に加筆・修正する形で、集落を含めた弥生時代の概要を簡単に述べる。ただ、前述のように墓地については報告途中であるため、平成27年度時点での記述であることを了解していただきたい。

報告にあたっては、『207集』に従い吉野ヶ里遺跡を南部・中央部・北部に分けた。おおよその境界は、南部と中央部は中期の吉野ヶ里丘陵地区VII区 SD1801 墓跡、中央部と北部は吉野ヶ里丘陵地区V区と吉野ヶ里丘陵地区I・IX区の間の小規模な鞍部を境としている。遺跡南部は田手一本黒木地区・田手二本黒木地区・田一本松地区・杉籠地区III区・吉野ヶ里丘陵地区VII区南西部、中央部は吉野ヶ里丘陵地区II・III・V・VI・VII（北西部）区・吉野ヶ里地区V・VII区、遺跡北部は吉野ヶ里丘陵地区I・IV・IX区・吉野ヶ里地区I～IV区・志波屋四の坪地区・大曲一の坪地区・志波屋三の坪（乙）地区からなる。なお、調査にあたって遺跡を区分した調査区については、各節の冒頭に示した調査区位置図を参照にされたい。また、吉野ヶ里遺跡の範囲については『207集』と同様、現行の『佐賀県遺跡地図』にしたがっており、時期区分については「本書の記載方法」によっている。

2. 遺跡南部の概要

吉野ヶ里遺跡南部は、志波屋・吉野ヶ里段丘の段丘上（田手一本黒木地区I区、田手二本黒木地区II・III区、吉野ヶ里丘陵地区VII区南西部）から西側の低湿地（田手一本黒木地区II区、田手二本黒木地区I区、田一本松地区）にかけての範囲で、弥生時代前・中期を主体とする遺跡を確認した。

遺跡南部では、現在のところ、遺跡内でもっとも古い弥生時代の遺構とみられる前期初頭の田手一本黒木地区I区 SD0245 溝跡・田手二本黒木地区III区 SD0465 溝跡が確認されており、一連の溝となり、環壕となる可能性もある。しかしながら、前期初頭～前半の様相はこの溝跡を除き、明確ではない。なお、上記の溝跡については、『173集』・『211集』で報告している。

前期前半新相に掘削されたと考えられる田手二本黒木地区 SD0001・0336 環壕跡は、前期後半代に機能していた段丘上の環壕である。北側の状況が不明であるが、平面が不整な円形の面積2ha以上の環壕になるものと推定される。環壕内部については、中期以降にも引き続き集落が営まれているため、遺構の重複が著しく、前期集落の詳細は現時点では明らかにできていない。ただ、前期後半～末の竪穴建物跡や貯蔵穴跡

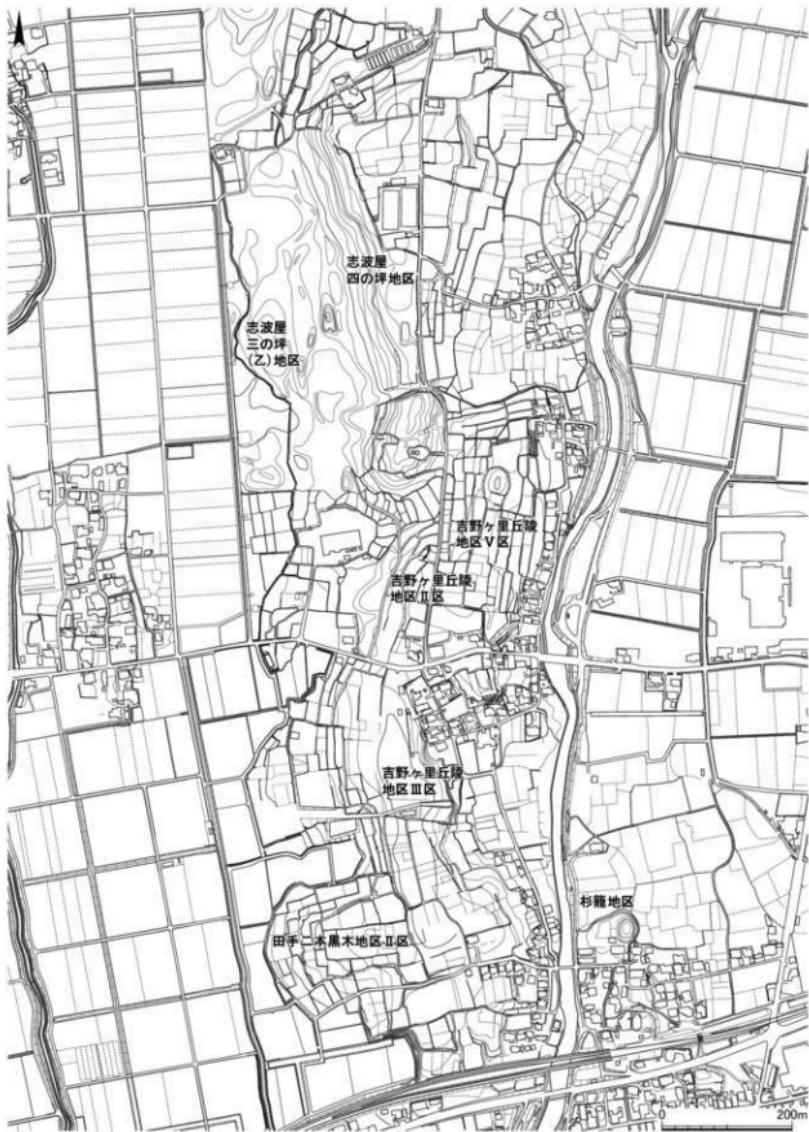


図1 吉野ヶ里遺跡の地形と主な調査区 (1/7,500)

が田手二本黒木地区Ⅲ区・吉野ヶ里丘陵地区Ⅷ区南西部で確認されていることから、主として竪穴建物と貯蔵穴で構成される集落が展開していたと考えられる。このほか、田手二本黒木地区Ⅱ区西部でもこの環壕と同時期の小規模な集落が確認されており、環壕外側にも居住域があったことが明らかである。

前期後半代には、上記の大規模な環壕とは別に、杉籠地区Ⅲ区と吉野ヶ里丘陵地区Ⅷ区で径20~30mの 小規模な環壕が確認されている。いずれも環壕内部の様相は明確ではないが、杉籠地区では貯蔵穴とみられる土坑が検出されていることから、同時期の類例を参考にすれば、貯蔵穴のみを囲んだ環壕の可能性がある。なお、この時期の墳墓は検出されていない。

中期初頭になると、前期の環壕は埋没し、吉野ヶ里丘陵地区Ⅷ区 SD1801 壕跡が掘削される。この壕は、田手二本黒木地区Ⅰ区や田一本松地区で検出された溝と一連のものとして、環壕の可能性が指摘されているが、これについては検討の余地があるものと思われる。ただ、SD1801 壕跡の南側では主として中期の集落遺構が展開しているのに対して、北側では主に墓地が展開していることから、区画の意味があったことは明確である。

前述のように、遺跡南部では中期にも竪穴建物や貯蔵穴などの集落遺構が展開している。中期初頭～前半は、主として竪穴建物と貯蔵穴からなる集落で、田手二本黒木地区Ⅱ区では貯蔵穴のみがまとまっている区域も認められる。特徴的な遺物として、主に前期末～中期初頭の弥生土器と共伴する朝鮮系無文土器や、中期初頭～前半の竪穴建物跡から出土した環状青銅製品などが挙げられる。

中期初頭～前半には、青銅器铸造関連の遺物が出土していることから、青銅器を生産していたことが明らかとなっている。特に、田手二本黒木地区Ⅲ区 SK0404 土坑には鋳型をはじめとして多くの铸造関連の遺物が出土しており、土坑周辺で青銅器が铸造されたものと考えられる。なお、前期環壕から壇場（取瓶）とみられる土製品や輪羽口が出土しており（『207集』）、青銅器铸造が前期にまでさかのぼる可能性がある。

このように、遺跡南部は大規模な環壕、多数の竪穴建物・貯蔵穴、青銅器生産などからみて、前期～中期前半代には吉野ヶ里遺跡の中でも中心的な集落であったと考えられる。

中期前半代には、杉籠地区Ⅲ区・田手一本黒木地区Ⅰ区 326 調査区・田手二本黒木地区Ⅲ区 191 調査区・田手二本黒木地区Ⅱ区で喪棺墓を中心とする墓地を確認した。いずれも 30 基程度の小規模なもので、周辺の同時期の集落によって營まれたと考えられるが、集落と墓地の関係については、北側の吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ・Ⅷ区の墓地を含めて、今後の検討課題である。なお、杉籠地区Ⅲ区は『211集』、田手一本黒木地区Ⅰ区 326 調査区は『173集』・『211集』で報告しているため、本書では省略しており、二つの地区的墓地の詳細については、そちらの報告書を参照されたい。

これら的小規模な墓地や居住域とは距離を置いた田手一本黒木地区Ⅰ区 324 調査区で、喪棺墓から細形銅劍が出土した。SJ0100 喪棺墓は大型の墓坑で、そのほぼ中央に城ノ越式喪棺を水平に埋置して、下蓋に細形銅劍が副葬されていた（『173集』・『211集』）。吉野ヶ里遺跡内ではもっとも古い青銅製品の副葬例であり、中期初頭には一般的な墓地から離れた場所に墓を營み、銅劍が副葬される有力者が誕生していたことが判明した。

また、中期前半には田手一本黒木地区Ⅰ区に盛土遺構が構築されている。「南墳丘墓」や「祭壇」と呼称しているもので、南北 48 m 以上、東西 46 m 程の範囲に人工的な盛土が確認され、後述する北墳丘墓と同じ構築方法が認められる。これまでの調査では、この盛土遺構に伴う明確な墳墓は検出されておらず、その性格は不明であるが、盛土遺構の南東部に多量の土器が散布しており、その中の壺から動物骨や貝殻などが

出土していることなどから、祭祀に関連する遺構の可能性がある。

中期後半～末にも、田手二本黒木地区Ⅱ・Ⅲ区を中心に竪穴建物などがみられ、引き続き居住域であったと考えられる。墓地では中期後半（葬棺須改式期）まで杉謫地区Ⅲ区で葬棺墓が少数ながら継続するが、このほかに明確な墓地は検出されていない。貯蔵穴は減少しており、段丘裾部とみられる田手一本黒木地区Ⅱ区などで確認されている掘立柱建物が、集落に伴う倉庫群であった可能性が指摘されている。

後期前半になると、吉野ヶ里地区Ⅴ区で確認された外環壕の延長と考えられる壕跡が、田手二本黒木地区Ⅱ区から田手一本黒木地区Ⅱ区にかけて検出された。ただ、この時期の遺構は田手二本黒木地区Ⅱ区北部で竪穴建物跡、田手二本黒木地区Ⅰ区で掘立柱建物跡が確認されているが、遺構数は減少している。

遺跡南部西側の低湿地では、溝以外の明確な遺構は少ないが、農具・工具をはじめとする多量の木製品が出土したことが注目される。特徴的な木製品として、楽浪系の舶載品とみられる鉄斧柄や、祭祀具とみられる船形木製品、漆塗の蓋などが挙げられる。また、中国新の貨泉が出土している。

後期後半～終末は、遺構がほとんど確認できない時期である。外環壕も機能していた可能性はあるが、明確ではない。しかし、田手一本黒木地区Ⅰ区の盛土遺構には、それを取り囲む溝が2重に掘削された可能性があり、まったく放棄されていた区域ではない。盛土遺構はこの時期の人々にも何らかの意識が向けられていた場所であり、新たに溝を掘削して区画することは、この盛土遺構に新しい意味付けがなされたのかもしれない。

終末～古墳時代初頭になると、田手二本黒木地区Ⅲ区で少數の竪穴建物跡が認められるが、小規模な集落にとどまるものと考えられる。古墳時代前期には、段丘上に前方後方墳や方形周溝墓が造営され、居住域ではなくなるものと推測される。

3. 遺跡中央部の概要

遺跡中央部は、志波屋・吉野ヶ里段丘上（吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ・Ⅶ区・Ⅷ区北西部、吉野ヶ里地区Ⅴ区）と西側の水田部（吉野ヶ里地区Ⅵ区）にかけての範囲で、中期の墓地と後期の集落を主体とする遺跡を確認した。

前期前半の遺構としては、吉野ヶ里地区Ⅴ区 SH0808 竪穴建物跡が認められ、前期の早い段階で開発の手が入っているが、前期の遺構はほとんどなく、集落としての継続性は乏しい。

この地区で本格的に集落が展開するのは、前期末以降である。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅲ・Ⅵ区、吉野ヶ里地区Ⅴ区で前中期～中期前半の数棟の竪穴建物跡が、数ヶ所のまとまりをもって確認されている。その周辺には、貯蔵穴跡も数は多くないものの検出されており、小規模な集団がそれぞれ竪穴建物と貯蔵穴からなる集落を形成していたと考えられる。そのなかで、吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区の ST1001 墳丘墓下部で検出された平面円形の竪穴建物跡は、径7m以上の大型のものであり、墳丘墓下部であることから完掘していないため詳細は不明であるが、特別な建物であった可能性がある。

集落が展開するのとほぼ同じくして、葬棺墓を主体とする墓地が造営されるようになる。吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ・Ⅴ・Ⅷ区では中期初頭には葬棺墓が營まれ始め、吉野ヶ里丘陵地区Ⅴ区南部（182調査区）では2列状の埋葬、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区では列状の埋葬が認められる。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区では、周辺の墓地

よりやや遅れた中期前半に埋葬が開始されている。

これらの墓地は中期後半（葬棺須次式期）にも継続して営まれるが、これに対応する集落については不明な点が多い。中期前半には、円形基調の竪穴建物が前段階に引き続き段丘上に営まれるとともに、吉野ヶ里丘陵地区VI区北側斜面に長方形基調の竪穴建物が展開していたとみられるが、集落と墓地の詳細な関係についてはこれからの検討課題である。中期後半には、明確な居住域が遺跡中央部ではみられなくなり、この時期の墓地の造営主体は不明である。

中期の中央部でもっとも特徴的なこととして、北墳丘墓の存在が挙げられる。吉野ヶ里丘陵地区VI区ST1001 墳丘墓は中期前半新相に築造されたと考えられ、その中心に位置するもっとも古いSJ1006 葬棺墓は汲田式新相の時期で、細形銅劍が副葬されていた。墳丘は地山土や黒色土などのさまざまな土を幾層にも突き固めた版築様の盛土によって築かれている。北墳丘墓には汲田式新相～須次式新相の葬棺墓が14基検出され、そのうち8基の葬棺墓に有柄式銅劍1・細形銅劍6・中細形銅劍1・青銅製把頭飾2・ガラス製管玉79が副葬されていた。

中央部の墓地は、後期前半まで継続して営まれる吉野ヶ里丘陵地区II・VI区の墓地を除き、中期末（立岩式期）にはほぼ終焉しているものと思われる。これに対して、中期末には吉野ヶ里丘陵地区VI区、吉野ヶ里地区V区で竪穴建物跡が再び確認されるようになる。なお、詳細な時期は不明であるが、搬入品の可能性が高い打製石庖丁が吉野ヶ里丘陵地区VI区から出土している。

後期前半になると、吉野ヶ里地区V区でSD0925 外環壕が掘削されており、その周辺に竪穴建物跡が検出されている。ただ、外環壕の掘削時期は、北側の延長と推定される吉野ヶ里丘陵地区II区・吉野ヶ里地区I区では後期後半と推定されることから、後期前半の外環壕の様相については今後の検討課題である。また、SD0925 外環壕跡から巴形銅器と不明青銅器鑄型が出土しており、詳細な時期は不明であるが、後期にも青銅器生産が行われていたことを示す遺物である。この他、吉野ヶ里丘陵地区VI区でも竪穴建物がみられ、集落を形成している。

後期後半になると、外環壕は北墳丘墓まで取り込む形で完成していると考えられる。この外環壕内部に吉野ヶ里丘陵地区III区・吉野ヶ里地区V区において環壕で囲まれた古段階の南内郭が成立し、吉野ヶ里丘陵地区III区で集落の出入口に関連すると推測されている東に開く平面C字形の構えの壕も掘削されている。平面形などは明確ではないが、吉野ヶ里丘陵地区VI区で北内郭も成立している可能性がある。南内郭西側の吉野ヶ里地区V区西部は、倉庫と推定される掘立柱建物で主として構成される区域となる。特徴的な遺構・遺物として、この時期の北内郭を構成していた可能性がある吉野ヶ里丘陵地区VI区 SD1122 壕跡が埋没する過程で、中広形銅戈が埋納されていることが挙げられる。また、南内郭とその周辺では肥後系や吉備系などの外来系土器が出土している。

終末には、南内郭環壕は平面がより長方形に近い形状に掘り直され、構えの壕も掘り直される。北内郭は平面A字形の2重環壕で囲まれ、出入口が非常に複雑な構造をもつ閉鎖的な空間が成立する。その内部に3間×3間の総柱構造の大型建物が確認され、北墳丘墓を意識して主軸が決められたと考えられる。北・南内郭環壕には、突出部とその内側の物見櫓と推定される掘立柱建物の関係が明確な箇所が多い。出土遺物の中では、鉄器が北・南内郭環壕が集中していることが特徴である。なお、外環壕は終末までは維持されていたと考えられ、南内郭の西側は引き続き掘立柱建物で主として構成される区域である。また、この時期には山陰系など後期後半よりも広域の地域からの外来系土器がみられるようになる。

このように、遺跡中央部の後期後半～終末では吉野ヶ里集落の中心部として、さまざまに機能分化していると推定される区域が確認され、この時期の集落構造を研究する上で貴重な調査成果が得られている。

弥生時代終末～古墳時代初頭には、ほとんどの環境は廢絶し、前段階までの集落構造は消失するが、集落は継続する。吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ・Ⅵ区、吉野ヶ里地区Ⅴ区西部には竪穴建物が確認され、大型のものも含まれる。また、吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区の段丘上では、前方後方墳や方形周溝墓が造営され、墓地として利用されるようになる。

4. 遺跡北部の概要

遺跡北部は、志波屋・吉野ヶ里段丘の段丘上から水田部（吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ・Ⅳ・Ⅸ区、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅳ区、志波屋四の坪地区Ⅰ・Ⅱ区）、低位段丘上（大曲一の坪地区）、独立低丘陵上から水田部（志波屋三の坪（乙）地区）の範囲で、前期の集落や中期の墓地、後期の集落を主体とする遺跡を確認した。

前期前半の竪穴建物跡や貯蔵穴跡が志波屋四の坪地区で確認されるが、この時期の全体的な様相は不明である。前期後半には、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区、志波屋四の坪地区、志波屋三の坪（乙）地区で集落が認められる。このうち、志波屋三の坪（乙）地区的集落は、弥生時代中期以降の遺構が少ないため、この時期の集落の典型的な様相が比較的明瞭に分かれる例である。竪穴建物と貯蔵穴で構成され、貯蔵穴は建物の周辺に散漫に分布している。前期の墓地は、志波屋四の坪地区Ⅰ区南部で甕棺墓がみられるが、数は多くない。

中期初頭～前半には、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区と志波屋四の坪地区で前期からの集落が継続し、吉野ヶ里丘陵地区Ⅸ区に初頭～前半、吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ区に前半の小規模な集落が営まれている。中期後半には、大曲一の坪地区で竪穴建物跡が確認されるが、数は激減している。

これに対して、遺跡北部の中期の墓地は大規模なものである。特に、志波屋四の坪地区では1,000基以上の甕棺墓が確認されており、長大な2列状に埋葬されていることが大きな特徴である。中期初頭には、いわゆる集塊状をなす小規模な墓地が営まれ始めるが、中期前半には甕棺墓が急増し、後期前半まで継続している。このうち列状をなすのは、主として中期前半（汲田式期）～後半（須玖式期）である。副葬品としては、貝輪・装身具・鉄器などがあるが、副葬品をもつ墳墓は少ない。また、人骨の残存状況が良好なものが多く、頭蓋骨のない人骨や顔面に赤色顔料が付着したものなどがみられる。

吉野ヶ里丘陵地区Ⅰ・Ⅳ・Ⅸ区の墓地は、北側が奈良時代の官道の切通として段丘が掘削されているが、本来は志波屋四の坪地区Ⅰ区と同一の墓地と考えられる。時期も同じく中期前半～後期前半である。このうち注目されるのは、Ⅸ区の密集している甕棺墓地に埋葬された立岩式期のSJ2775 甕棺墓の棺外から前漢鏡1面、棺内からゴホウラ製貝輪36点が出土したことである。

この他、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区では前期末～後期前半の大規模な墓地、大曲一の坪地区では中期末～後期前半、志波屋三の坪（乙）地区では中期初頭～前半の小規模な墓地が確認されている。このうち吉野ヶ里地区Ⅱ・Ⅲ区では2列状の埋葬が認められる。このように、中期において集落は小規模であるが、墓地は大規模であり、集落と墓地との対応関係について現段階では不明といわざるをえない。

後期前半には、前述のように中期から引き続き墓地であった地区が多い。その中で、吉野ヶ里地区Ⅱ区や志波屋四の坪地区において、この時期の小規模な集落が確認されている。なお、前項で述べたように、吉野ヶ

里地区Ⅰ区で確認されたSD0002外環壕跡は、出土土器からみて、掘削時期が後期前半まで遡るとは言い難い。

後期後半～終末には、志波屋四の坪地区で竪穴建物と掘立柱建物で構成される一定程度の規模の集落が形成されている。特徴的な遺物として、船載鏡片・铸造鉄斧などがあるが、鐵器の出土量などは多くない。この他、吉野ヶ里丘陵地区IX区や大曲一の坪地区でも小規模な集落が検出された。

終末～古墳時代初頭では、志波屋四の坪地区で集落が継続し、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅲ区でも集落が営まれる。この時期に特徴的な出来事として、大曲一の坪地区で福田型銅鐸が埋納されることが挙げられる。



図2 吉野ヶ里遺跡南部 調査区の位置 (1/5,000)

田手二本黒木地区Ⅱ区

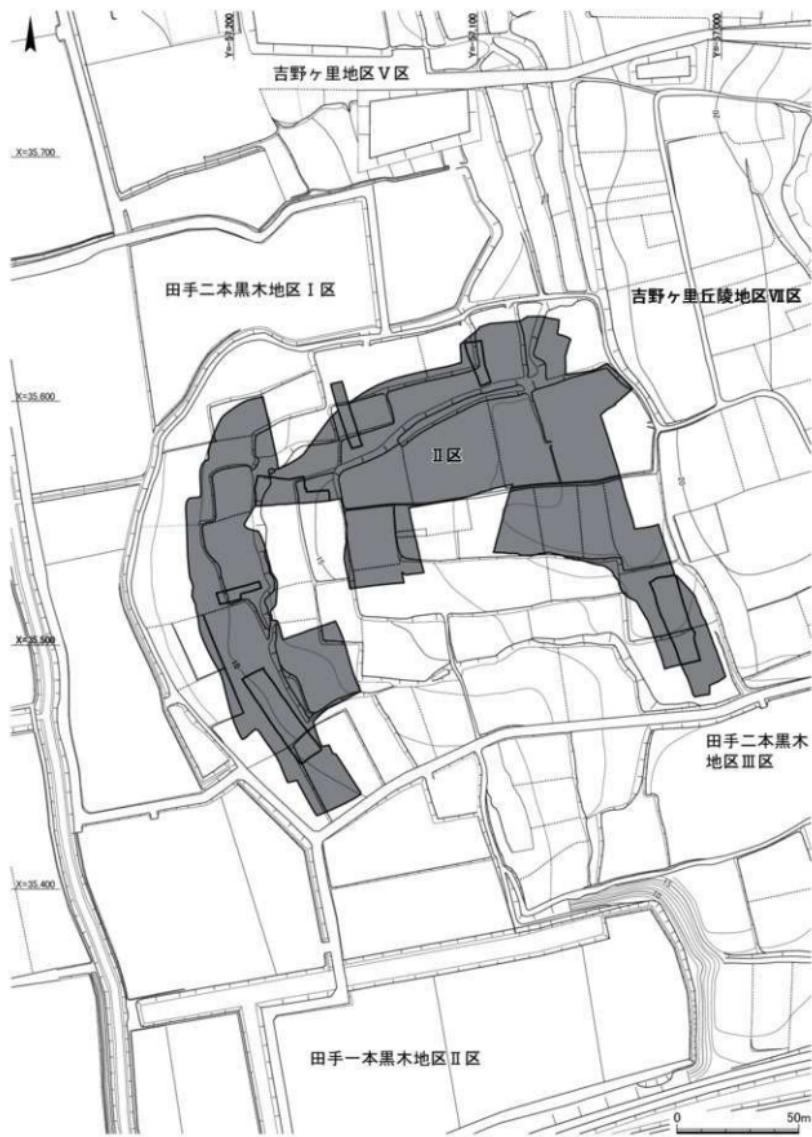


図3 田手二本黒木地区Ⅱ区 調査区の位置 (1/2,000)

第2節 遺跡南部の遺構と遺物

1. 田手二本黒木地区II区

(1) 概要

田手二本黒木地区II区は、吉野ヶ里町大字田手字二本黒木に所在する。本区域は志波屋・吉野ヶ里段丘南部の段丘上から据部にかけて立地しており、標高は9.3～19.3mである。本区域北側の谷部及び西側の沖積低地部には田手二本黒木地区I区が位置し、段丘尾根上の平坦部にあたる東側には田手二本黒木地区III区と吉野ヶ里丘陵地区VII区が隣接している。

本区域では、工業団地造成による発掘調査が主であるが、それ以外に補助事業による確認調査(221・338～341・375調査区)が行われている。調査の結果、弥生時代の集落と墓地、中世の墓地などを確認した。

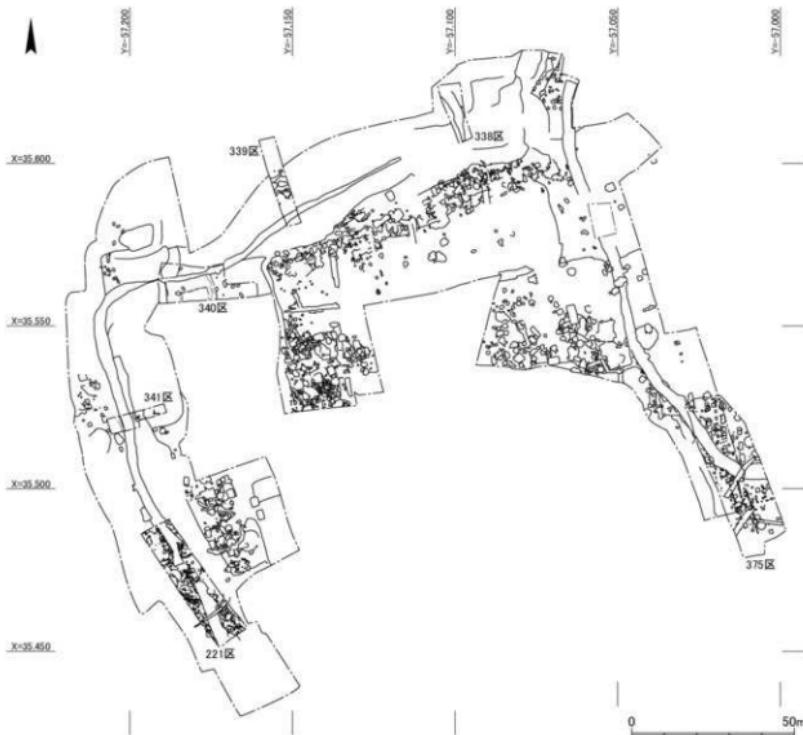


図4 田手二本黒木地区II区 遺構の分布(1/1,500)

田手二本黒木地区 II 区

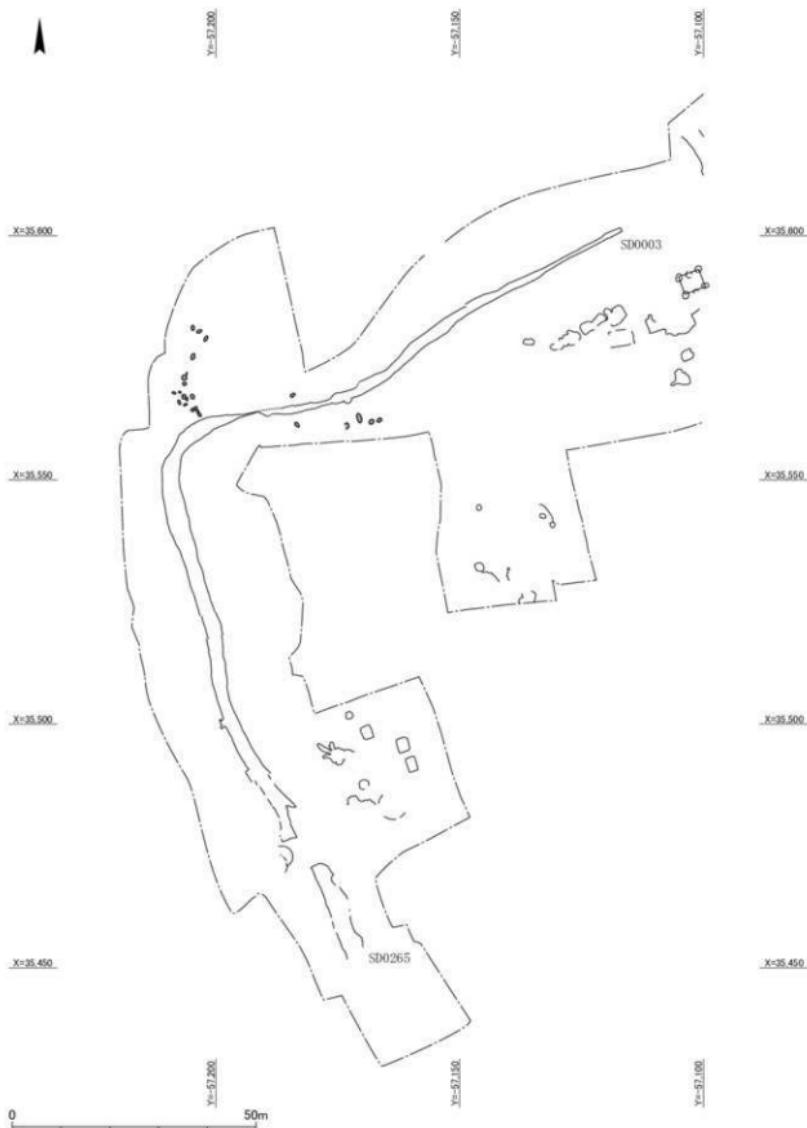
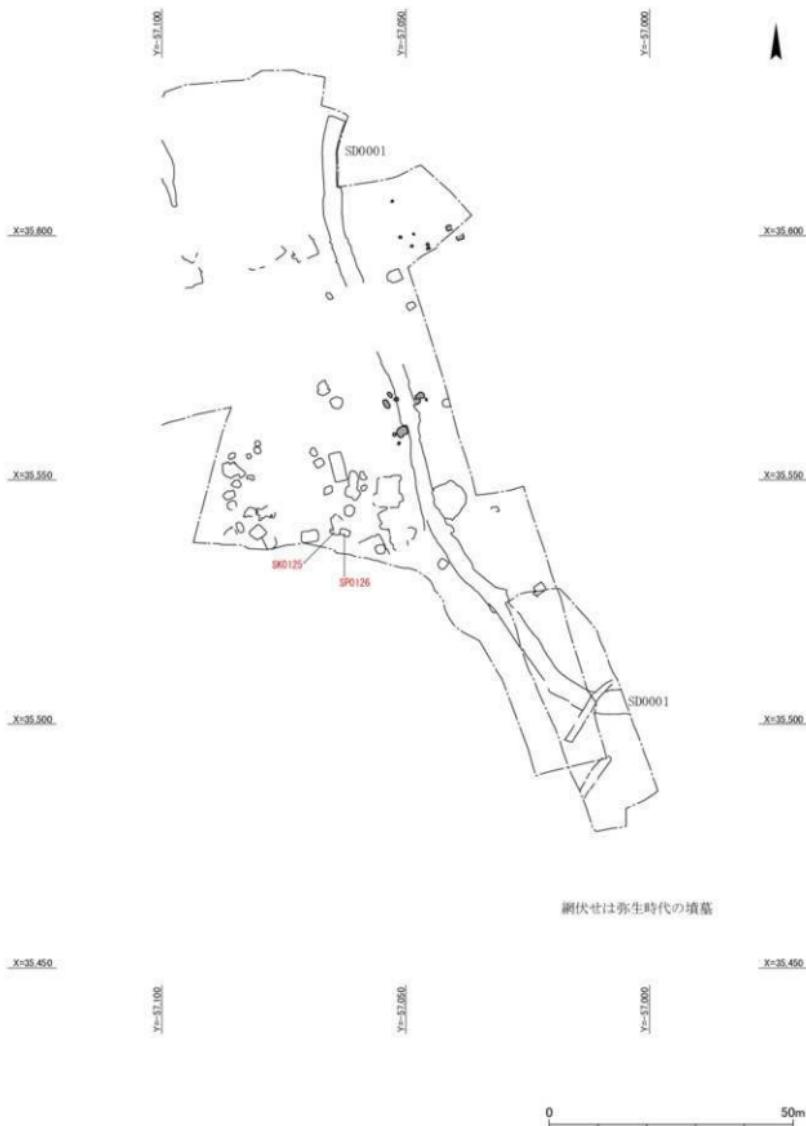


図 5 田手二本黒木地区 II 区 弥生時代遺構の分布 1 (1/1,000)

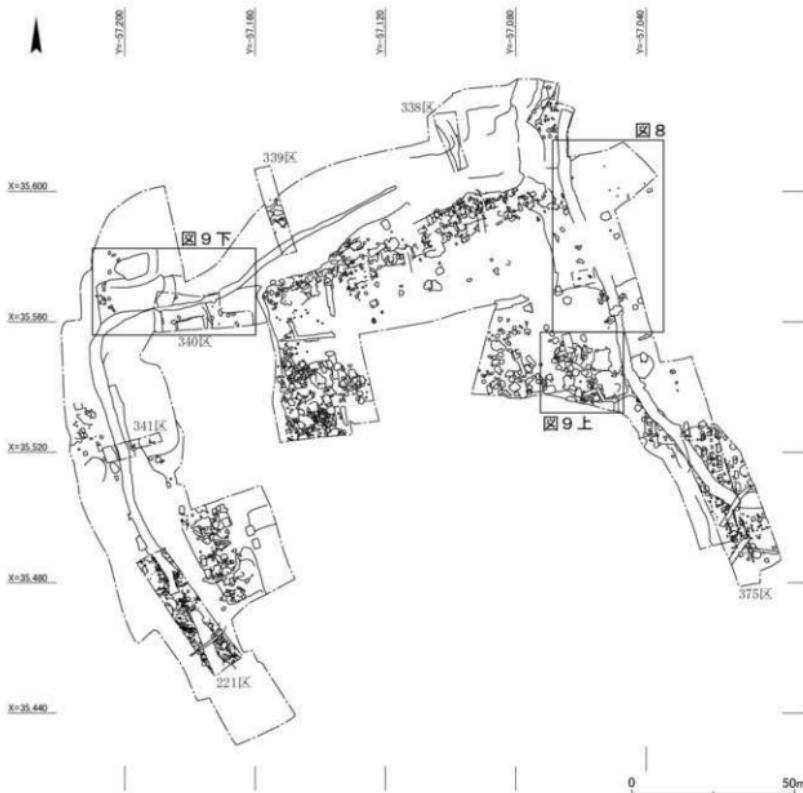


このうち、弥生時代の集落については『207集』で報告を行っているが、本区域は弥生時代前期～中期における本遺跡の集落中心部にあたる。

(2) 遺構

弥生時代墳墓に関する遺構として、表棺墓24基、土坑墓1基、祭祀土坑1基を報告する。表棺墓は、本区域の東端で18基、北西の340調査区で6基を確認した。なお、工業団地造成に伴う調査の際、本区域北西端において21基の表棺墓群が検出されているが、発掘を行わずに埋め戻されている（『113集』）。そのため、この21基は報告対象から除外する。

本区域の表棺墓は、後世の削平により遺構の一部あるいは墓坑全体を消失しており、遺構の残存状況は極めて悪い。分布状況をみると、本区域東端の表棺墓群は、北側に8基、南側に10基が分かれて展開してい



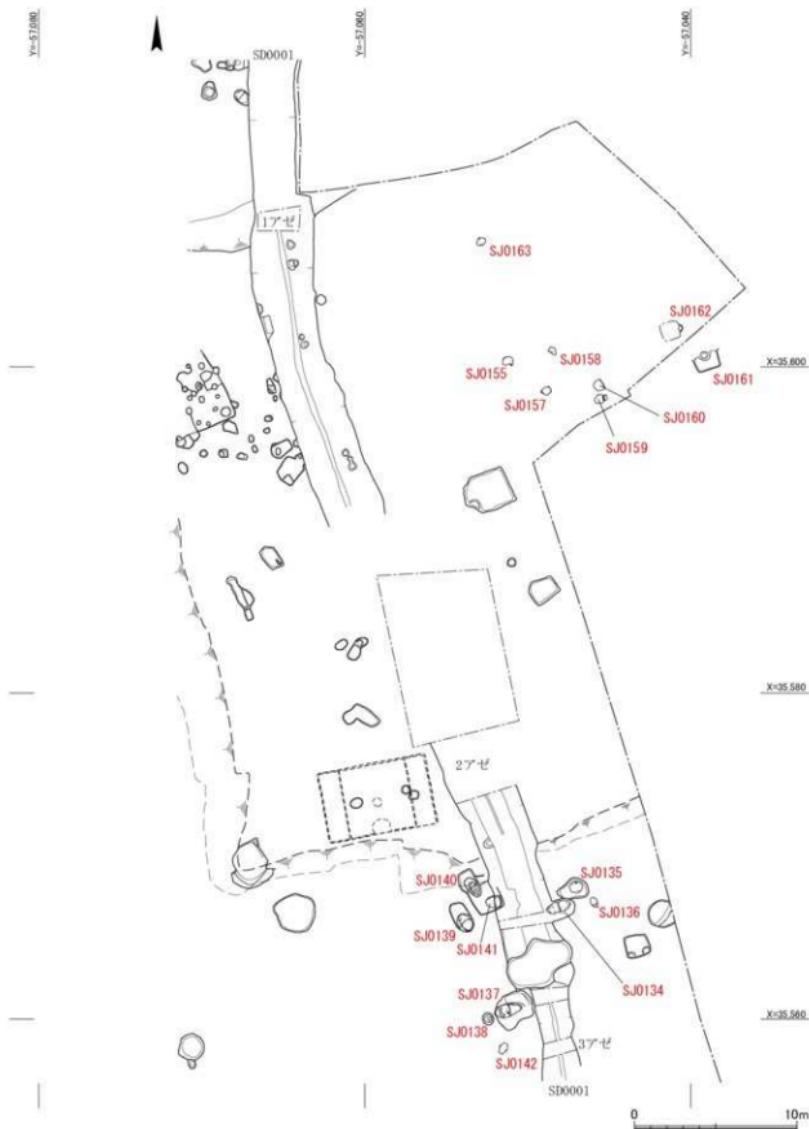


図8 田手二本黒木地区II区 遺構の分布詳細1 (1/300)

田手二本黒木地区Ⅱ区

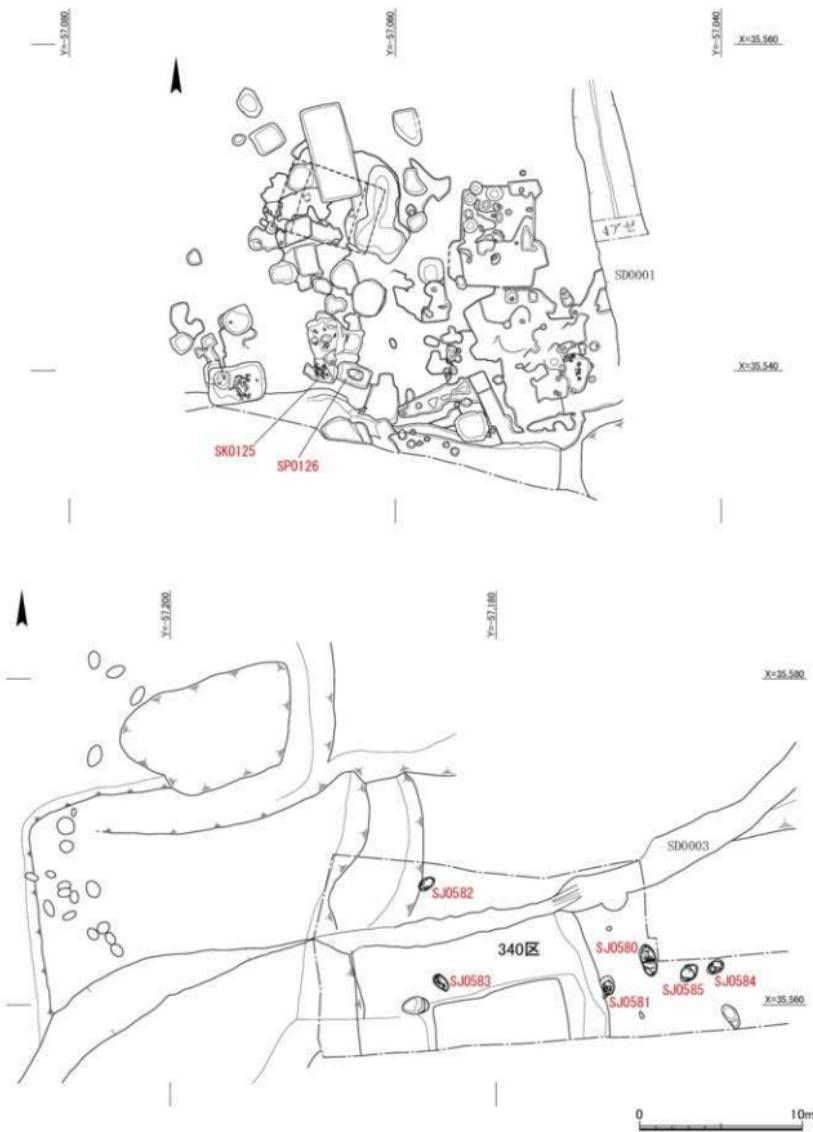


図9 田手二本黒木地区Ⅱ区 遺構の分布詳細2 (1/300)

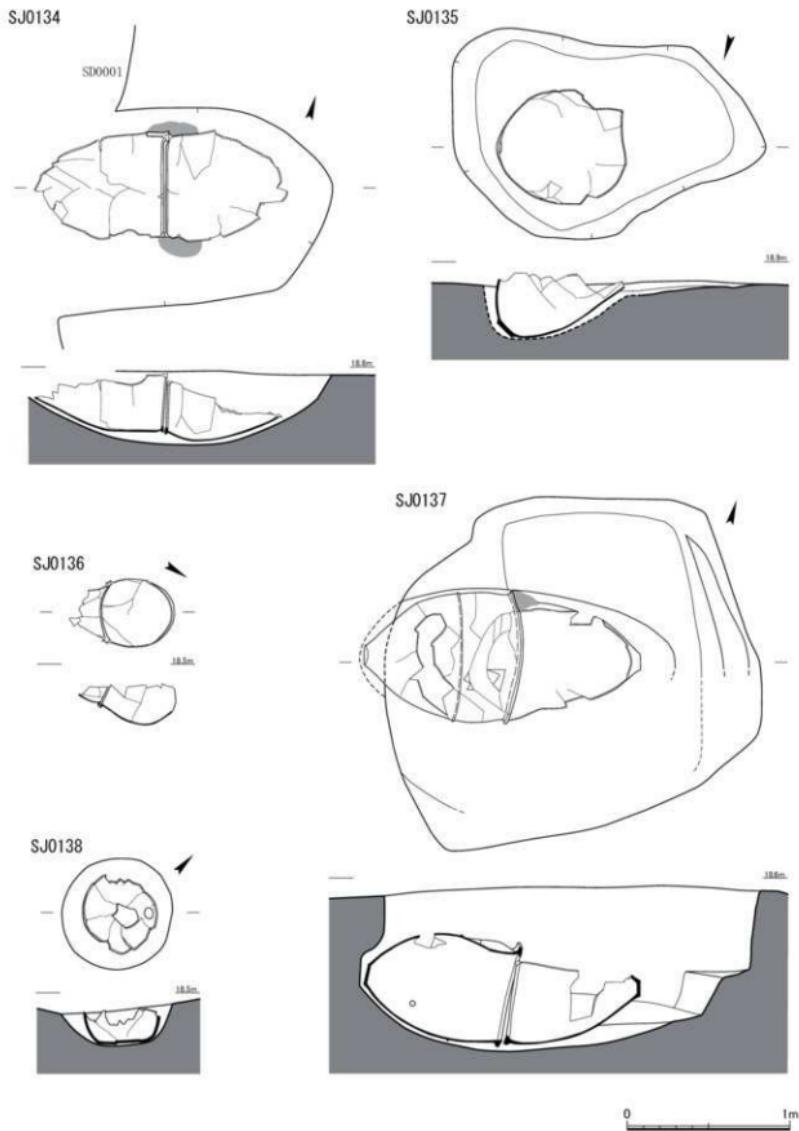


図10 田手二本黒木地区II区 窯棺墓1 (1/30)

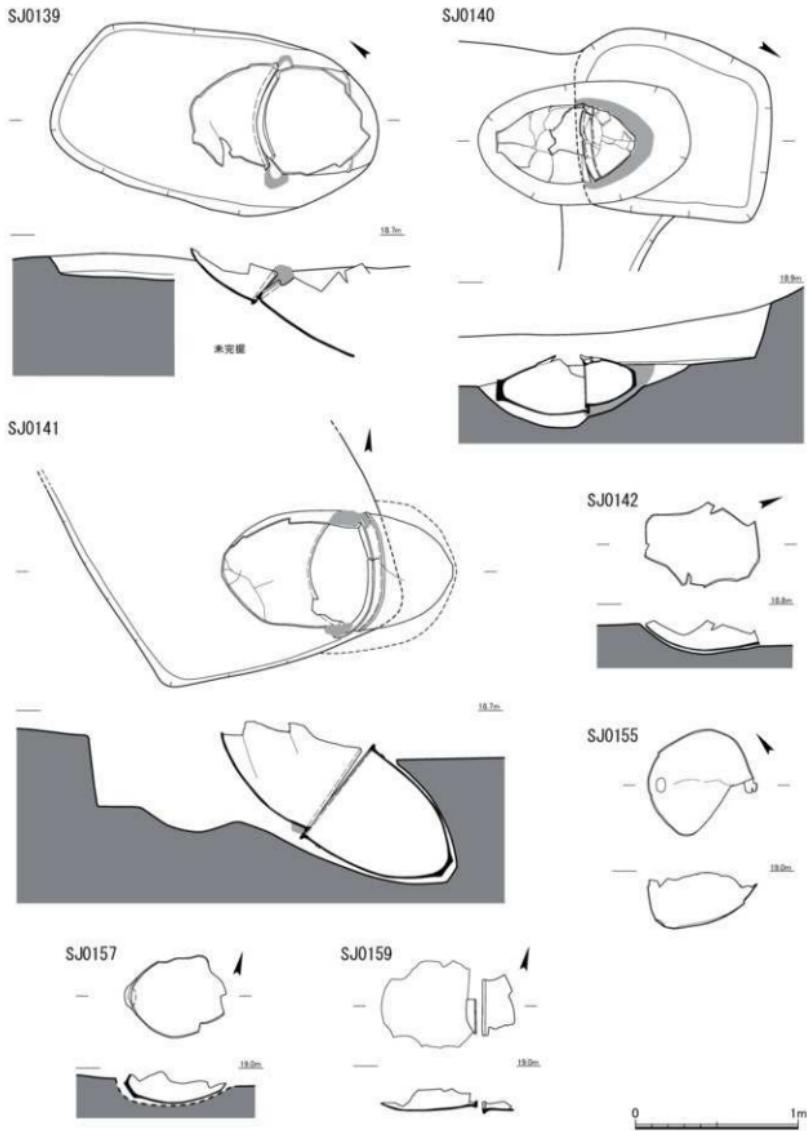


図 11 田手二本黒木地区Ⅱ区 窯棺墓2 (1/30)

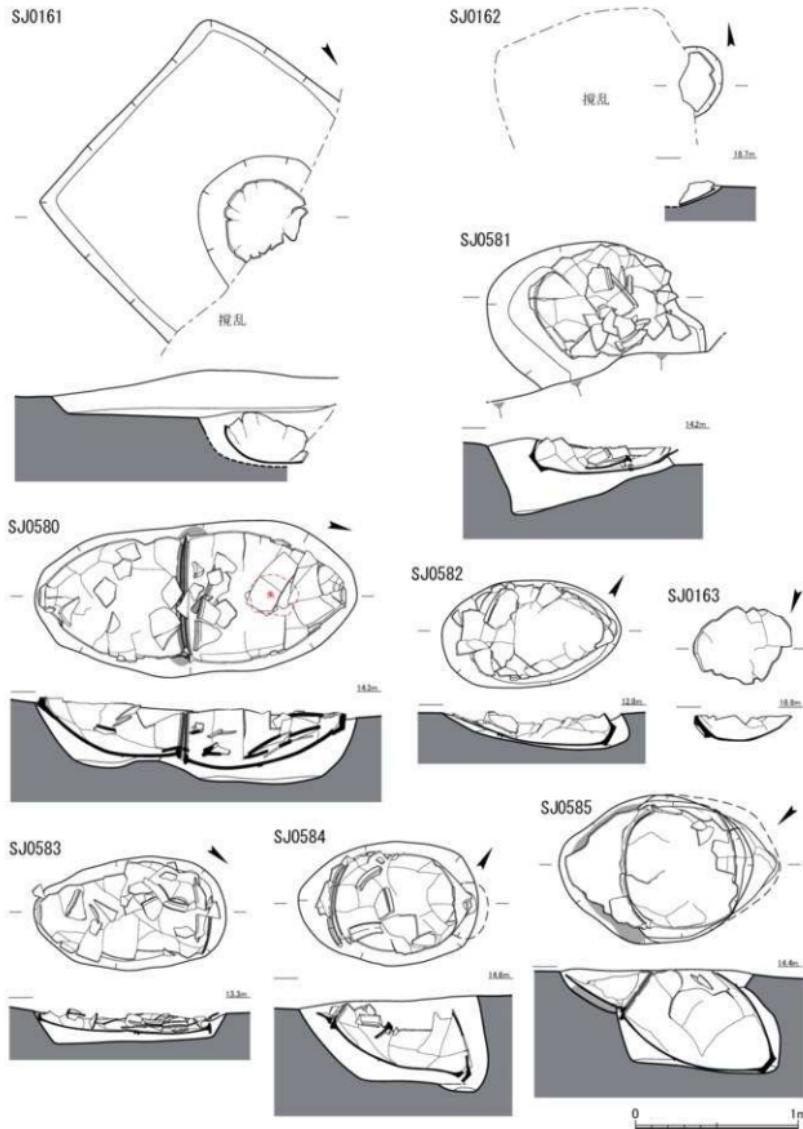


図 12 田手二本黒木地区 II 区 墓棺墓 3 (1/30)

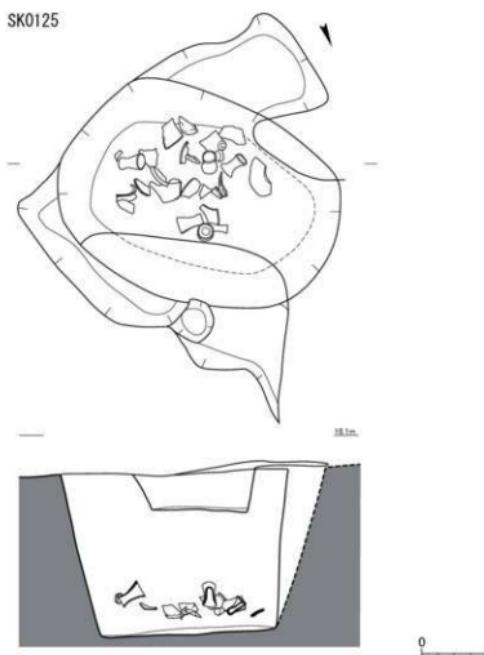
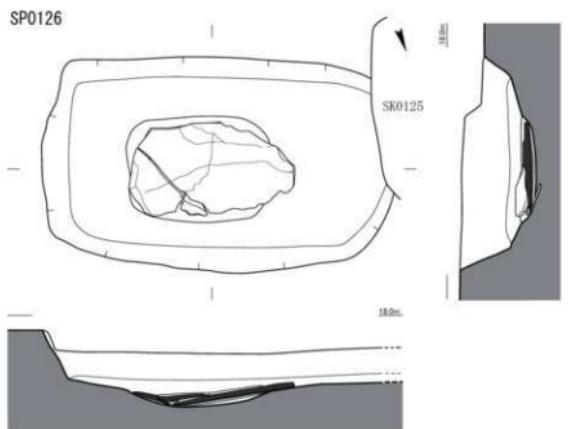


図 13 田手二本黒木地区 II 区 土坑墓・祭祀土坑 (1/30)

る。北側の8基は弥生時代前期のSD0001環壕跡の内側に位置し、約15m×10mの範囲に分布している。このうち、中央に位置するSJ0158は、削平によって墓坑が消滅し棺体の一部が残存するのみであったが、棺内面に絹片が付着しているのが確認された。南側の10基はSD0001環壕跡の内外に展開し、約12m×10mの範囲に分布している。このうち、SJ0134、SJ0137、SJ0141の3基は壕跡上面と重複していることから、これらはSD0001環壕が埋没した中期初頭以降に埋葬されている。また、本区域北西の340調査区に分布する喪棺墓6基は弥生時代後期のSD0003環壕近辺に位置し、遺構の残存状況は悪い。所属時期は中期前半頃とみられ、このうちSJ0580の棺内からは朱とみられる赤色顔料が出土している。

SP0126土坑墓とSK0125祭祀土坑は、本区域中央東側に位置する。周辺には弥生時代前期～中期の竪穴建物跡や貯蔵穴跡、土坑が多く展開している。SP0126は、平面隅丸長方形の一次墓坑内に段掘りによる隅丸長方形の浅い二次墓坑が設けられ、大型の板石が蓋として被せられている。SK0125と重複し、新旧関係はこれより古い。SK0125は平面梢円形で、断面逆台形をなす。遺構底面付近から完形に近い土器がまとまって出土している。なお、『207集』で弥生時代中期の貯蔵穴跡と報告した本区域の土坑群からは、丹塗りや暗文が施された土器や完形に近い土器がまとめて出土している。これらは、貯蔵穴として利用された後、祭祀土坑として再び利用されたと考えられている（石田2008,2009）。

表1 田手二本黒木地区II区 喪棺墓

遺構番号	喪棺形式		初期埋置		墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨 (性別・ 年齢)	特記事項
	楕円	上裏	下裏	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新			
SJ0069	不明			-	-						弥生	-	
SJ0134	合口	廣	廣	N106W	4				SD0001		中期前半	-	
SJ0135	不明			廣	N105W	45					中期前半	-	
SJ0136	合口	廣	廣	N148E	26						中期	-	墓坑消滅
SJ0137	合口	廣	廣	N72E	-9	2.32	2.2	1.0	SD0001		中期初頭	-	下痕脚部穿孔
SJ0138	不明		廣	N134W	-						中期前半	-	
SJ0139	合口	廣	廣	N40W	45						中期前半	-	未完形
SJ0140	合口	廣	廣	N32.5W	3				SJ0141		中期前半	-	
SJ0141	合口	廣	廣	N95W	34.5				SD0001	SJ0140	中期前半	不明	骨片多数
SJ0142	不明		廣	-	-						中期前半	-	墓坑消滅
SJ0155	不明		廣	N128E	55						中期初頭	-	墓坑消滅
SJ0157	不明		廣	N77.5E	24						中期初頭	-	墓坑消滅
SJ0158	不明			N124W	-						中期初頭？	-	布片付着 墓坑消滅
SJ0159	合口		廣	N77E	-						中期初頭	-	墓坑消滅
SJ0160	不明		廣	N77E	-						中期初頭	-	
SJ0161	不明		廣	N122E	-						中期	-	
SJ0162	不明			-	-						中期	-	
SJ0163	不明		廣	N107W	37		1.8				中期初頭	-	墓坑消滅
SJ0580	合口	廣	廣	-	-						中期前半	-	340調査区 朱

田手二本黒木地区II区

表1 田手二本黒木地区II区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式			窓の位置		窓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨 (性別・ 年齢)	特記事項
	横造	上狭	下廣	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新			
SJ0581	不明		廣	-	-						中期前半	-	340調査区
SJ0582	不明		廣	-	-						中期	-	340調査区
SJ0583	不明		廣	-	-						中期前半?	-	340調査区
SJ0584	台L	廣	廣	-	-						中期前半	-	340調査区
SJ0585	台L	廣	廣	-	35						中期前半	-	340調査区

表2 田手二本黒木地区II区 土坑墓・祭祀土坑

遺構番号	平面形	規模 m			断面形	新旧関係		時期	特記事項
		長軸	短軸	深さ		旧	新		
SK0125	椭円	1.74	1.41	1.06	台	SP0126		中期前半	黔藏穴再利用か
SP0126	椭丸長方	2.1+	1.32	0.45	-		SK0125	中期?	石蓋 二段振り?

表3 田手二本黒木地区II区 窯棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0134	甕		甕		上下不明	14001181~14001183
SJ0135			甕		上下不明	14001184
SJ0137	甕		甕			14001185~14001186
SJ0138					上下不明	14001187~14001188
SJ0139	甕		甕		上下不明	14001189~14001191
SJ0140	甕		甕			14001192~14001193
SJ0141	甕		甕			14001194~14001195
SJ0142					上下不明	14001196~14001197
SJ0155			甕			14001198
SJ0157	甕	L字縫隙口				14001199
SJ0159					上下不明 L字縫隙口	14001200
SJ0160					上下不明	14001201
SJ0161					上下不明	14001202
SJ0163					上下不明 L字縫隙口	14001203~14001204
SJ0580	甕		甕		340調査区	14001205
SJ0581			甕		340調査区	14001206
SJ0584	甕		甕		340調査区	14001207~14001208
SJ0585	甕		甕		340調査区	14001209~14001210

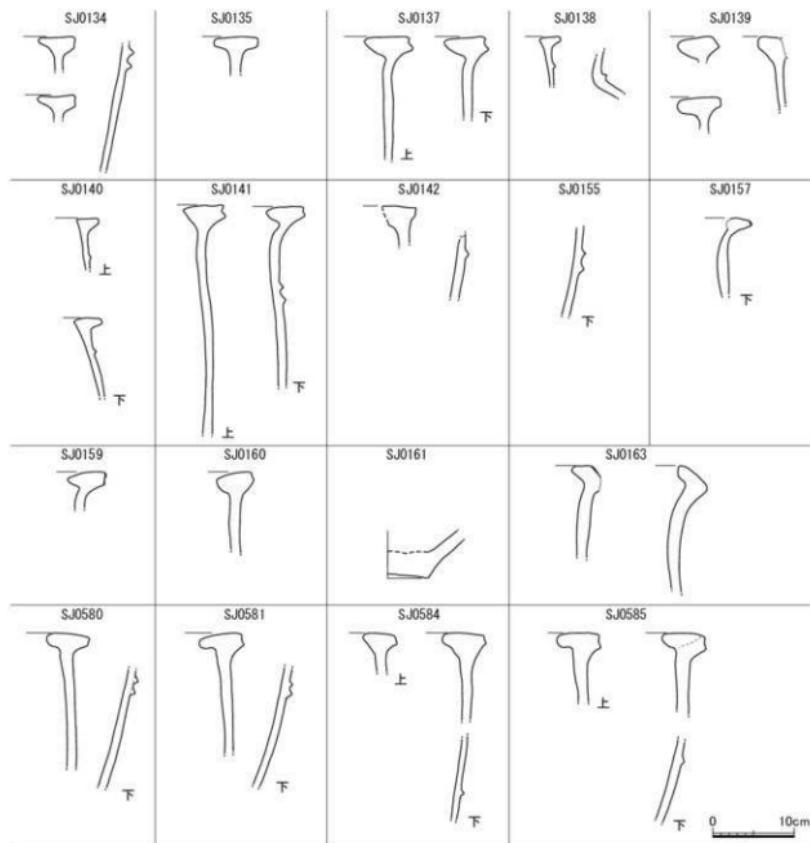


图 14 田手二本黑木地区Ⅱ区 赛棺部分实测 (1/6)

(3) 出土遺物

1～71はSK0125から出土した。1～4は口縁断面三角形の甕で、2は端部に小さい刻目が施される。5は口縁断面逆L字状の甕で、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。6～8は甕棺の口縁部で、丸みを帯びる中型棺とみられる。9～22は甕で、口縁断面逆L字形を基調とする。9・16・17は口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。口縁上面は内傾するものと平坦なものがある。調整は外面ハケメ、内面ナデである。

23～40は壺である。24・25・27は外反口縁で、24・25は外面に暗文、内面に横方向のミガキが施される。26は口縁断面が逆L字形に強く屈曲し、上面は平坦である。外面ミガキが施され、内面に工具痕が残る。28は口縁が内傾し断面逆L字形をなす小型の壺で、口縁端部に穿孔が施される。23・29～36は鉗先口縁で、頸部は緩やかに外反する。29・35は頸部外面に暗文が施される。30～32は外面縦方向のミガキ、31・36は内面横方向のミガキが施される。37～40は胴部片である。37は胴部最大径の位置に断面三角形の突帯が1条巡る。38は内外面横方向のミガキが施される。39は肩部に断面三角形の突帯が2条巡る。40は断面M字形の突帯が1条巡り、横方向のミガキが施される。

41～45は鉢である。41は単純口縁で、内外面ミガキが施される。42～45は口縁断面が内側に僅かに突出する逆L字状で、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。46～48は高杯で、46は口縁断面逆L字形をなす。47・48は脚部片で、48は外面ミガキが施される。

49・50は壺底部で、僅かに上げ底をなす。49は内外面ミガキ、50は外面ミガキが施される。51～54は甕底部で、外面ハケメが施される。53・54は上げ底をなす。55・56は樽型甕の底部である。

57～61は蓋である。57～60は上面が浅く窪み、61は平坦である。外面ハケメが施され、57・59は内面に指オサエが残る。62～70は器台である。ほぼ同形同大で、内外面ハケメが施される。71は支脚で、外面指オサエが残る。

(4) 田手二本黒木地区Ⅱ区の弥生時代墳墓について

田手二本黒木地区Ⅱ区では、弥生時代中期初頭～中期前半の墓地を確認した。本区域は、前期前半新相からSD0001環壕の掘削が始まり、前期後半には竪穴建物と貯蔵穴からなる集落が展開している。甕棺墓の造営は中期初頭から始まっており、一部はSD0001環壕上面を切り込んでいることから、中期初頭には環壕が埋没したと考えられる。中期前半になると、本区域では竪穴建物跡が減少するが、貯蔵穴が集中する部分が認められることから、集落としての利用は継続している。中期前半は、本区域東側に位置する田手二本黒木地区Ⅲ区において竪穴建物跡や貯蔵穴が急増し、集落の中心部として展開していく時期にあたる。一方、中期前半の墓地については、本遺跡中央部や北部に比べると、遺跡南部での墳墓の検出数が少なく、詳しい様相は不明である。前述したように、貯蔵穴群のなかにはいわゆる祭祀土坑に伴う土器群が多数出土していることや、後世の削平による遺構の消滅等を考慮すると、実際には検出した以上の甕棺墓が展開していた可能性もある。しかし、本区域を含む遺跡南部一帯では、大規模な墓地を形成するまでには至っておらず、小規模な墓地が各所に分散して展開していたと考えられる。中期後半以降の墳墓は確認されていないことから、本区域の墓地は比較的短期間で終焉を迎える。

SK0125

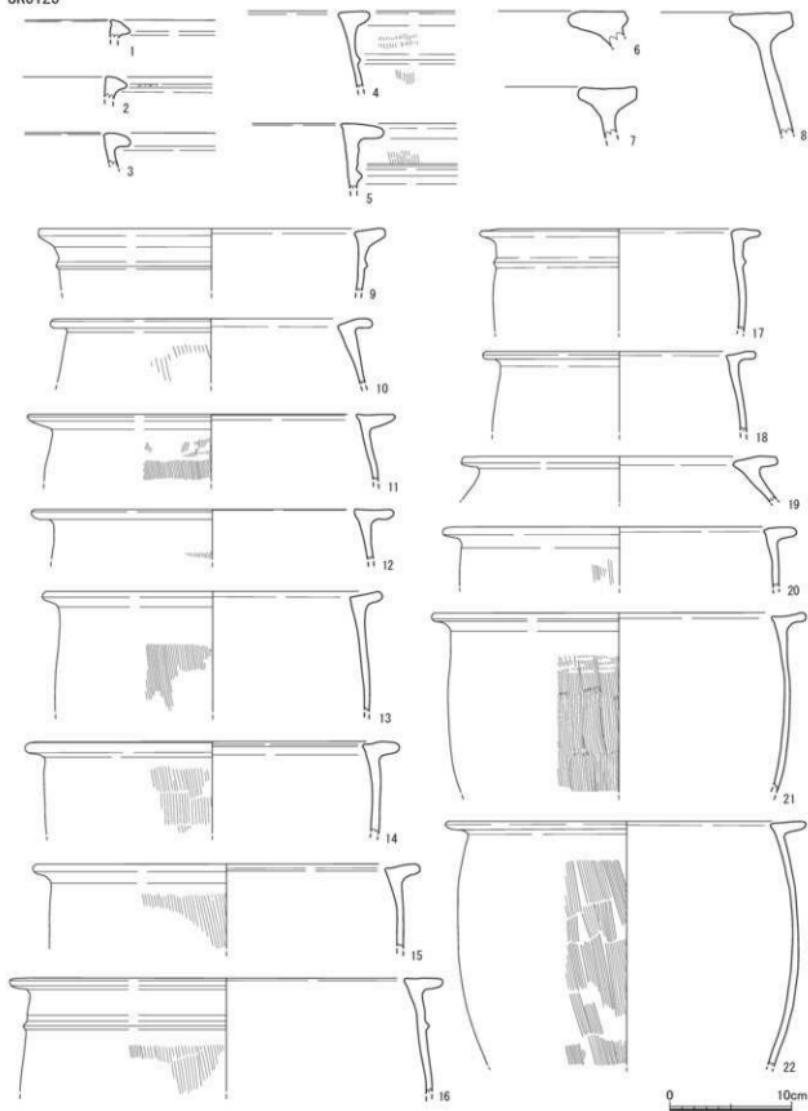


図 15 田手二本黒木地区 II 区 SK0125 出土土器 1 (1/4)

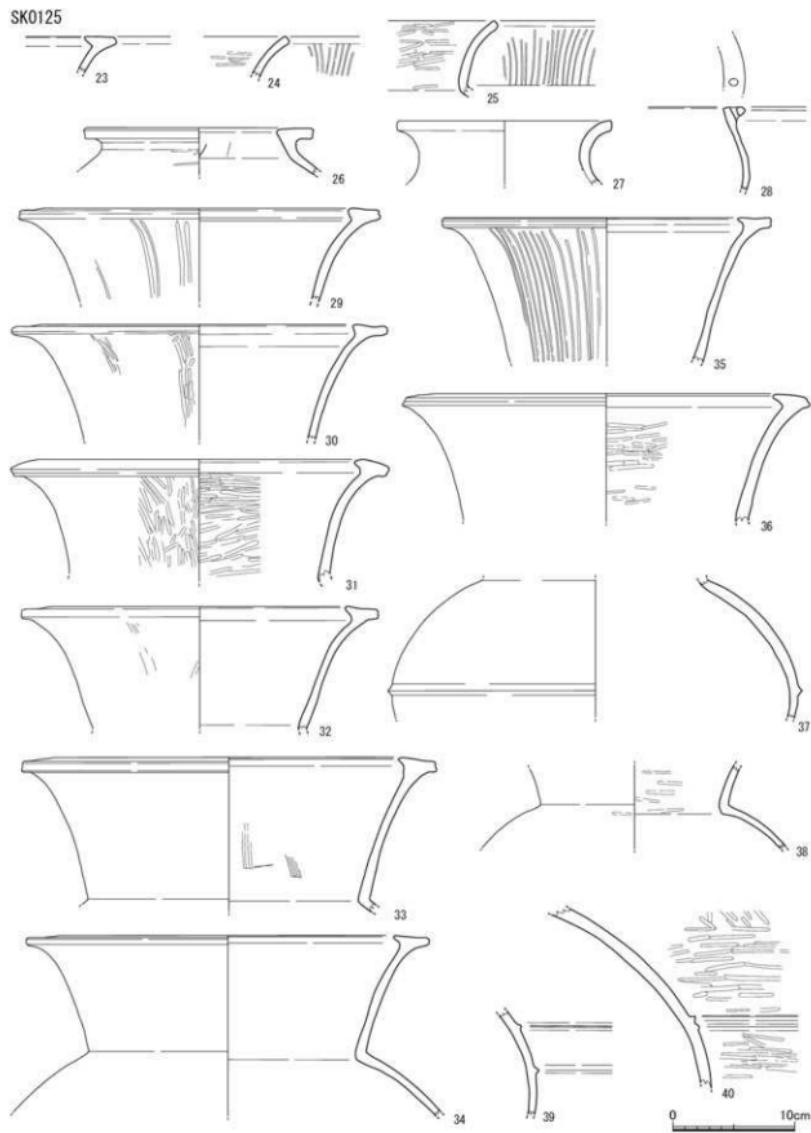


图 16 田手二本黒木地区 II 区 SK0125 出土器 2 (1/4)

SK0125

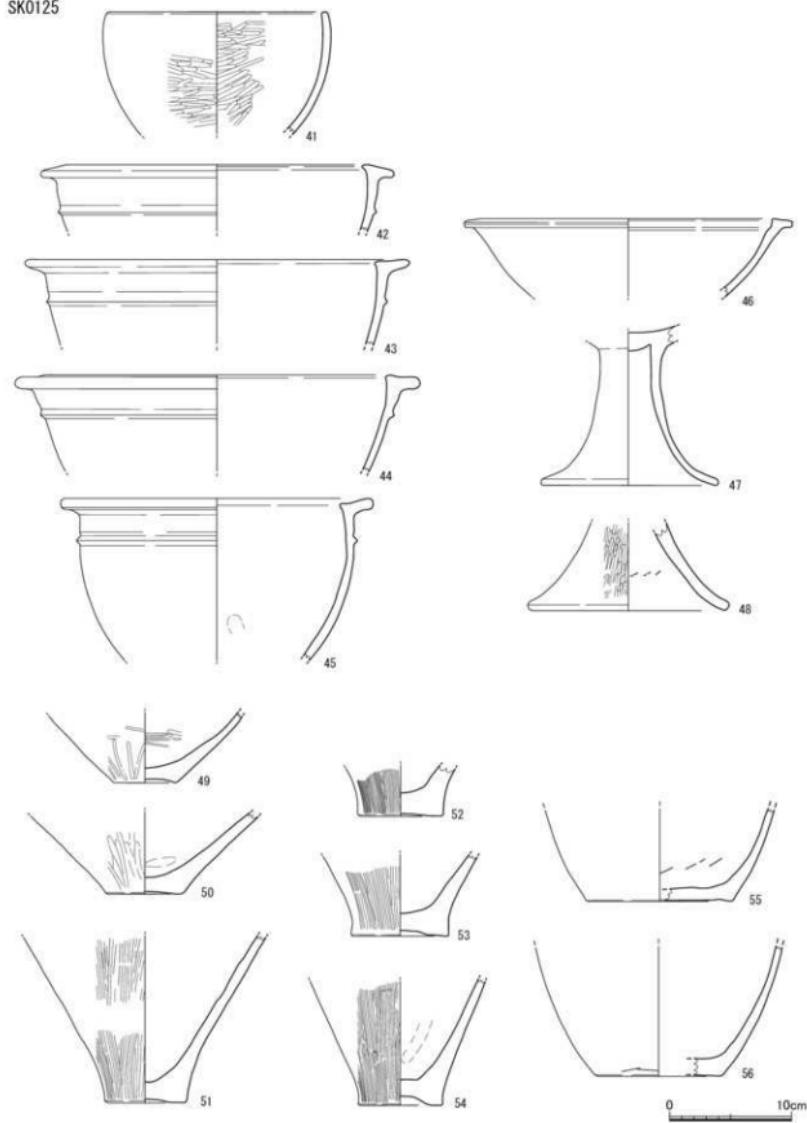


図17 田手二本黒木地区II区 SK0125出土土器3 (1/4)

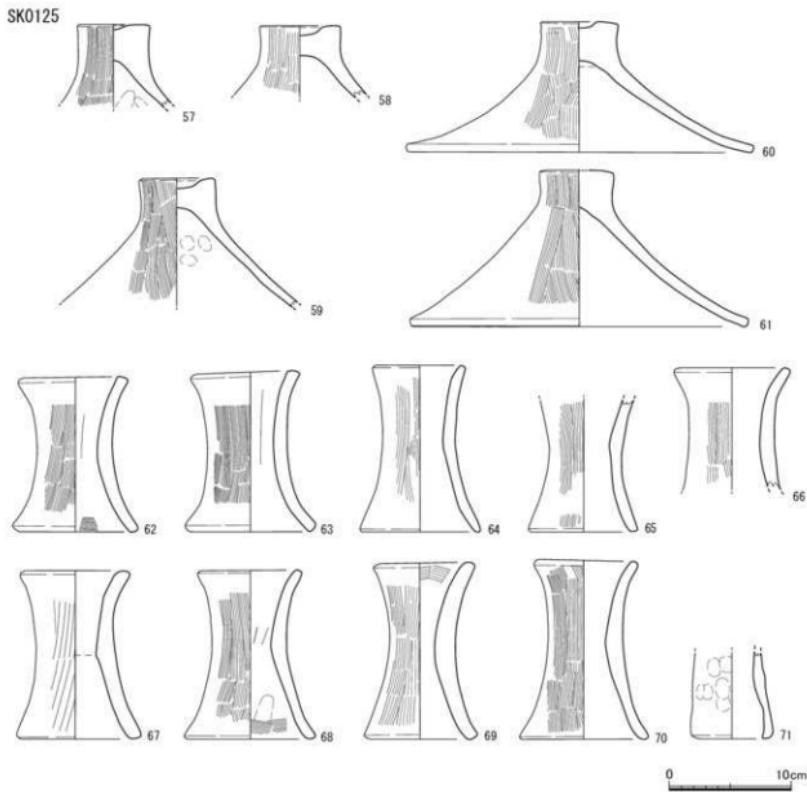


図 18 田手二本黒木地区 II 区 SK0125 出土土器 4 (1/4)

表4 田手二本黒木地区II区 祭祀土坑出土土器

博団・番号	佐賀縣遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
国 15-1	08003280	SK0125	甕				淡褐色	淡褐色	
国 15-2	08003281	SK0125	甕				淡褐色	淡褐色	
国 15-3	08003282	SK0125	甕				暗淡褐色	暗淡褐色	
国 15-4	08003271	SK0125	甕				淡褐色	淡褐色	
国 15-5	08003275	SK0125	甕				淡褐色	淡褐色	
国 15-6	08003285	SK0125	甕棺				淡褐色	淡褐色	
国 15-7	08003276	SK0125	甕棺				淡褐色	淡褐色	
国 15-8	08003284	SK0125	甕棺				淡褐色	淡褐色	
国 15-9	08003277	SK0125	甕	28.5*			淡明褐色	淡明褐色	
国 15-10	08003278	SK0125	甕	26.4*			淡明褐色	淡明褐色	
国 15-11	08003269	SK0125	甕	30.2*			淡明褐色	淡明褐色	
国 15-12	08003270	SK0125	甕	29.8*			淡褐色	淡褐色	
国 15-13	08003272	SK0125	甕	27.9*			淡褐色	淡褐色	
国 15-14	14000767	SK0125	甕	30.6*			相	相	
国 15-15	08003273	SK0125	甕	31.8*			淡褐色	淡褐色	
国 15-16	08003274	SK0125	甕	35.6*			淡褐色	淡褐色	
国 15-17	14000758	SK0125	甕	22.9*			に赤い黄褐色	褐色	
国 15-18	08003279	SK0125	甕	22.4*			淡明褐色	淡明褐色	
国 15-19	08003283	SK0125	甕	26.0*			淡褐色	淡褐色	
国 15-20	14000768	SK0125	甕	29.0*			に赤い黄褐色	に赤い黄褐色	
国 15-21	08003268	SK0125	甕	30.8*			淡明褐色	淡明褐色	
国 15-22	14000756	SK0125	甕	29.6			相	に赤い黄褐色	
国 16-23	08003294	SK0125	壺				淡褐色	淡褐色	
国 16-24	08003303	SK0125	壺				淡褐色	淡褐色	暗文
国 16-25	08003293	SK0125	壺				明褐色	明褐色	暗文
国 16-26	08003301	SK0125	壺	18.9*			淡褐色	淡褐色	
国 16-27	08003295	SK0125	壺	17.6*			淡褐色	淡褐色	
国 16-28	08003304	SK0125	壺				淡褐色	淡褐色	口縁上面に穿孔
国 16-29	14000760	SK0125	壺	29.2*			淡褐色	淡褐色	暗文
国 16-30	14000761	SK0125	壺	30.8*			相	相	
国 16-31	14000759	SK0125	壺	31.0*			相	相	
国 16-32	14000762	SK0125	壺	29.3*			相	相	
国 16-33	08003290	SK0125	壺	34.0*			暗褐色	明褐色	
国 16-34	08003289	SK0125	壺	33.0*			淡褐色	淡褐色	
国 16-35	08003292	SK0125	壺	27.0*			茶褐色	明褐色	暗文
国 16-36	08003291	SK0125	壺	33.5*			明褐色	明褐色	
国 16-37	14000757	SK0125	壺				相	に赤い黄褐色・斑状	
国 16-38	08003302	SK0125	壺				明褐色	明褐色	
国 16-39	08003297	SK0125	壺				暗褐色	淡褐色	
国 16-40	08003296	SK0125	壺				明褐色	淡褐色	
国 17-41	08003316	SK0125	鉢	18.2			明褐色	明褐色	
国 17-42	14000765	SK0125	鉢	29.0*			相	相	
国 17-43	14000764	SK0125	鉢	31.4*			相	相	
国 17-44	14000763	SK0125	鉢	33.2*			相	相	

表4 田手二本黒木地区II区 祭祀土坑出土土器

博団・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
国 17-45	08003315	SK0125	鉢	25.6			淡褐色	淡褐色	
国 17-46	08003287	SK0125	高环	27.0*			明褐色	明褐色	
国 17-47	08003286	SK0125	高环		14.6*		淡褐色	暗褐色	
国 17-48	08003288	SK0125	高环		16.5*		淡褐色	淡褐色	
国 17-49	08003299	SK0125	壺		5.25		淡褐色	明黄褐色	
国 17-50	08003300	SK0125	壺		6.4		明黄褐色	明黄褐色	
国 17-51	08003257	SK0125	甕		6.7		明黄褐色	黑褐色	
国 17-52	08003259	SK0125	甕		7.0		黄褐色	暗褐色	
国 17-53	08003258	SK0125	甕		8.0		明黄褐色	淡暗褐色	
国 17-54	08003260	SK0125	甕		7.0		明褐色	淡褐色	
国 17-55	08003262	SK0125	甕		12.1*		淡褐色	淡褐色	梯形彫
国 17-56	08003261	SK0125	甕		10.5*		明褐色	明褐色	梯形彫
国 18-57	08003313	SK0125	蓋	6.0			明褐色	明褐色	
国 18-58	08003312	SK0125	蓋	6.6			淡褐色	淡褐色	
国 18-59	08003314	SK0125	蓋	6.2			明褐色	明褐色	
国 18-60	08003311	SK0125	蓋	6.8	28.6	10.7	明褐色	明褐色	
国 18-61	08003310	SK0125	蓋	6.0	27.8	12.9	淡褐色	淡褐色	
国 18-62	08003306	SK0125	器台	9.0	10.3	12.8	明褐色	明褐色	
国 18-63	08003308	SK0125	器台	9.0	10.7	13.2	明褐色	明褐色	
国 18-64	14000772	SK0125	器台		9.9	13.7*	黄橙	相	
国 18-65	14000769	SK0125	器台		8.9		相	相	
国 18-66	14000770	SK0125	器台	9.5*			相	にぶい相	
国 18-67	14000771	SK0125	器台	9.0		13.7	相	相	
国 18-68	08003309	SK0125	器台	8.5	10.8	13.9	明褐色	明褐色	
国 18-69	08003305	SK0125	器台	8.3	9.3	14.5	明褐色	明褐色	
国 18-70	08003307	SK0125	器台	8.5	10.6	14.8	明褐色	明褐色	
国 18-71	08003317	SK0125	支脚		6.6		淡褐色	淡褐色	

第1章第2節1 引用・参考文献

石田智子 2008「佐賀平野東部地域における弥生時代中期の土器様相」「吉野ヶ里遺跡」佐賀県文化財調査報告書第177集 佐賀県教育委員会

石田智子 2009「北部九州弥生時代中期の土器祭祀－九州大学筑紫地区8B区SK101土坑の位置付け－」「奴国の大丸・大丸筑紫地区的埋蔵文化財－」九州大学総合研究博物館

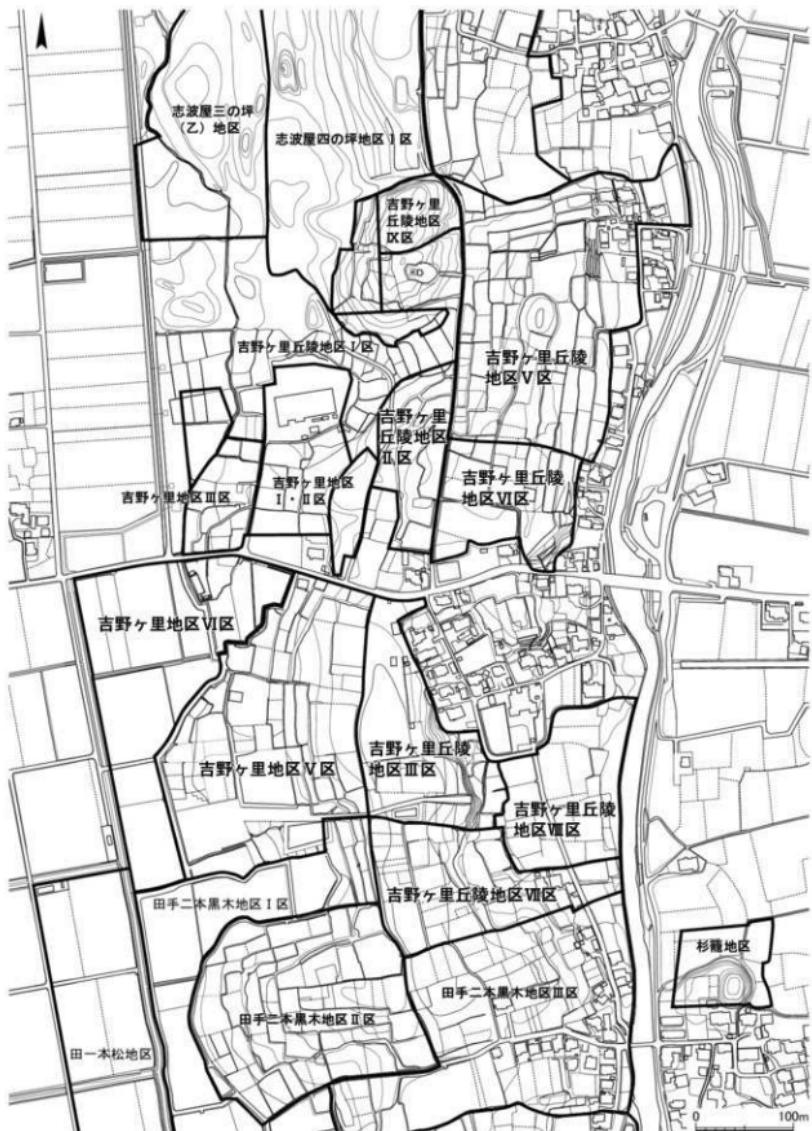


図19 吉野ヶ里町中央部 調査区の位置 (1/5,000)

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区

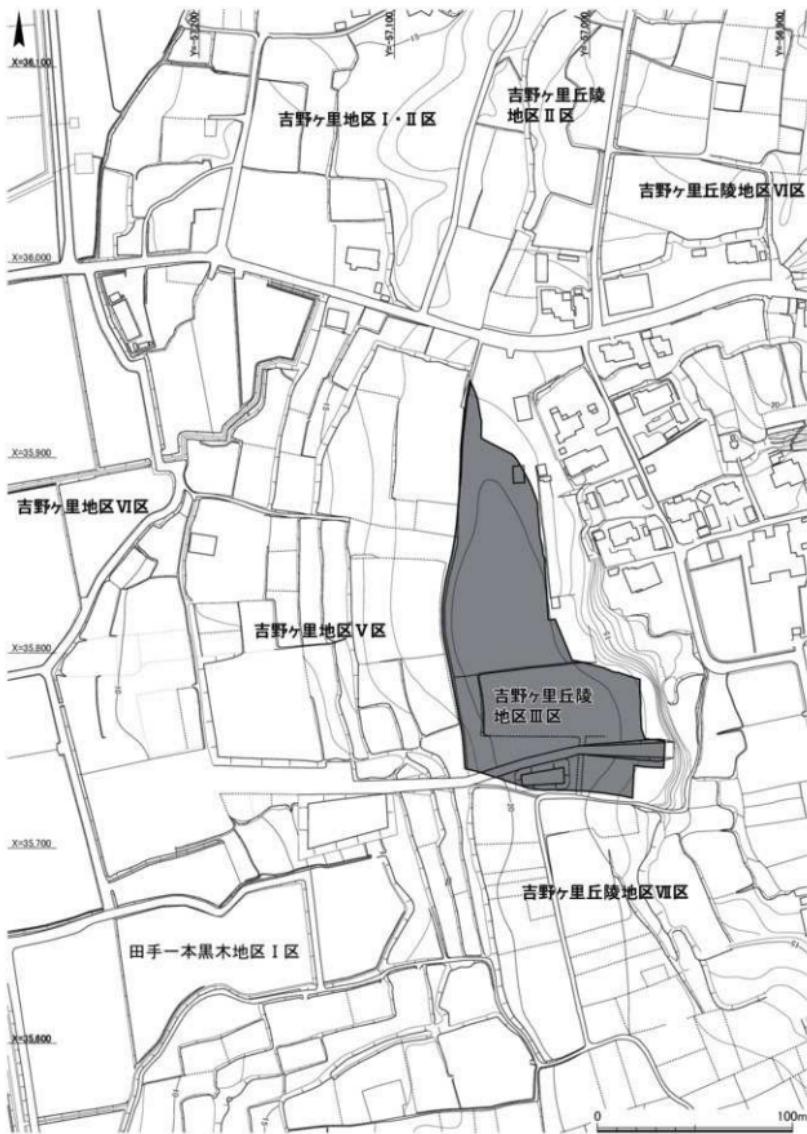


図 20 吉野ヶ里丘陵地区 III 区 調査区の位置 (1/2,500)

第3節 遺跡中央部の遺構と遺物

1. 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区

(1) 概要

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区は、吉野ヶ里町大字田手字三本杉に所在し、志波屋・吉野ヶ里段丘上に立地している。本区域の西側には吉野ヶ里地区Ⅵ区が隣接し、北側には県道吉田・鶴線を挟んで吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区、吉野ヶ里地区Ⅰ～Ⅳ区が位置する。南側は吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区、東側は吉野ヶ里丘陵地区Ⅷ区が隣接している。

本区域では、工業団地造成に伴う発掘調査の他に、筑後川下流用水事業に伴う調査（佐賀県教委 1994）、補助事業による確認調査（『132集』）、国営吉野ヶ里歴史公園整備に伴う調査（『173集』）が行われている。

調査の結果、弥生時代の集落と墓地、古墳時代前期の墳墓、古墳時代後期の集落、中世の溝跡や道路状遺構などが確認された。なかでも、弥生時代後期の大規模な環壕内に更に環壕を設けた集落構造（南内郭・構えの壕）や、古墳時代初頭に造営された前方後方墳、周溝跡の存在が特筆される。なお、弥生時代の集落に関しては『207集』で報告している。

(2) 遺構

弥生時代の墳墓に関する遺構として、喪棺墓 199 基、土坑墓・木棺墓 15 基、祭祀土坑 18 基を報告する。分布状況をみると、喪棺墓は、調査区中央の丘陵頂部を南北約 150 m の長さにわたって列状に分布している。土坑墓・木棺墓は喪棺墓列の北側及び南側に分布している。祭祀土坑は、喪棺墓列の西側に付随するように、南北方向に列をなして分布している。なお、本区域は喪棺墓以外の遺構が多く確認されていることなどから、後世の削平によって遺構上面が大きく破壊されており、全体的に遺構の残存状況は悪い。

墳墓の時期についてみてみると、喪棺墓の所属時期は前期末～後期前半で、特に中期前半～後半を主体とする。土坑墓・木棺墓については、所属時期が明確ではないものが多いが、遺構の切り合い関係から喪棺墓群とほぼ同時期とみられる。

墳墓に伴う遺物は、計 5 基（喪棺墓 4 基、土坑墓 1 基）から出土している。なかでも、SJ0665 喪棺墓は棺内から鐵鍼 1 点、打製石鍼 1 点が出土している。また、SJ0937 喪棺墓の棺内からは細形銅劍鋌型が出土しているが、墓坑を切り込む弥生時代終末期の SDO601 塙跡からの混入とみられる。

A 喪棺墓

出土した喪棺墓 199 基の内訳は、中～大型棺 131 基、小型棺 31 基、喪棺抜き跡 9 基、不明 28 基である。棺の構造は、合口（接口）式 118 基、覆口式 7 基、石蓋 1 基、木蓋（可能性があるものを含む）2 基、不明 71 基である。上下棺の器種の組み合わせは、石蓋・木蓋を除く 196 基のうち、喪+喪が 107 基、鉢+喪が 27 基、不明 62 基である。棺体の埋置角度は、計測可能な 115 基のうち、10°以下が 54 基、10°以上が 61 基である。なお、人骨は小片を含め 13 基から出土している。以下、特徴的な遺構について述べる。

SJ0665 は墓列北部に位置する。平面隅丸長方形の一次墓坑の短辺に横掘りによる二次墓坑が設けられて



図21 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布 (1/1,000)

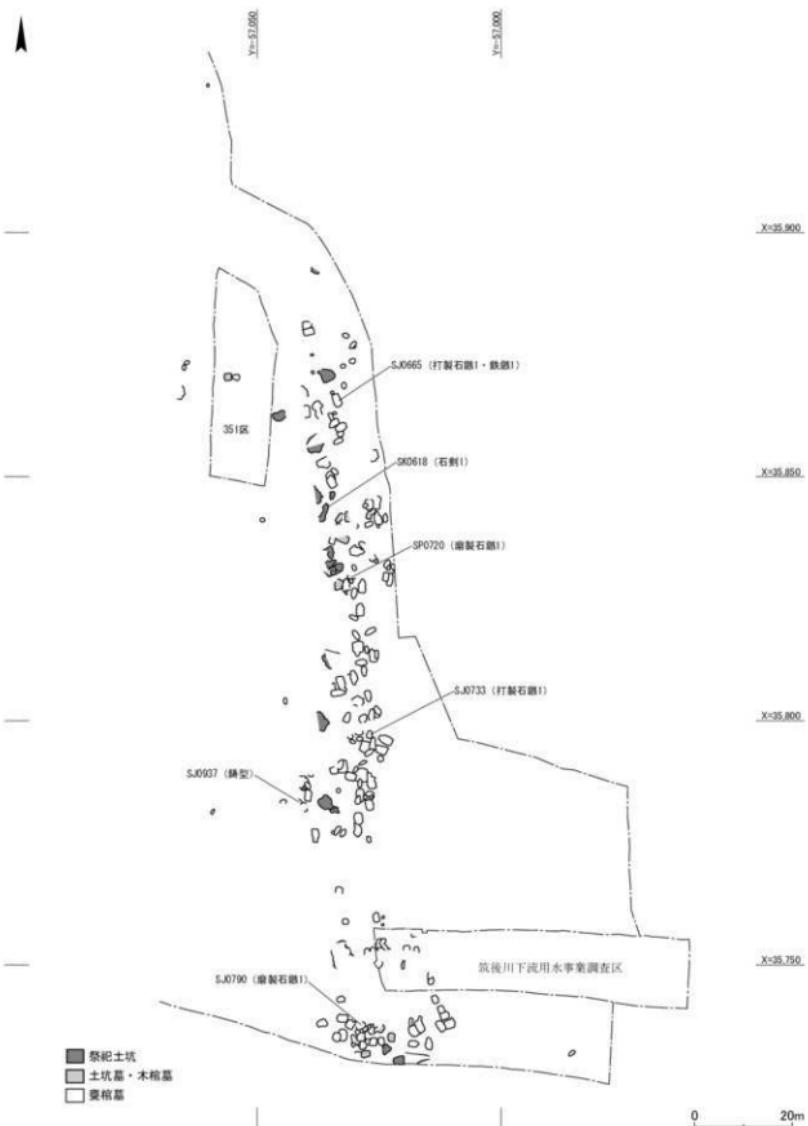


図22 吉野ヶ里丘陵地区III区 弥生時代墓地遺構の分布 (1/1,000)

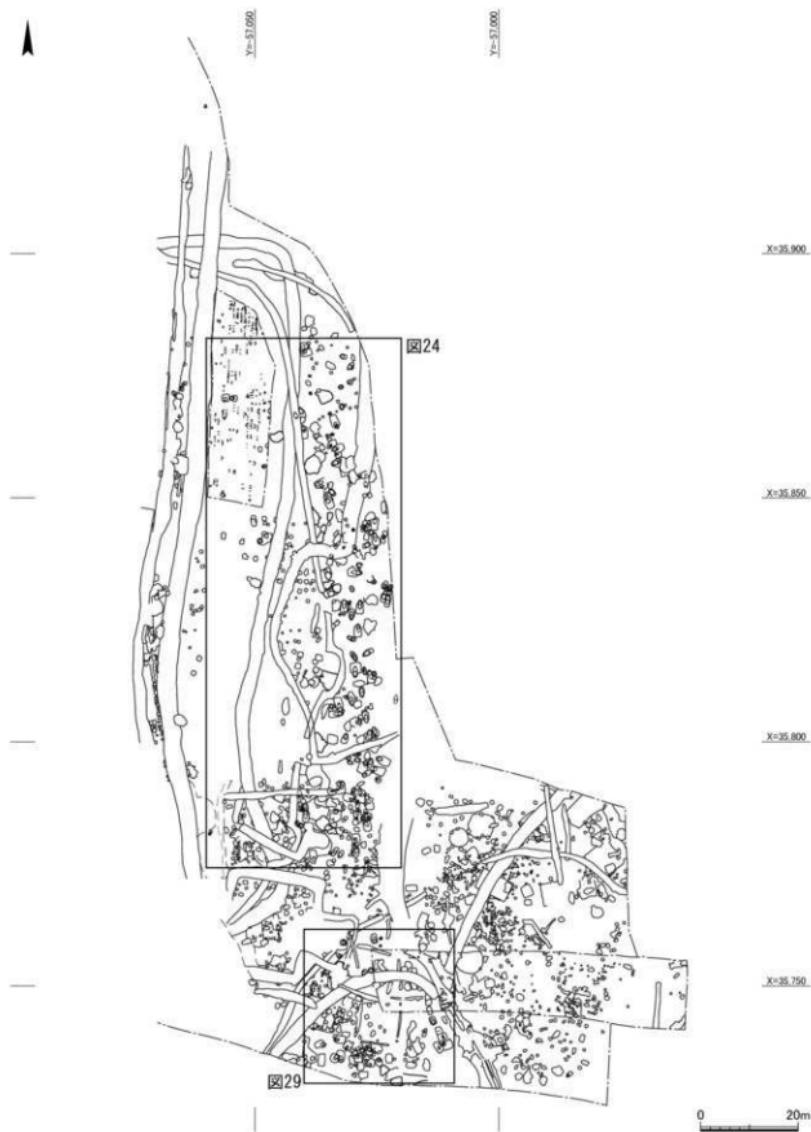


図 23 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細図の位置 1 (1/1,000)

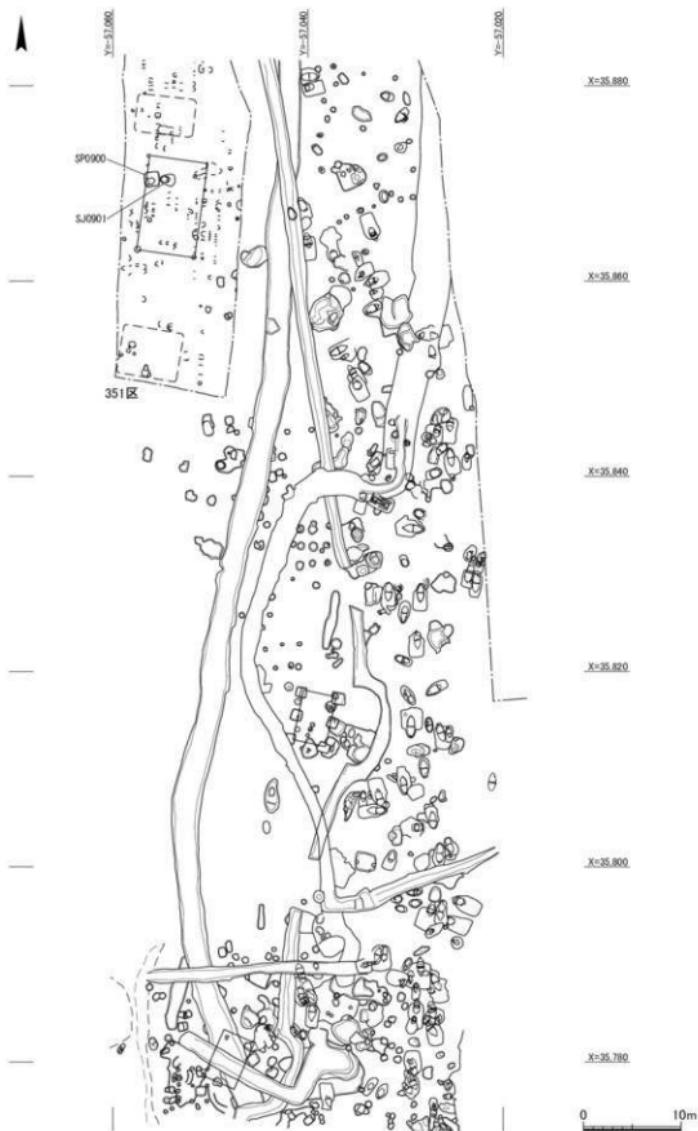


図24 吉野ヶ里丘陵地区III区 遺構の分布詳細1 (1/500)

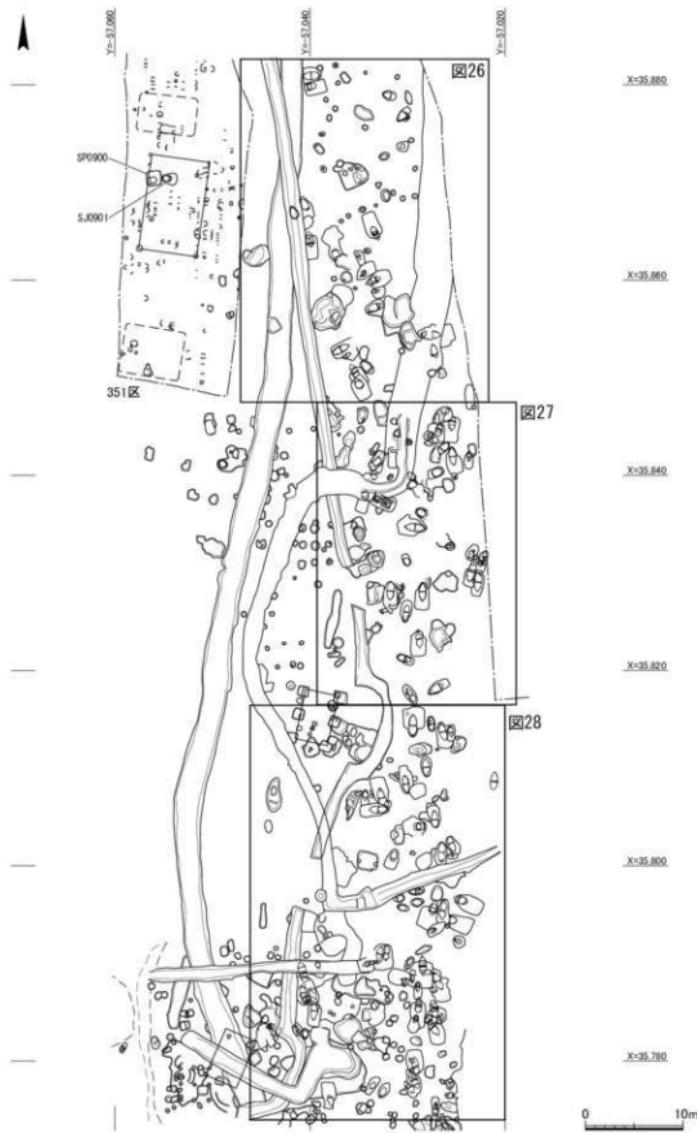


図25 吉野ヶ里丘陵地区III区 造構の分布詳細図の位置 2 (1/500)

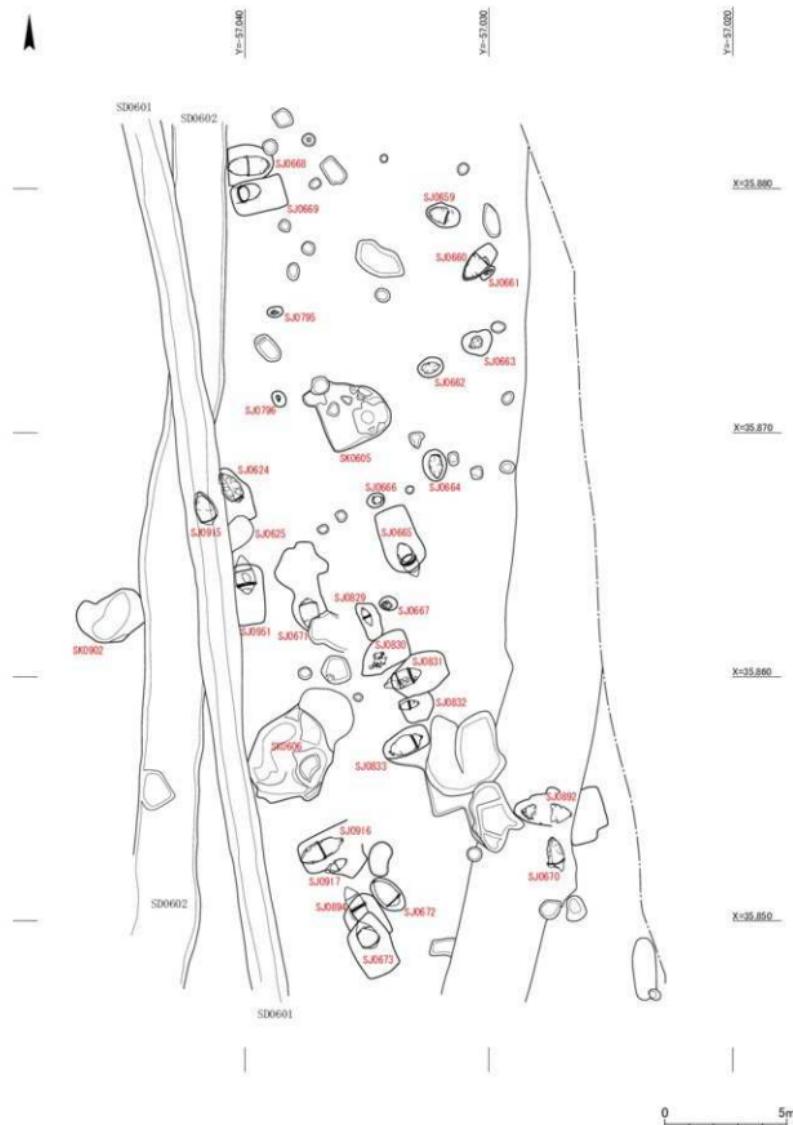


図26 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細2 (1/200)

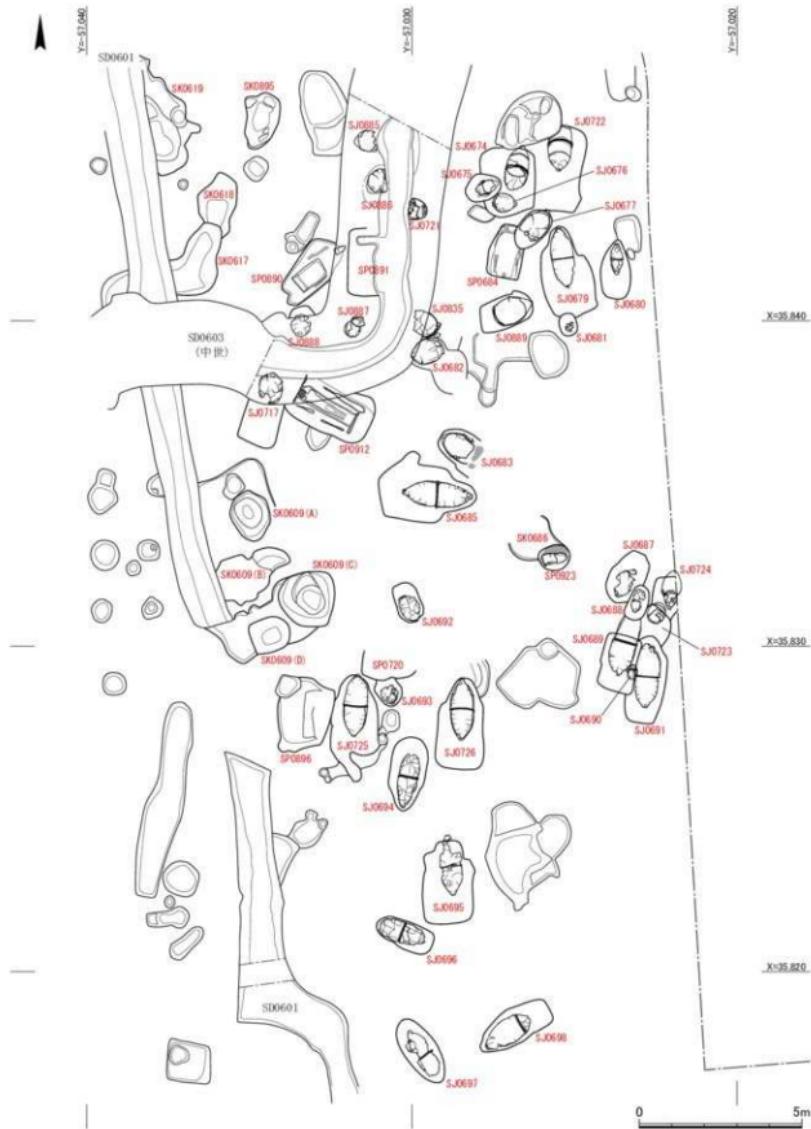


図 27 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細 3 (1/150)

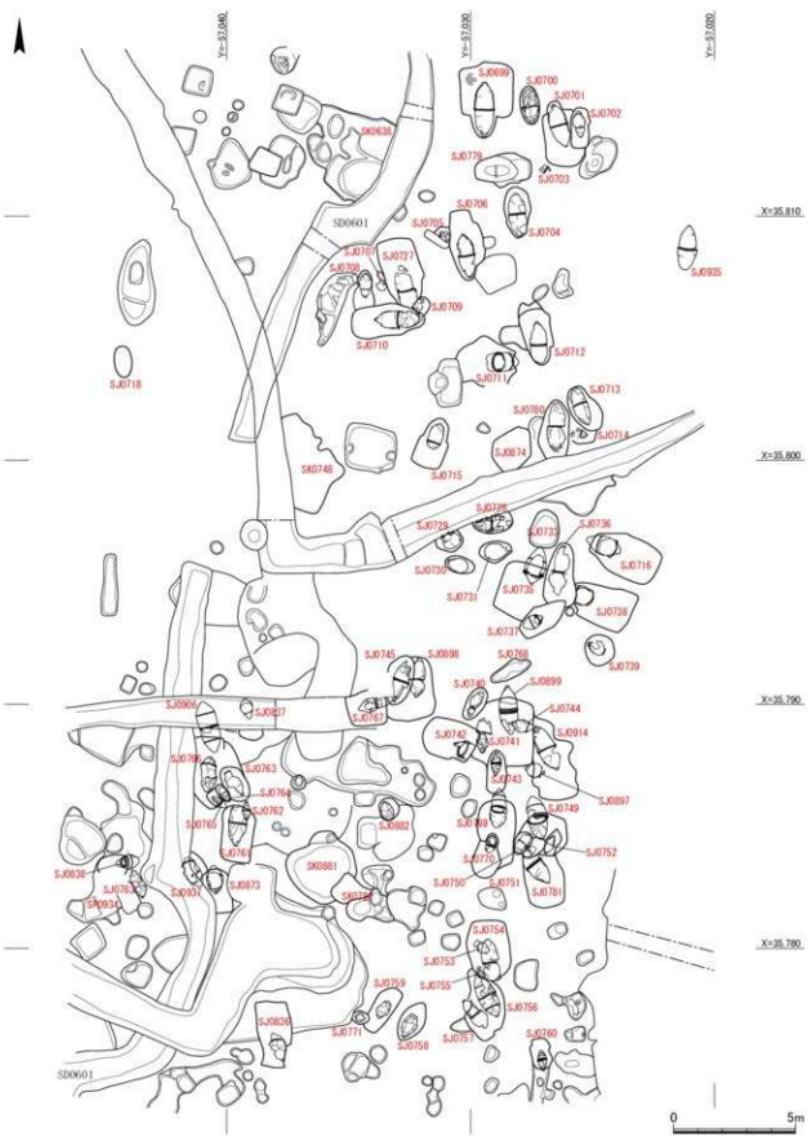


図 28 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細 4 (1/200)

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区

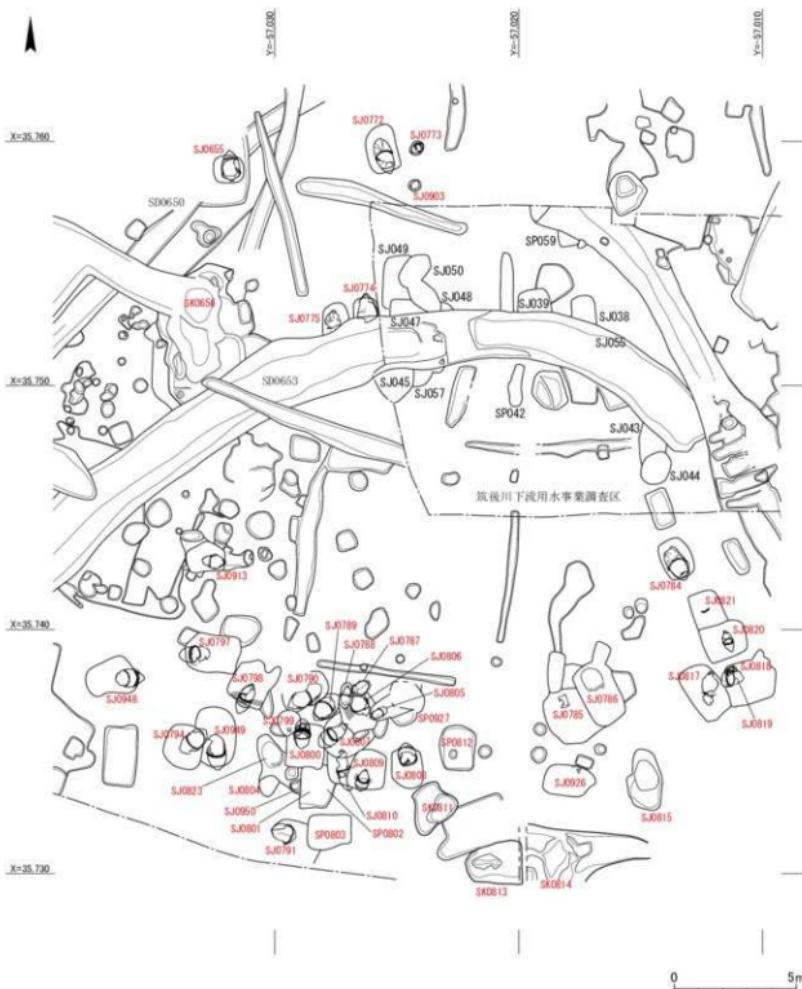


図29 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 遺構の分布詳細5 (1/200)

いる。構造は大型の甕と甕の合口で、埋置角度は 36° である。図示していないが、壯年男性の人骨とともに打製石鎚1点、鉄器1点が出土している。SJ0699は墓列中央部に位置し、主軸は南北方向である。削平により遺構上半部を欠損している。構造は大型の甕と甕の合口で、埋置角度は水平に近い。一次墓坑の北西側部から粘土が出土している。

SJ0722は墓列中央やや北に位置する。構造はほぼ同形同大の大型甕による合口で、埋置角度は 33° である。棺内から人骨片が出土しているが、年齢や性別は不明である。新旧関係はSJ0677より古い。SJ0733は墓列の南部に位置する土坑で、甕棺の抜き跡とみられる。内部から打製石鎚が1点出土している。SJ0779は墓列中央南に位置する。平面隅丸長方形の土坑内に楕円形土坑が掘り込まれ、その中央から帶状の粘土帯が出土している。甕棺墓の抜き跡と考えられる。SJ0786は墓列南端部に位置する。平面隅丸長方形の土坑内に横掘り状の土坑が掘り込まれ、段部分に粘土帯が帶状に残存する。甕棺墓の抜き跡と考えられる。SJ0794は本区域南端の墓群中に位置する。削平により遺構上半部を欠損している。構造は大型の甕と甕の覆口で、埋置角度は 35° である。下甕から男性人骨が出土している。新旧関係はSJ0949より新しい。

SJ0831は墓列北部に位置し、主軸は墓列に直交する東西方向である。構造は大型の鉢と甕の合口で、埋置角度は 5° である。出土した人骨は壯年女性で、頭位は下腹側である。新旧関係はSJ0830・SJ0832より古い。SJ0894は墓列の北側に位置する。構造はほぼ同形同大の大型甕による合口で、埋置角度は下甕がやや高い。目張り粘土が帶状に残存し、一部は上甕側縁に及んでいる。上甕底部に穿孔が施されている。新旧関係はSJ0673より古い。図示していないが、性別不明の壮年人骨が出土している。

SJ0937は墓列南端付近に位置する。墓坑は終末期のSD0601塙跡によって大きく削平されており、二次墓坑の一部が残存する。構造は大型の鉢と甕の合口で、埋置角度は 12° である。下甕棺内から銅劍鑄型が出土地してあるが、SD0601塙跡からの流れ込みと考えられる。

B 土坑墓・木棺墓

本区域で確認した土坑墓・木棺墓17基のうち、弥生時代に属すると考えられる15基を報告する。

SP0684は墓列の中央やや北に位置し、主軸は南北方向である。平面長方形の一次墓坑内に長方形の二次墓坑が設けられ、周囲を囲むように粘土が残存する。木棺墓とみられる。新旧関係はSJ0678より新しく、SJ0677より古い。SP0802は本区域南端の墓群中に位置し、主軸は南北方向である。平面方形の一次墓呼応内に長方形の二次墓坑が設けられ、粘土が一部残存する。長辺と短辺に浅い掘り込みを持つことから、箱式の木棺墓とみられる。SP0812は本区域南端の墓群中に位置し、主軸は南北方向である。隅丸方形の墓坑内に小穴が掘り込まれている。SP0890は墓列中央北側に位置し、主軸は北東-南西方向である。平面不整楕円形の一次墓坑内に長方形の二次墓坑が設けられている。3箇所に帶状の粘土が残存するほか、一次墓坑角部から板石が出土している。木棺墓または石蓋土坑墓の可能性がある。SP0900は本区域北西の351調査区内に位置し、墓列からは離れている。平面方形の一次墓坑内部に二次墓坑が掘り込まれ、甕と粘土が残る。土器蓋の土坑墓とみられる。

SP0912は墓列の中央やや北に位置する。平面隅丸長方形の一次墓坑内部に長方形の二次墓坑が設けられる。短辺と側縁に浅い溝状の掘り込みを伴うことから、木棺墓とみられる。二次墓坑の西側端部において赤色顔料が径約20cmの範囲に分布しており、頭位とみられる。SP0923は墓列中央部に位置する。2枚の板石と粘土が斜めに被せられている。中期後半のSK0686祭祀土坑と重複し、新旧関係はこれより新しい。

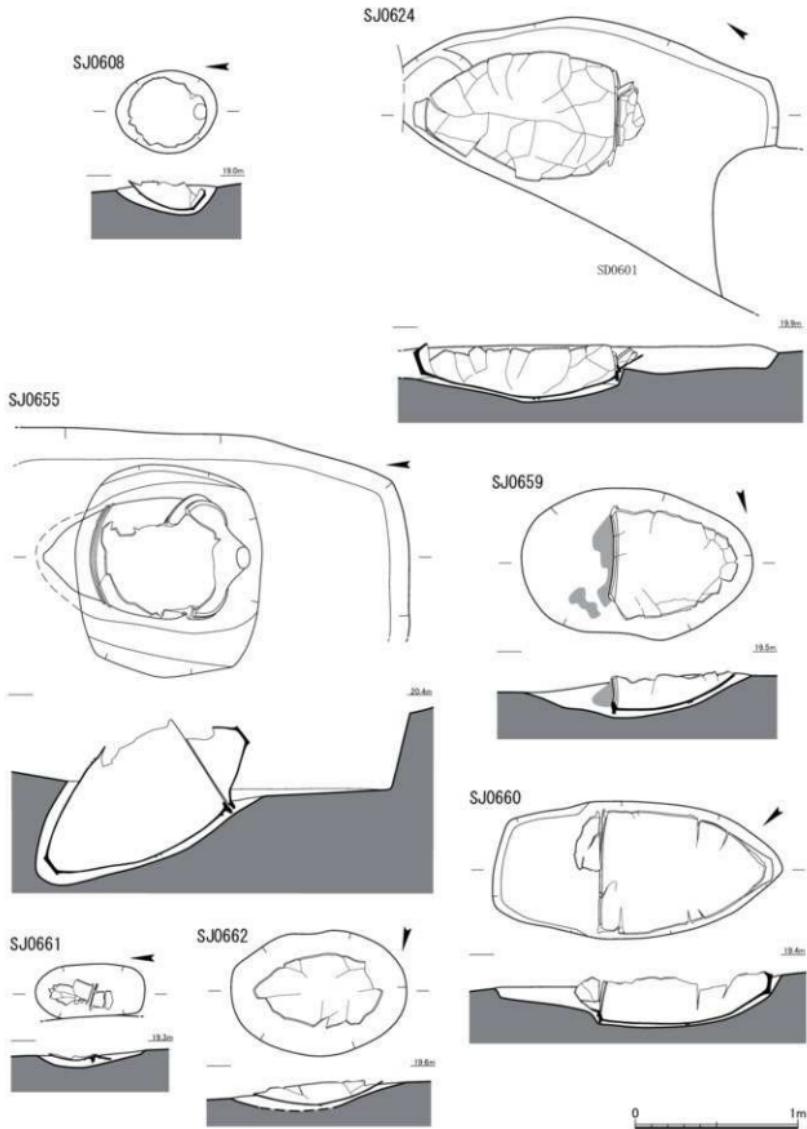


図 30 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 繋棺墓 1 (1/30)

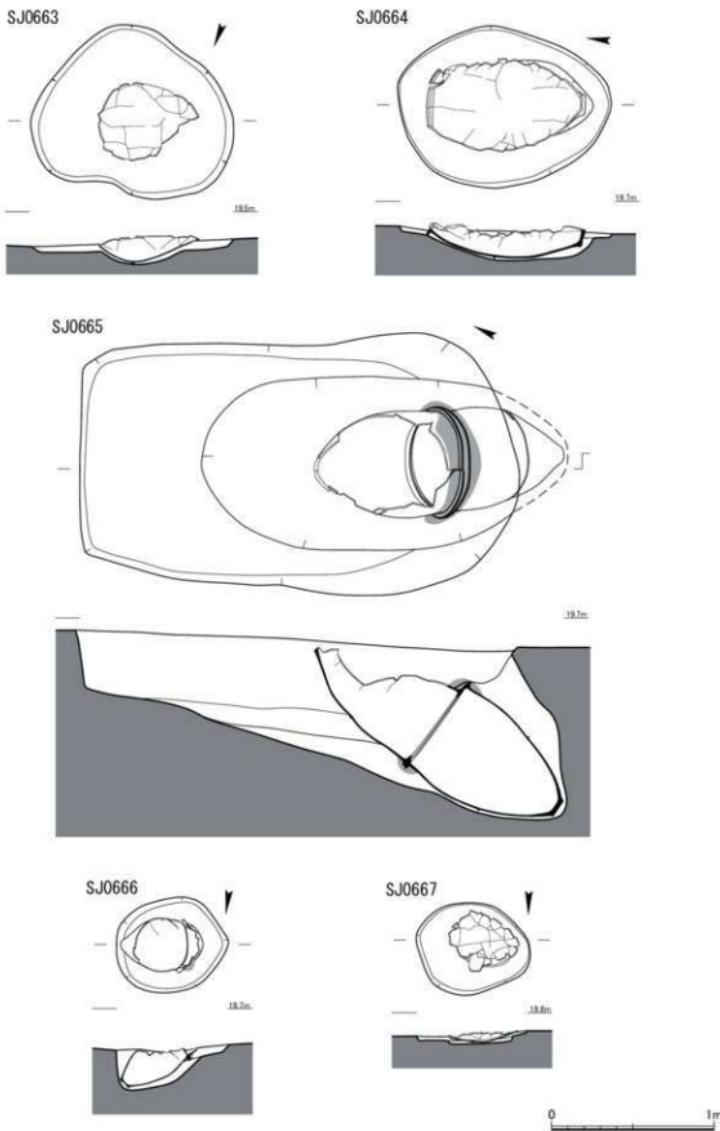
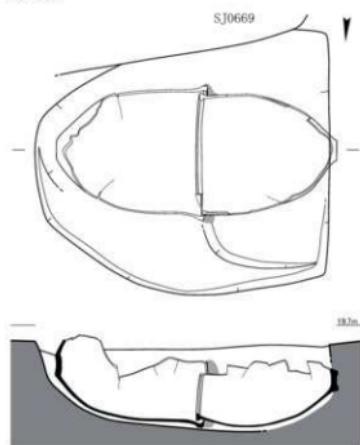
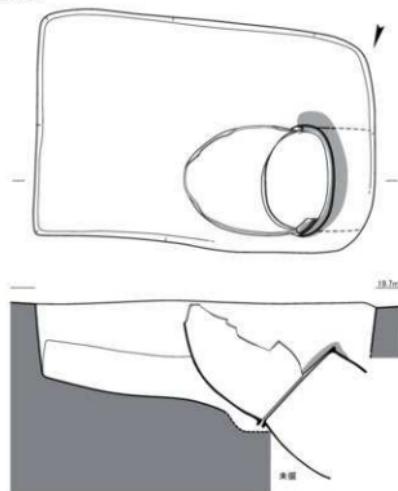


図 31 吉野ヶ里丘陵地区III区 織棺墓2 (1/30)

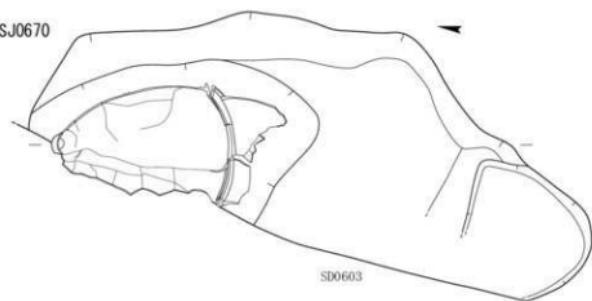
SJ0668



SJ0669



SJ0670



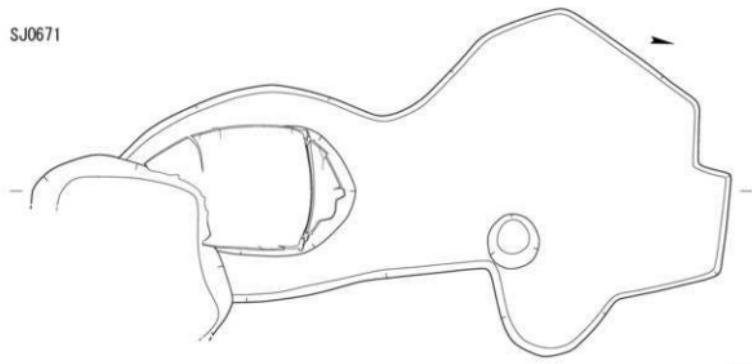
1m



0 1m

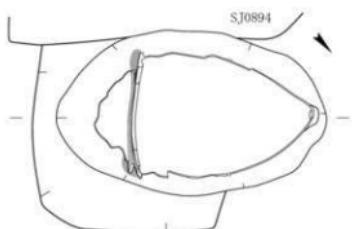
図 32 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 繁栄墓 3 (1/30)

SJ0671



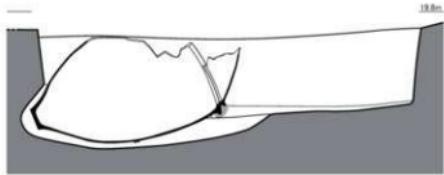
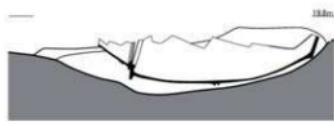
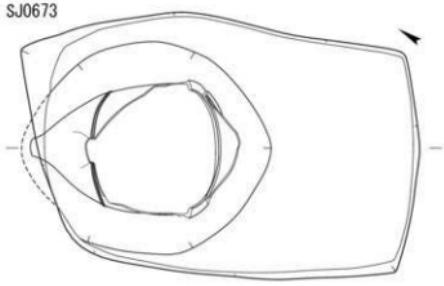
20.0m

SJ0672



SJ0894

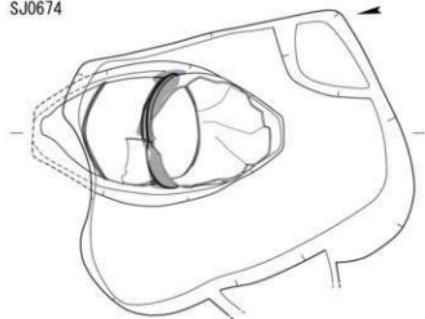
SJ0673



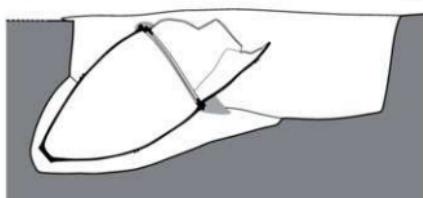
0 1m

図 33 吉野ヶ里丘陵地区III区 織棺墓4 (1/30)

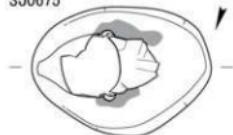
SJ0674



13.6m



SJ0675



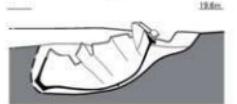
13.6m



SJ0676



SJ0675



SJ0677



SP0684



0

1m

図 34 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 墓室5 (1/30)

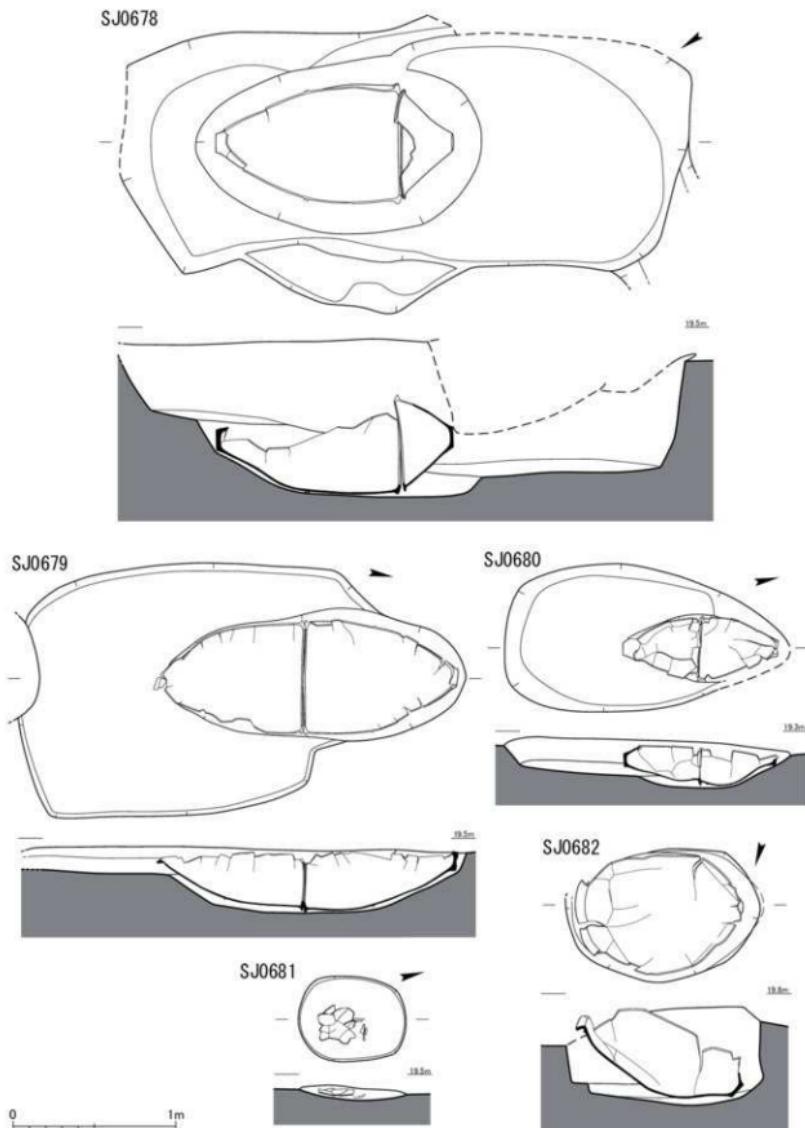


図35 吉野ヶ里丘陵地区III区 繁栄墓6 (1/30)

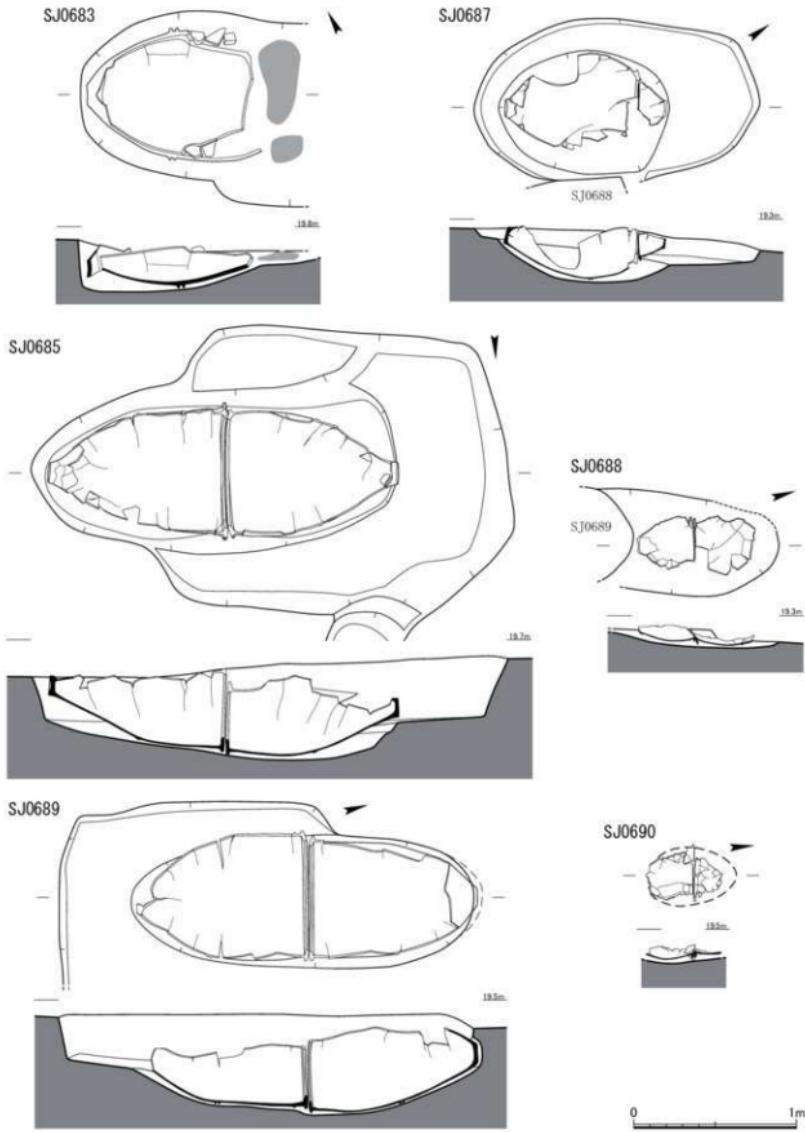


図 36 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 墓棺墓7 (1/30)

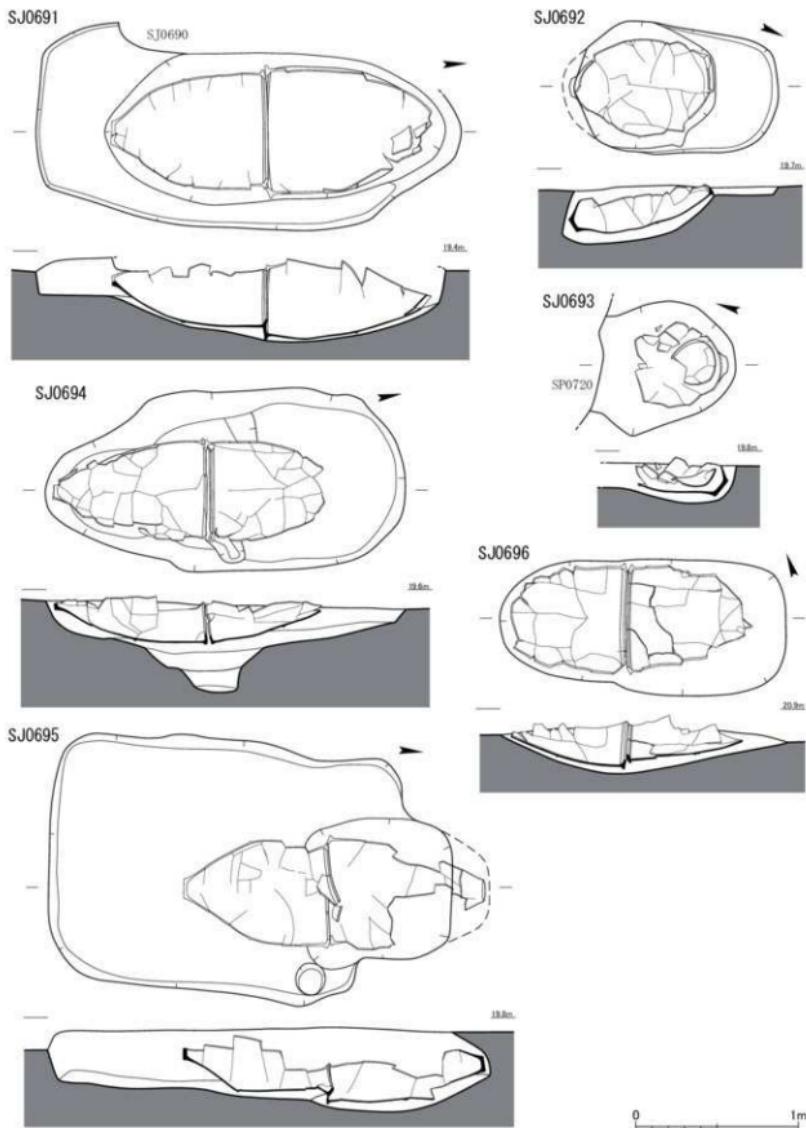
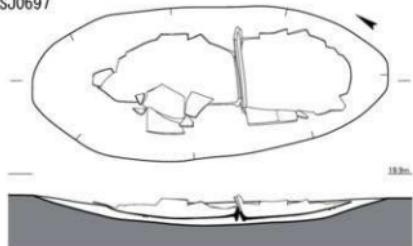
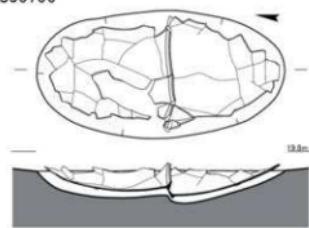


図37 吉野ヶ里丘陵地区III区 繁栄墓8 (1/30)

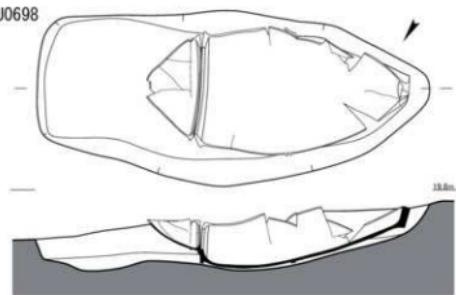
SJ0697



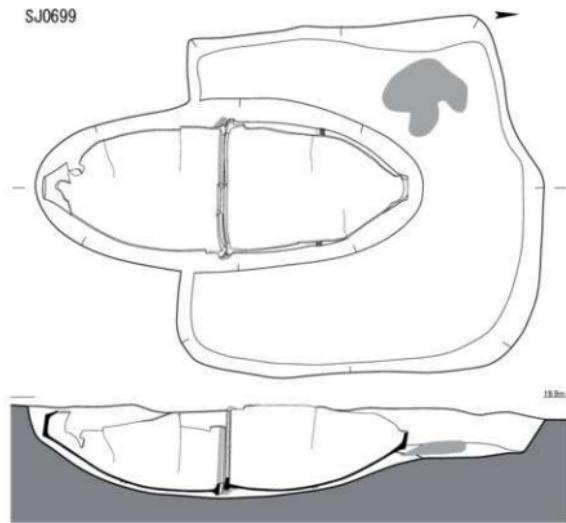
SJ0700



SJ0698



SJ0699



0 1m

図 38 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 織棺墓9 (1/30)

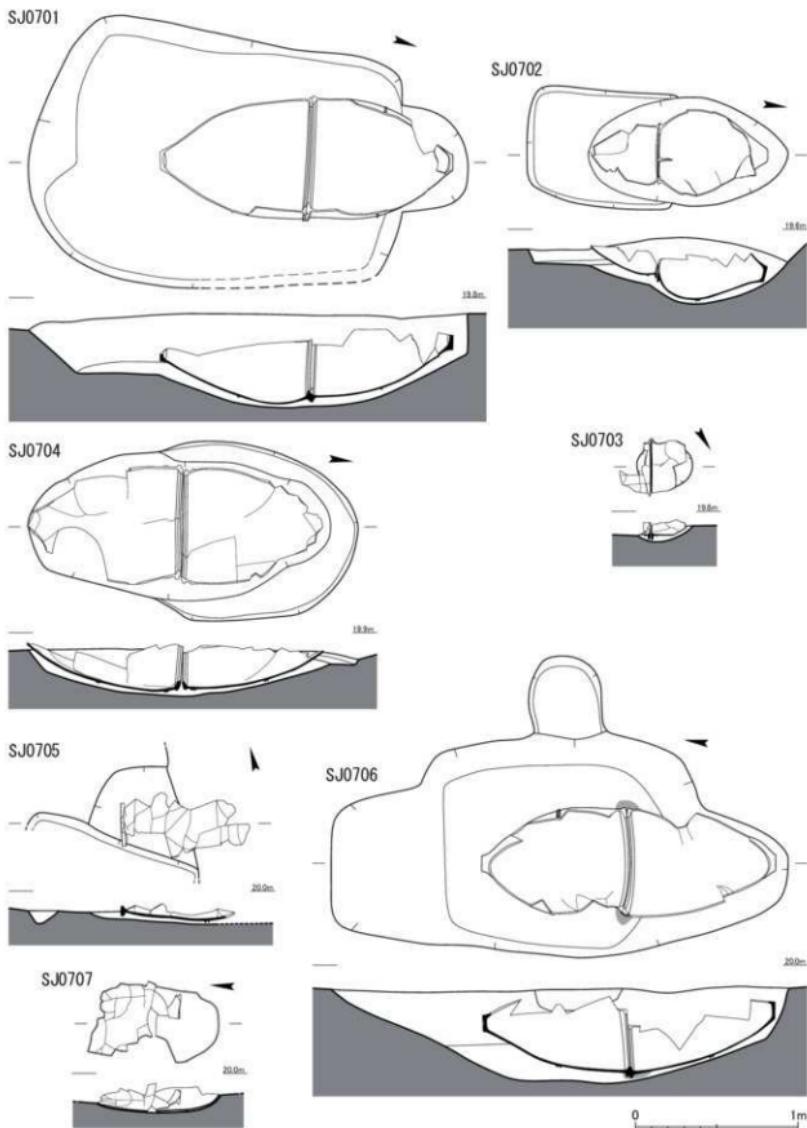


図39 吉野ヶ里丘陵地区III区 窯棺墓10 (1/30)

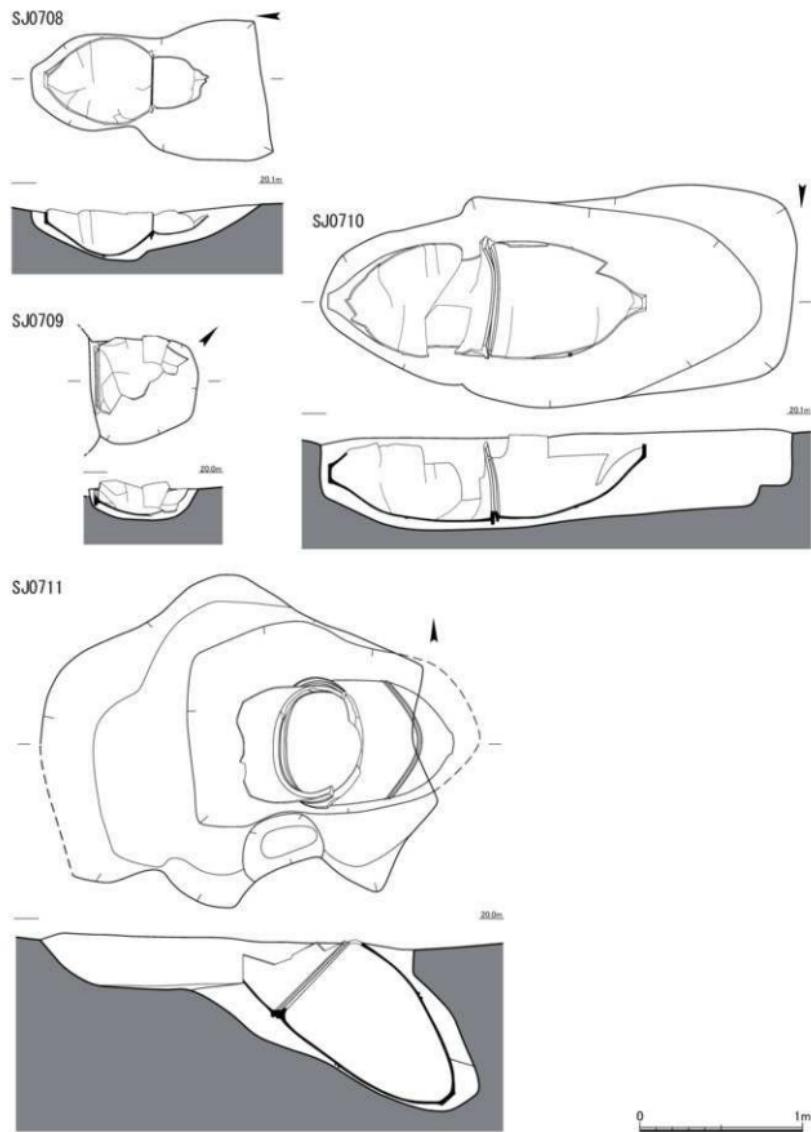


図40 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 11 (1/30)

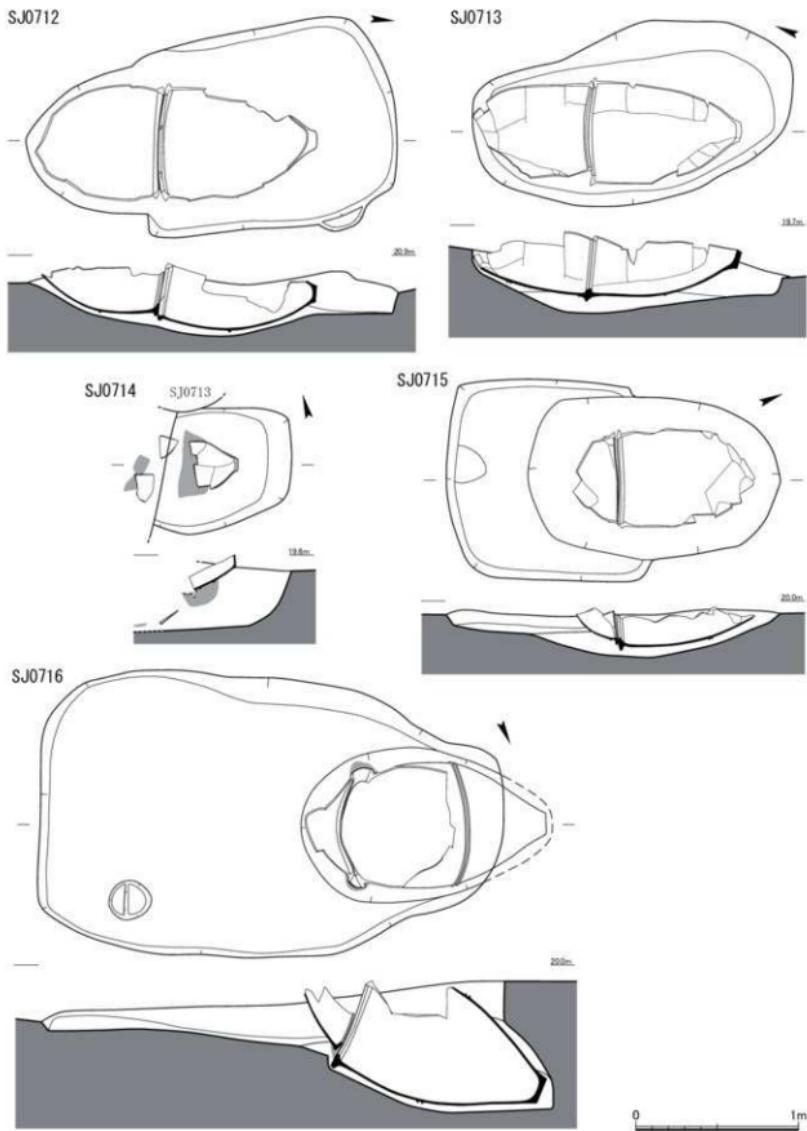
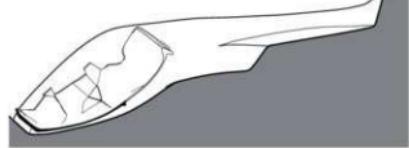
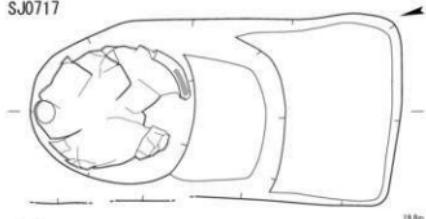
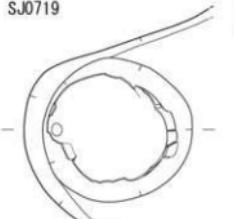


図41 吉野ヶ里丘陵地区III区 石棺墓 12 (1/30)

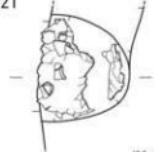
SJ0717



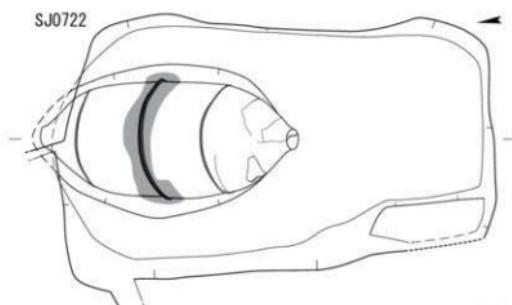
SJ0719



SJ0721



SJ0722



SJ0723

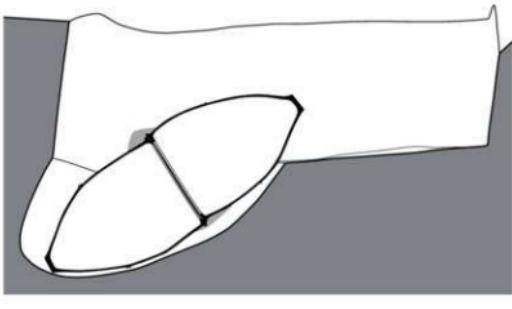
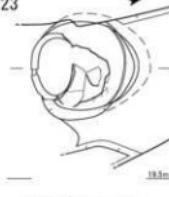
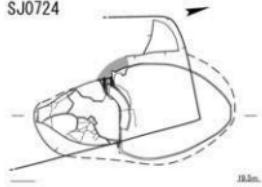


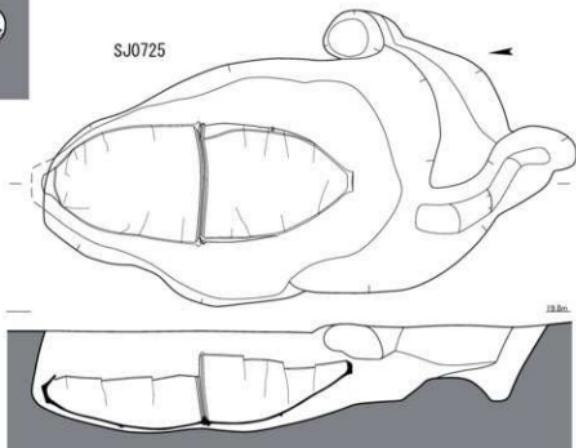
図42 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓13 (1/30)

SJ0724



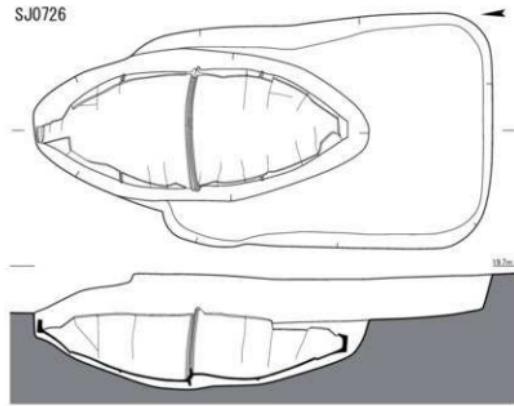
13.5cm.

SJ0725



13.5cm.

SJ0726



13.5cm.

0 1m

図43 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓14 (1/30)

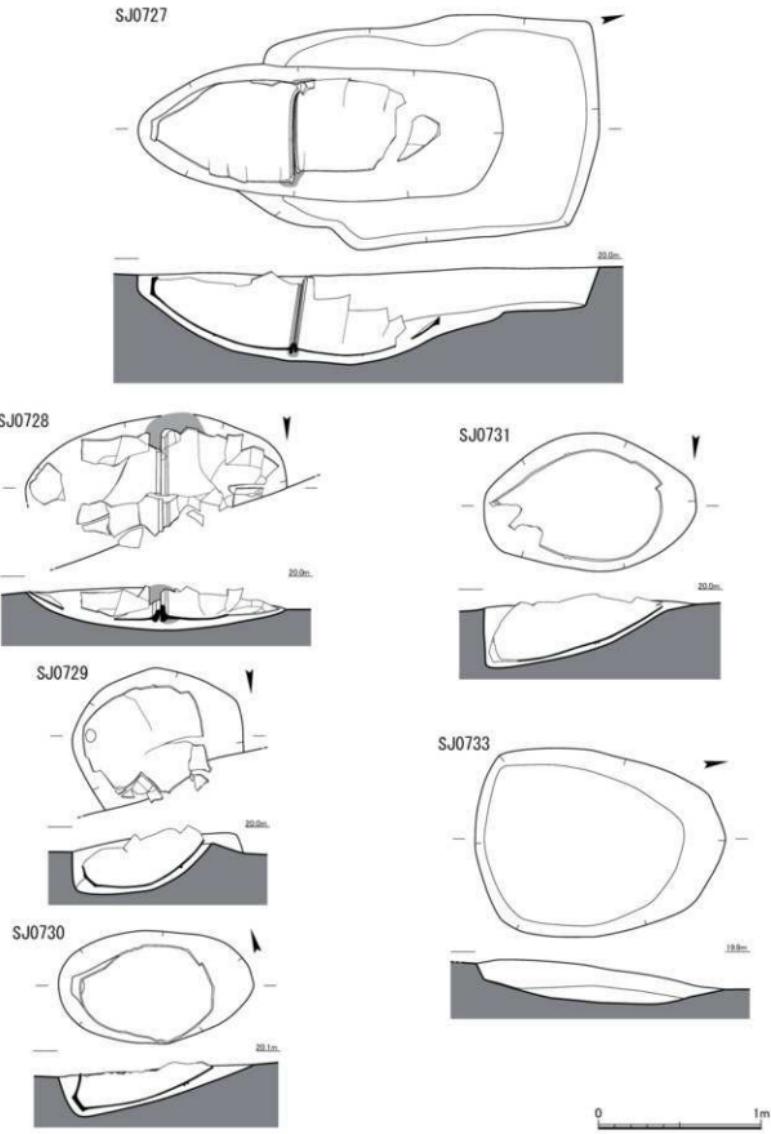


図44 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓15 (1/30)

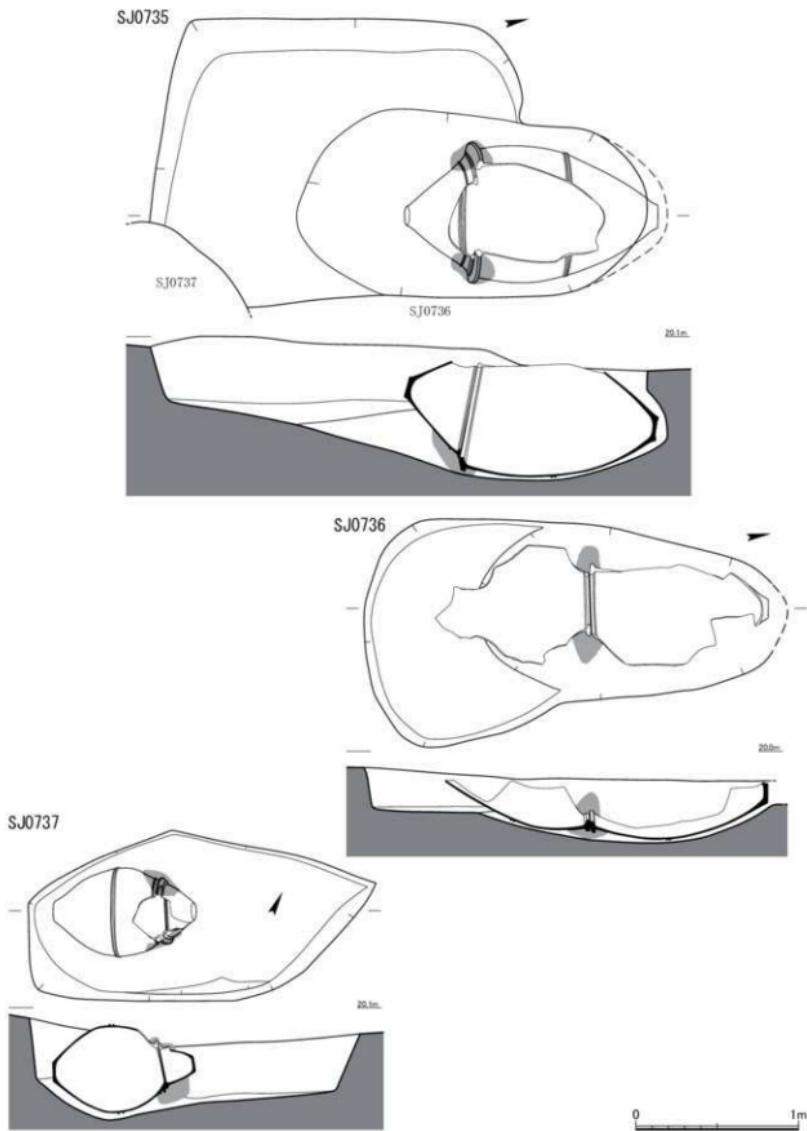
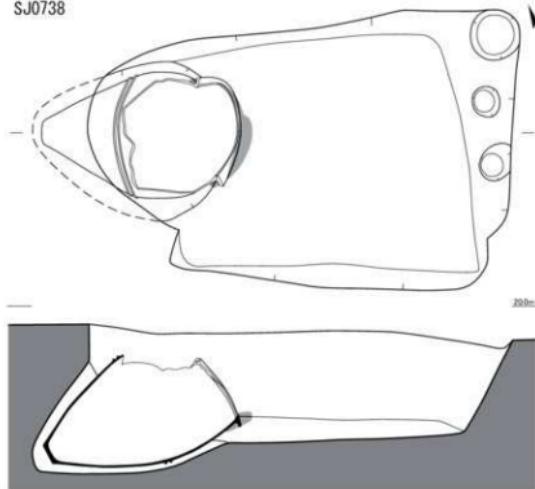
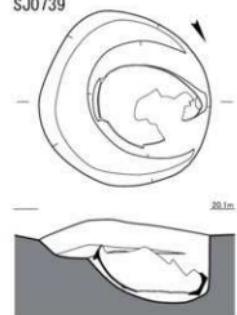


図45 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 16 (1/30)

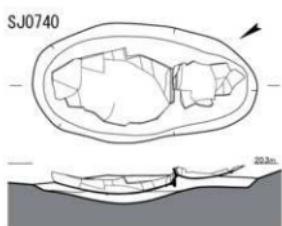
SJ0738



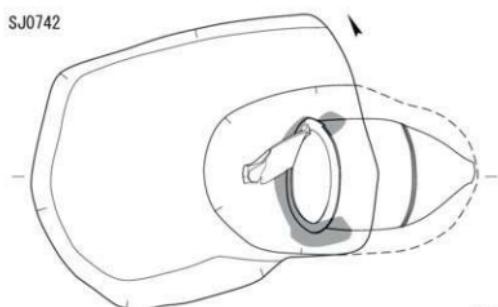
SJ0739



SJ0740



SJ0742



SJ0741

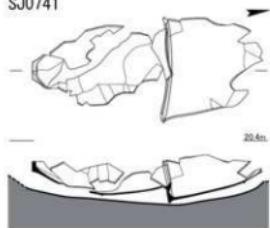


図 46 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 17 (1/30)

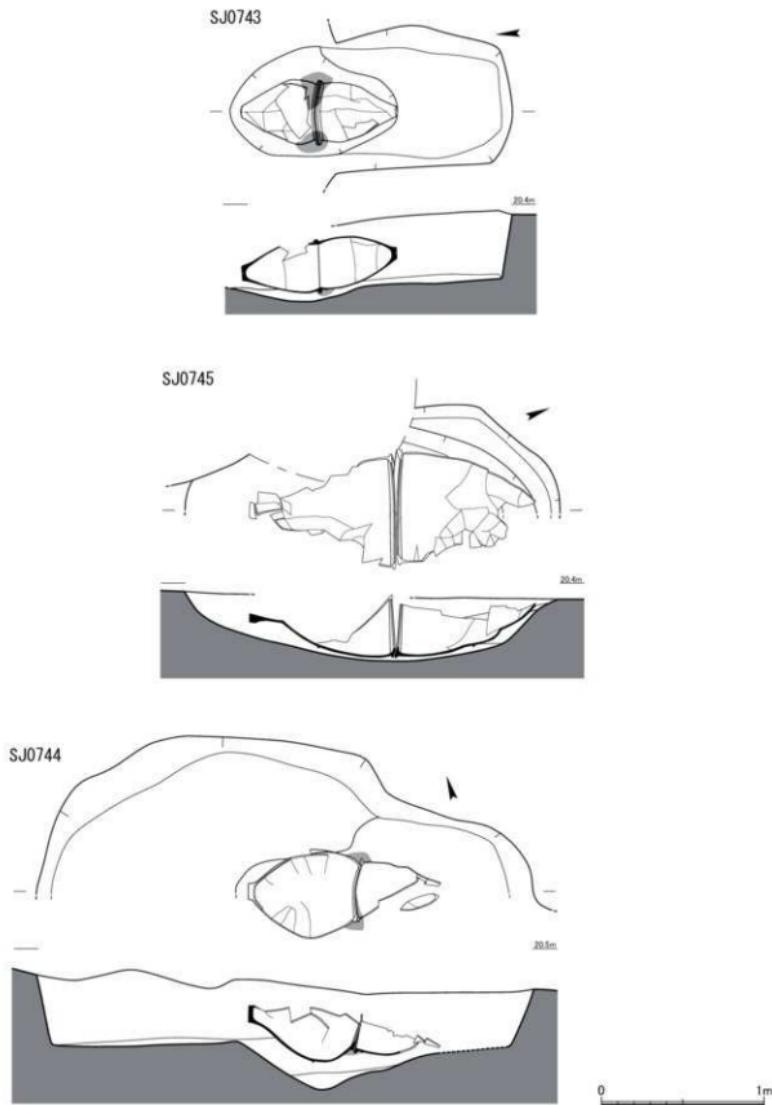
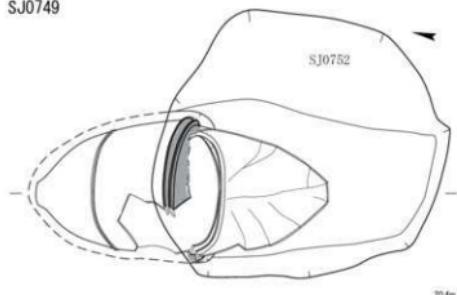
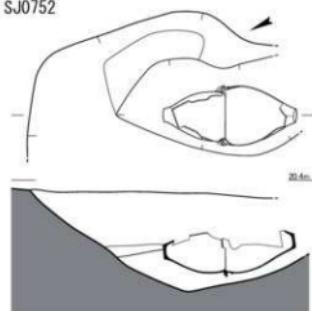


図47 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 18 (1/30)

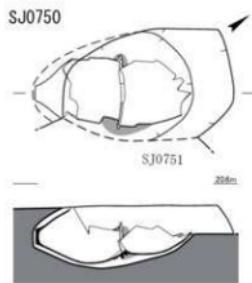
SJ0749



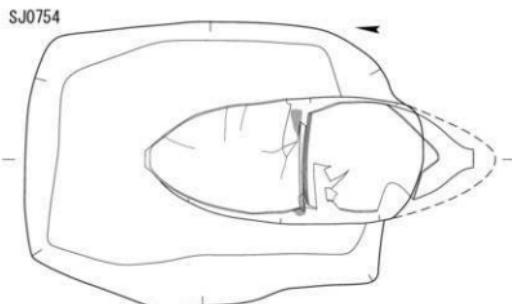
SJ0752



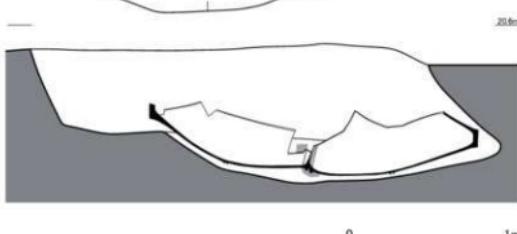
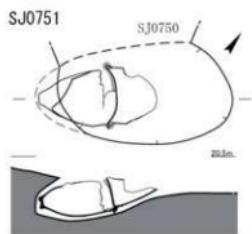
SJ0750



SJ0754



SJ0751



0 1m

図48 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 19 (1/30)

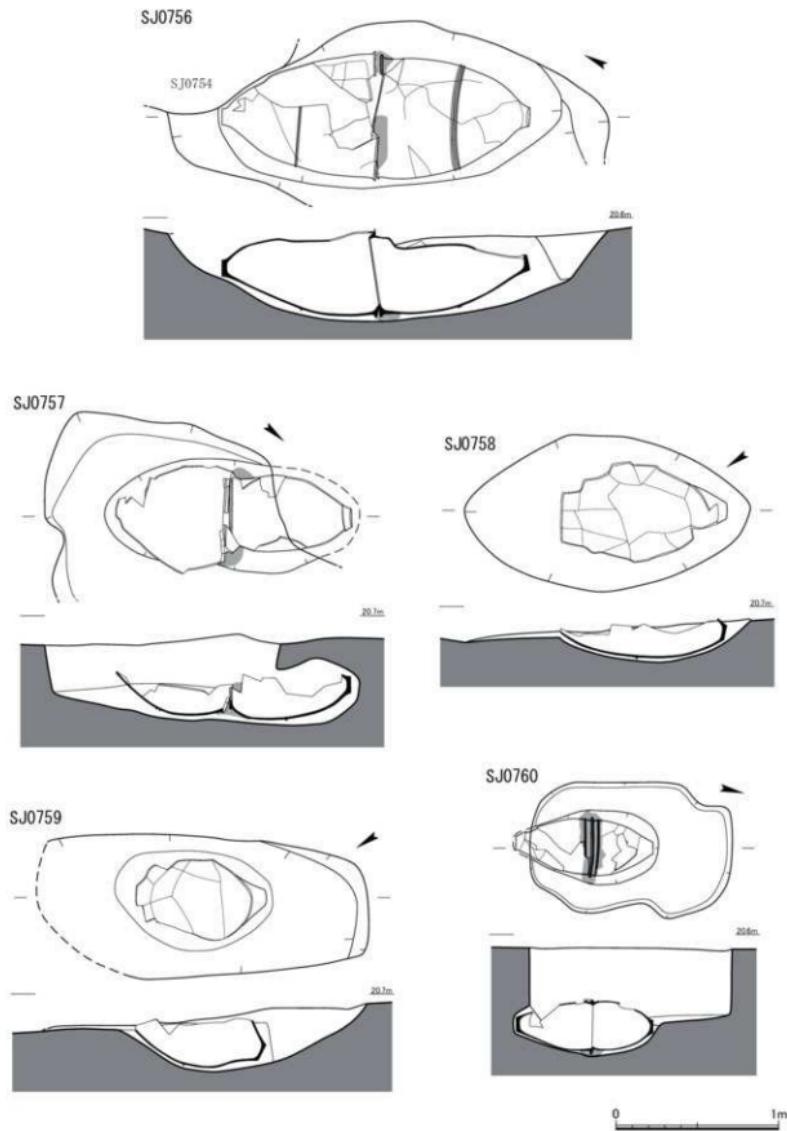


図49 吉野ヶ里丘陵地区III区 窯棺墓20 (1/30)

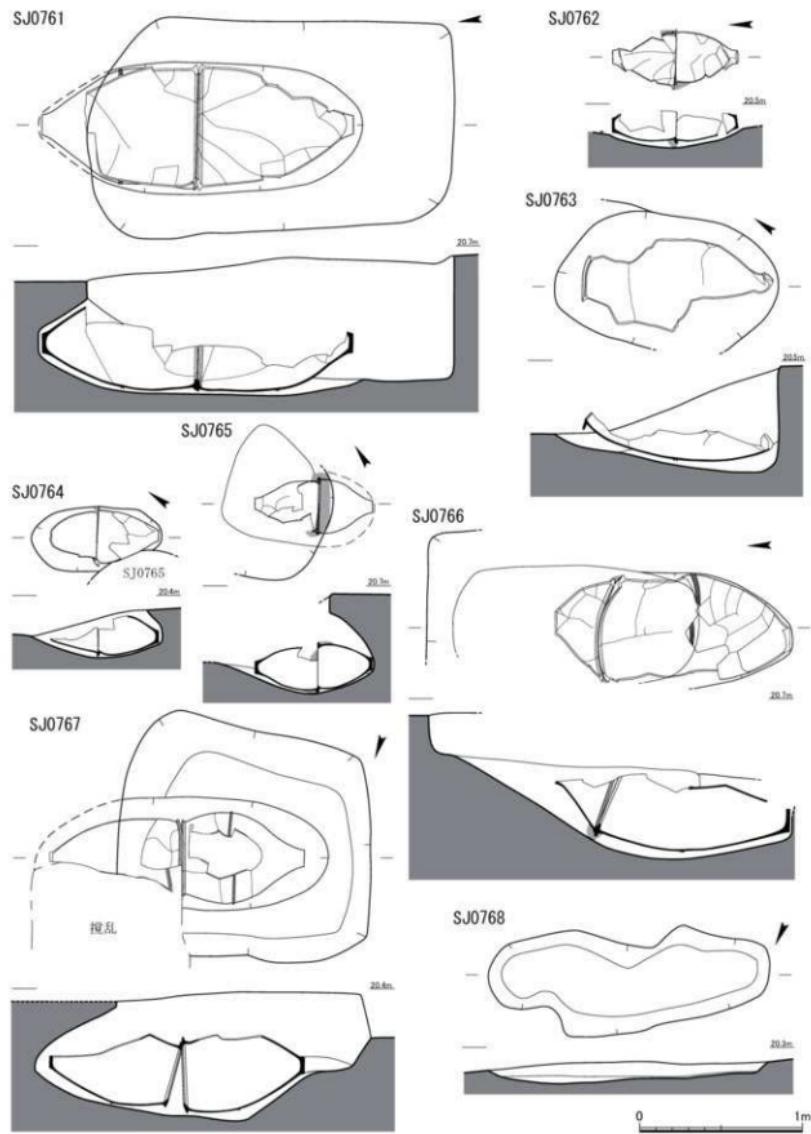


図 50 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窓棺墓 21 (1/30)

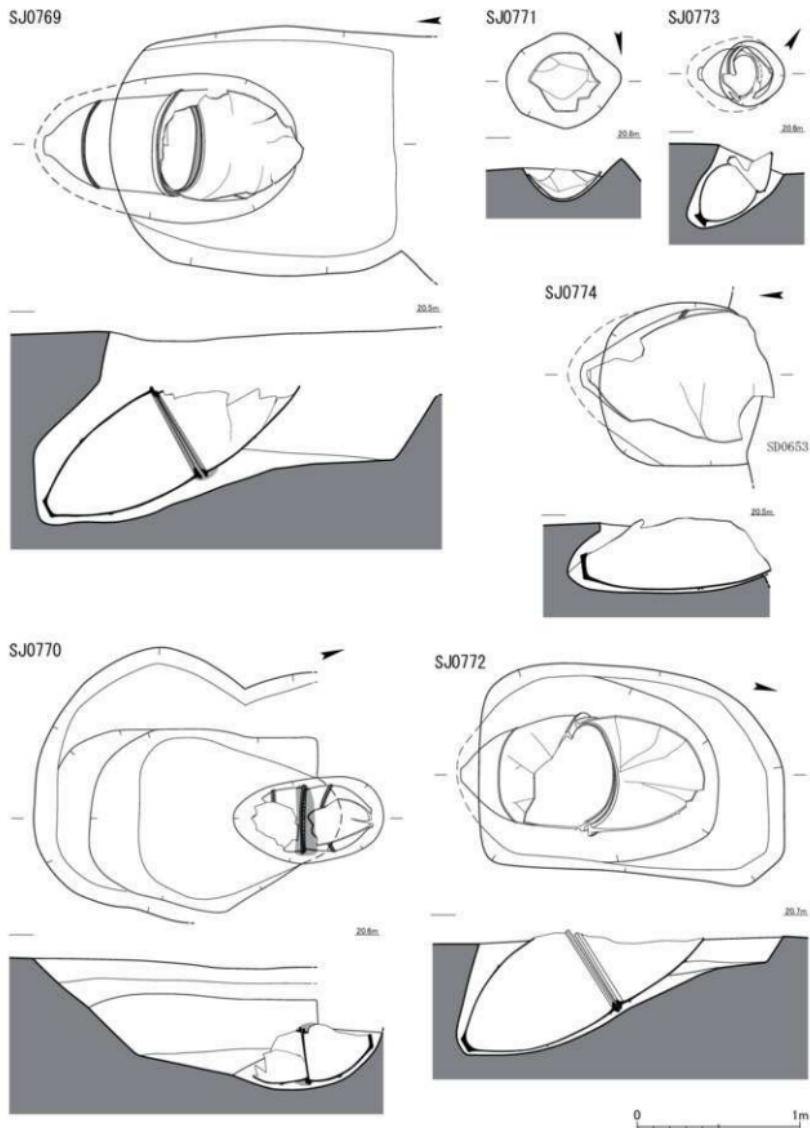


図 51 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺墓 22 (1/30)

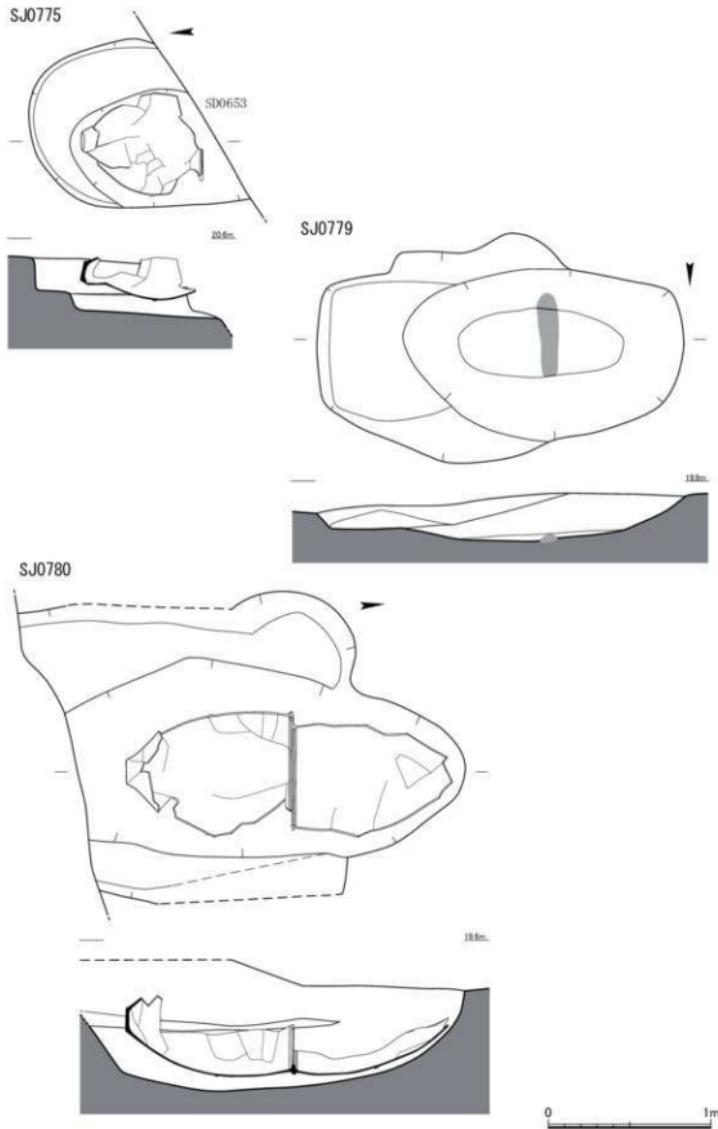


図 52 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窪棺墓 23 (1/30)

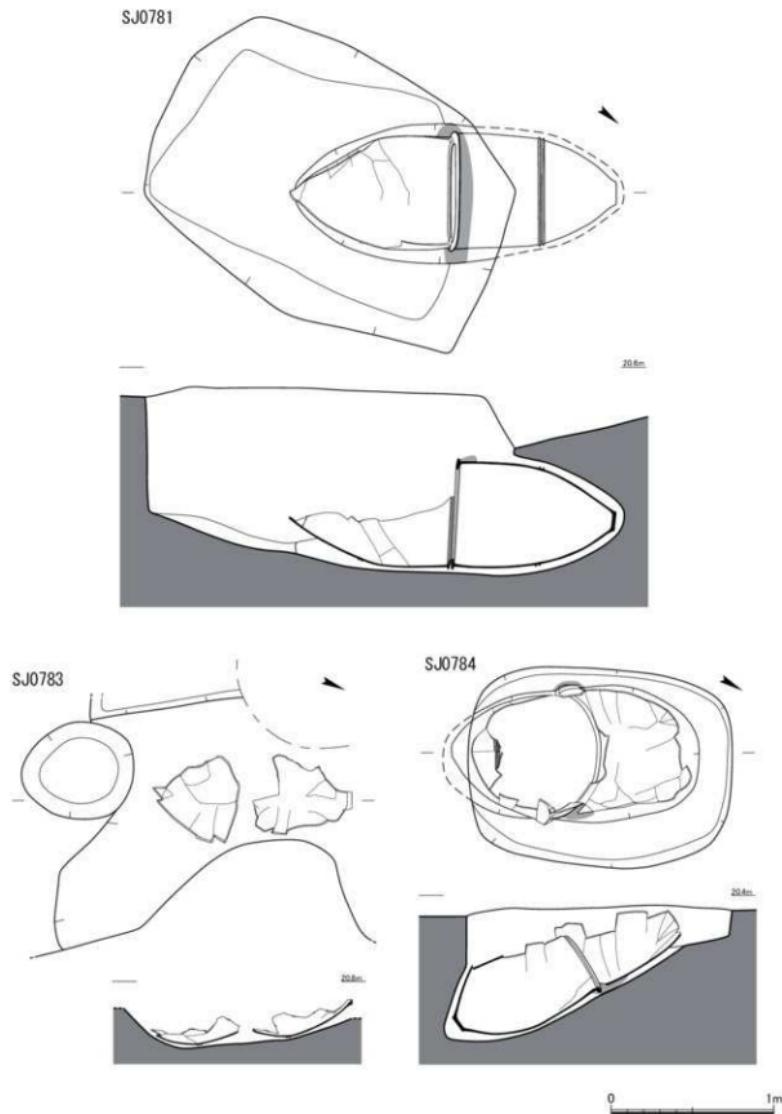


図 53 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 24 (1/30)

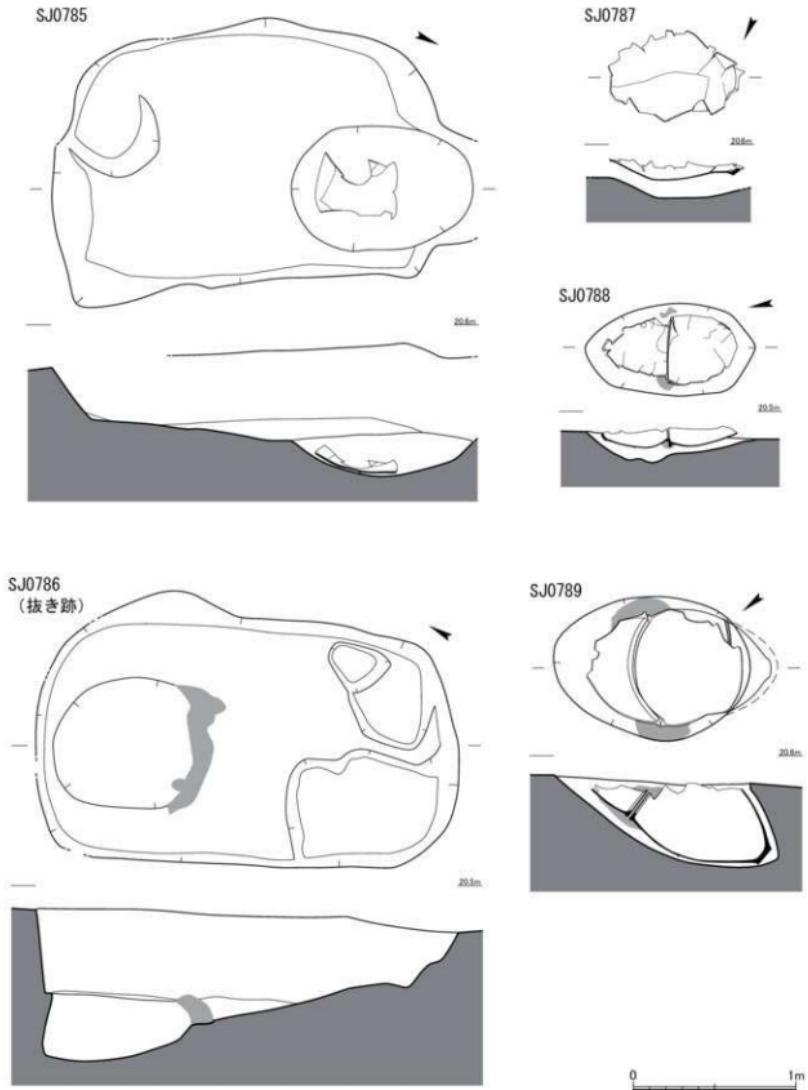


図 54 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 25 (1/30)

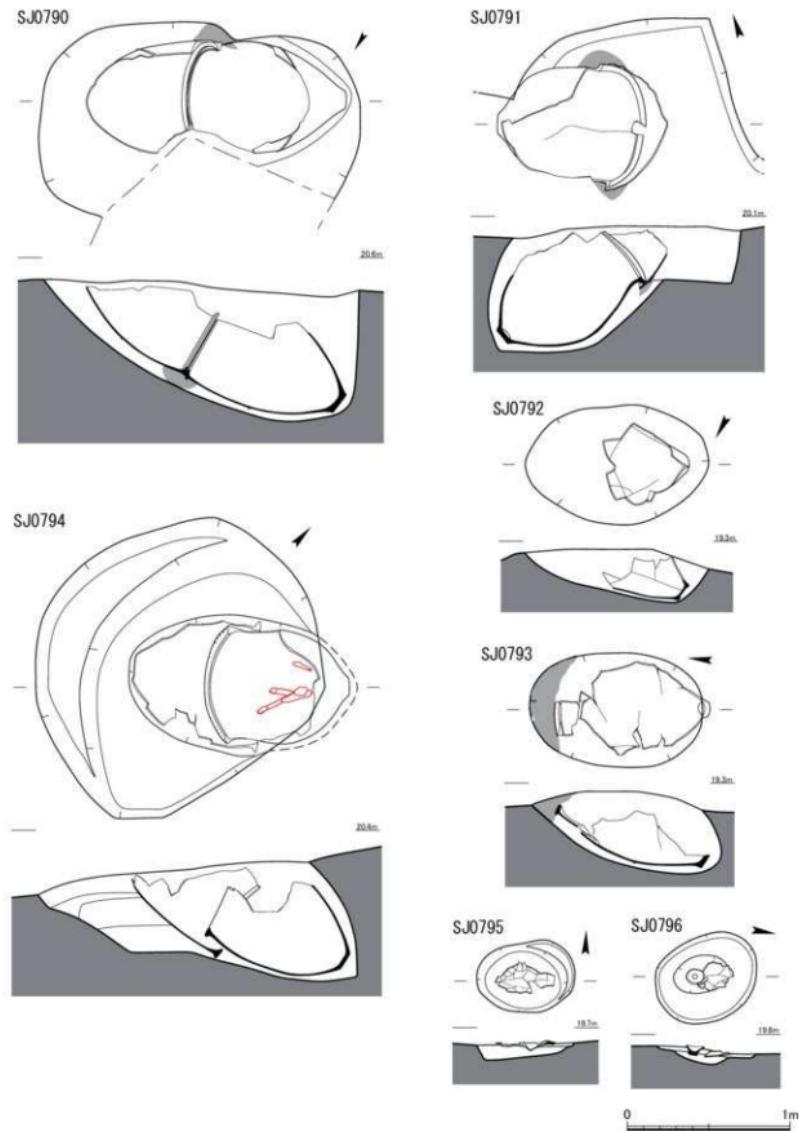


図 55 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 26 (1/30)

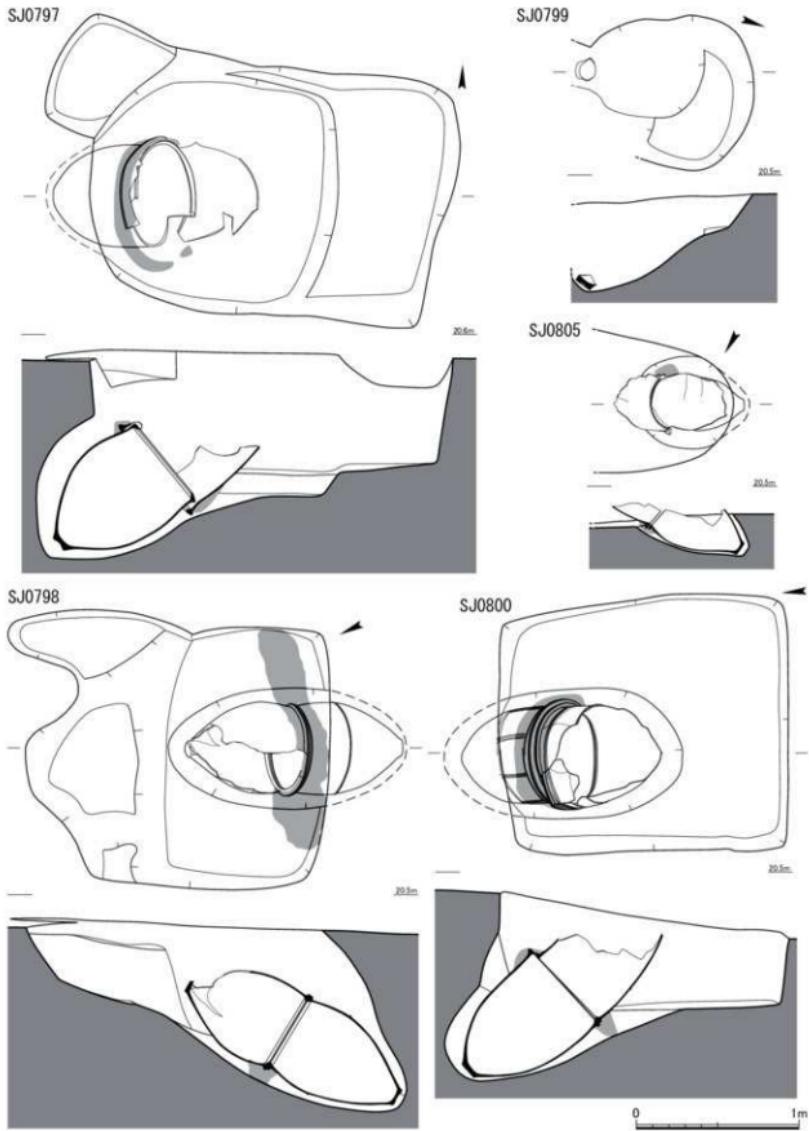


図 56 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 27 (1/30)

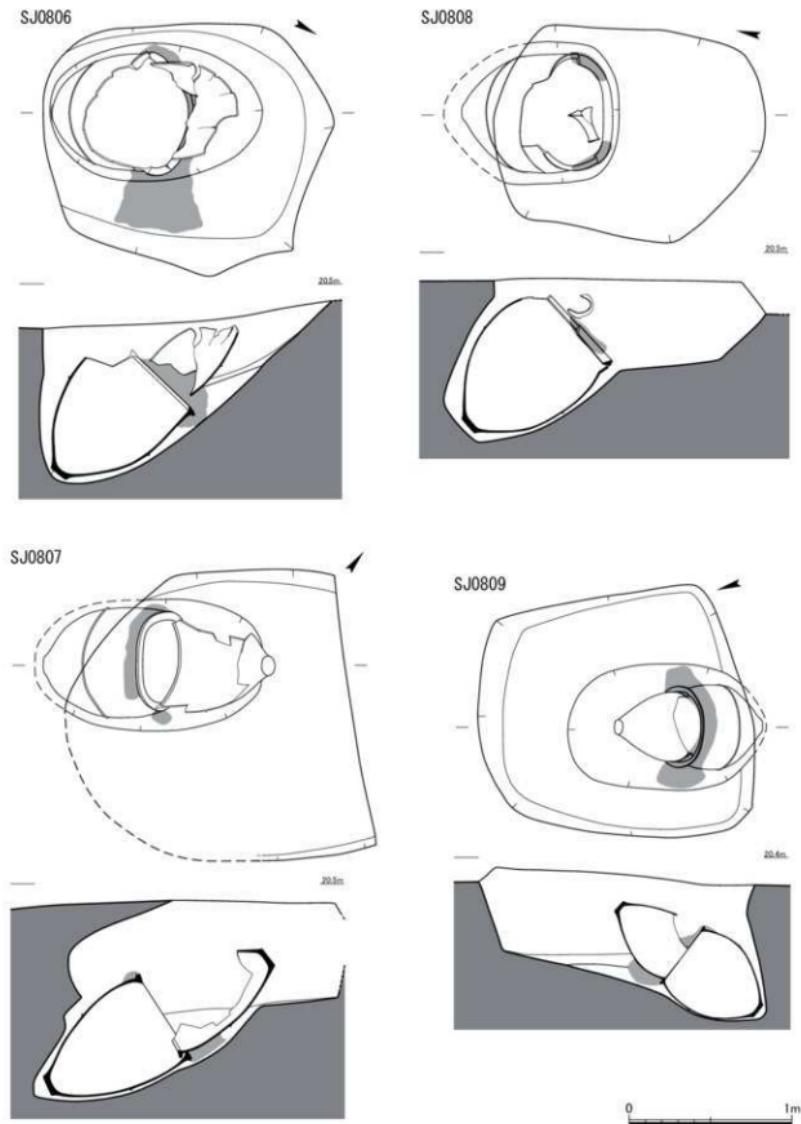
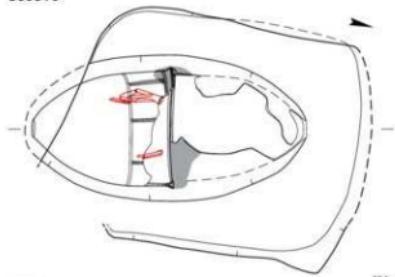
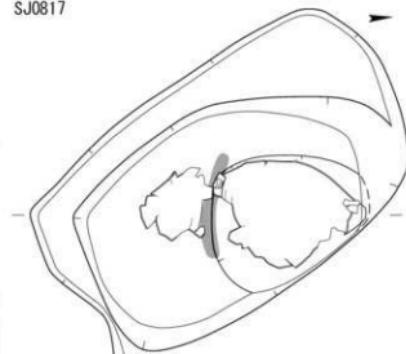


図57 吉野ヶ里丘陵地区III区 窯棺墓28 (1/30)

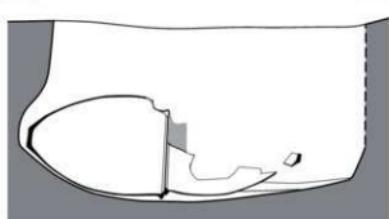
SJ0810



SJ0817

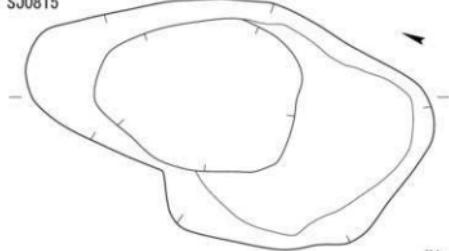


20.4m

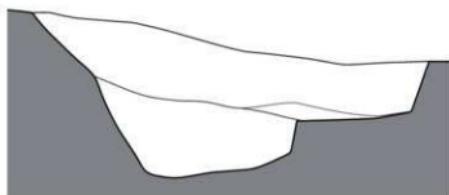


20.3m

SJ0815



20.4m



SJ0818



20.3m



0 1m

図 58 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 29 (1/30)

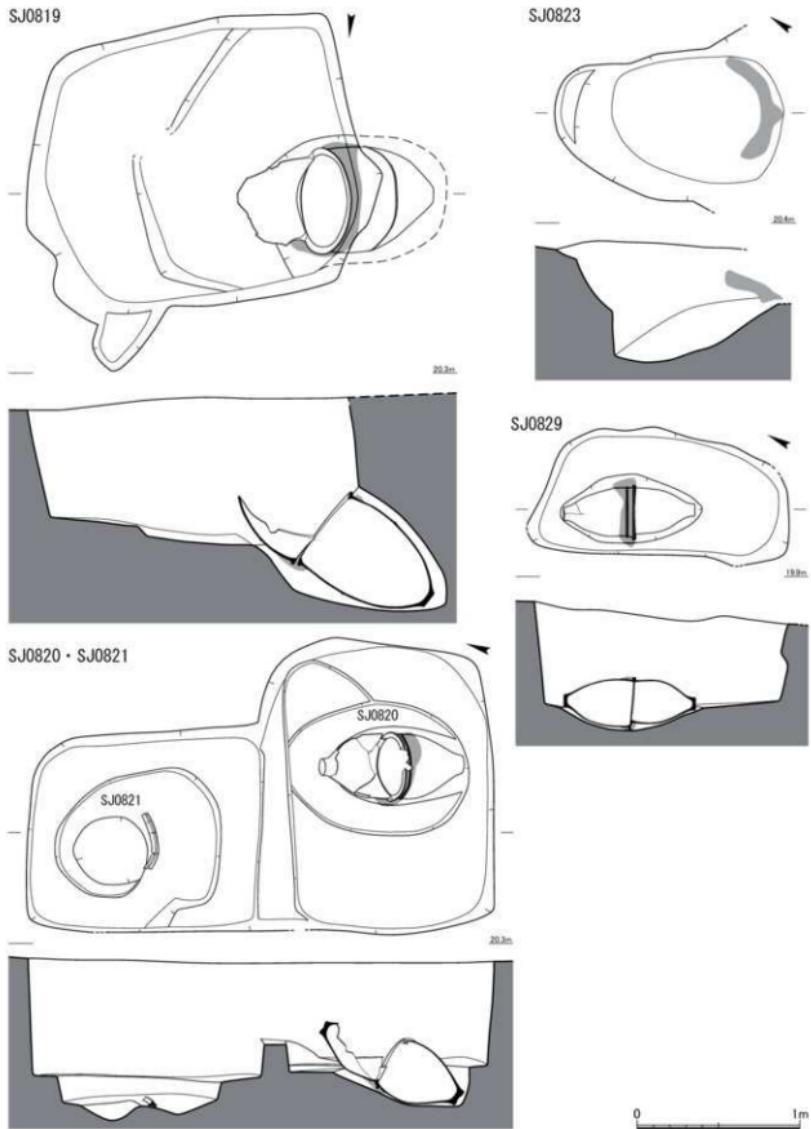
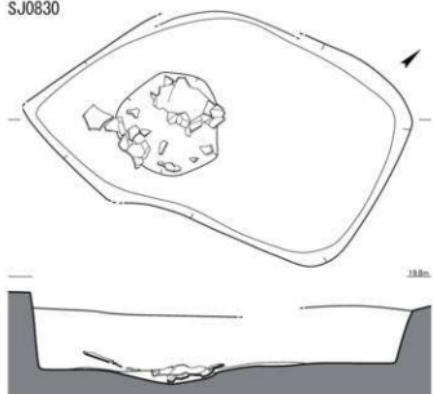
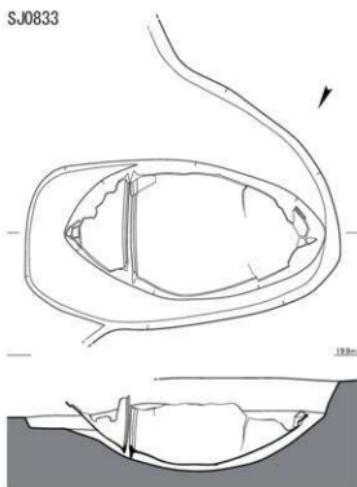


図 59 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 30 (1/30)

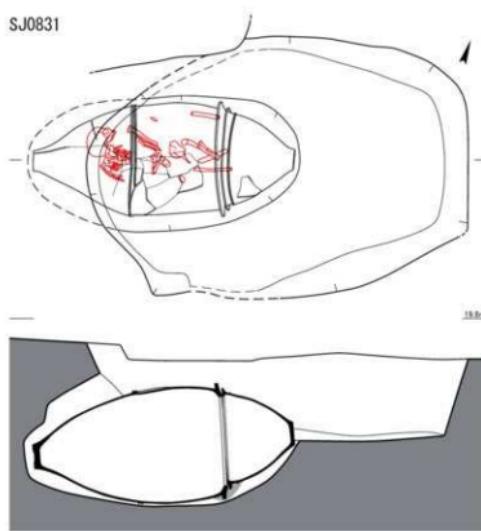
SJ0830



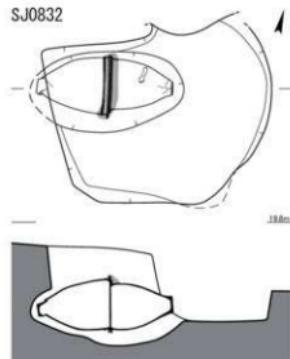
SJ0833



SJ0831



SJ0832



0 1m

図 60 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 31 (1/30)

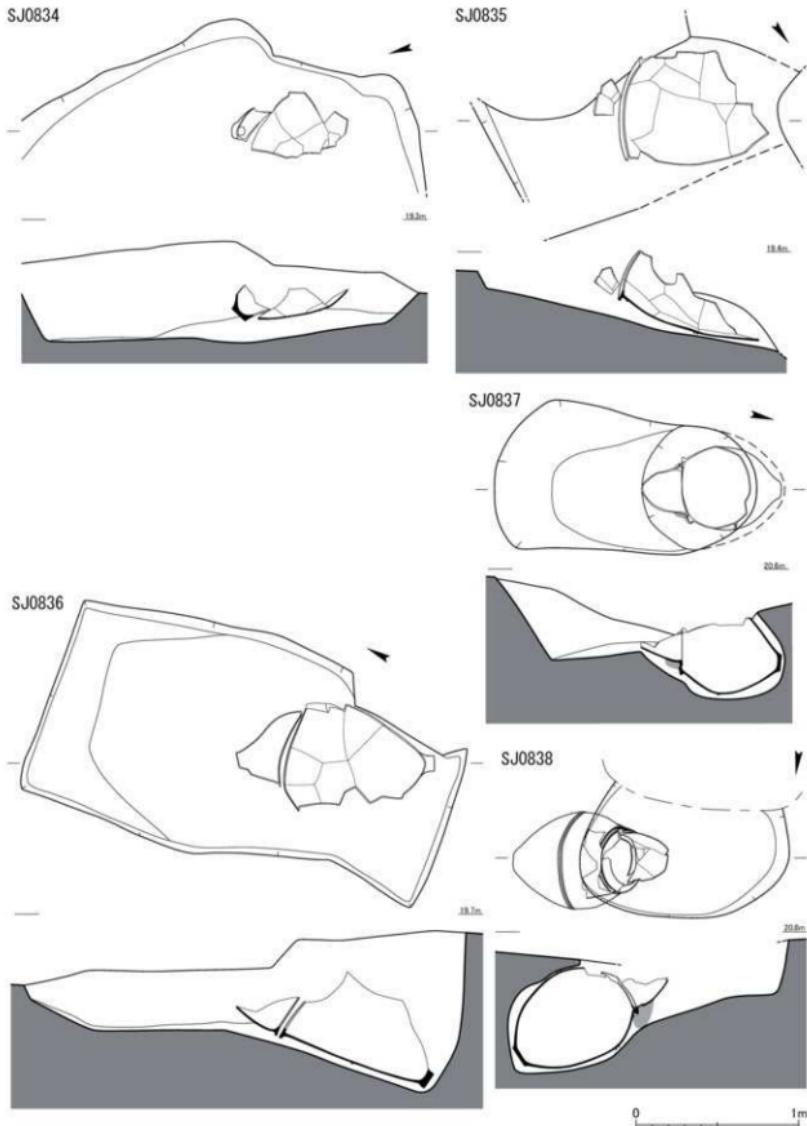


図 61 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 32 (1/30)

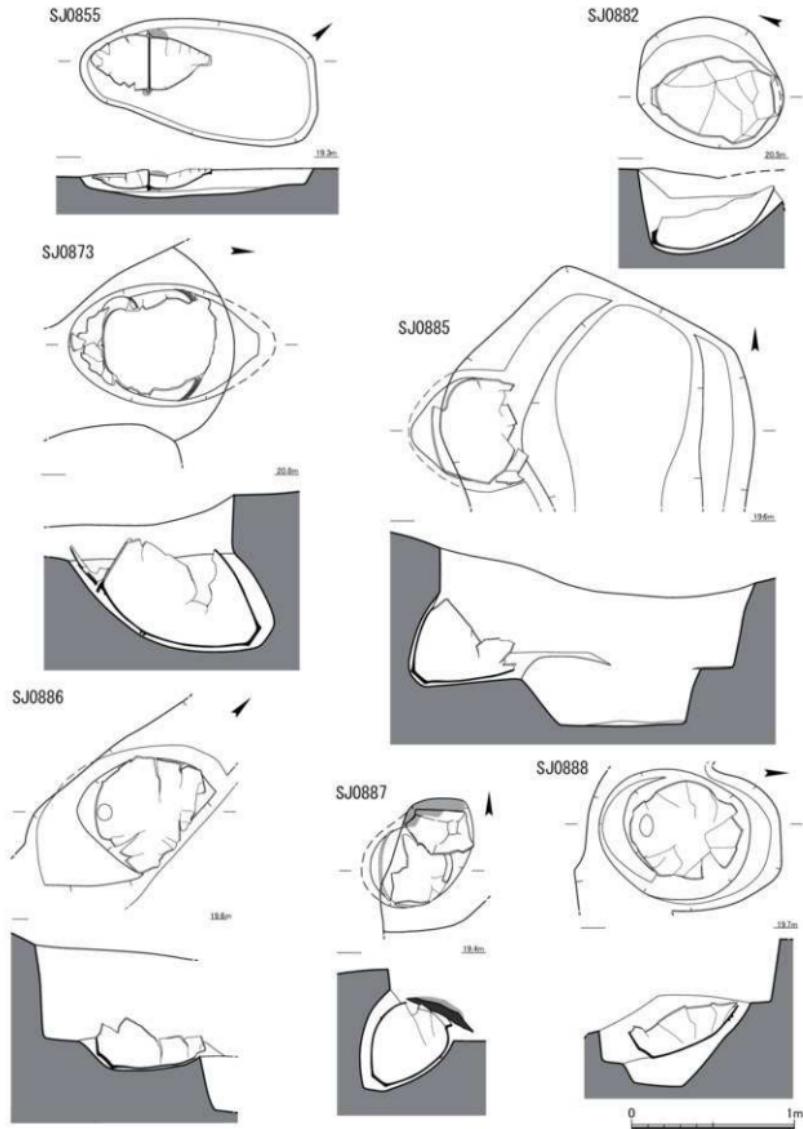


図 62 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 33 (1/30)

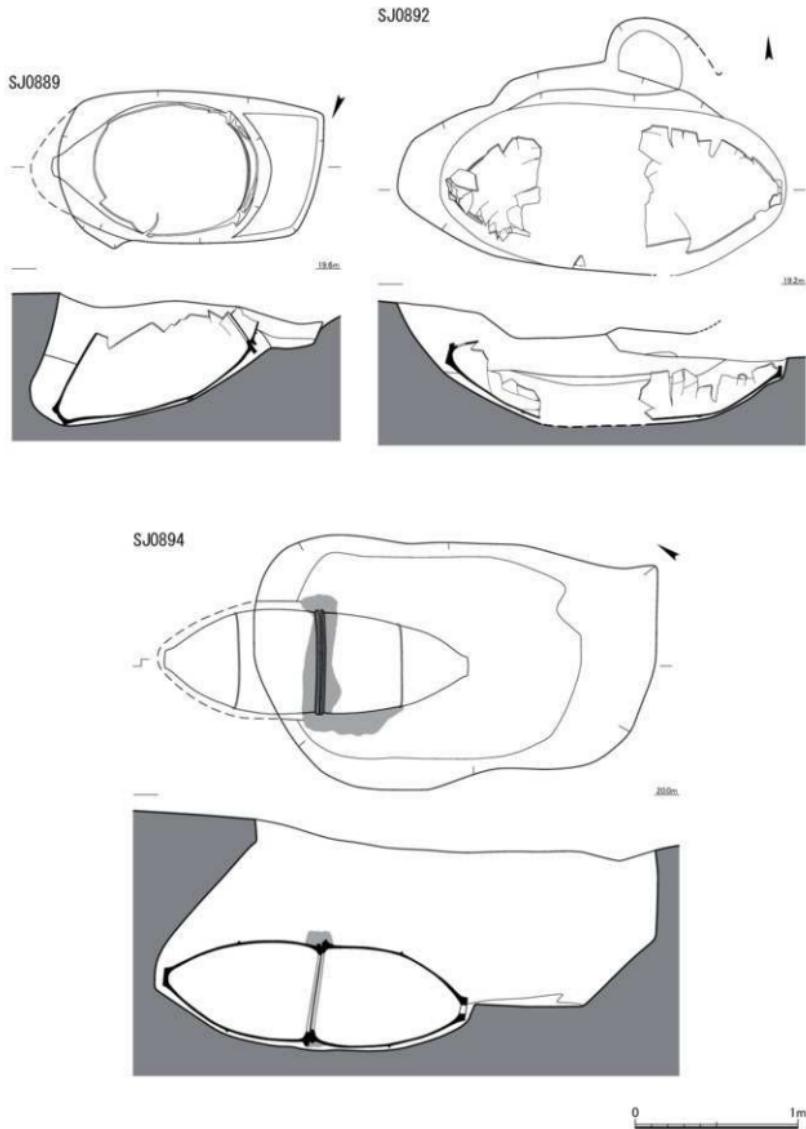


図 63 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 34 (1/30)

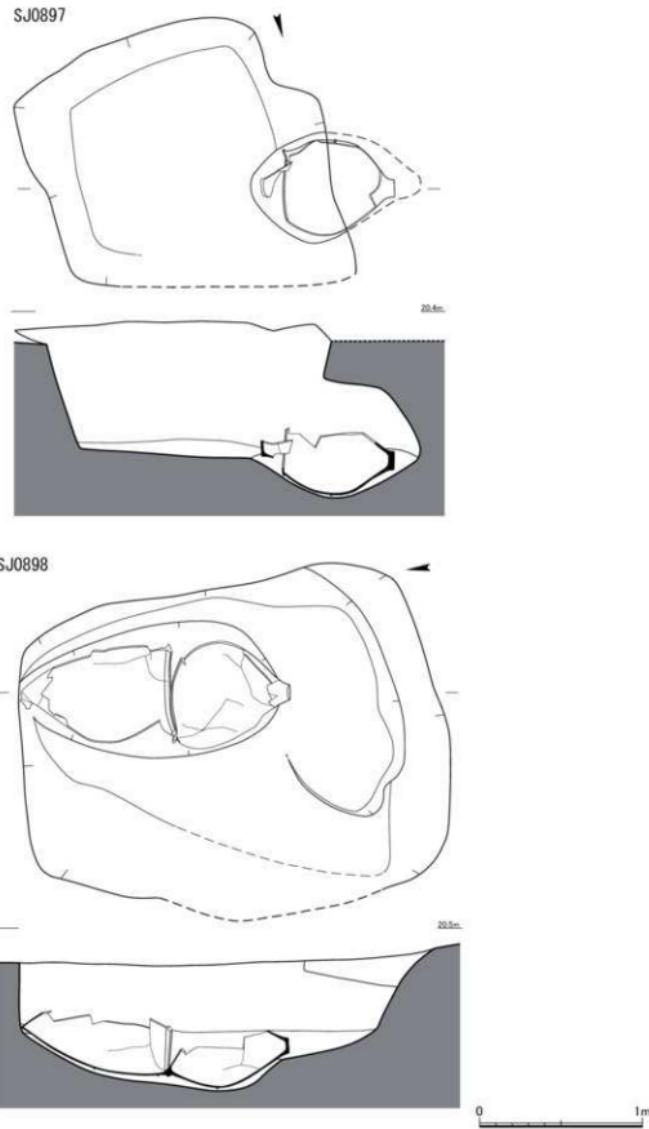


図 64 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 35 (1/30)

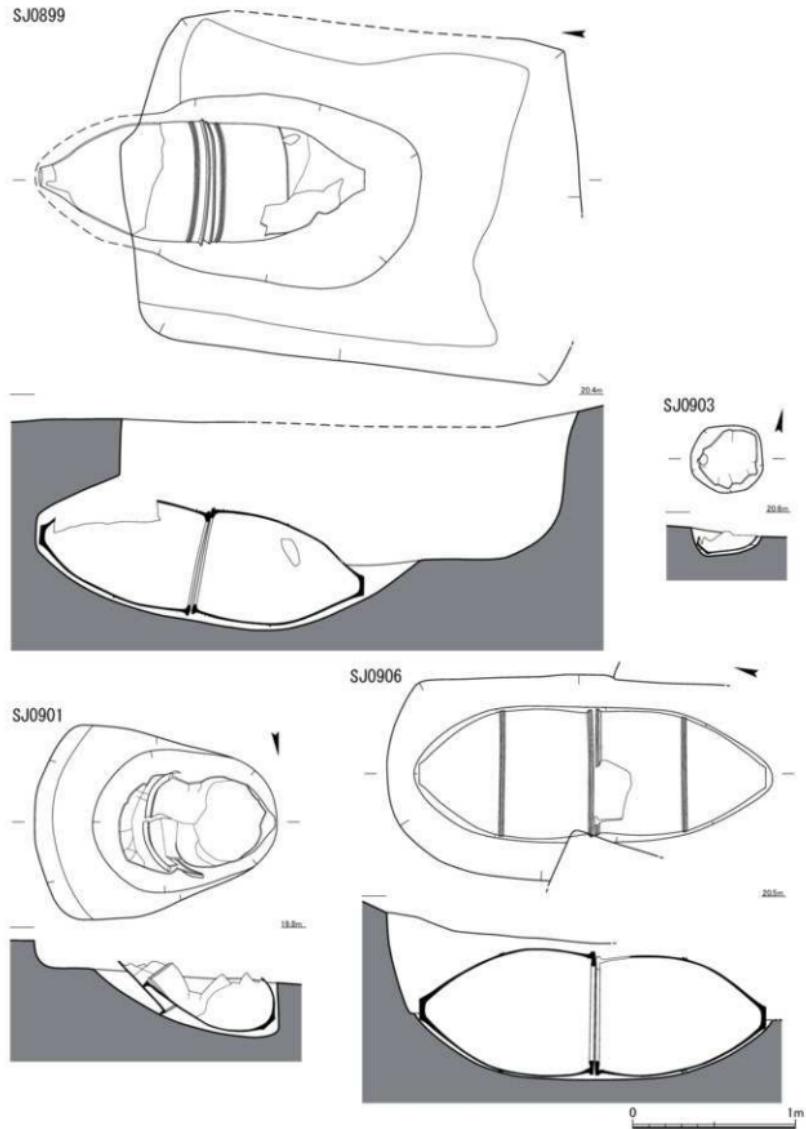


図 65 吉野ヶ里丘陵地区III区 窯棺墓 36 (1/30)

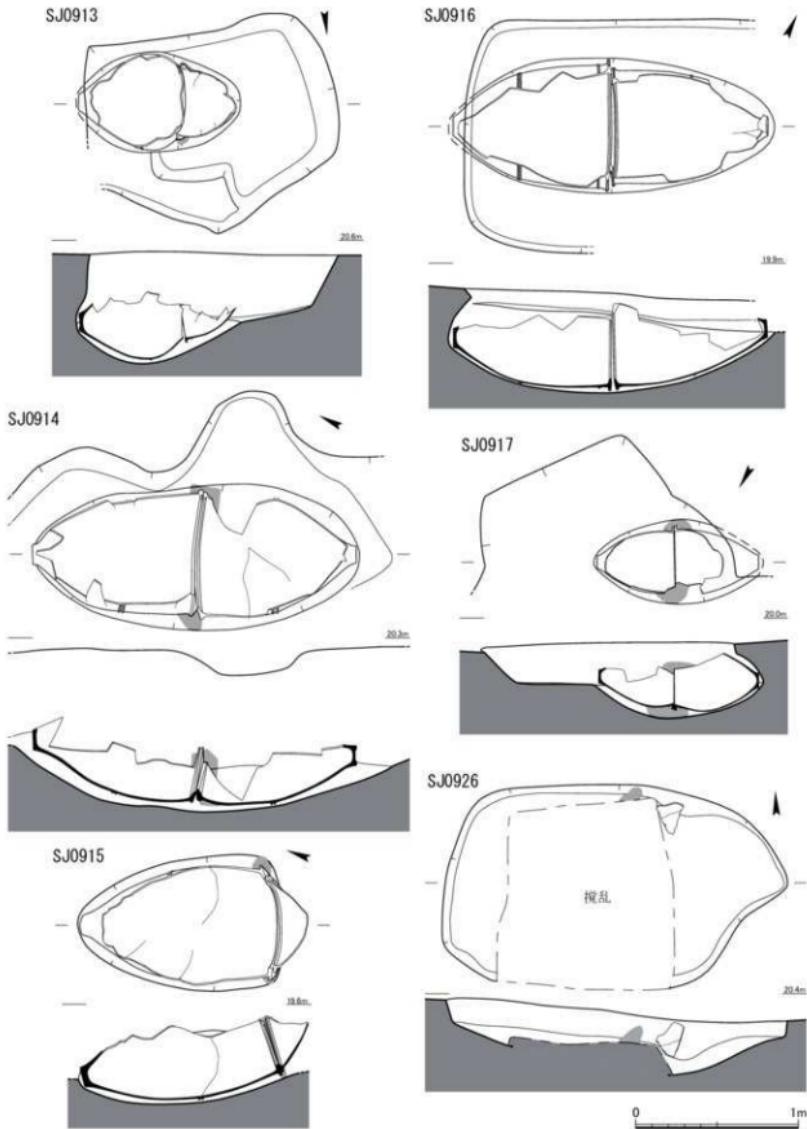


図 66 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窓棺墓 37 (1/30)

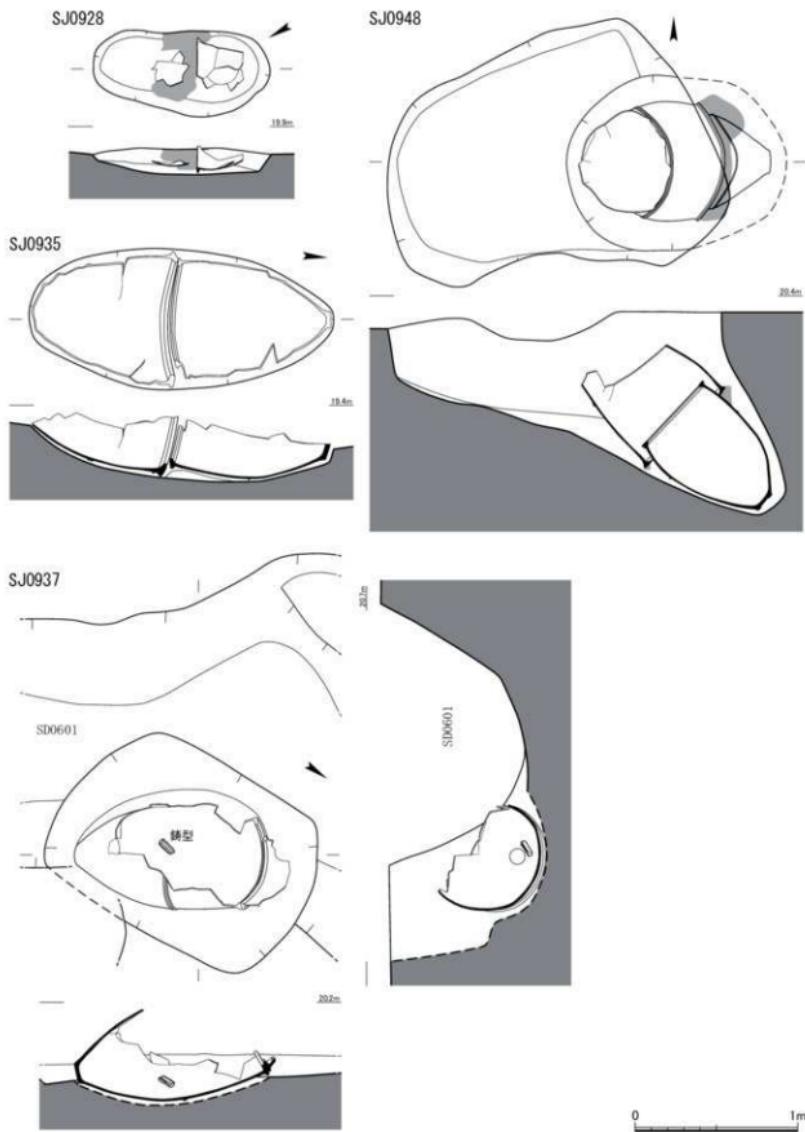
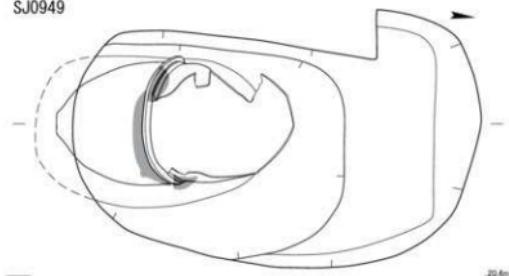
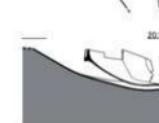
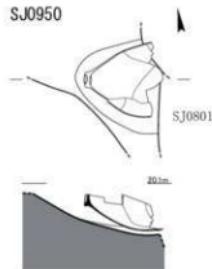


図67 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 38 (1/30)

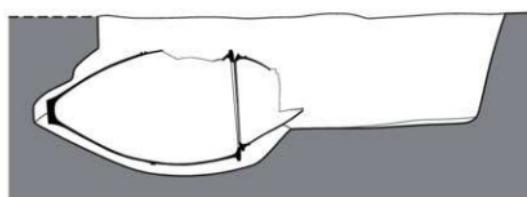
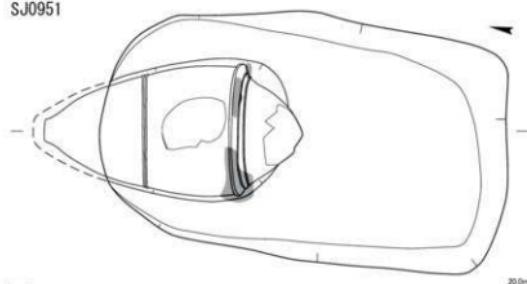
SJ0949



SJ0950



SJ0951



0 1m

図 68 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓 39 (1/30)

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	計		性別	年齢	
SJ0608	不明		甕	-	-					先生	-	-	
SJ0624	合口	跡	甕	N143.5E	5					SJ0601 SJ0625	中期後半	-	-
SJ0625	不明		-	-	-					SJ0624 SJ0601	中期後半以降	-	未掘
SJ0626	不明		甕	N143W	-					SJ0601	中期	-	-
SJ0655	合口	跡	甕	N180E	34.5					SJ0650	中期末	-	-
SJ0659	不明		甕	N106E	0						中期前半	-	-
SJ0660	合口	跡	甕	N42.5E	3						中期後半	-	-
SJ0661	合口	甕	甕	N121W	0						中期前半	-	-
SJ0662	不明		甕	N103.5W	-						中期	-	-
SJ0663	不明		甕	N112W	-						中期前半	-	-
SJ0664	不明		甕	N6W	17						中期前半	-	下蓋口縁内面打欠
SJ0665	合口	甕	甕	N27.5W	36	2.7	1.6	0.55			中期後半	男性 壯年	鉄鍔1・石鍔1
SJ0666	合口	甕	甕	N98W	39.5						中期前半	-	-
SJ0667	不明		甕	N88E	-						中期	-	-
SJ0668	覆口	甕	甕	N73.5W	2					SJ0602 SJ0669	前期末～ 中期初頭	-	-
SJ0669	合口	甕	甕	N72E	43	2.1	1.4	0.68+	SJ0668	SJ0602	中期前半	-	下蓋未完掘
SJ0670	合口	甕	甕	N171.5E	29					SJ0603 SJ0892	中期後半	-	-
SJ0671	合口	跡	甕	N11W	10						中期前半	-	-
SJ0672	合口	跡	甕	N132E	11				SJ0894		中期後半	-	-
SJ0673	合口	跡	甕	N148E	20.5				SJ0894		中期後半	-	-
SJ0674	合口	甕	甕	N170W	35	2.12	1.6	0.66		SJ0675	中期前半	-	-
SJ0675	合口	甕	甕	N109.5W	26.5				SJ0674 SJ0676		中期後半	-	-
SJ0676	合口	甕	甕	N83W	41					SJ0675	中期前半	-	-
SJ0677	不明	跡	甕	N140W	21				SP0684		中期後半	-	-
SJ0678	合口	跡	甕	N146W	1	3.5	1.7	0.8	SP0684		中期後半	-	下蓋口縁外側打欠
SJ0679	合口	甕	甕	N179E	3				SJ0681		中期前半	-	-
SJ0680	合口	甕	甕	N172W	3.5						中期前半	-	-
SJ0681	不明		-	-	-				SJ0679		中期前半	-	-
SJ0682	不明		甕	N71E	42				SJ0835 SD0603		後期前半	-	單棺か
SJ0683	不明		甕	N121E	-						後期	-	-
SJ0685	合口	甕	甕	N87.5W	-2						中期前半	-	-

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項		
	構造	上底	下底	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新	性別	年齢			
SJ0687	合口	跡	痕	N36E	-2					SJ0688	中期後半	-	-		
SJ0688	合口	痕	痕	N163.5W	-					SJ0687	中期後半	-	-		
SJ0689	合口	痕	痕	N164.5W	0					SJ0688 SP0923	中期後半	-	-		
SJ0690	合口	痕	痕	N4E	0					SJ0691	中期前半	-	-		
SJ0691	合口	痕	痕	N176.5W	0					SJ0690	中期前半	-	-		
SJ0692	不明		痕	N25W	31						中期前半	-	-		
SJ0693	不明		痕	N17.5W	38					SP0720	中期	-	-		
SJ0694	合口	痕	痕	N11E	3						中期前半	-	-		
SJ0695	合口	痕	痕	N175E	0						中期前半	-	-		
SJ0696	合口	痕	痕	N68W	4						中期前半	-	-		
SJ0697	合口	痕	痕	N148E	0						中期前半	-	-		
SJ0698	合口	跡	痕	N58E	4						中期後半	-	-		
SJ0699	合口	痕	痕	N2.5E	2						中期前半	-	-	一次墓坑内に粘土	
SJ0700	合口	痕	痕	南北	-						中期前半	-	-		
SJ0701	合口	痕	痕	N161E	2					SJ0702	中期前半	-	-		
SJ0702	合口	痕	痕	N178E	13					SJ0701	中期前半	-	-		
SJ0703	合口	痕	痕	N123E	-						中期前半	-	-		
SJ0704	合口	痕	痕	N7W	-2						中期後半	-	-		
SJ0705	不明			N76W	-					SJ0706	中期後半	-	-		
SJ0706	合口	痕	痕	N9W	2.5					SJ0705	中期前半	-	-		
SJ0707	合口	痕	痕	N3.5W	-					SJ0727	中期前半	-	-		
SJ0708	合口	痕	痕	N178.5W	-						中期後半	-	-		
SJ0709	不明		痕	N132W	-					SJ0710	中期前半	-	-		
SJ0710	合口	痕	痕	N92.5W	3					SJ0709	中期前半	-	-		
SJ0711	合口	痕	痕	N89W	43					SK0845	中期前半	-	-		
SJ0712	合口	痕	痕	N5W	-8						中期前半	-	-		
SJ0713	合口	痕	痕	N22.5W	5						中期前半	-	-		
SJ0714	不明	痕?	痕	N105E	-						中期後半	-	-		
SJ0715	合口	跡	痕	N158W	-						中期後半	-	-		
SJ0716	合口	跡	痕	N114E	20						中期後半	-	-		
SJ0717	不明	痕?	痕	N166W	47					SP0912	SD0603	後期初頭	-	-	

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	計	新		性別	年齢	
SJ0718	不明			-	-						弥生	-	-	
SJ0719	不明		甕	N94E	51.5						中期末	-	-	
SJ0721	不明			東西	-					SD0603	中前期半	-	-	
SJ0722	合口	甕	甕	N172W	33	2.7	1.63	0.85		SJ0677	中前期後半	不明	不明	人骨小片
SJ0723	木蓋?		甕	N24E	43				SJ0724		後期前半	-	-	
SJ0724	合口	甕	甕	N166.5W	-5					SJ0723	中前期前半	-	-	
SJ0725	合口	甕	甕	N178W	7					SP0896	中前期前半	-	-	
SJ0726	合口	甕	甕	N176W	-4						中前期前半	-	-	
SJ0727	合口	甕	甕	N13.5E	-7				SJ0707		中前期前半	-	-	
SJ0728	合口	甕	甕	N91E	-					SD0603	中前期前半	-	-	
SJ0729	不明		甕	N85.5W	48					SD0603	後期初頭	-	-	
SJ0730	不明		甕	N106E	37						中期	-	-	
SJ0731	不明	鉢	甕	N94W	-						中前期後半	-	-	
SJ0732	不明	-	-	-	-						弥生	-	-	窯棺抜き跡
SJ0733	-	-	-	-	-	1.54	1.15	0.25			弥生	-	-	窯棺抜き跡 打製石頭1
SJ0735	合口	鉢	甕	N167W	11					SJ0736 SJ0737	中前期後半	-	-	
SJ0736	合口	甕	甕	N170W	-				SJ0735 SJ0737		中前期後半	-	-	
SJ0737	合口	鉢	甕	N64E	3.5				SJ0735 SJ0736		中前期後半	-	-	
SJ0738	不明	鉢	甕	N110E	29.5						中前期後半	-	-	
SJ0739	不明		甕	N120E	30						中前期後半	-	-	
SJ0740	合口	甕	甕	N148W	-						中前期前半	-	-	
SJ0741	合口	甕	甕	N7.5E	-				SJ0742		中前期前半	-	-	
SJ0742	合口	鉢	甕	N62W	25				SJ0741		中前期後半	-	-	
SJ0743	合口	甕	甕	N177.5W	7.5				SJ0899		中前期後半	-	-	
SJ0744	合口	甕	甕	N107E	-				SJ0899 SJ0914		中前期後半	-	-	
SJ0745	合口	甕	甕	-	-				SJ0898 SJ0767		中前期前半	-	-	
SJ0749	合口	甕	甕	N168E	28	1.8	1.64	0.95		SJ0751 SJ0752	中前期前半	-	-	
SJ0750	合口	甕	甕	N35.5E	6				SJ0751 SJ0769		中前期前半	-	-	
SJ0751	合口	甕	甕	N54E	11				SJ0781 SJ0750		中前期前半	-	-	
SJ0752	合口	甕	甕	N26E	-5				SJ0749		中前期後半	-	-	
SJ0753	合口	甕	甕	N53E	-				SJ0754		中期末	-	-	

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺墓

遺構番号	瓦棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項	
	構造	上底	下底	主軸方位	角度	長	幅	深	計		性別	年齢		
SJ0754	合口	妻	妻	N6W	5					SJ0753 SJ0755	中期前半	-	-	
SJ0755	合口	妻	妻	N31W	-					SJ0754 SJ0756	中期後半	-	-	
SJ0756	合口	妻	妻	N152E	2					SJ0757 SJ0755	中期前半	-	-	
SJ0757	合口	妻	妻	N139E	-					SJ0756	中期前半	-	-	
SJ0758	不明		妻	N146W	-						中期前半	-	-	
SJ0759	不明		妻	N33E	-						中期前半	-	-	
SJ0760	合口	妻	妻	N11W	2	1.24	0.83	0.46			中期前半	-	-	
SJ0761	合口	妻	妻	N173W	0	2.25	1.36	0.74		SJ0762	中期前半	-	-	
SJ0762	合口	妻	妻	N180	0					SJ0761 SJ0763	中期末	-	-	
SJ0763	不明		妻	N35W	-					SJ0762 SJ0764	中期後半	-	-	
SJ0764	合口	妻	妻	N35W	3					SJ0763 SJ0765	SJ0766	中期後半	-	-
SJ0765	合口	妻	妻	N55W	-2.5					SJ0764	中期後半	-	-	
SJ0766	合口	跡	妻	N4E	11					SJ0764	中期後半	-	-	
SJ0767	合口	妻	妻	N109W	-	1.56	1.5	0.5	SJ0745		中期後半	-	-	
SJ0768	-	-	-	-	-						弥生	-	-	
SJ0769	合口	妻	妻	N177W	31					SJ0770	中期前半	-	-	
SJ0770	合口	妻	妻	N164W	-6.5	1.9	1.67	0.7	SJ0769		中期前半	-	-	
SJ0771	不明		妻	-	-						中期後半	-	-	
SJ0772	合口	妻	妻	N12W	33						中期前半	-	-	
SJ0773	合口	跡	妻	N56E	45						後期	-	-	
SJ0774	不明		妻	N178W	-					SD0653	中期後半	-	-	
SJ0775	不明			N4E	-					SD0653	中期末	-	-	
SJ0779	-	-	-	N89E	-	2.25	1.4	0.28			弥生	-	-	
SJ0780	合口	妻	妻	N177W	-				SK0874		中期前半	-	-	
SJ0781	合口	妻	妻	N141E	4.5	2.2	1.6	1.0		SJ0751	中期後半	-	-	
SJ0783	不明	妻	妻	N24W	-				SJ0838 SP0934		中期	-	-	
SJ0784	合口	妻	妻	N30W	35						中期初頭	-	-	
SJ0785	不明			N154E	-				SJ0786		中期	-	-	
SJ0786	-	-	-	N150E	-	2.6	1.67	0.7	SJ0785		弥生	-	-	
SJ0787	不明			N65E	-				SJ0788		中期末	-	-	
SJ0788	合口	妻	妻	N170W	-				SJ0789 SJ0787		中期前半	-	-	

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式			格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨		特記事項	
	構造	上底	下底	主軸方位	角度	長	幅	深	計	新	性別		性別	年齢		
SJ0789	合口	妻	張	N39.5E	28					SJ0788 SJ0790	中期前半	-	-			
SJ0790	合口	妻	張	N58E	35					SJ0789 SJ0799	中期前半	-	-	磨製石器		
SJ0791	覆口	妻	張	N108.5E	38.5						前期末～中期初頭	-	-	上施口縁打欠		
SJ0792	不明	妻	張	N56.5E	-						中期	-	-			
SJ0793	不明	妻	張	N6W	-						中期初頭	不明	不明			
SJ0794	覆口	妻	張	N134W	35					SJ0949	中期初頭	男性	不明			
SJ0795	不明			N91.5W	-						中期初頭	-	-			
SJ0796	不明				-						中期	-	-			
SJ0797	覆口	妻	張	N89E	40	2.26	1.52	0.86	SK0877		中期初頭	-	-			
SJ0798	合口	妻	張	N26E	31	1.87	1.62	0.6		SD0826	中期初頭	不明	不明	人骨小片		
SJ0799	不明	妻	張	N20W	-					SJ0790 SJ0800	弥生	-	-			
SJ0800	合口	妻	張	N175W	41	1.78	1.56			SJ0801 SP0802	SJ0799	前期末～中期初頭	-	-		
SJ0801	-	-	-	-	-					SJ0800	弥生前期？	-	-	窯棺抜き跡		
SJ0804	-	-	-	-	-						弥生	-	-	窯棺抜き跡		
SJ0805	合口	妻	張	N59E	35					SJ0806 SP0927	中期前半	-	-			
SJ0806	合口	妻	張	N29W	50					SJ0807 SJ0788	中期前半	-	-	上施口縁打欠		
SJ0807	合口	妻	張	N51.5E	30		1.7	0.64			SJ0806 SJ0809	中期初頭	不明	不明		
SJ0808	木蓋？	妻	張	N168E	45						中期前半	-	-			
SJ0809	合口	妻	張	N17E	37	1.7	1.53	0.58		SJ0807 SJ0810	中期前半	不明	青年			
SJ0810	合口	妻	張	N14W	-3	1.9+	1.43	1.0			SJ0802 SJ0809	中期初頭	不明	不明	人骨片	
SJ0815	-	-	-	-	-	2.52	1.5	0.4				弥生	-	-	窯棺抜き跡	
SJ0817	合口	妻	張	N176W	35					SJ0818 SJ0819	中期初頭	-	-			
SJ0818	覆口	跡	張	N83E	-						SJ0817	中期初頭	-	-		
SJ0819	合口	妻	張	N85E	35	2.2	1.75	0.9			SJ0817	中期初頭	-	-		
SJ0820	合口	妻	張	N19W	22	1.8	1.4	0.68			SJ0821	中期前半	-	-		
SJ0821	不明			N161E	-						SJ0820	中期	-	-		
SJ0823	-	-	-	-	-	1.4	0.92					弥生	-	-	窯棺抜き跡・粘土	
SJ0829	合口	妻	張	N152.5E	-1.5	1.6	0.8	0.65				中期前半	-	-		
SJ0830	不明	妻	張	N42E	-							中期後半	-	-		
SJ0831	合口	跡	張	N71E	5	2.35	1.6	0.55			SJ0830 SJ0832	中期後半	女性	壯年		
SJ0832	合口	妻	張	N87E	2	1.4	1.0	0.44			SJ0831	中期末	-	-		

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 窯棺墓

遺構番号	窯棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項
	構造	上底	下底	主軸方位	角度	長	幅	深	計		性別	年齢	
SJ0833	合口	跡	痕	N61E	-				SK0919		中期後半	-	-
SJ0834	不明		痕	N164W	-						中期後半	-	-
SJ0835	不明		痕	N126E	-					SJ0682 SD0603	中期末	-	-
SJ0836	合口	痕	痕	N20W	-						中期前半	-	-
SJ0837	合口	痕	痕	N166E	10					SD0612	中期後半	-	-
SJ0838	合口	痕	痕	N97W	37					SJ0783	中期後半	-	-
SJ0855	合口	痕	痕	N40.5E	3						中期後半	-	-
SJ0873	合口	痕	痕	N177E	36					SD0601	中期末	-	-
SJ0882	不明		痕	N158E	-						中期前半	-	-
SJ0885	不明		痕	N90E	37.5					SD0603	中期末	-	-
SJ0886	不明		痕	N44.5E	-					SD0603	中期末	-	-
SJ0887	石蓋	-	痕	N90E	54					SD0603	後期初頭	-	-
SJ0888	不明		痕	N0	-					SD0603	後期	-	-
SJ0889	合口	跡	痕	N112.5W	33						中期後半	-	-
SJ0892	不明	痕	痕	N92.5E	-						中期前半	-	-
SJ0894	合口	痕	痕	N146E	-6.5	2.47	1.55	1.12		SJ0673	中期前半	不明	壮年
SJ0897	合口	痕?	痕	N105.5E	5	2.0	1.65*	0.83	SJ0914		中期後半	-	-
SJ0898	合口	痕	痕	N174W	-4					SJ0745	中期前半	-	-
SJ0899	合口	痕	痕	N175E	-9	2.84+	2.1	0.85		SJ0743 SJ0744	中期前半	-	-
SJ0901	覆口	痕	痕	N98E	46.5						前期末～中期初頭	-	-
SJ0903	不明		痕	N70E	-						中期末	-	-
SJ0904	-		-	-	-						中期	-	-
SJ0905	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0906	合口	痕	痕	N165E	1.5						中期前半	不明	不明
SJ0907	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0908	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0909	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0910	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0911	-		-	-	-						弥生	-	-
SJ0913	合口	跡	痕	N97E	3						中期後半	-	-
SJ0914	合口	痕	痕	N27.5W	3.5					SJ0897 SJ0744	中期前半	-	-

表5 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺墓

遺構番号	瓦棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新		性別	年齢	
SJ0915	合口	鉢	甕	N21W	17					SJ0601	中期後半	-	-	
SJ0916	合口	甕	甕	N63E	2					SJ0917	中期後半	-	-	
SJ0917	合口	甕	甕	N60E	1				SJ0916		中期後半	-	-	
SJ0926	-	-	-	-	-						弥生	-	-	複数により破壊 粘土
SJ0928	不明	甕	甕	N30E	-						中期前半	-	-	
SJ0935	合口	甕	甕	N175.5E	-						中期後半	-	-	
SJ0937	合口	鉢	甕	N35.5W	12				SJ0601		中期後半	-	-	断面跡型
SJ0948	覆口	甕	甕	N90W	44						中期前半	-	-	
SJ0949	合口	甕	甕	N6W	37.5				SJ0794		中期前半	-	-	
SJ0950	不明	甕	甕	N80W	-				SJ0801 SJ0804		中期	-	-	
SJ0951	合口	鉢	甕	N169E	2.5	2.51	1.52	0.72		SJ0601	中期後半	不明	不明	人骨小片
SJ0952	-	-	-	-	-						弥生	-	-	
SJ0956	-	-	-	-	-						弥生	-	-	351区

表6 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 土坑墓・木棺墓

遺構番号	平面形	主軸方位	構造	墓坑の規模 m			棺の規模 m			新旧関係			時期	特記事項
				長軸	短軸	深さ	長軸	短軸	旧	新	性別	年齢		
SP0684	長方	N16E		1.67	1.00	0.45			SJ0678	SJ0677	中期後半	本棺墓	粘土	
SP0720	不整								SJ0693		中期?	着製石頭1		
SP0802	方	N169W	木棺墓	1.99*	1.90	0.74	1.32	0.66	SJ0810	SJ0800 SJ0801	中期初頭?	粘土		
SP0803	圓丸長方	-		1.78	1.46	1.35			SP0802		中期?	喪棺抜き跡か	粘土	
SP0812	圓丸方	-		1.79	1.47	0.70					弥生	底面に穴		
SP0890	不整	N145W		2.42	1.38	0.6	1.0	0.63	SD0603		中期?	粘土		
SP0891	長方	-		2.1	1.0+				SD0603		弥生			
SP0896	不整樹円	N13E		2.31	1.83	0.89			SJ0725		中期前半以降			
SP0900	方	N88E		1.52	1.49	0.8					前期末~中期初頭	土器蓋		
SP0912	圓丸長方	N64W	二段掘	2.76	1.7*	0.96	1.86	0.46	SJ0717 SD0603		中期	本棺墓	赤色顔料	
SP0923	不整円	N67W	横口式?	0.95	0.81				SK0686		中期後半以降	石蓋	粘土	
SP0927	不整	N108W	横口式								弥生			
SP0934	不整	-							SJ0783		中期?	側別開なし		
SP0938		-									弥生	側別開なし		
SP0957		-									弥生	351区 側別開なし		

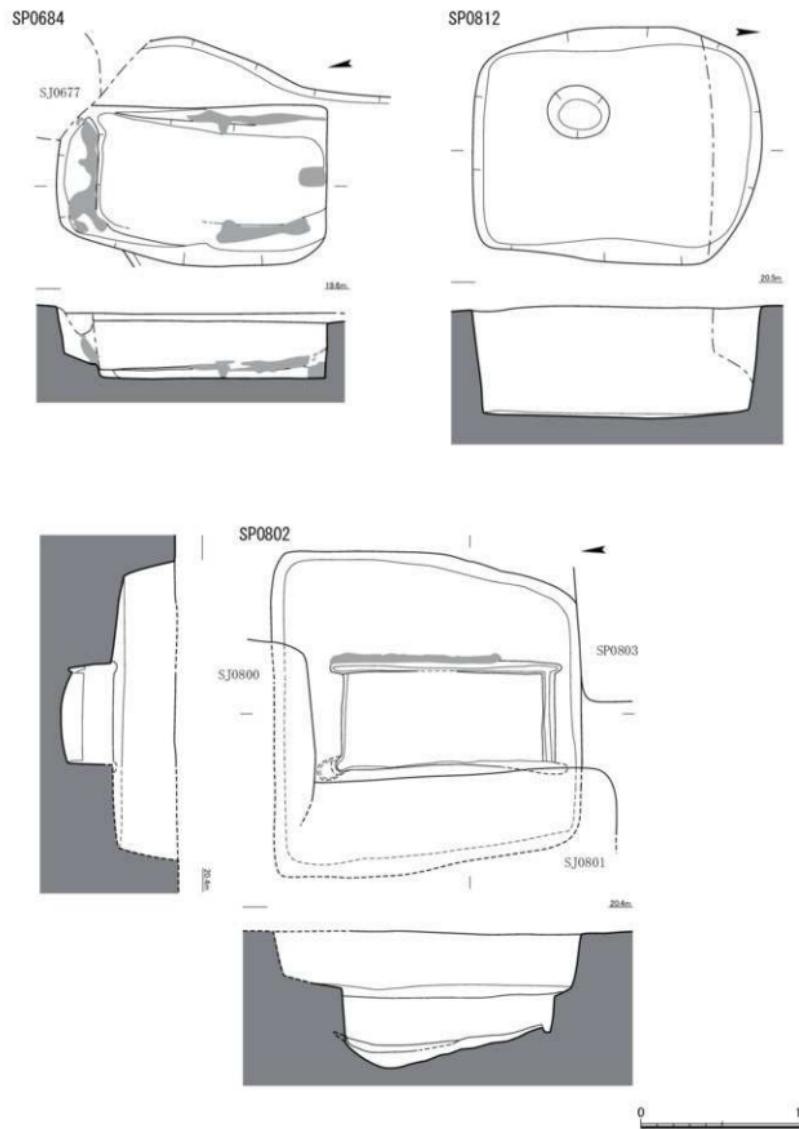


図 69 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 土坑墓・木棺墓 1 (1/30)

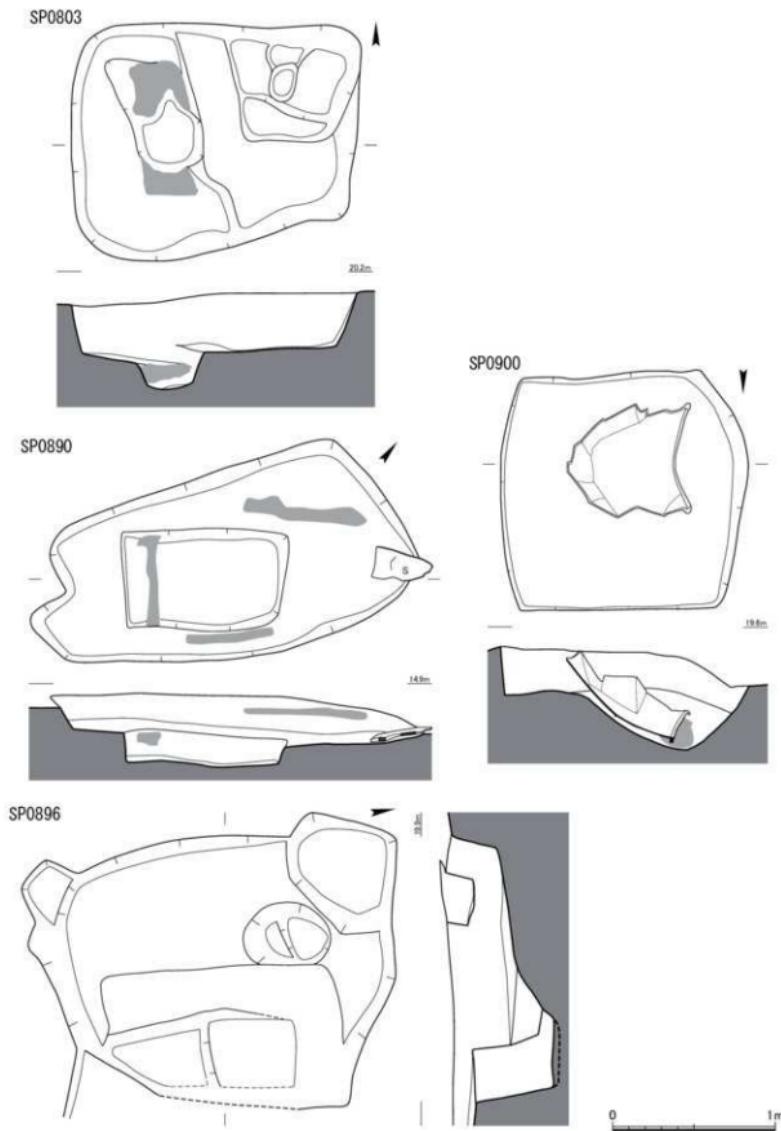


図 70 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 土坑墓・木棺墓2 (1/30)

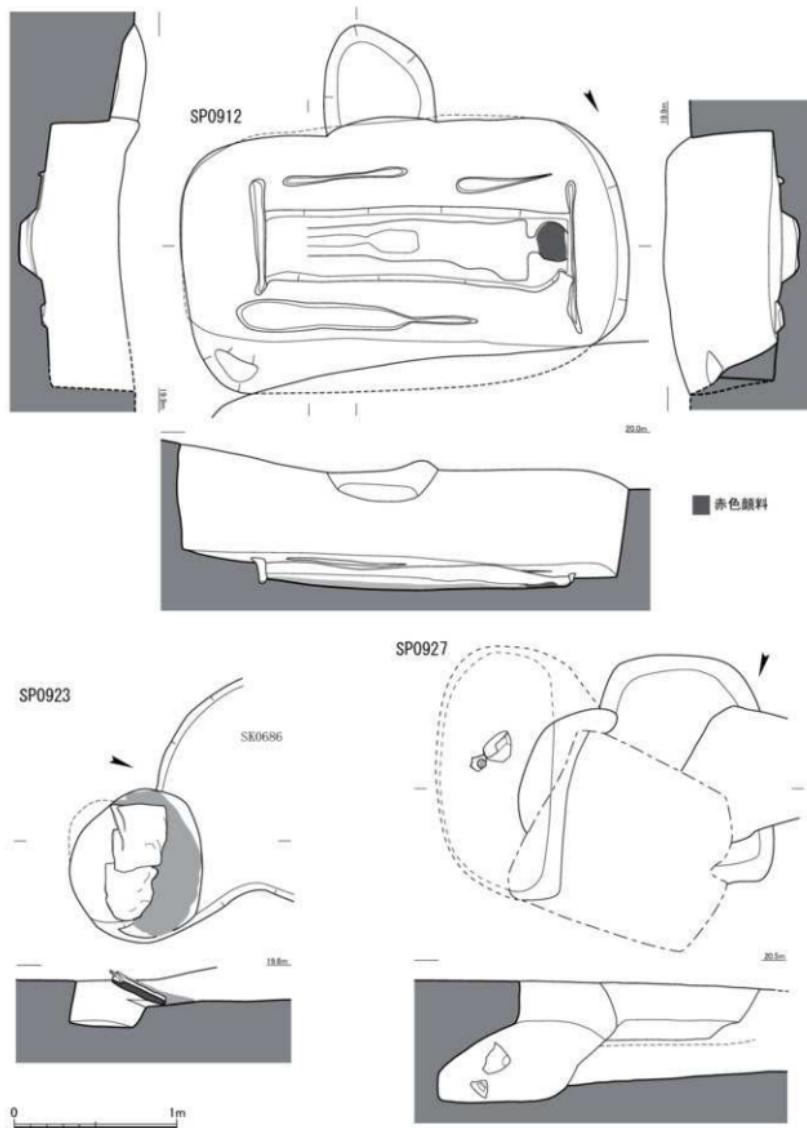


図 71 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 土坑墓・木棺墓 3 (1/30)

C 祭祀土坑

墓地に伴う祭祀土坑として、18基を報告する。SK0605は墓列の北側に位置する。平面不整形で、東端部に更に不整形の掘り込みを持つ。二段目の中位付近から土器が少量出土している。SK0606は墓列の北西側に位置する。平面不整円形で、内部は複数の掘り込みを持つ。中位付近から完形に近い土器がまとまって出土している。

SK0609は墓列中央やや北に位置し、4つの土坑が連結している。北側の(A)は内部に平面椭円形をなす2つの掘り込みを持つ。(B)は中央に位置し、複数の小土坑が重なっており、上層から土器がまとまって出土している。(C)は東に位置し、段掘りをなす單一の土坑である。中～上位から土器がまとまって出土している。(D)は南に位置する單一の土坑で、内外から土器が出土している。出土土器の時期に幅があることから、継続して利用されていたと考えられる。

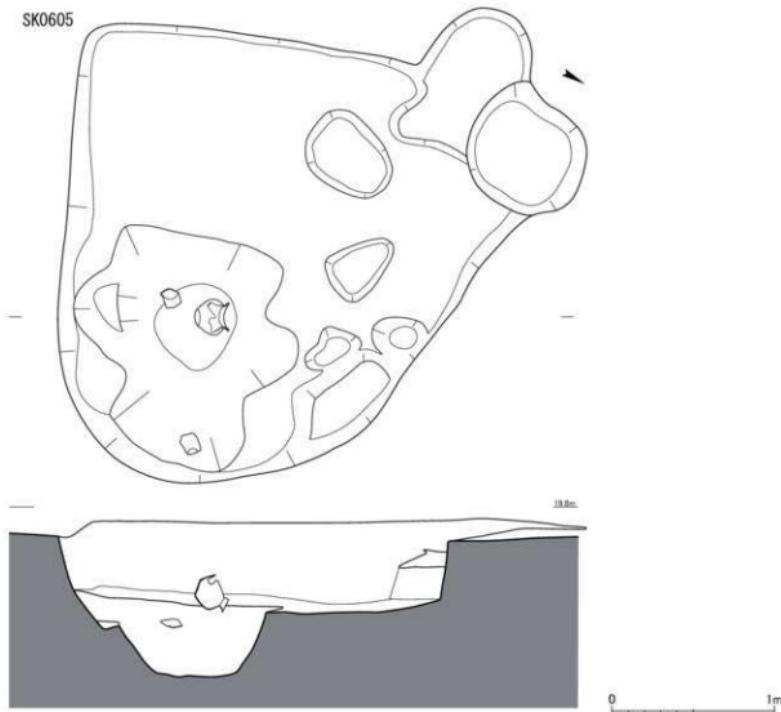


図 72 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑1 (1/30)

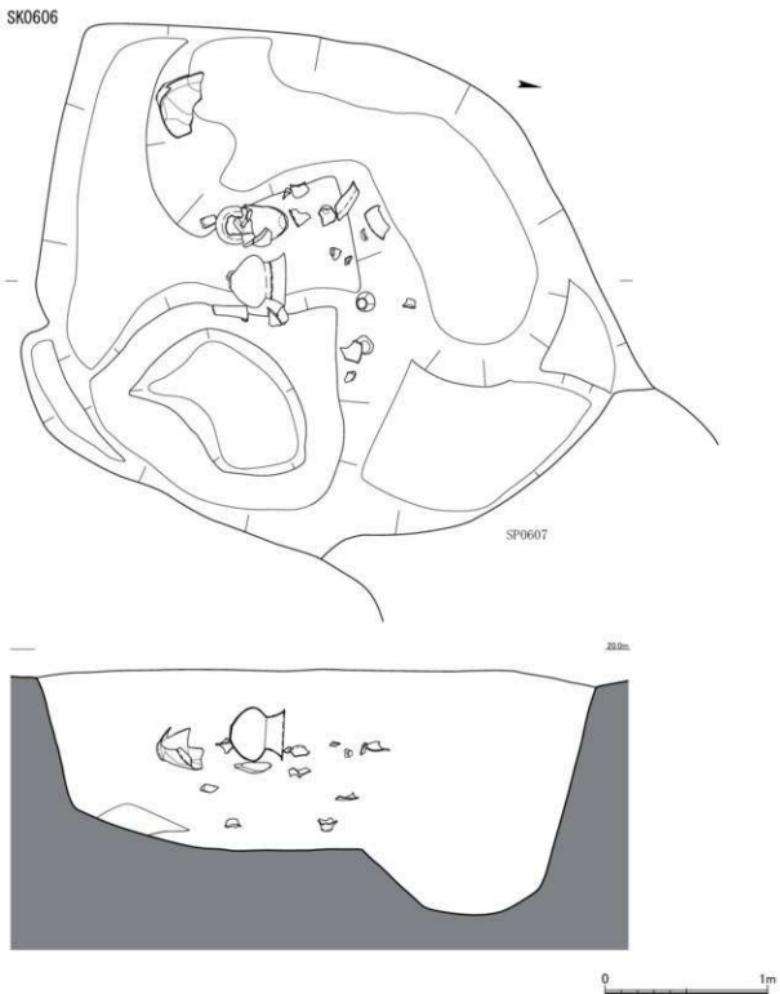


図 73 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑 2 (1/30)

SK0609

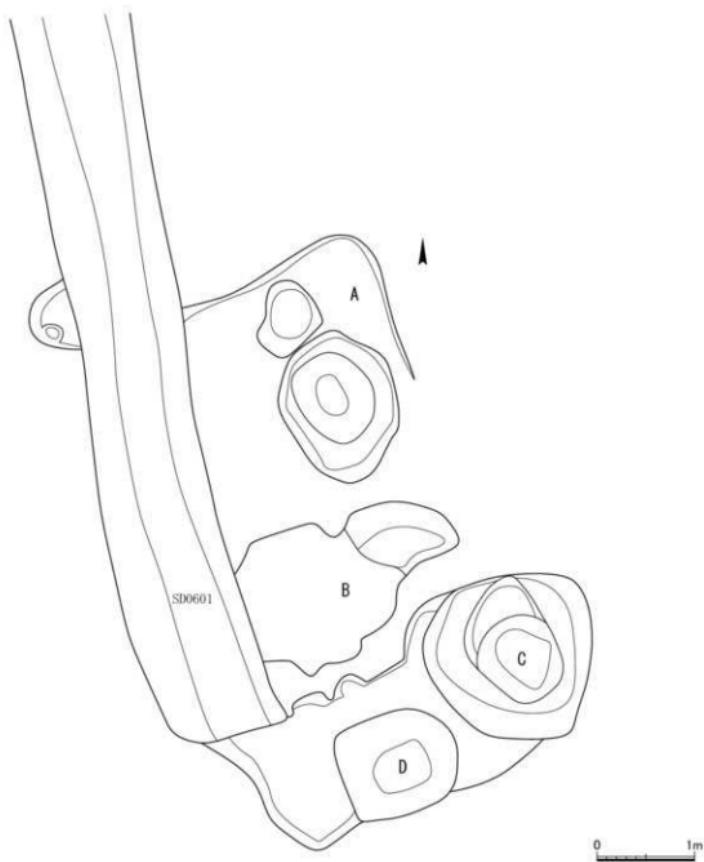
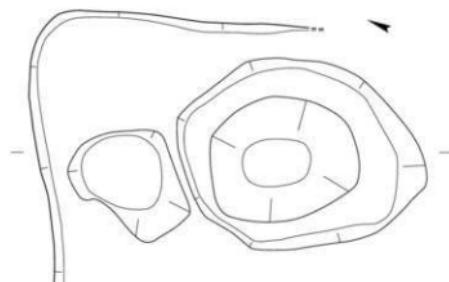


図 74 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑3 (1/50)

SK0609 (A)



SK0609 (B)

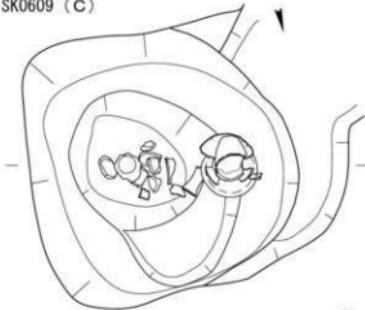


20.0m

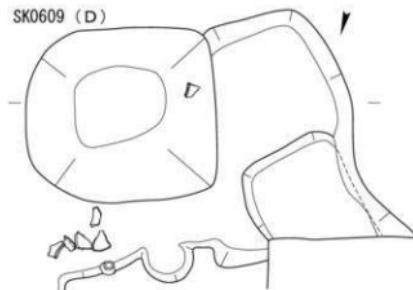
SD0601

20.0m

SK0609 (C)

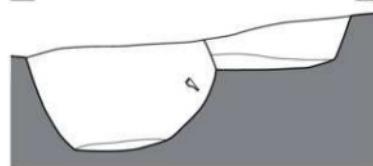
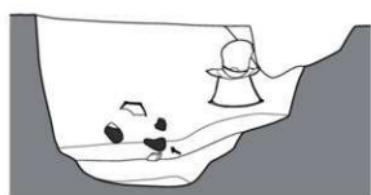


SK0609 (D)



20.0m

20.0m



0 1m

図 75 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑4 (1/30)

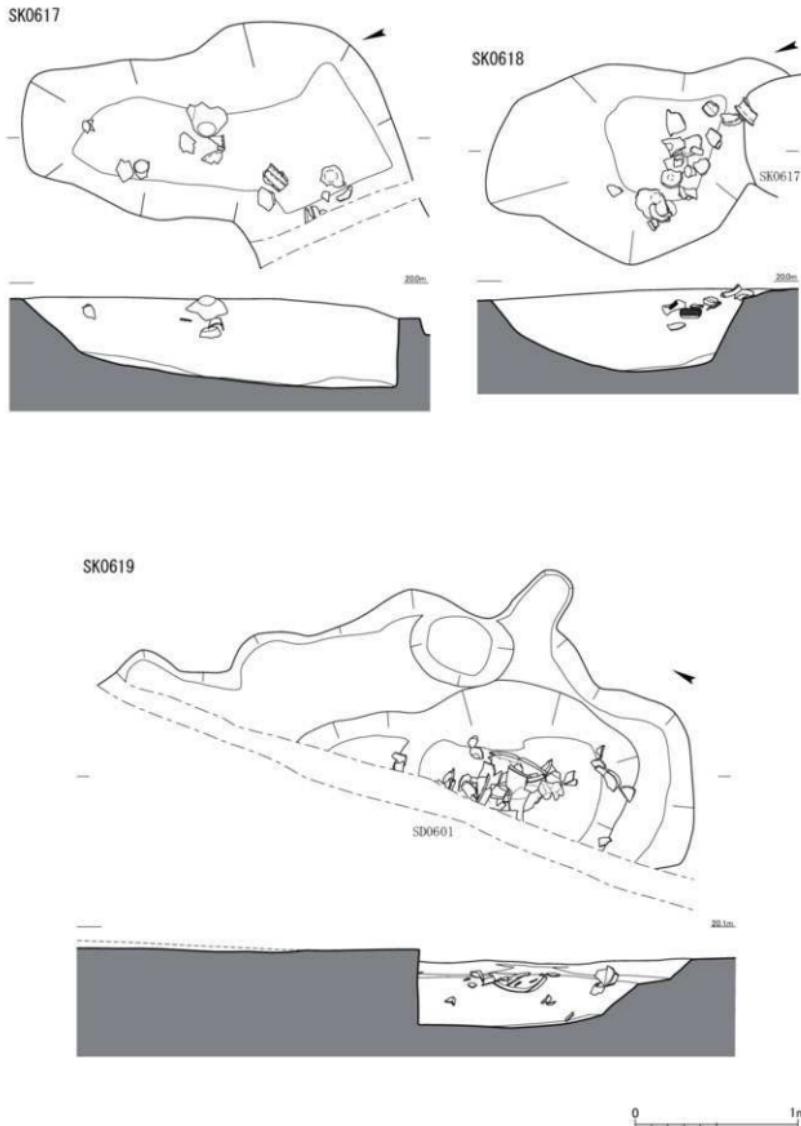


図 76 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑5 (1/30)

SK0656は墓列南端に位置する大型の土坑で、内部に2つの掘り込みを持つ。上面から土器がまとまって出土している。SK0813は本区域南端に位置する。平面長方形の内部に不整梢円形の掘り込みを持つ。土坑墓の可能性がある。SK0895は墓列の北側に位置する。平面梢円形で、両端が二段振りをなす。上面から土器が出土している。

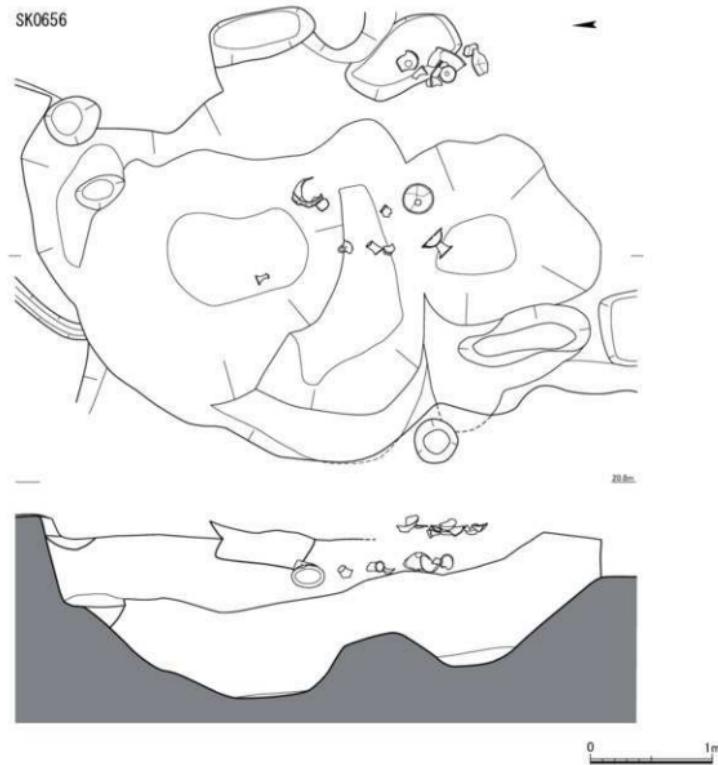
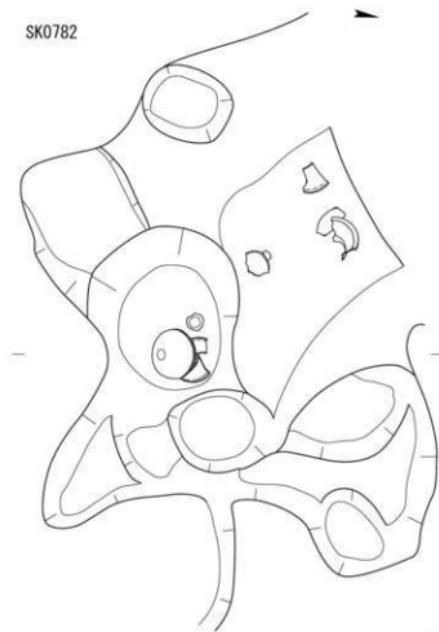


図77 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑6 (1/40)

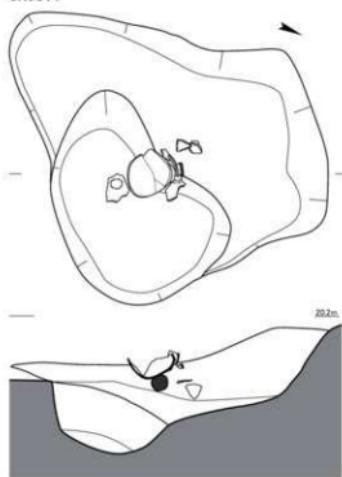
SK0686



SK0782



SK0811

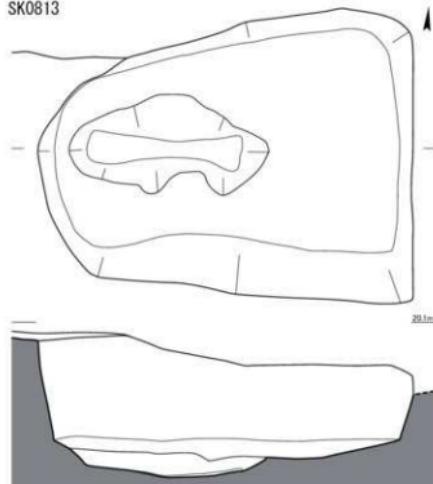


22.2m

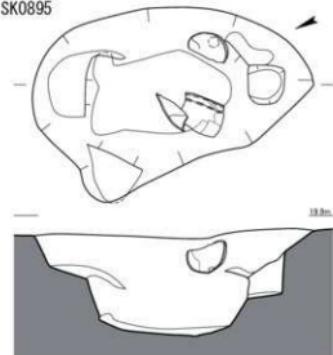
0 1m

図 78 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑7 (1/30)

SK0813



SK0895



SK0814

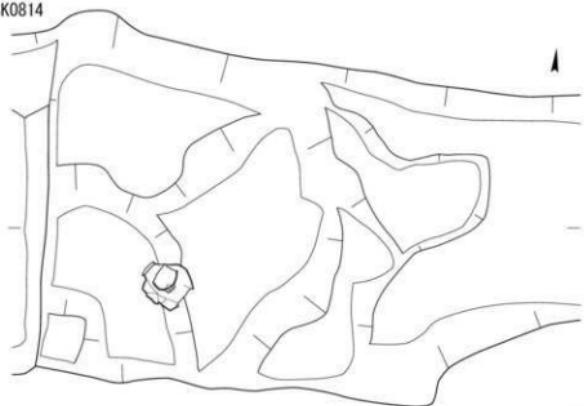


図 79 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑8 (1/30)

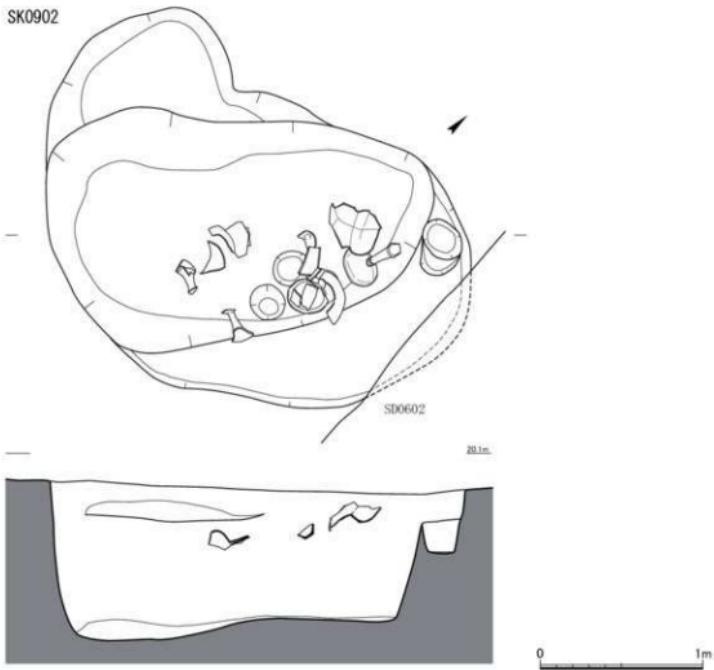


図80 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑9 (1/30)

表7 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑

遺構名	平面形	規模 m			新旧関係		時期	特記事項
		長軸	短軸	深さ	旧	新		
SK0605	不整	2.91	2.83	0.98			中期前半	
SK0606	不整円	3.89	3.27	1.51			中期後半	
SK0609 (A)	不整			0.75		SD0601	中期後半	
SK0609 (B)	不整			0.75		SD0601	中期前半～後半	
SK0609 (C)	円	2.0	1.6	1.0			中期前半	
SK0609 (D)	楕円	2.0		0.64			中期	
SK0614	方?	0.76+	0.34+			SD0604	中期前半	
SK0617	不整	2.4	1.35	0.55	SK0618		中期末～後期初頭	
SK0618	不整	1.87	1.27	0.51		SK0617	中期後半～末	磨製石剣

表7 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑

遺構名	平面形	規模 m			新旧関係		時期	特記事項
		長軸	短軸	深さ	旧	新		
SK0619	不整	3.55	1.83	0.45		SD0601	中前期～末	
SK0638	不整	3.81	3.19			SD0601	中期前半	
SK0656	不整	4.75	3.03	1.52			中后期半	
SK0686	楕円	1.66	1.34			SP0923	中后期半	
SK0748	不整	1.63	1.03+			SD0603	中后期半	
SK0782	不整	2.64	2.43	1.06	SK0881		中期後半～末	
SK0811	不整	1.97	1.81	0.78			中期前半？	
SK0813	長方	2.32	1.8	0.87			中后期半	土坑墓か
SK0814	不整			0.93			脊生	
SK0881	円	2.41	2.31	1.81	SJ0746	SK0782	中前期半	
SK0895	楕円	1.74	1.2	0.66			中期	
SK0902	楕円	2.61	2.46	0.98		SD0602	中后期半～末	

(3) 出土遺物

弥生時代の墳墓に伴う遺物として、喪棺、土器、石器・石製品、鉄器が出土した。

A 喪棺

1は SJ0665 上喪。口縁は内外に突出する断面T字形で、器形は砲弾形をなす。胴部下位に断面三角形の突帯が1条巡る。内外面ナデである。2は SJ0665 下喪。口縁は内外に突出する断面T字形で、器形は胴部上位が僅かに膨らむ砲弾形をなす。胴部下位に断面三角形の突帯が2条巡るが、下の突帯は途中で途切れている。内外面ナデで、内面に工具痕が残る。3は SJ0722 下喪。口縁は内外に突出する断面T字形で、器形は胴部上位がやや膨らむ。胴部下位に断面M字形の突帯が2条巡る。4は SJ0769 下喪。口縁は内側に突出し、器形は胴部上位が僅かに膨らむ砲弾形をなす。胴部下位に断面M字形の突帯が1条巡る。5は SJ0675 下喪。小型の喪で、口縁は内側に僅かに突出する断面逆L字形で、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。器形は胴部上位がやや膨らみ、平底をなす。外面ハケメ、内面ナデである。6は SJ0760 下喪。小型の喪で、口縁断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。器形は胴部上位が膨らみ、平底をなす。外面ハケメ、内面ナデである。7は SJ0800 下喪。口縁は直行し上面に粘土帯が貼り付けられる。器形は胴部上位が僅かに膨らみ、平底をなす。胴部上位に横方向の沈線が2条ずつ巡り、その間に縱方向の沈線が4本単位で施される。

8は SJ0781 下喪。口縁は内外に突出する断面T字形で、器形は砲弾形をなす。胴部下位に断面三角形の突帯が2条巡る。底部外面にハケメが残る。9は SJ0831 下喪。口縁は内外に突出し、上面は外傾する。器形は胴部上半が膨らみ、中位に断面三角形の突帯が2条巡る。内外面黒塗りが施される。

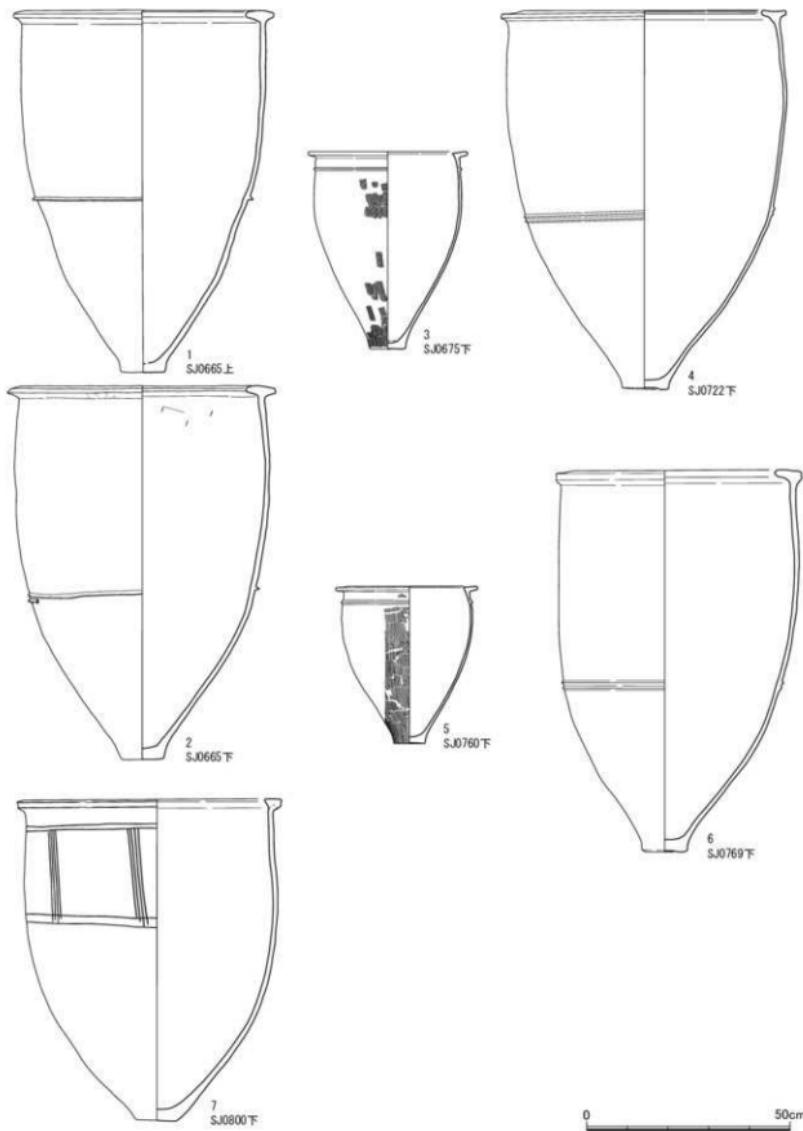


図 81 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 壺棺1 (1/12)

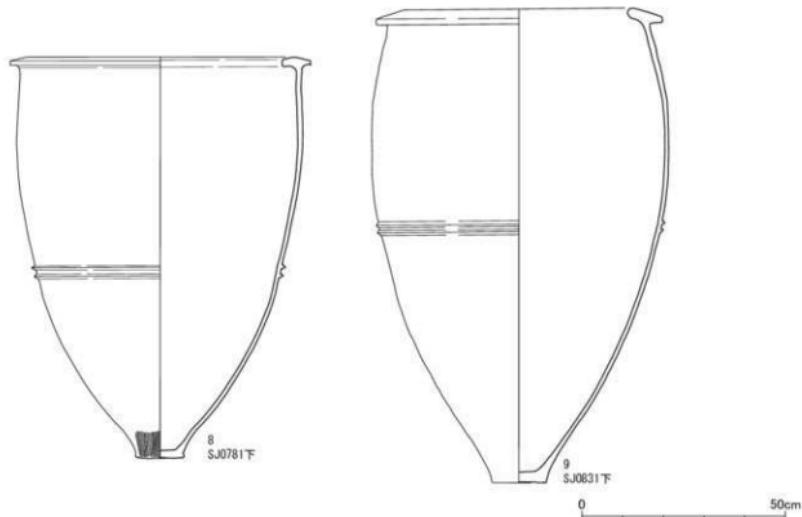


図82 吉野ヶ里丘陵地区III区 窯棺2 (1/12)

表8 吉野ヶ里丘陵地区III区 出土窯棺

掲図-番号	佐賀県遺物登録番号	道構番号	器種	寸法cm			色調		備考
				L径	底径	器高	外面	内面	
図81-1	070003972	SJ0665 上	窯棺	63.6*	10.8*	89.0	褐	にぶい黄褐	
図81-2	070003973	SJ0665 下	窯棺	64.8	10.6	91.8	褐	にぶい黄褐	
図81-3	13000184	SJ0675 下	甕	39.1	8.7	48.6	明褐色	明褐色	
図81-4	13000164	SJ0722 下	窯棺	70.2	11.5	93.0	明黃褐色	明黃褐色	
図81-5	13000165	SJ0760 下	甕	34.9*	7.6	38.7	明黃褐色	明黃褐色	
図81-6	11000693	SJ0769 下	窯棺	60.2	11.2	94.0	淡褐色	淡褐色	
図81-7	92001282	SJ0800 下	窯棺	73.2	10.2*	79.0	明褐色	暗褐色	
図82-8	04001512	SJ0781 下	窯棺	74.0	11.8	98.7	褐	褐	
図82-9	07002778	SJ0831 下	窯棺	53.2	13.2	116.2	明黃褐色	明黃褐色	内外面墨塗り

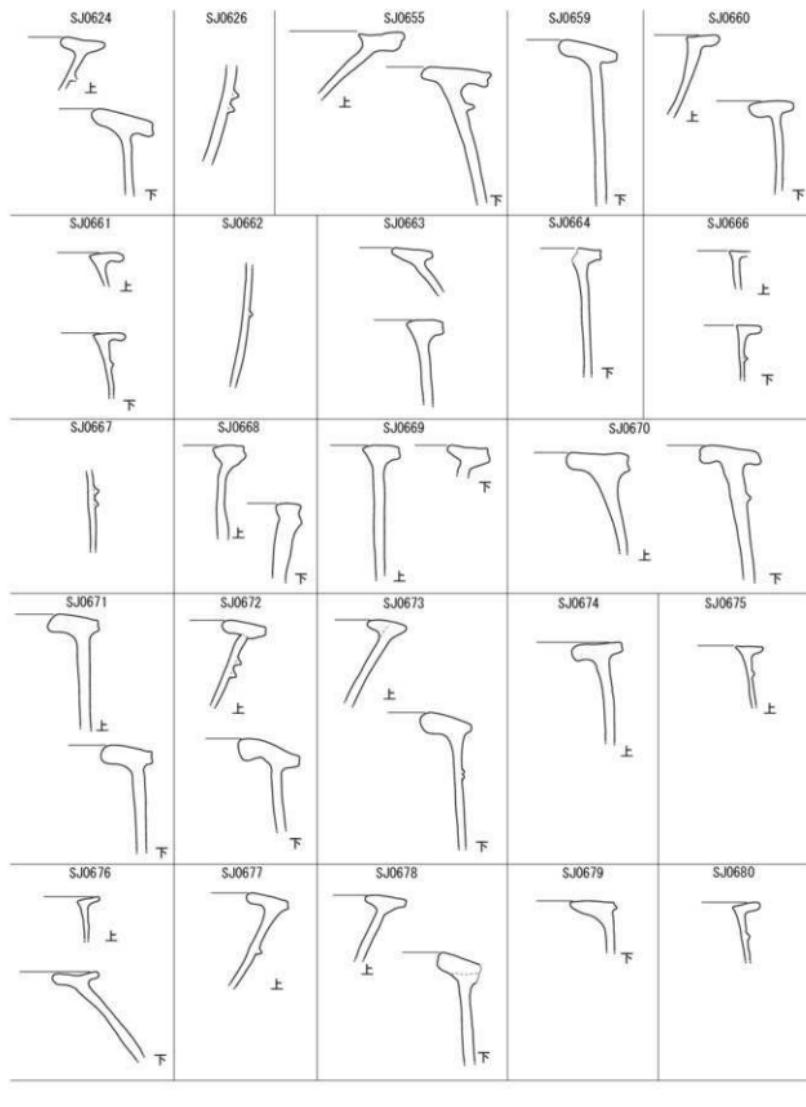


図83 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺部分実測1 (1/6)

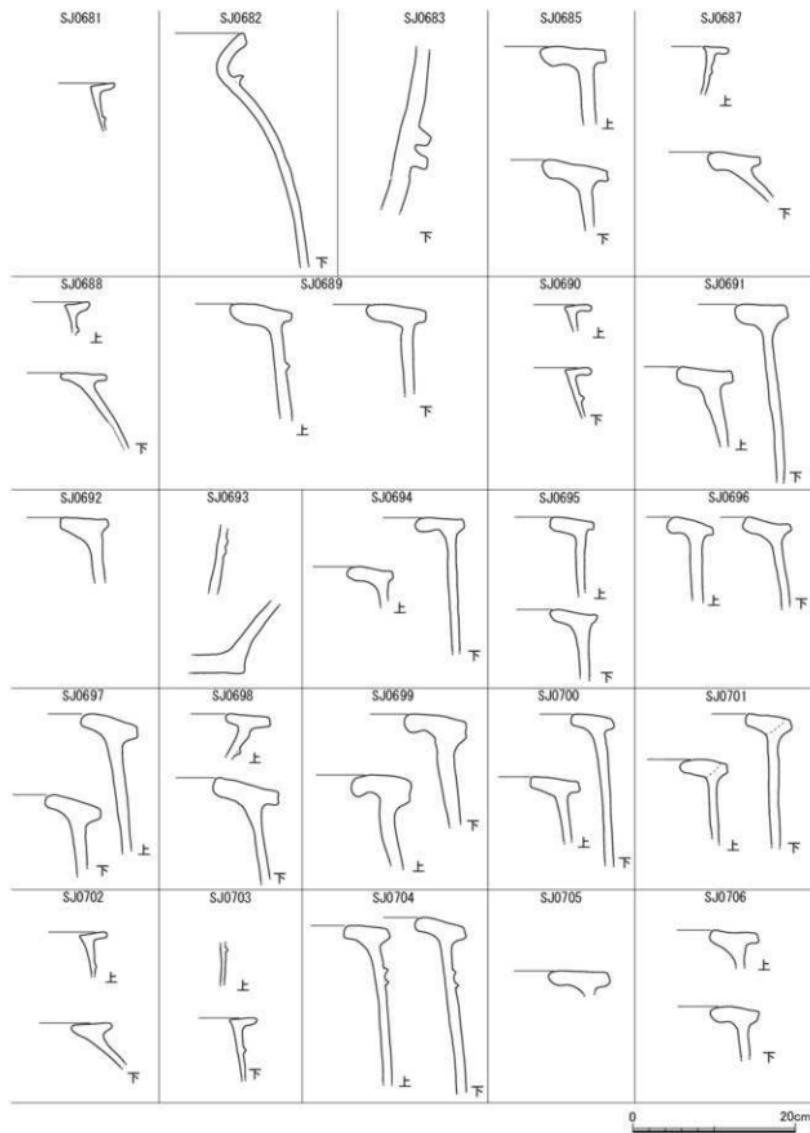


図 84 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺部分実測 2 (1/6)

表9 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 出土漆棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	遺種	備考	遺種	備考		
SJ0624	鉢		甕			15001169・15001170
SJ0626				上下不明		15001171
SJ0655	鉢		甕			15001172・15001176
SJ0659			甕			15001173
SJ0660	鉢		甕			15001174・15001175
SJ0661	甕		甕			15001177・15001178
SJ0662				上下不明		15001179
SJ0663				上下不明		15001180・15001181
SJ0664			甕	口縁内面打欠		15001182
SJ0666	甕		甕			15001183・15001184
SJ0667				上下不明		15001185
SJ0668	甕		甕			15001186・15001187
SJ0669	甕		甕			15001188・15001189
SJ0670	甕		甕			15001190・15001191
SJ0671	甕		甕			15001192・15001193
SJ0672	鉢		甕			15001194・15001195
SJ0673	鉢		甕			15001196・15001197
SJ0674	甕					15001053
SJ0675	甕					14000058
SJ0676	甕		甕			15001055・15001056
SJ0677	鉢					15001057
SJ0678	鉢		甕			15001058・15001059
SJ0679			甕			15001060
SJ0680				上下不明		15001061
SJ0681				上下不明		15001062
SJ0682			甕	單相か		15001074
SJ0683			甕			15001075
SJ0685	甕		甕			15001076・15001077
SJ0687	鉢		甕			15001078・15001079
SJ0688	甕		甕			15001080・15001081
SJ0689	甕		甕			15001083・15001084
SJ0690	甕		甕			15001085・15001086
SJ0691	甕		甕			15001087・15001088
SJ0692				上下不明		15001071
SJ0693				上下不明		15001069・15001070
SJ0694	甕		甕			15001072・15001073
SJ0695	甕		甕			15001082・15001083
SJ0696	甕		甕			15001084・15001085
SJ0697	甕		甕			15001086・15001087
SJ0698	鉢		甕			15001088・15001089
SJ0699	甕		甕			15001090・15001091
SJ0700	甕		甕			15001092・15001093
SJ0701	甕		甕			15001094・15001095
SJ0702	甕		甕			15001096・15001097
SJ0703	甕		甕			15001098・15001099
SJ0704	甕		甕			15001100・15001101
SJ0705				上下不明		15001102
SJ0706	甕		甕			15001103・15001104

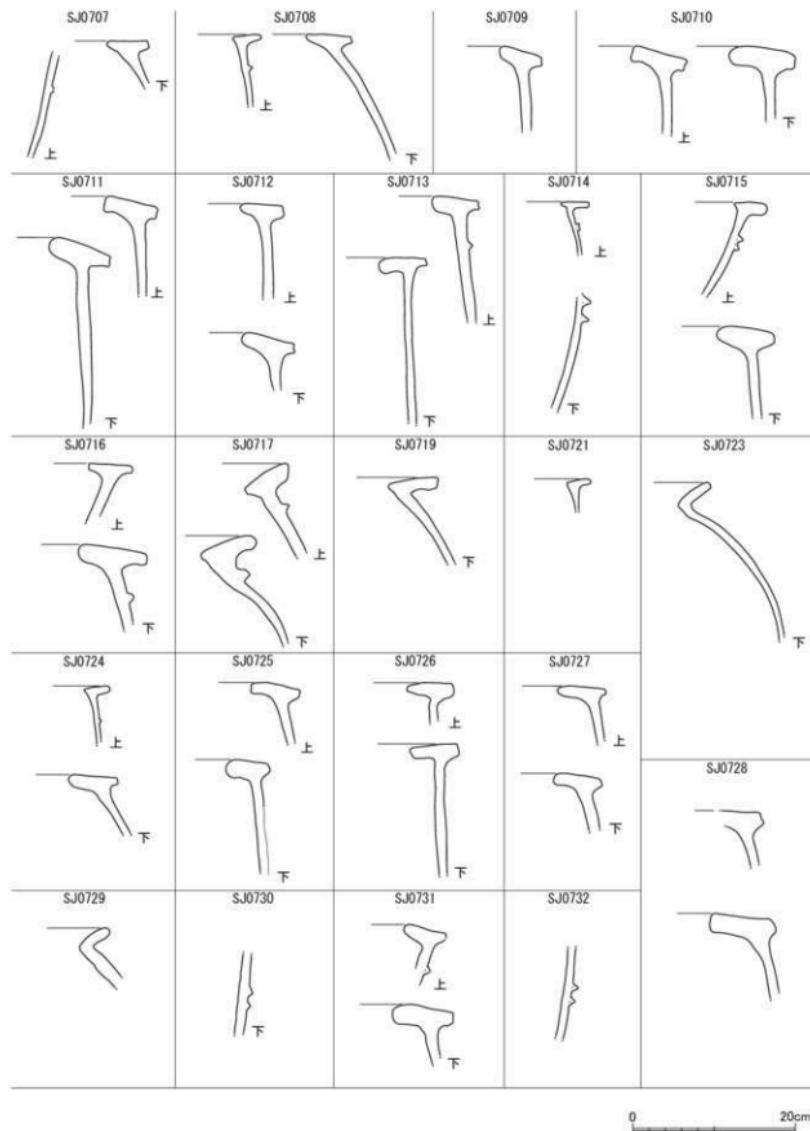


図 85 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 瓦棺部分実測 3 (1/6)

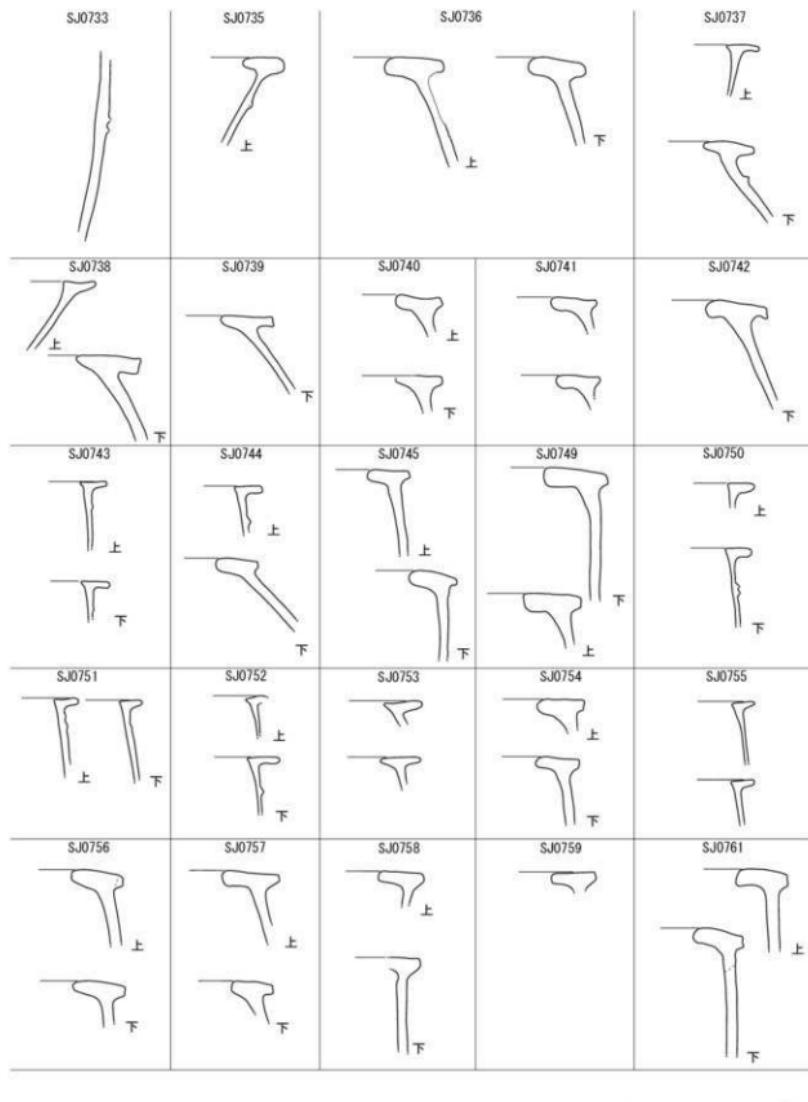
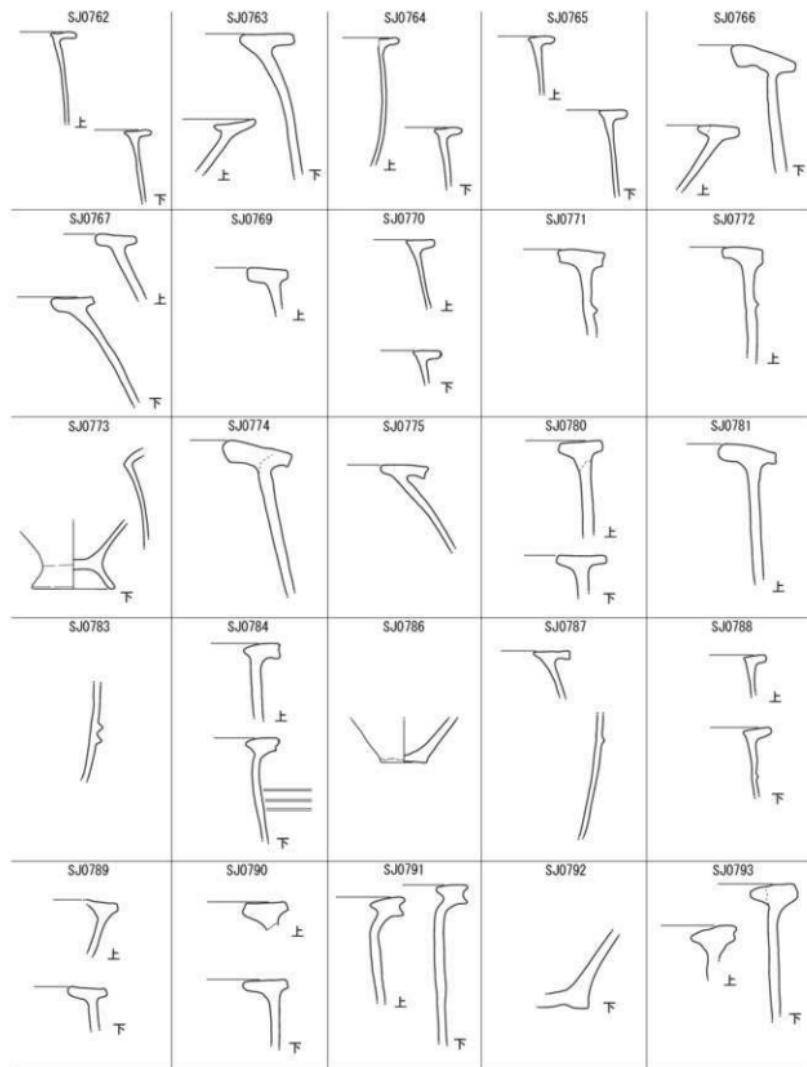


図 86 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 罹棺部分実測4 (1/6)

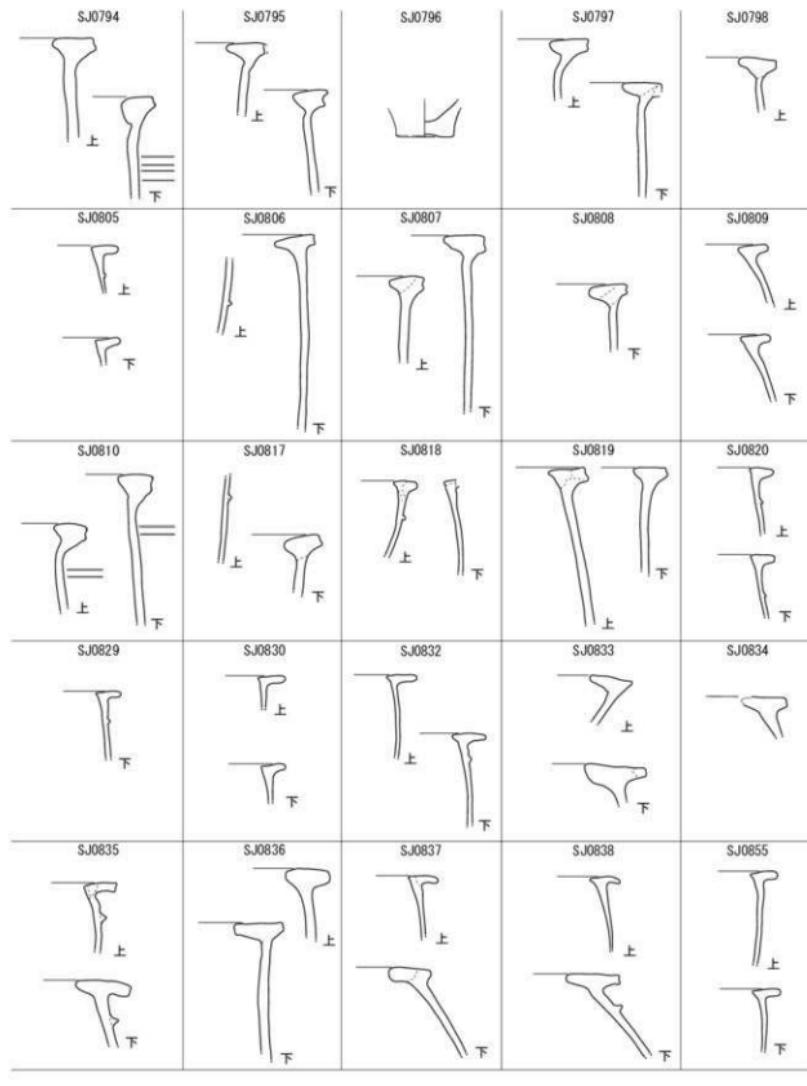
表9 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 出土漆棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0707	甕		甕			15001105・15001106
SJ0708	甕		甕			15001107・15001108
SJ0709					上下不明	15001153
SJ0710	甕		甕			15001154・15001155
SJ0711	甕		甕			15001156・15001157
SJ0712	甕		甕			15001158・15001159
SJ0713	甕		甕			15001169・15001110
SJ0714	甕		甕			15001111・15001112
SJ0715	鉢		甕			15001113・15001114
SJ0716	鉢		甕			15001115・15001116
SJ0717	甕		甕			15001117・15001118
SJ0719			甕			15001119
SJ0721					上下不明	15001120
SJ0723			甕		木蓋か	15001121
SJ0724	甕		甕			15001122・15001123
SJ0725	甕		甕	外面一部剥落		15001124・15001125
SJ0726	甕		甕			15001126・15001127
SJ0727	甕		甕			15001128・15001129
SJ0728					上下不明	15001160・15001161
SJ0729					下攢か	15001162
SJ0730			甕			15001163
SJ0731	鉢		甕			15001164・15001165
SJ0732					上下不明	15001166
SJ0733					上下不明・混入か	15001167
SJ0735	鉢					15001130
SJ0736	甕	外面一部剥落	甕			15001131・15001132
SJ0737	鉢		甕			15001133・15001134
SJ0738	鉢		甕			15001135・15001136
SJ0739			甕			15001137
SJ0740	甕		甕			15001138・15001139
SJ0741					上下不明	15001140・15001141
SJ0742			甕			15001142
SJ0743	甕		甕			15001143・15001144
SJ0744	甕		甕			15001145・15001146
SJ0745	甕		甕			15001147・15001148
SJ0749	甕		甕			15001149・15001150
SJ0750	甕		甕			15001151・15001152
SJ0751	甕		甕			15001026・15001027
SJ0752	甕	口縁端部欠損	甕			15001028・15001029
SJ0753					上下不明	15001030・15001031
SJ0754	甕		甕			15001032・15001033
SJ0755					上下不明	15001034・15001035
SJ0756	甕		甕			15001036・15001037
SJ0757	甕		甕			15001038・15001039
SJ0758	甕		甕	口縁内面欠損		15001040・15001041
SJ0759					上下不明	15001042
SJ0761	甕		甕			15001043・15001044



0 20cm

図 87 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区・斐棺部分実測 5 (1/6)

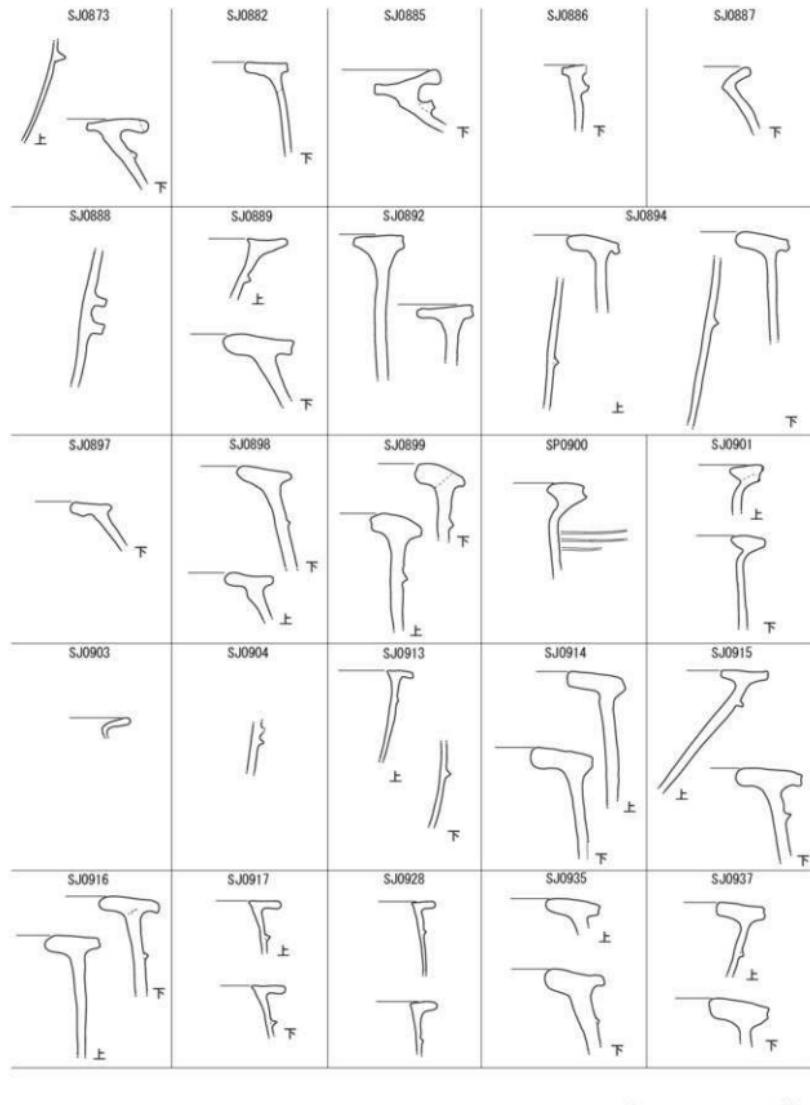


0 20cm

図 88 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区・斐棺部分実測6 (1/6)

表9 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 出土漆棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0762	甕		甕			15001045・15001046
SJ0763	鉢		甕			15001047・15001048
SJ0764	甕	口縁内面打欠	甕			15001049・15001050
SJ0765	甕		甕			15001051・15001052
SJ0766	鉢		甕			15001251・15001252
SJ0767	甕		甕			15001253・15001254
SJ0769	甕					15001255
SJ0770	甕		甕	口縁削目		15001256・15001257
SJ0771					上下不明	15001258
SJ0772	甕					15001259
SJ0773		甕	上げ底			15001261・15001262
SJ0774					上下不明	15001263
SJ0775					上下不明	15001264
SJ0780	甕		甕			15001265・15001266
SJ0781	甕					15001267
SJ0783					上下不明	15001268
SJ0784	甕	口縁削目	甕	口縁削目・沈線		15001269・15001270
SJ0786					上下不明・混入か	15001271
SJ0787					上下不明	15001272・15001273
SJ0788	甕		甕			15001274・15001275
SJ0789	鉢	口縁内面欠損	甕			15001276・15001277
SJ0790	甕		甕			15001278・15001279
SJ0791	甕		甕			15001280・15001281
SJ0792	甕		甕			15001198
SJ0793	甕		甕			15001199・15001200
SJ0794	甕		甕	口縁削目・沈線		15001201・15001202
SJ0795	甕	口縁削目	甕			15001203・15001204
SJ0796					上下不明	15001205
SJ0797	甕		甕			15001206・15001207
SJ0798	甕		甕			15001208
SJ0805	甕		甕			15001209・15001210
SJ0806	甕		甕			15001211・15001212
SJ0807	甕		甕			15001213・15001214
SJ0808		甕			木蓋か	15001215
SJ0809	甕		甕			15001216・15001217
SJ0810	甕	口縁削目・沈線	甕	口縁削目・沈線		15001218・15001219
SJ0817	甕		甕			15001220・15001221
SJ0818	甕		甕	口縁外面打欠?		15001222・15001223
SJ0819	甕		甕			15001224・15001225
SJ0820	甕		甕			15001226・15001227
SJ0829			甕			15001229
SJ0830	甕		甕			15001230・15001231
SJ0832	甕		甕			15001232・15001233
SJ0833	鉢		甕			15001234・15001235
SJ0834					上下不明・口縁内面打欠	15001236
SJ0835	甕		甕			15001237・15001238
SJ0836	甕		甕			15001239・15001240
SJ0837	甕		甕			15001241・15001242
SJ0838	甕		甕			15001243・15001244
SJ0855	甕		甕			15001245・15001246



0 20cm

図 89 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 罂棺部分実測7 (1/6)

表9 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 出土甕棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	遺種	備考	遺種	備考		
SJ0873	甕		甕			15001247・15001248
SJ0882			甕			15001249
SJ0885			甕			15001250
SJ0886			甕 口縁外面打欠			14000659
SJ0887			甕		石蓋単棺	14000660
SJ0888					上下不明	14000661
SJ0889	鉢		甕			14000662・14000663
SJ0892	甕		甕		上下不明	14000664・14000665
SJ0894	甕	黒塗り	甕	黒塗り		14000666・14000667
SJ0897			甕			14000668
SJ0898	甕	黒塗り	甕	黒塗り		14000669・14000670
SJ0899	甕	黒塗り	甕	黒塗り		14000671・14000672
SJ0900					土坑墓の痕差	15001282
SJ0901	甕	口縁刷目	甕			15001283・15001284
SJ0903					上下不明	15001285
SJ0904					上下不明(南)	15001286
SJ0913	鉢		甕			15001287・15001288
SJ0914	甕		甕			15001289・15001290
SJ0915	鉢		甕			15001291・15001292
SJ0916	甕		甕			15001293・15001294
SJ0917	甕		甕			15001295・15001296
SJ0928	甕		甕		上下不明	15001297・15001298
SJ0935	甕		甕			15001299・15001300
SJ0937	鉢		甕			15001301・15001302

B 土器

10～184は祭祀土坑から出土した土器である。10・11はSK0605から出土した。10は小型の高环で、受部は楕形をなす。外面ミガキが施される。11は広口壺で、器形は胴部が丸みを帯びる。底部は幅広で、僅かに上げ底をなす。外面ミガキが施される。

12～21はSK0606から出土した。12～16は甌である。12・14は口縁が内側にやや突出する断面逆L字形で、外面ハケメが施される。13は口縁が内外に突出し、外面端部に刻目が施される。口縁下には断面M字形の突帯が1条巡る。内外面ミガキが施される。15は樽形甌で、口縁は上面が水平な断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。器形は胴部が張り出さず、底部は僅かに上げ底をなす。16は壺底部で、僅かに上げ底をなす。外面ミガキが施される。17は鉢先口縁の高环で、内面ミガキが施される。18は口縁断面三角形の鉢で、内面ミガキが施される。19は筒形容器台で、体部の4ヶ所に長方形の透孔を持つ。外面ミガキが施される。

20は鉢先口縁の広口壺で、口径は胴部最大径よりも大きい。頸部下位に断面三角形の突帯が1条巡る。外面ミガキが施される。21は壺で、胴部中位と上位に断面M字形の突帯が2条巡る。外面ミガキが施され、底部付近は縱方向、胴部中位は横方向である。

22～26はSK0609(A)から出土した。22は鉢先口縁の広口壺で、頸部に断面三角形の突帯が1条巡る。23は樽形甌の底部、24は甌底部で外面ハケメが施される。25は鉢先口縁の高环である。26は鉢で、口縁断面は内側に僅かに突出する逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。外面ハケメが施される。

27～37はSK0609(B)から出土した。27は甌で、口縁に刻目を施した断面三角形の突帯が貼り付けられる。28・29は口縁が内側に突出する断面逆L字形の甌で、29は口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。30は蓋で、上面は浅く窪む。外面ハケメが施される。31は上げ底の甌底部で、外面ハケメが施される。32は小型の甌で、外面にハケメが残る。33は高环で、口縁は上面が僅かに外傾し断面逆L字形をなす。受部は深い半円形で、脚部は短い。34は広口壺の口縁部で、外面に縱方向のミガキが施される。35は鉢先口縁の広口壺で、外面に縱方向の暗文が等間隔で施される。内面は不定方向のミガキが施される。36は鉢先口縁壺で、頸部は短く直線的に外反する。器形は胴部上位が強く膨らみ、肩部に断面三角形の突帯が2条巡る。37は器形が丸みを帯びる中型甌の口縁部である。

38～42はSK0609(C)から出土した。38は甌で、口縁断面は内側に僅かに突出し、外側は厚手の断面逆L字形をなす。外面ハケメが施される。39・40は甌底部で、僅かに上げ底をなす。41は器台で、受部径より裾部径がやや広い。42は鉢先口縁の広口壺で、口径が胴部最大径よりも僅かに大きい。胴部は上位が膨らみ、断面M字形の突帯が2条巡る。頸部外面は縱方向のミガキ、胴部は横方向のミガキが施される。

43～57はSK0609から出土した。43は鉢で、口縁断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。44～47は甌口縁部である。44～46は口縁断面逆L字形で、器形は胴部の膨らみが弱い。44・45は口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。47は口縁が内外に長く突出し、断面T字形をなす。口縁下に断面M字形の突帯が1条巡る。48は広口壺。49は鉢先口縁の広口壺で、頸部外面に縱方向の暗文が等間隔に施される。50は甌胴部で、最大径の位置に断面M字形の突帯が巡る。外面ミガキが施される。51は樽形甌で、口縁は上面が平坦な断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。胴部の膨らみはなく、底部は平底をなす。52・53は甌底部で、外面ハケメが施される。54・55は樽形甌の底部で、

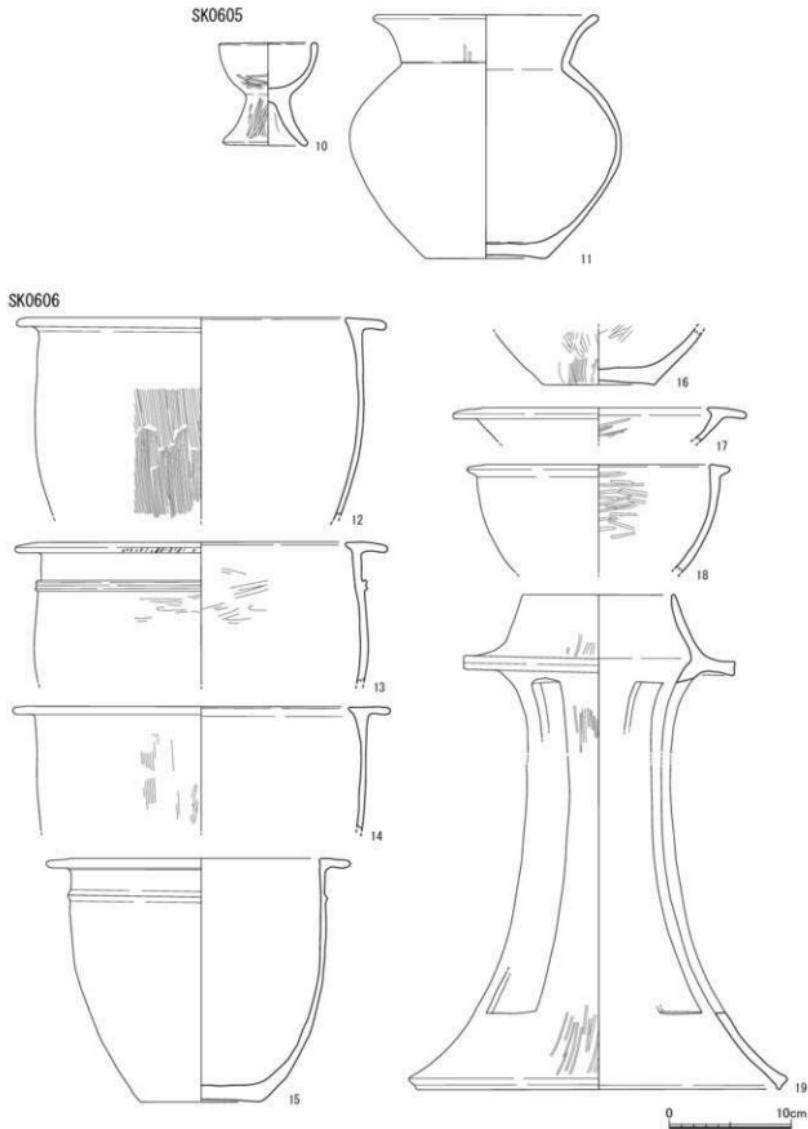


図90 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器1 (1/4)

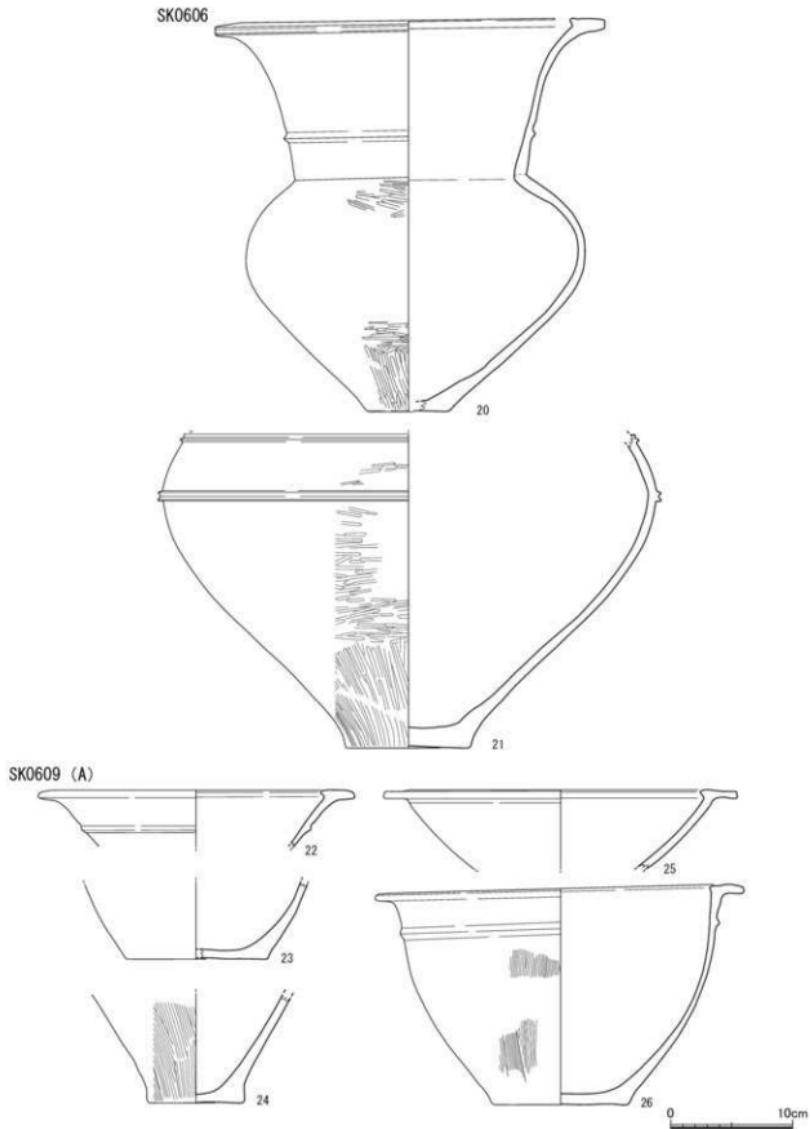


図 91 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 2 (1/4)

SK0609 (B)

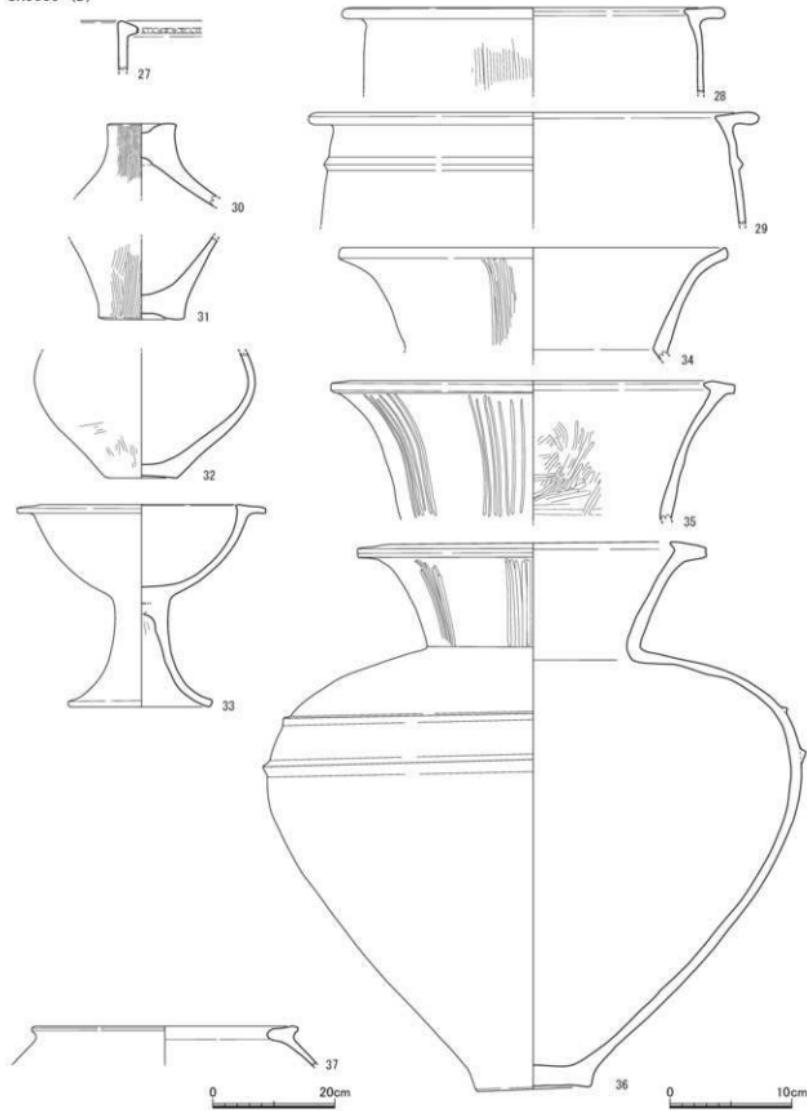


図 92 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 3 (37は1/8、他は1/4)

SK0609 (C)

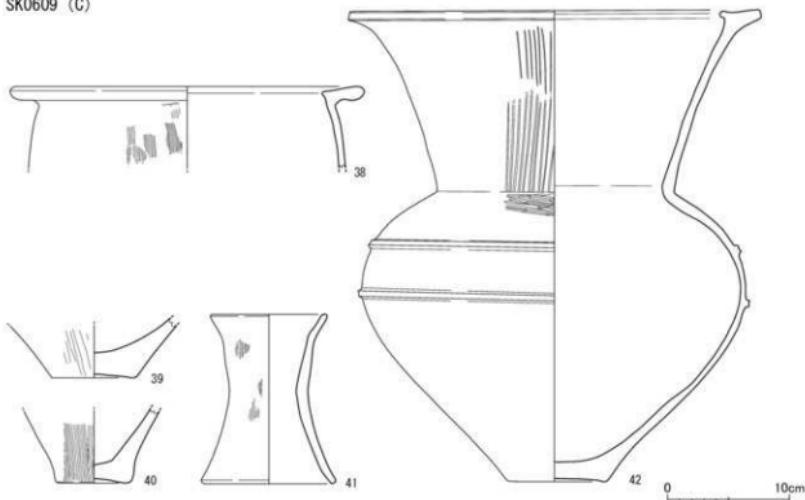


図93 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑出土土器4 (1/4)

55は底部内面に指オサエが残る。56・57は器台で、受部径よりも裾部径が大きい。内外面ハケメが施される。

58～60はSK0614から出土した。58は高坏で、脚部を欠損する。口縁は内と外に突出する。内面ミガキが施される。59は壺で、口縁断面逆L字状をなし、上面は内傾する。口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。60は器台で、器形は受部と裾部の径がほぼ等しい。内外面に粗いハケメが施される。

61～71はSK0617から出土した。61～63は断面「く」字状口縁の壺である。61は上面が湾曲し、62は端部が肥厚する。63は端部がさらに厚く、口縁下に断面三角形の突帯が2条巡る。64は袋状口縁壺の肩部で、断面台形状の突帯が2条巡る。65は頸部が短い広口壺で、内面ミガキが施される。66は鈴先口縁の広口壺である。67は口縁断面逆L字状の壺で、上面は浅く窪む。68は鉢で、口縁は短く緩やかに外反する。69は壺底部で、僅かに上げ底をなす。70は樽形壺底部、71は平底の壺底部である。

72～82はSK0618から出土した。72～74は口縁断面「く」字状の壺で、73は口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。75・76は口縁断面が萌芽的な「く」字状の壺である。77は口縁断面逆L字状の壺で、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。78は平底の壺底部である。79は鉢で、口縁は僅かに内湾する。80は支脚で、外面指オサエが残る。81は壺で、頸部は短く直線的に立ち上がり、口縁端部は外反する。頸部下に断面三角形の突帯が1条巡る。82は鈴先口縁の広口壺で、全体的に摩耗しているが、頸部外面にミガキが残る。

83～90はSK0619から出土した。83は鈴先状口縁の広口壺である。84～86は口縁断面逆L字状の壺で、84は内外に突出し、85は上面が窪む。86は外面ハケメが施される。87は樽形壺の底部で、僅かに上げ底をなす。88・89は上げ底の壺底部で、外面ハケメが施される。90は壺底部で、外面ミガキが施される。

SK0609-括

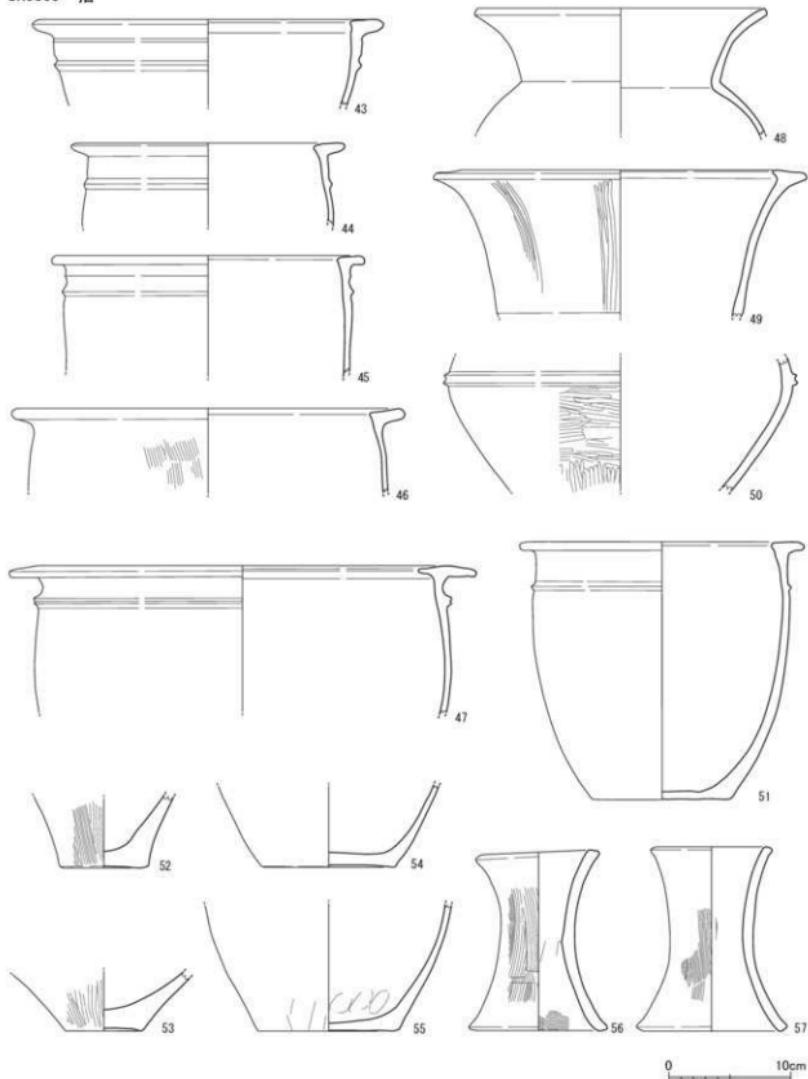


図 94 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑出土土器5 (1/4)

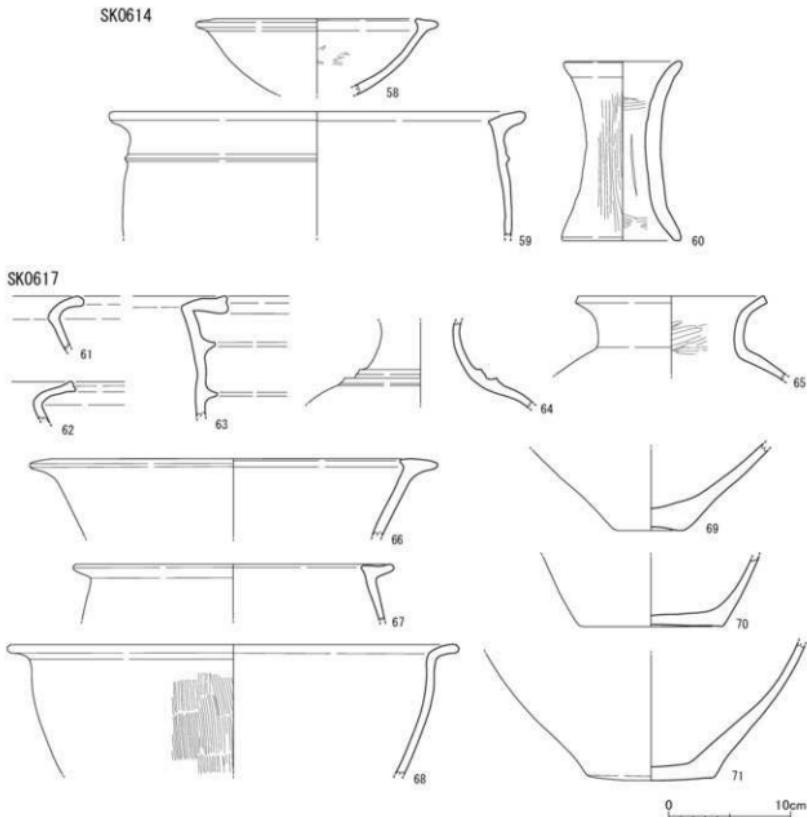
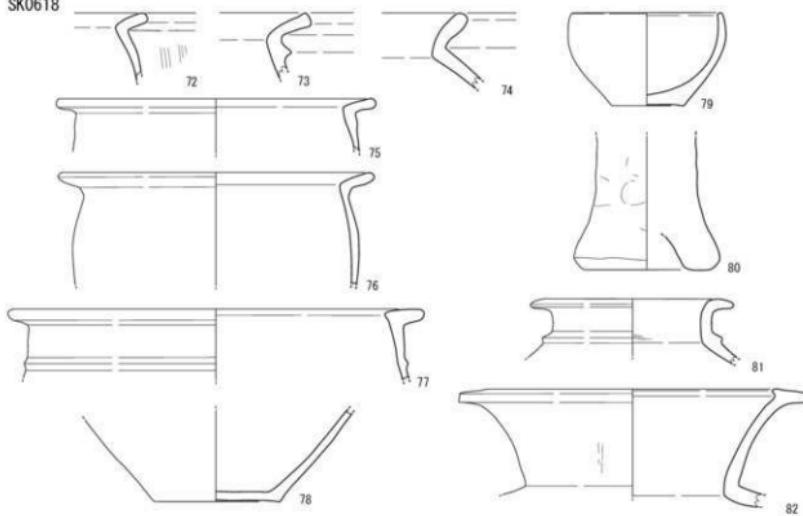


図 95 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器6 (1/4)

91～100はSK0638から出土した。91・92は甌で、口縁断面逆L字形をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。91は内面上に指オサエが残る。93・94は甌底部で、94は僅かに上げ底をなし、外面ハケメが施される。95・96は甌底部である。95は平底で、外面細かいハケメが施され、内面指オサエが残る。96は上げ底である。97・98は器台で、ともに下半部を欠損する。器形は97が上下対称、98は上位にくびれを持ち裾部が広がるタイプである。99は広口甌で、口縁は緩やかに湾曲しながら外反し、端部は浅く窪む。頸部下位に断面三角形の突帯が1条巡り、器形は胴部の膨らみが弱い。外面ハケメが施される。100は鋤先口縁の広口甌で、口径が胴部最大径よりやや大きい。器形は胴部上位が膨らみ、その下位に断面三角形の突帯が1条巡る。下位に穿孔が施される。調整はミガキで、頸部外面と底部近くは縦方向、胴部は横方向である。外面丹塗りが施されている。

SK0618



SK0619

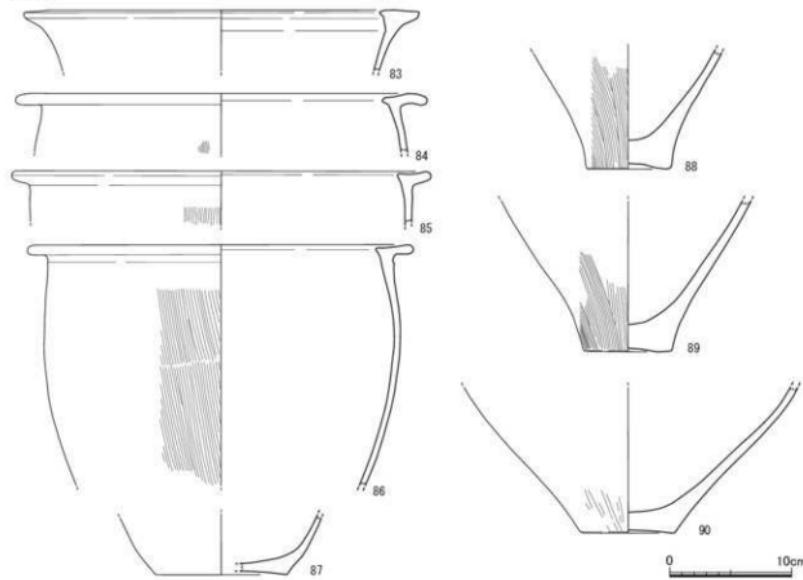


図 96 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 7 (1/4)

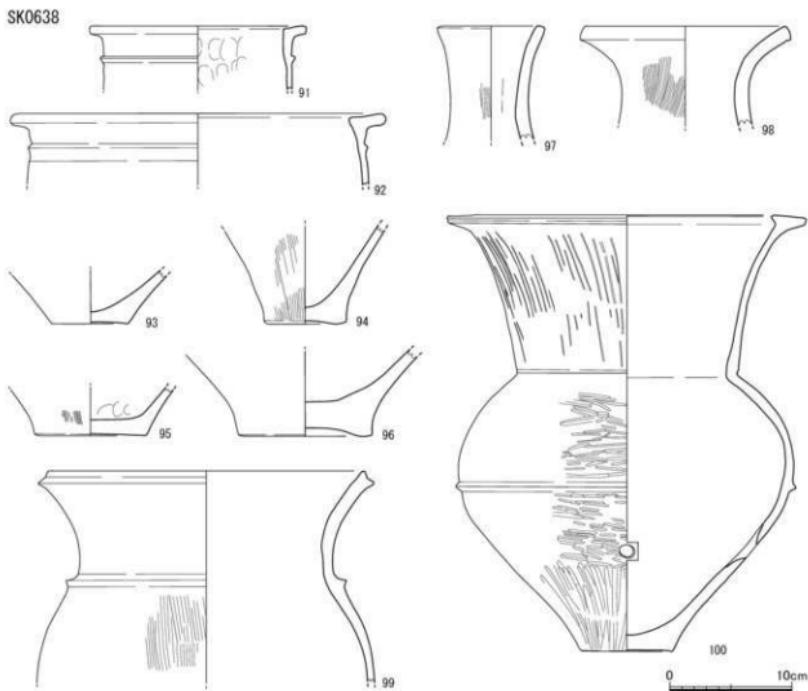


図97 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器8 (1/4)

101～126はSK0656から出土した。101・102は錫先口縁の広口壺で、101は頸部外面に暗文が施される。103～106は甕である。103は口縁断面が内外に突出し、上面は平坦である。口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。104～106は口縁断面逆L字状をなす。107・108は蓋である。107は厚手で、108は上面が深く窪む。109は小型の壺で、胴部は丸みを帯び、平底をなす。摩耗のため調整は不明である。110は鉢で、口縁は直行する。外面ハケメ、内面ミガキが施される。111～113は器台で、厚みは異なるがほぼ同形同大である。内外面ハケメが施される。114～117は甕底部で、外面ハケメが施される。114・116は僅かに上げ底、115・117は平底である。118～120は壺底部で、外側ミガキが施される。118・119は僅かに上げ底をなす。121～125は高環である。123・124は錫先状口縁、125は断面逆L字状口縁である。全体的に摩耗している。126はコップ形の鉢で、口縁に穿孔が施される。全体的に被熱によるとみられる黒変が認められる。調整は内外面ナデである。

127～129はSK0686から出土した。127は小型の甕で、口縁部は内削し断面逆L字状をなす。器形は樽型状である。外面ハケメが施される。128は袋状口縁壺で、口縁部を欠損する。器形は胴部中位が強く

SK0656

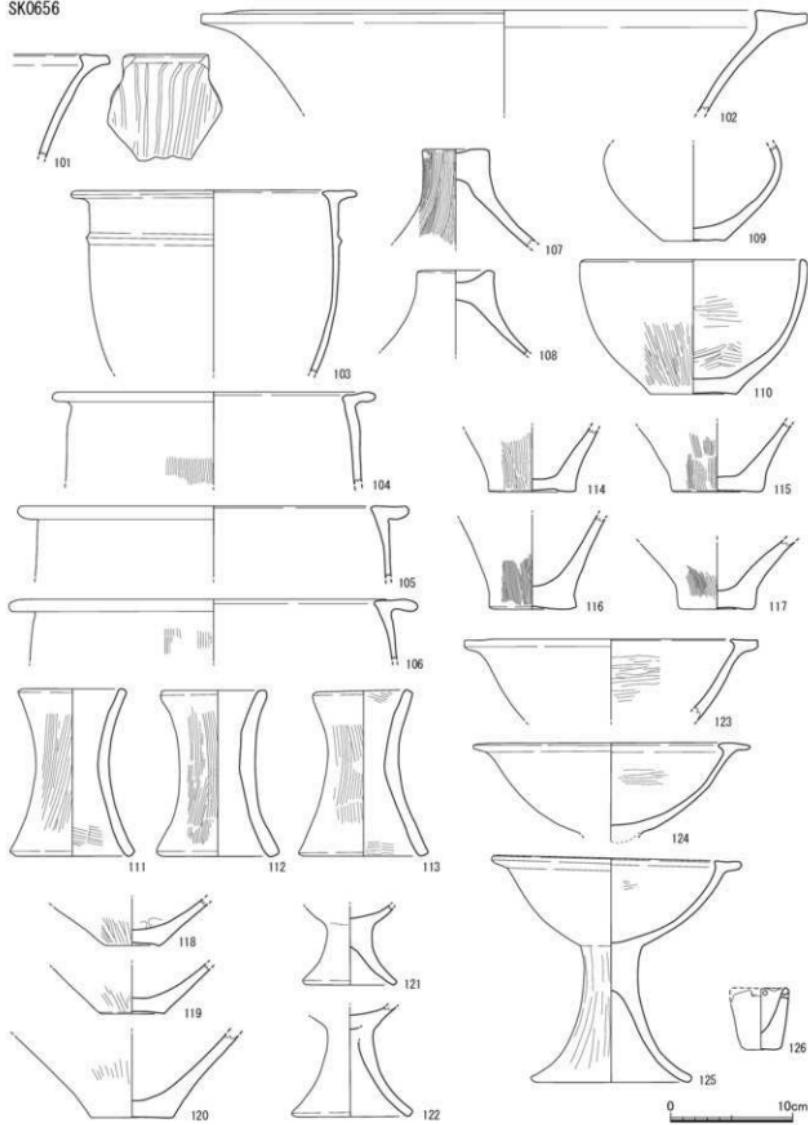


図98 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑出土土器9 (1/4)

膨らみ、平底をなす。頸部付け根と胴部中位に断面M字状の突帯がそれぞれ巡る。129は甕棺の口縁部で、周囲からの流れ込みとみられる。口縁は内外に突出し、器形は丸みを帯びる中型棺とみられる。

130～138はSK0748から出土した。130・131は口縁断面逆L字形の甕である。132は甕棺口縁部で、断面は内側に強く突出し、上面は湾曲する。133はレンズ状底部の壺、134は平底の甕である。136は高环脚部で、脚下部に円形の透孔を持つ。外面ミガキ、内面ハケメが施される。137・138は器台で、器形や法量が近似する。外面ハケメが施される。

139はSK0895から出土した鉢で、口縁は内側に僅かに突出する断面逆L字状をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。

140～156はSK0782から出土した。140～146は甕である。140は口縁断面が萌芽的な「く」字状をなし、外面ハケメが施される。141は口縁断面が内外に突出するT字形で、142～144は口縁断面逆L字状をなす。145は甕棺の口縁部で、器形は丸みを帯びる中型棺とみられる。146は口縁断面「く」字に立ち上がり、頸部に断面三角形の突帯が1条巡る。147は蓋で、上面は浅く窪む。148は器台で、下半部を欠損するが上下対称の器形とみられる。149～151は甕底部で、151は上げ底をなす。152～154は鋤先口縁の広口壺である。153は口径が胴部最大径よりやや大きく、154は口径が胴部最大径よりやや小さい。器形は胴部上位が膨らみ、153は断面M字形の突帯が2条、154は断面三角形の突帯が2条巡る。調整はミガキで、頸部外面は縱方向、胴部は横方向である。154は胴部中央に不整形の穿孔が施される。155・156は平底の甕底部である。

157～161はSK0811から出土した。157は壺で、器形は胴部上位が強く膨らみ、僅かに上げ底をなす。胴部外面ミガキが施され、上半は横方向、下半は縱方向である。158は平底の甕底部、159・160は平底の甕底部、161は蓋である。

162～164はSK0813から出土した甕で、162・164は口縁断面が内と外に突出し、163は断面逆L字状をなす。

165～173はSK0881から出土した。165は甕で、口縁は内側に僅かに突出し、上面は浅く窪む。166は口縁断面逆L字形の甕である。167は鋤先口縁の広口壺、168は外反口縁の広口壺である。169は鉢で、器形はコップ形をなす。摩耗のため調整は不明である。170は上げ底の甕底部、171は平底の甕底部である。172・173は器台で、下半部を欠損する。上下対称の器形とみられる。

174～184はSK0902から出土した。174～176は広口壺で、口縁は長く外反する。175は内面ミガキが施される。176は口径が胴部最大径より大きく、胴部は丸みを帯びる。中位に断面M字形の突帯が巡る。内外面ミガキが施される。177・178は壺底部で、僅かに上げ底をなす。179は器台で、受部を欠損するが器形は上下対称とみられる。外面ハケメが施される。180～183は高环である。181・182は鋤先口縁をなす。182は脚部上端に断面M字形の突帯が巡る。内外面ミガキが施される。184は筒形器台の裾部で、長方形の透孔が施されている。

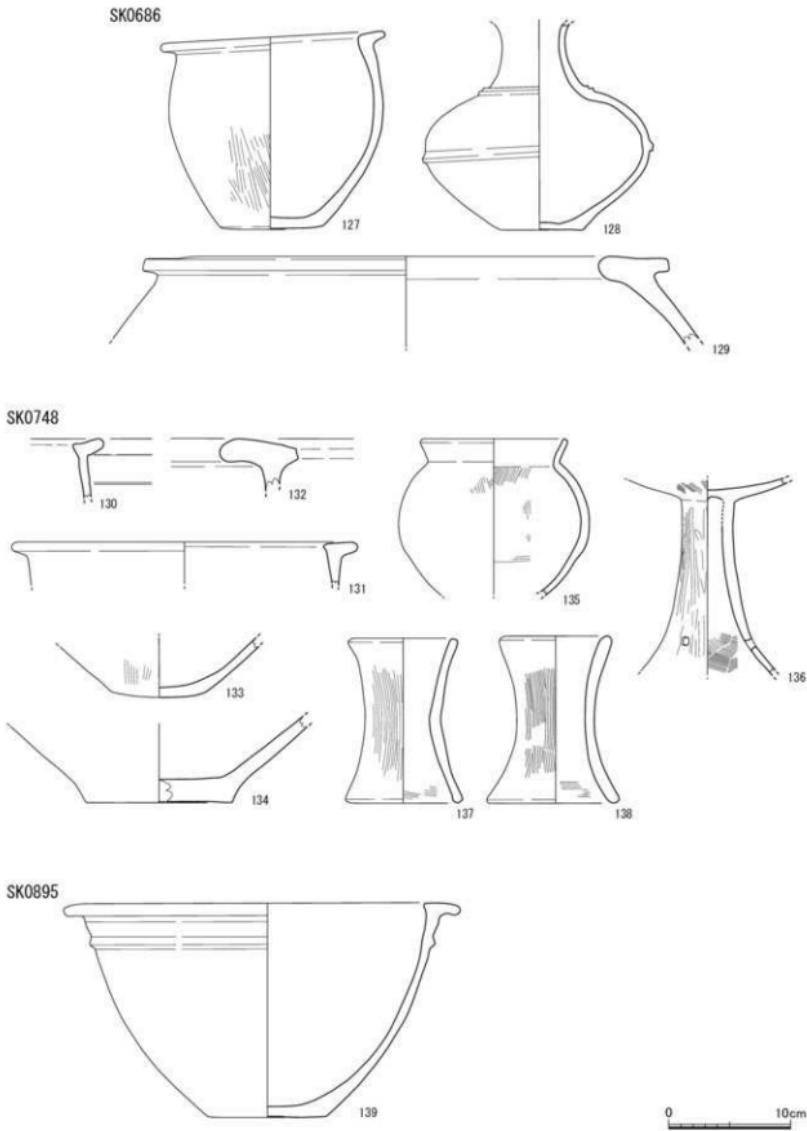


図 99 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 10 (1/4)

SK0782

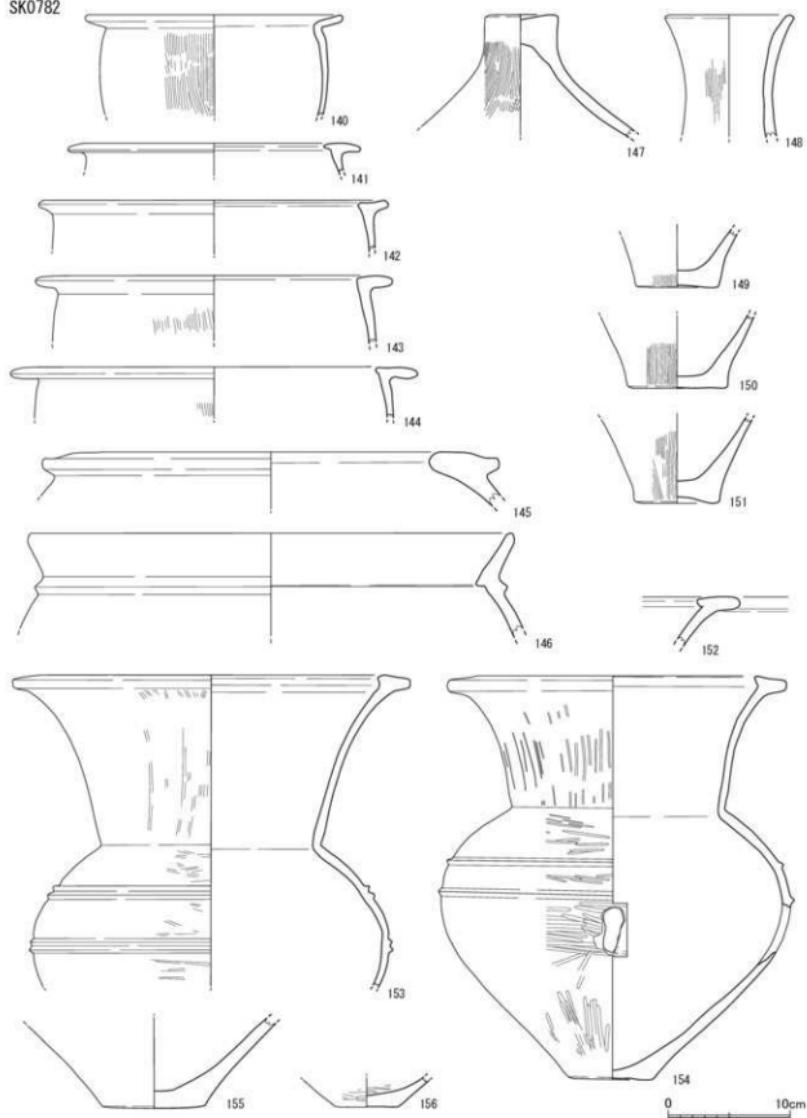
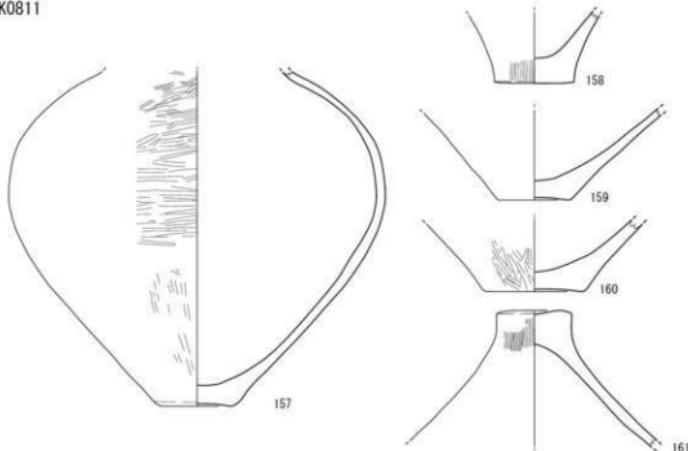
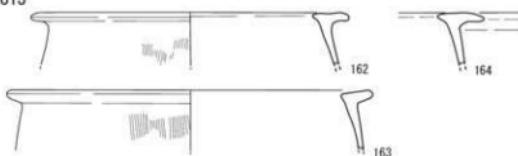


図 100 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 11 (1/4)

SK0811



SK0813



SK0881

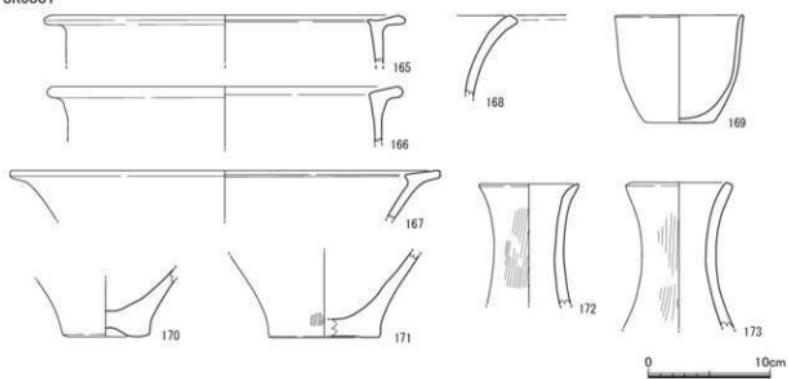


図101 吉野ヶ里丘陵地区III区 祭祀土坑出土土器 12 (1/4)

SK0902

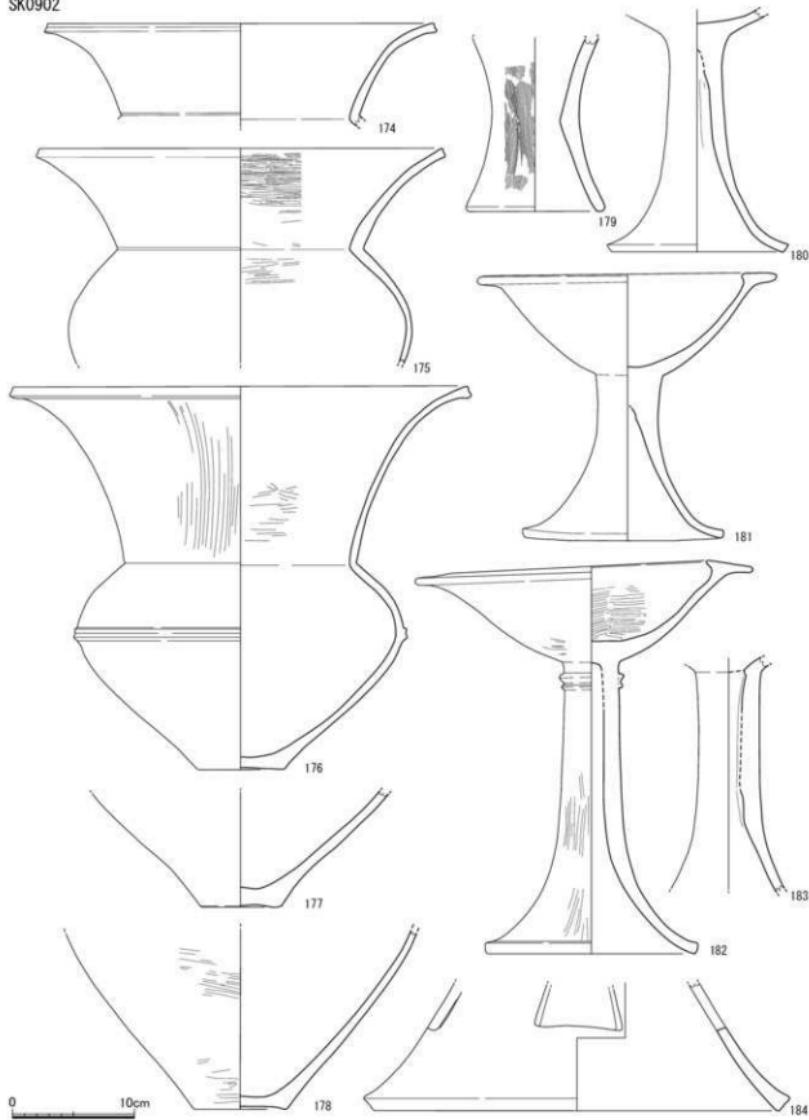


図 102 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器 13 (1/4)

表 10 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器

排図・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 90-10	01000879	SK0605	高环	8.0	6.9	8.4	明黄褐	明黄褐	
図 90-11	11001352	SK0605	壺	18.4	9.7	19.95	明黄褐	明黄褐	
図 90-12	14001399	SK0606	甕	30.3		16.6*	にぶい橙	にぶい黄橙	
図 90-13	14001400	SK0606	甕	30.4*		11.6*	橙	橙	
図 90-14	11001353	SK0606	甕	31.0*		10.2*	明黄褐	明黄褐	
図 90-15	11001356	SK0606	甕	25.0*		10.0	明黄褐	明黄褐	
図 90-16	14001398	SK0606	壺		4.6	4.6*	橙	橙	
図 90-17	11001354	SK0606	高环	24.0*		2.8*	明黄褐	明黄褐	
図 90-18	11001357	SK0606	跡	21.5*		8.9*	明黄褐	明黄褐	
図 90-19	11001355	SK0606	器台	12.4*	31.05		明黄褐	明黄褐	筒形長方形透孔4ヶ所
図 91-20	06003757	SK0606	壺	32.9	6.8	32.1	明黄褐	明黄褐	外面丹塗り
図 91-21	11001358	SK0606	壺		10.2	25.8*	淡褐	淡褐	
図 91-22	14001416	SK0609A	壺	26.0*			橙	橙	
図 91-23	14001396	SK0609A	甕		11.6*		橙	にぶい黄橙	
図 91-24	14001395	SK0609A	甕		8.0		にぶい黄橙	橙	
図 91-25	14001421	SK0609A	高环	29.0*			橙	橙	
図 91-26	14001394	SK0609A	跡	30.2		18.0	橙	橙	
図 92-27	14001422	SK0609B	甕			4.0*	浅黄褐	浅黄褐	
図 92-28	14001405	SK0609B	甕	31.4*		7.0*	橙	橙	
図 92-29	14001406	SK0609B	甕	36.8*		9.2*	橙	橙	
図 92-30	14001408	SK0609B	蓋	5.6		6.8*	浅黄褐	橙	
図 92-31	14001409	SK0609B	甕		7.0	6.8*	橙	にぶい黄橙	
図 92-32	14001407	SK0609B	壺		5.9	10.3*	橙	橙	
図 92-33	14001425	SK0609B	高环	20.4*	11.8	16.6*	橙	橙	
図 92-34	14001401	SK0609B	壺				明褐	明赤褐	
図 92-35	14001402	SK0609B	壺	33.0		11.3*	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
図 92-36	07002435	SK0609B	壺	28.6	9.5	44.0	赤褐	明黄褐	丹塗り
図 92-37	14001404	SK0609C	甕柄	43.5*		6.6*	橙	橙	
図 92-38	14001423	SK0609C	甕	29.0*		6.7*	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
図 93-39	14001414	SK0609C	甕		6.9	4.9*	橙	にぶい黄褐	
図 93-40	14001413	SK0609C	甕		6.2	6.1*	橙	黄褐	
図 93-41	14001415	SK0609C	器台	9.6*	11.0*	13.9	明黄褐	橙	
図 93-42	01000856	SK0609C	壺	33.7	8.2	38.7	明黄褐	明黄褐	
図 94-43	14001411	SK0609	跡	28.8*		7.1*	橙	橙	
図 94-44	14001410	SK0609	甕	22.4*		6.8*	橙	橙	
図 94-45	14001424	SK0609	甕	25.6*		9.9*	橙	橙	
図 94-46	14001417	SK0609	甕	32.2*		7.0*	橙	明黄褐	
図 94-47	14001403	SK0609	甕	38.3*		12.2*	橙	橙	
図 94-48	14001429	SK0609	壺	24.0*		10.2*	橙	橙	
図 94-49	14001428	SK0609	壺	30.5*		12.0*	橙	橙	
図 94-50	14001420	SK0609	壺			10.9*	にぶい黄褐	橙	
図 94-51	14001397	SK0609	甕	23.3		21.1*	橙	橙	
図 94-52	14001412	SK0609	甕		7.2	6.0*	橙	橙	
図 94-53	14001430	SK0609	甕		6.2	4.8*	橙	橙	

表 10 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器

排列・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 94-54	14001419	SK0609	甕		10.9	6.8+	棕	棕	
図 94-55	14001431	SK0609	甕		11.6	10.4+	棕・黄灰	棕	
図 94-56	14001426	SK0609	器台	10.1	11.3	14.8	にぶい褐	棕	
図 94-57	14001427	SK0609	器台	9.9	12.3*	15.1	棕	棕	
図 95-58	11001360	SK0614	高杯	19.8*		6.2+	淡褐	淡褐	
図 95-59	11001359	SK0614	甕	34.2*		10.2+	淡褐	淡褐	
図 95-60	11001361	SK0614	器台	9.7*	9.5*	14.7	明黄褐	明黄褐	
図 95-61	14001433	SK0617	甕			4.5+	灰白	灰白	
図 95-62	14001434	SK0617	甕			3.4+	灰白	灰白	
図 95-63	14001439	SK0617	甕			9.9	黄棕	にぶい黄棕	
図 95-64	14001440	SK0617	壺			7.1+	棕	棕	
図 95-65	14001435	SK0617	壺	15.7*		7.0+	棕	にぶい黄褐	
図 95-66	14001437	SK0617	壺	33.3*		6.3	棕	棕	
図 95-67	14001432	SK0617	甕	26.3*		4.7+	棕	棕	
図 95-68	14001438	SK0617	鉢				にぶい黄褐	黄灰	
図 95-69	14001436	SK0617	壺		5.4	7.1+	棕	棕	
図 95-70	14001442	SK0617	甕		11.8	5.7+	棕	棕	
図 95-71	14001441	SK0617	甕		10.3	11.3+	浅黄棕	浅黄棕	
図 96-72	14001451	SK0618	甕			5.6+	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
図 96-73	14001445	SK0618	甕			5.4+	にぶい褐	にぶい灰黄褐	
図 96-74	14001449	SK0618	甕			6.2+	明黄褐	にぶい黄褐	
図 96-75	14001444	SK0618	甕	26.2*		4.4+	にぶい黄褐	にぶい棕	
図 96-76	14001450	SK0618	甕	25.9*		9.3+	浅黄棕	浅黄棕	
図 96-77	14001443	SK0618	甕	34.0*		5.9+	棕	棕	
図 96-78	14001453	SK0618	甕		10.2	7.5+	棕	にぶい黄褐	
図 96-79	14001452	SK0618	鉢	12.2*		7.6	棕	棕	
図 96-80	14001454	SK0618	支脚		12.0*	10.9	黄棕	黄棕	
図 96-81	14001448	SK0618	壺	16.6*		5.2+	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
図 96-82	14001446	SK0618	壺	28.5*		9.7+	棕	棕	
図 96-83	14001455	SK0619	壺	32.3*		5.0+	棕	棕	
図 96-84	14001456	SK0619	甕	33.6*		4.8+	棕	にぶい黄褐	
図 96-85	14001457	SK0619	甕	34.4		4.4+	棕	棕	
図 96-86	14001461	SK0619	甕	31.6*		19.7+	にぶい黄褐	にぶい黄褐	
図 96-87	14001458	SK0619	甕		10.7	4.9+	棕	棕	
図 96-88	14001459	SK0619	甕		6.9	9.8+	暗灰黄	暗灰黄	
図 96-89	14001460	SK0619	甕		7.2	12.4+	棕	灰黄	
図 96-90	14001462	SK0619	壺		7.7	12.0+	黄棕	にぶい黄褐	
図 97-91	13001966	SK0638	甕	17.8*		5.2+	明黄褐	明黄褐	
図 97-92	13001965	SK0638	甕	30.6*		6.0+	棕	棕	
図 97-93	13001959	SK0638	甕		6.2		棕	黄棕	
図 97-94	13001958	SK0638	甕		6.7	8.1+	棕	棕	
図 97-95	13001962	SK0638	壺		9.2	4.0+	にぶい棕	にぶい黄褐	
図 97-96	13001960	SK0638	壺		11.0	7.1+	黄棕	黄棕	
図 97-97	13001961	SK0638	器台	8.8		9.3+	棕	棕	

表 10 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器

件名・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
図 97-98	13001964	SK0638	器台	16.4*		8.2*	に赤・黄褐	に赤・黄褐	
図 97-99	13001963	SK0638	盃	27.4*		17.4*	に赤・褐	に赤・褐	
図 97-100	06003758	SK0638	盃	29.5			明褐	明褐	外腹丹塗り・胸部穿孔
図 98-101	14001485	SK0656	盃			8.5*	棕	棕	暗文
図 98-102	14001473	SK0656	盃	49.6*		8.3*	棕	棕	
図 98-103	14001467	SK0656	甕	23.3		15.0*	棕	棕	
図 98-104	14001474	SK0656	甕		26.5*	7.6*	棕	棕	
図 98-105	14001486	SK0656	甕	32.1*		5.9*	棕	に赤・黄褐	
図 98-106	14001487	SK0656	甕	33.5*		5.1*	棕	棕	
図 98-107	14001471	SK0656	蓋	5.5		8.0*	棕	明赤褐	
図 98-108	14001472	SK0656	蓋	6.3		6.9*	浅黄棕	浅黄棕	
図 98-109	14001468	SK0656	盃		5.1	7.8*	棕	棕	
図 98-110	14001469	SK0656	鉢	18.5*		11.0	明赤褐	棕	
図 98-111	14001479	SK0656	器台	8.9*	10.2*	13.7	棕	棕	
図 98-112	14001478	SK0656	器台	8.7	10.0*	13.6*	棕	棕	
図 98-113	14001477	SK0656	器台	8.2	10.6	13.6	棕	棕	
図 98-114	14001480	SK0656	甕		7.1	5.2*	棕	に赤・褐	
図 98-115	14001476	SK0656	甕		7.3	5.7*	に赤・黄褐	に赤・黄褐	
図 98-116	14001481	SK0656	甕		7.1	7.7*	棕	棕	
図 98-117	14001482	SK0656	甕		6.0	5.7*	に赤・棕	に赤・棕	
図 98-118	14001483	SK0656	盃		4.5	3.8*	棕	棕	
図 98-119	14001484	SK0656	盃		50.5	4.1*	浅黄棕・褐灰	棕	
図 98-120	14001475	SK0656	盃		6.7	6.9*	明褐褐	棕	
図 98-121	14001465	SK0656	高环		7.7	6.6	棕	棕	
図 98-122	14001466	SK0656	高环		9.9	9.0*	明赤褐	棕	
図 98-123	14001489	SK0656	高环	24.1*		6.7*	棕	棕	
図 98-124	14001463	SK0656	高环	22.7		8.2*	棕	棕	
図 98-125	14001464	SK0656	高环	20.4	13.1	18.6	棕	棕	
図 98-126	14001470	SK0656	鉢	4.4*		5.1	に赤・黄褐	黑褐	上部穿孔・被热か
図 99-127	13001941	SK0686	甕	18.4		16.2	に赤・黄褐	に赤・黄褐	
図 99-128	13001940	SK0686	盃			17.0*	に赤・黄褐	に赤・黄褐	
図 99-129	13001942	SK0686	甕	42.8*		7.2*	に赤・棕	に赤・黄褐	甕沿
図 99-130	14001496	SK0748	甕			4.9*	に赤・黄褐	棕	
図 99-131	14001494	SK0748	甕	28.4*		3.6*	棕	棕	
図 99-132	14001495	SK0748	甕			4.3*	棕	棕	甕沿
図 99-133	14001497	SK0748	盃			8.0	4.7*	棕	
図 99-134	14001498	SK0748	盃		12.0*	7.1*	に赤・黄褐	に赤・黄褐	
図 99-135	14001491	SK0748	盃	12.0*		12.8*	黄灰	褐灰・黑褐	
図 99-136	14001490	SK0748	高环			16.2*	棕	棕	円形透孔
図 99-137	14001492	SK0748	器台	9.0	9.6*	13.5	棕	明黄褐	
図 99-138	14001493	SK0748	器台	9.2*	10.9	13.7	棕	棕	
図 99-139	15000393	SK0895	鉢	32.4*	9.8	17.5	棕	棕	
図 100-140	14001509	SK0782	甕	21.1*		8.3*	棕	に赤・黄褐	
図 100-141	14001507	SK0782	甕	24.0*		2.7*	棕	棕	

表 10 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 祭祀土坑出土土器

排列・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	器種	寸法 cm			色調		備考
				口径	底径	器高	外面	内面	
岡100-142	14001504	SK0782	甕	28.6*	4.3+		黄柾	黄柾	
岡100-143	14001506	SK0782	甕	29.2*	5.6+		柾	浅黄柾	
岡100-144	14001505	SK0782	甕	33.3*	4.2+		柾	柾	
岡100-145	14001503	SK0782	甕	37.4*	4.5+		柾	柾	波柾
岡100-146	14001502	SK0782	甕	39.8*	8.6+		にぶい黄柾	にぶい黄柾	
岡100-147	14001500	SK0782	蓋	6.0	10.1+		柾	柾	
岡100-148	14001510	SK0782	器台	10.6*	10.1+		にぶい黄柾	にぶい黄柾	
岡100-149	14001501	SK0782	甕		6.8	4.8+	柾	柾	
岡100-150	14001514	SK0782	甕		8.1	6.0+	にぶい黄柾	柾	
岡100-151	14001512	SK0782	甕		6.9	7.1+	柾	柾	
岡100-152	14001508	SK0782	甕			4.1+	柾	にぶい黄柾	
岡100-153	14001499	SK0782	甕	32.5*		25.5+	柾	柾	
岡100-154	06003759	SK0782	甕	27.8	7.1	33.1	明黄柾	明黄柾	胴部穿孔
岡100-155	14001511	SK0782	甕		8.3	7.4+	明黄柾・にぶい黄柾	にぶい黄柾	
岡100-156	14001513	SK0782	甕		5.0	2.4+	明赤柾	明赤柾	
岡101-157	14001515	SK0811	甕		5.7	27.4+	明赤柾	明黄柾	
岡101-158	14001516	SK0811	甕		5.9*	6.5+	柾	灰黄柾	
岡101-159	14001517	SK0811	甕		6.0	7.6+	柾	柾	
岡101-160	14001518	SK0811	甕		8.0	5.9+	明赤柾・柾灰	黄柾	
岡101-161	14001519	SK0811	蓋		6.2	11.2+	明赤柾	明赤柾	
岡101-162	14001521	SK0813	甕	26.2*		4.4+	柾	柾	
岡101-163	14001522	SK0813	甕	30.0*		4.9+	柾	柾	
岡101-164	14001520	SK0813	甕			4.5+	柾	柾	
岡101-165	14001523	SK0881	甕	29.6*		4.0+	柾	柾	
岡101-166	14001524	SK0881	甕	29.2*		4.5+	柾	柾	
岡101-167	14001525	SK0881	甕	35.2*		4.0+	にぶい黄柾	柾	
岡101-168	14001526	SK0881	甕			6.7+	柾	にぶい黄柾	
岡101-169	14001527	SK0881	跡	10.5*	5.6*	8.8	柾	柾	
岡101-170	14001531	SK0881	甕		7.0	5.5+	柾	にぶい黄柾	
岡101-171	14001530	SK0881	甕		9.0*	7.0+	柾	黄柾	
岡101-172	14001528	SK0881	器台	8.2*		9.9+	柾	柾	
岡101-173	14001529	SK0881	器台	8.7*		11.9+	柾	にぶい黄柾	
岡102-174	14001533	SK0902	甕	32.2*		8.4+	柾	柾	
岡102-175	13001943	SK0902	甕	33.4*		17.7+	柾	柾	
岡102-176	13001945	SK0902	甕	37.8*		31.4+	柾	柾	
岡102-177	14001532	SK0902	甕		6.7	9.5+	柾	柾	
岡102-178	13001944	SK0902	甕		7.6	14.7	柾	柾	
岡102-179	14001538	SK0902	器台		11.4*	14.2+	にぶい黄柾	にぶい黄柾	
岡102-180	14001536	SK0902	高环		14.8*	19.9+	柾	柾	
岡102-181	14001535	SK0902	高环	24.5	16.5	11.9	明赤柾	明赤柾	
岡102-182	14001539	SK0902	高环		27.6*	32.2+	柾	柾	
岡102-183	14001537	SK0902	高环			19.4+	柾	柾	
岡102-184	14001534	SK0902	器台		34.8*	10.5+	明赤柾	柾	筒形・長方形透孔

C 石器・石製品・鉄器

185～191は墳墓に伴って出土した遺物である。185はSJ0665棺内出土の打製石鏃で、先端部を僅かに欠損する。抉りが浅い凹基式で、両側縁は僅かに膨らむ。石材は安山岩。186はSJ0733棺内出土の打製石鏃で、基部が平坦な細身の形をなす。横断面形は厚手の菱形状である。石材は安山岩。187はSJ0790出土の磨製石劍で、先端部を欠損する。細長い平基式で、横断面菱形をなす。基部両面に着柄用とみられる平坦面を持つ。石材は層灰岩。188はSP0720出土の磨製石劍である。身は扁平で、基部は湾曲し円基状をなす。石材は蛇紋岩。189はSK0618から出土した磨製石劍の身部片である。両面とも研磨整形が施され、両側縁に連続する剥離痕が残る。190はSJ0665棺内から出土した鉄器で、鉄鏃とみられる。191はSJ0937から出土した銅劍鑄型である。本来は喪棺墓に伴うものではなく、墓坑を切り込む後期終末のSD0601塹跡からの流れ込みとみられる。

表11 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 墳墓出土石器・石製品・鉄器

挿図-番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	種別	器種	法量 cm			重量 g	石材	備考
					長さ	幅	厚さ			
図103-185	08003647	SJ0665 人骨片中	打製石器	石鏃	2.0+	1.55+	0.4	1.0+	安山岩	
図103-186	08003642	SJ0733	打製石器	石鏃	3.1	0.9	0.5	1.2	安山岩	
図103-187	12002465	SJ0790	磨製石器	石劍	5.7+	1.65	0.4	4.9+	層灰岩	
図103-188	12002467	SP0720	磨製石器	石劍	4.4	2.0	0.35	3.8	蛇紋岩	
図103-189	08003585	SK0618-括	磨製石器	石劍	3.9+	3.4	0.7	19.1+	葉青石 ホルンフェルス	
図103-190	13000968	SJ0665下底	鉄器	鉄鏃	4.1+	2.4	0.5	-	-	
図103-191	92001495	SJ0937下底	石製品	鋤型					石英斑岩	SD0601からの混入

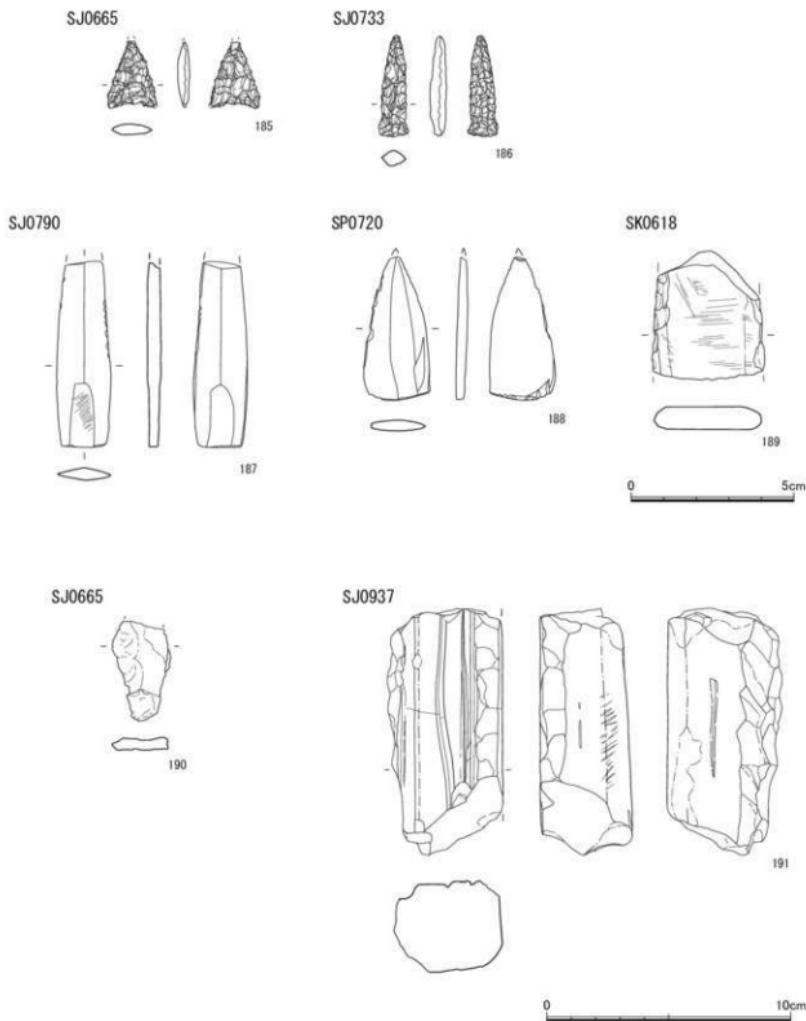


図 103 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区 墓出土遺物 (185～189は2/3、190・191は1/2)

(4) 吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区の弥生時代墳墓について

吉野ヶ里丘陵地区Ⅲ区では、弥生時代前期末～後期前半の喪棺墓と土坑墓・木棺墓からなる墓地を確認した。墓地の造営は前期末に始まり、中期初頭までは主に本区域南端において喪棺墓と少数の土坑墓・木棺墓が集塊状に展開している。中期前半になると喪棺墓の数が増加し、それまでの集塊状の墓群を起点とするかのように、南北方向に延びる列埋葬墓地の形成が進行する。このような状況は遺跡北部の志波屋四の坪地区Ⅱ区においても認められる。なお、本区域の喪棺墓列は中央に空白地を持つような明確な2列ではなく、全体としてひとつの列をなしている。この墓列の南側は吉野ヶ里丘陵地区Ⅶ区の喪棺墓群と連続し、北側は吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区南東部の喪棺墓群と連続する可能性がある。なお、副葬品を伴う墓の数は比較的少ない。中期後半にも墓列への埋葬は継続しているが、棺体の挿入方向がそれまでの南北基調から東西基調へと変化している。喪棺墓は中期末になると減少するが、この時期には本区域西側の吉野ヶ里地区V区において竪穴建物や掘立柱建物からなる集落が營まれるようになり、後の南内郭や高床倉庫群の形成につながっていく。そのため、本区域では墳墓の造営は徐々に減少していったものとみられる。喪棺墓は後期前に終焉し、本区域は後期の集落中心部として展開していく。

2. 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区

(1) 概要

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区は、吉野ヶ里町大字田手字四本杉に所在しており、志波屋・吉野ヶ里段丘上に立地している。Ⅱ区の東側には吉野ヶ里丘陵地区V・VI区、西側には吉野ヶ里地区I区が隣接し、北側には小規模な谷を挟んで吉野ヶ里丘陵地区I区、南側には県道吉田・鶴線を挟んで吉野ヶ里丘陵地区III区が位置している。

本地区では、神崎工業団地造成に伴う調査と補助事業による確認調査が行われている。工業団地に伴う発掘調査は、段丘から西の緩斜面（標高19.6～22.7m）の約7,000m²が対象である。また、その調査区の北東側、吉野ヶ里丘陵地区I区と谷を挟んで向かい合う斜面地において、確認調査（195～202調査区）が行われている。調査の結果、弥生時代～古墳時代初頭の集落と墓地、古墳時代の土坑墓群、中世の溝跡、土坑などが確認されている。

(2) 遺構

弥生時代～古墳時代初頭の遺構として、溝（環壕）跡、竪穴建物跡、貯蔵穴跡、甕棺墓、土坑墓、木棺墓、墓地に伴う祭祀土坑を確認しており、調査区のほぼ全域に分布している。

このうち弥生時代の墳墓に関する遺構として、甕棺墓216基、土坑墓・木棺墓64基、祭祀土坑9基を報告する。甕棺墓は調査区全体に分布しているが、北部、中央部、南部に集中し、緩やかなまとまりがみられる。土坑墓・木棺墓は甕棺墓群に伴って分布するものが多いが、調査区北部～中央部の一群と調査区南部の一群という大きく2つの分布のまとまりがある。祭祀土坑については、調査区北部と南部の墓群に伴って分布している。なお、本調査区の北部には、弥生時代後期の吉野ヶ里遺跡を取り囲む外環壕（SD0054）が北東～南西方向に延びており、一部の墳墓はこれと重複している。

墳墓の時期についてみてみると、甕棺墓は中期前半～後期前半に属しており、特に中期末～後期初頭が主体をなす。なお、土坑墓、木棺墓については詳細な時期を判断できないものも多いが、甕棺墓の時期と同様と考えられる。

墳墓に伴う遺物は計10基（甕棺墓6基、土坑墓4基）から確認しており、いずれも調査区中央から北部にかけて分布している。なかでも、調査区北部に位置するSJ0312甕棺墓からは、残存状態の悪い人骨に伴って鐵10点が出土している。また、調査区中央部に位置するSJ0135甕棺墓からは、貝輪、紺布・麻布片、毛髮、赤色顔料（朱？）が出土しているほか、調査区中央東部に位置するSJ0384甕棺墓からは、貝輪8点、紺布片、赤色顔料が出土しており、特に注目される。

A 甕棺墓

出土した甕棺墓216基の内訳は、中型～大型棺153基、小型棺48基、不明15基である。棺の構造は、合口（接口）式99基、呑口式8基、覆口式26基、石蓋17基、木蓋（可能性があるものを含む）12基、不明54基である。上下棺の器種の組合せは、石蓋・木蓋を除く187基のうち、甕+甕が94基、鉢+甕が44基、壺+甕が1基、高壺+甕が1基、不明が47基である。また、口縁部に打欠が施された棺が多く、上下棺とも打欠が29基、上甕打欠が16基、下甕打欠が3基みられる。棺体の埋置角度については、計測



図104 吉野ヶ里丘陵地区II区 調査区の位置 (1/2,000)

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区



図105 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 造構の分布 (1/800)

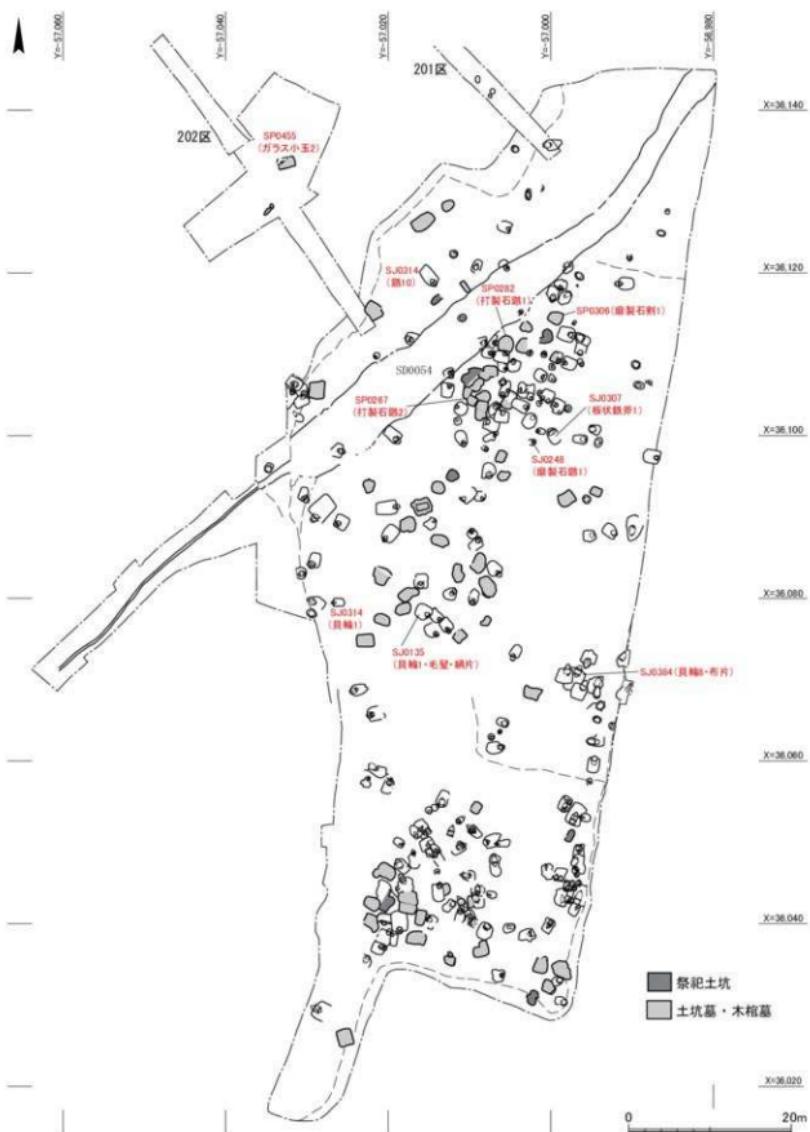


図106 吉野ヶ里丘陵地区II区 弥生時代墓地構造の分布 (1/600)

吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区

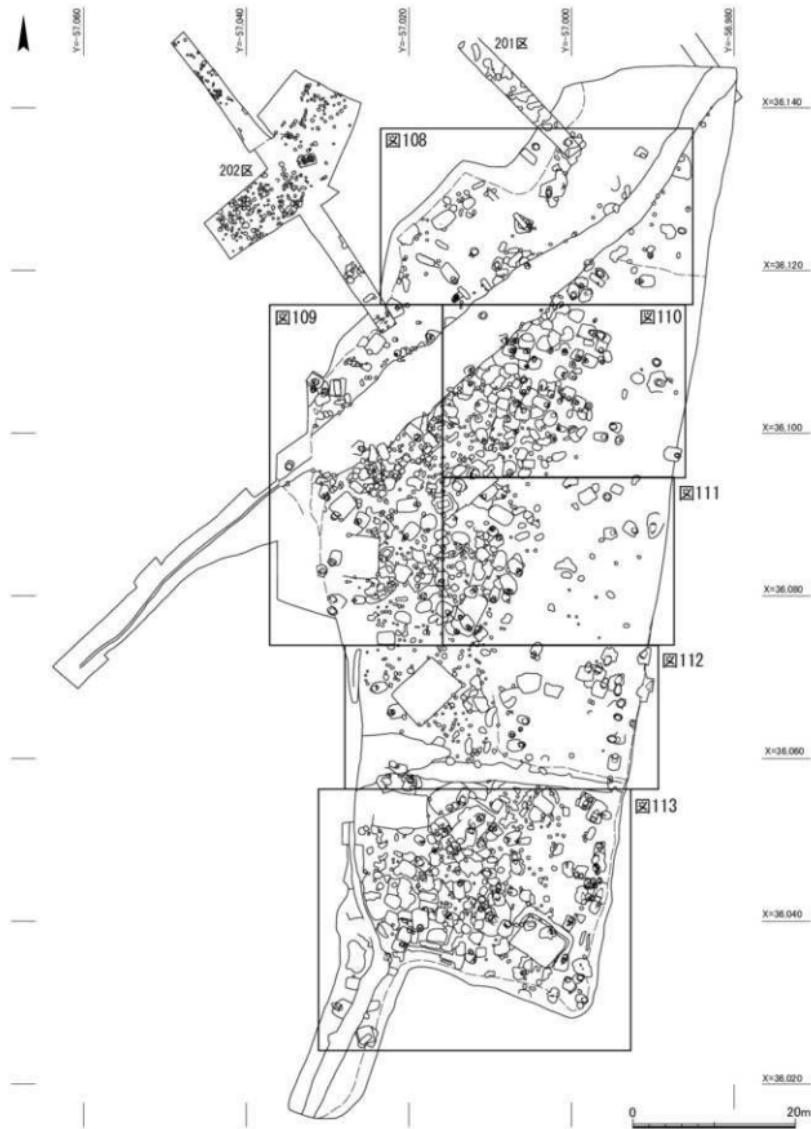


図107 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 遺構の分布詳細図の位置 (1/600)

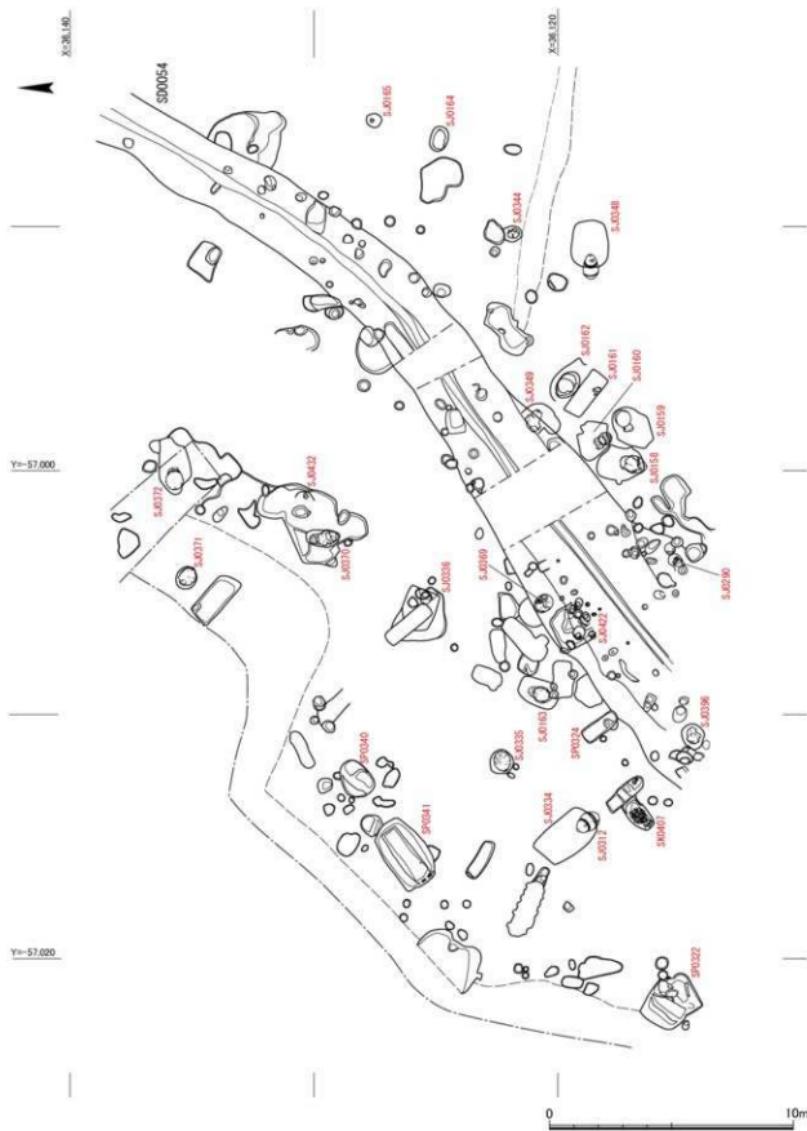


図 108 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 遺構の分布詳細 1 (1/200)

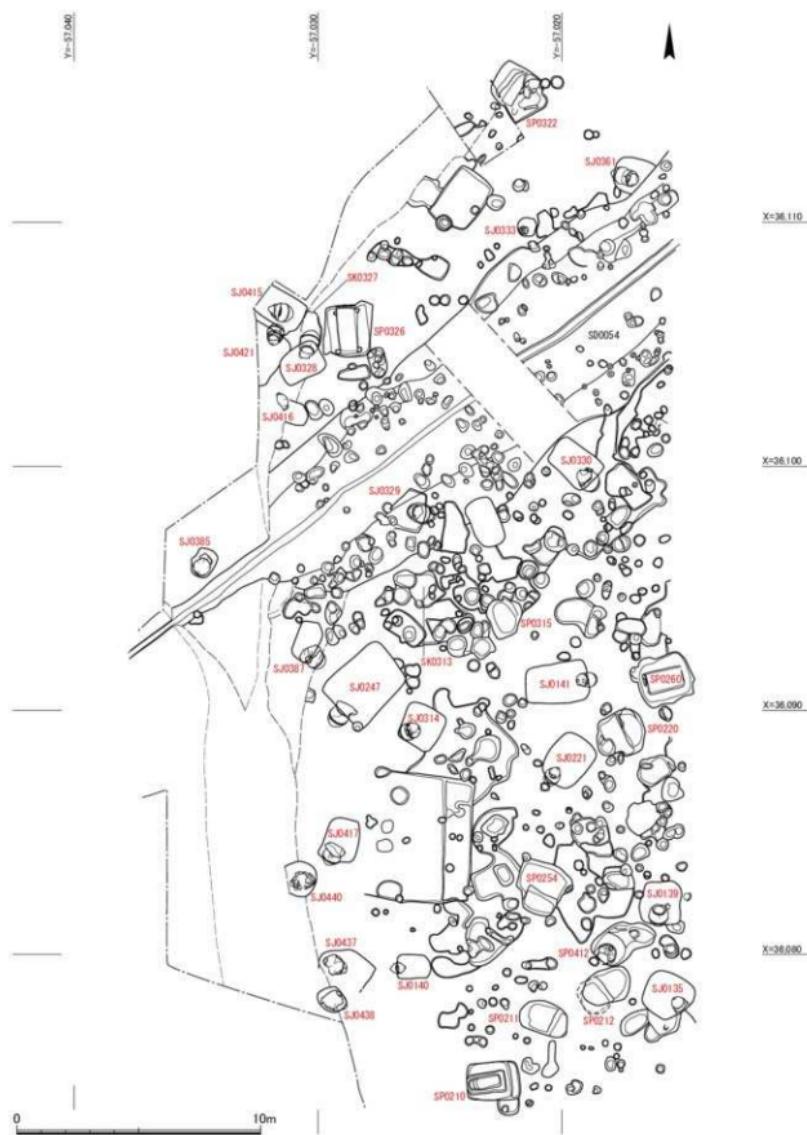


図 109 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 遺構の分布詳細 2 (1/200)

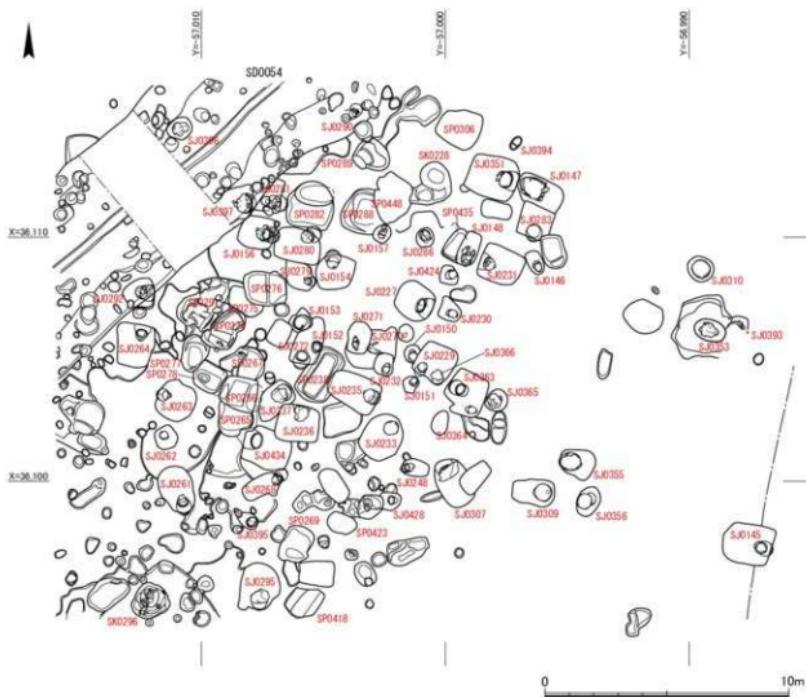


図 110 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 遺構の分布詳細 3 (1/200)

吉野ヶ里丘陵地区 II 区

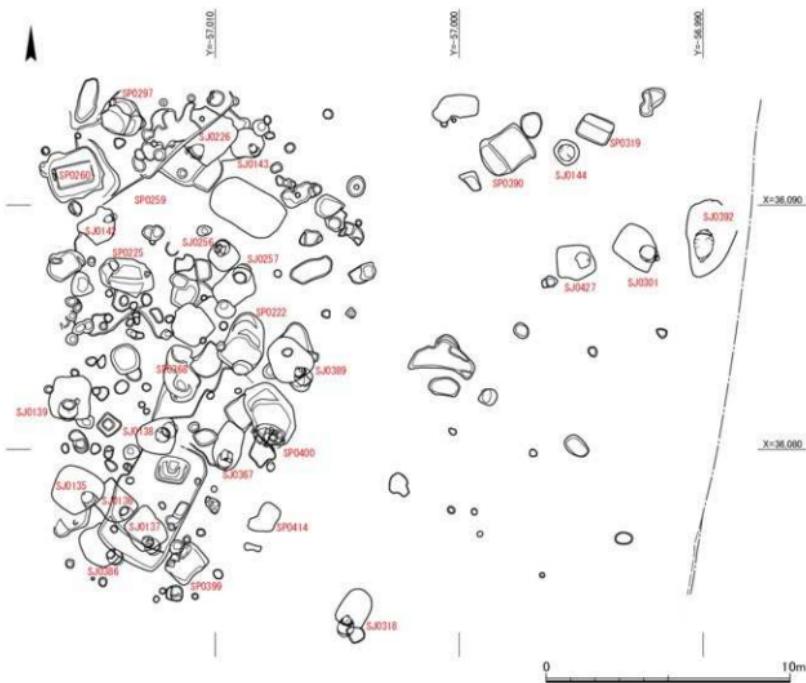


図 111 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 遺構の分布詳細 4 (1/200)

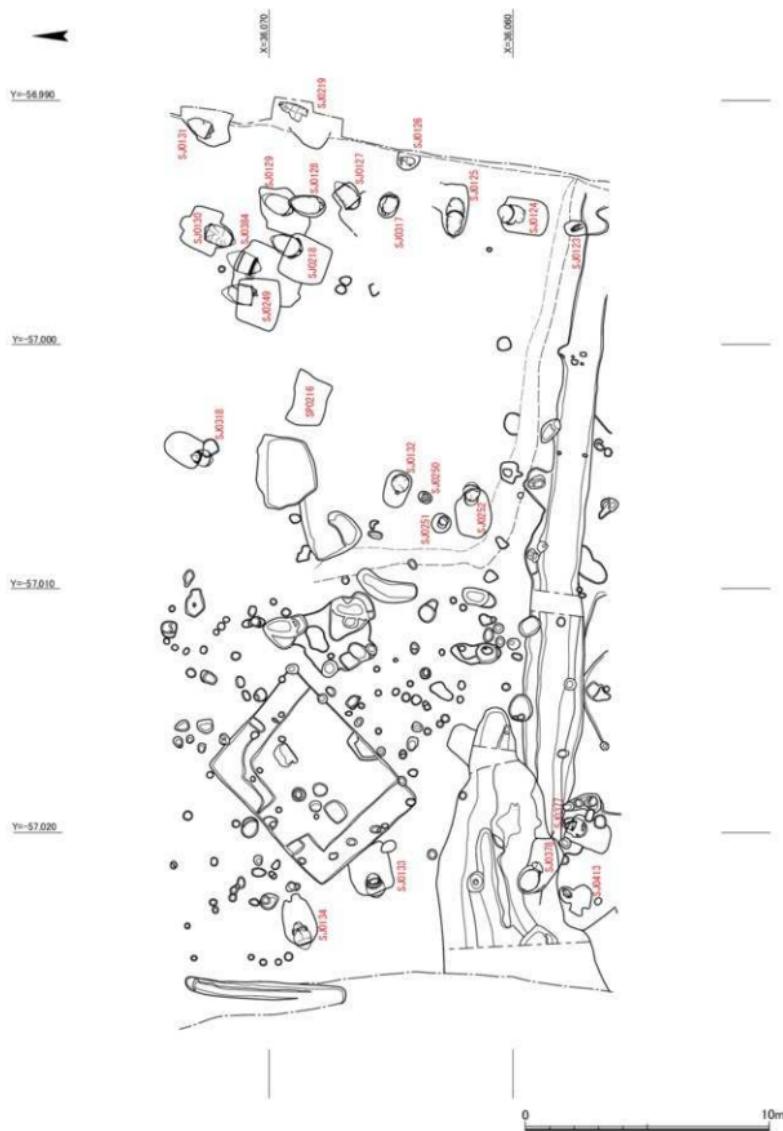


図 112 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 遺構の分布詳細 5 (1/200)



図 113 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 透構の分布詳細 6 (1/200)

可能な189基のうち72基が45°以上で、傾斜が強いものが多い。なお、人骨は小片を含め57基から出土した。以下、特徴的な遺構についてみていく。

SJ0061は小型の鉢と大型の甕の合口である。棺の口径が上下で大きく異なっており、上鉢が呑口状に下甕に入り込み、隙間が目張り粘土によって密閉されている。SJ0135は大型の甕と中型の甕の複式棺で、上甕は口縁打欠の覆口である。下甕棺底から貝製腕輪1点が出土したほか、絹布片、麻布片が出土している。SJ0154は甕と甕の合口で、上下棺ともに口縁に打欠が施される。下甕からほぼ全身の人骨と毛髪が出土している。人骨は壮年男性で、埋葬姿勢は頭部が上腹側である。なお、「113集」ではSJ0157から毛髪が出土したと報告されているが、SJ0154の誤りとみられるため、ここで訂正する。

SJ0193は一次墓坑が長方形で、内部は三段掘りのあとに二次墓坑が設けられている。棺体は木蓋單棺で、大型甕の口縁上面に長さ1.0m、幅0.65mの長方形の粘土とその痕跡が残存している。

SJ0247は長辺3m、短辺2.4m、深さ約2mという大型の一次墓坑を持ち、内部は三段掘りをなす。大型の甕に板石で蓋をした单棺で、内部からは人骨とともに赤色顔料が出土している。SJ0248は小型の甕と甕の合口で、削平により棺体の一部を欠損する。墓坑内から磨製石鎌が1点出土している。SJ0256は中型の下甕に2枚の板石で蓋がなされているが、石の隙間を別の甕片で塞ぐという特異な構造である。SJ0286は丸みを帯びた下甕の上面から柱状の礎が出土しており、石蓋の可能性がある。また、墓坑内から土器片が出土しているが、遺構に伴うものかどうかは不明である。

SJ0307は石蓋の单棺で、一次墓坑は二段掘りをなし、約45°の角度で下甕が埋置されている。棺内から人骨の一部とともに板状鉄斧が1点出土した。人骨は熟年女性である。

SJ0312は小型の鉢と大型の甕の合口で、下甕から残存状態の悪い人骨とともに鎌10点が出土した。鎌の種類はサメ歯鎌1点、打製石鎌3点、磨製石鎌6点である。調査時の所見から、鎌の一部は人骨に嵌入していた可能性が高い。人骨は壮年男性である。SJ0314は平面方形の一次墓坑の角部に横掘りの二次墓坑が設けられている。棺体は中型甕と大型甕の複式棺で、上甕は口縁打欠が施され、構造は覆口である。下甕より人骨片とともに貝製腕輪の小片が出土した。SJ0333は小型棺で、上が高环、下が壺である。高环は粘土接合部で脚を欠失しており、壺の口縁から頸部にかけて覆っている。SJ0384は大型の鉢と甕の合口で、棺体はほぼ水平に埋置されている。下甕棺内から人骨の一部とともに貝製腕輪8点と赤色顔料、絹片が出土した。

また、弥生時代後期の吉野ヶ里集落を取り囲む外環境の一部であるSD0054溝跡と重複する甕棺墓として、SJ0349・SJ0369・SJ0396・SJ0397・SJ0422・SJ0290・SJ0292・SJ0361・SJ0329がある。これらは環壕掘削に伴い墓坑あるいは棺体が破壊されていることから、SD0054は甕棺墓地終焉後の後期後半に掘削されたと考えられる（「207集」）。

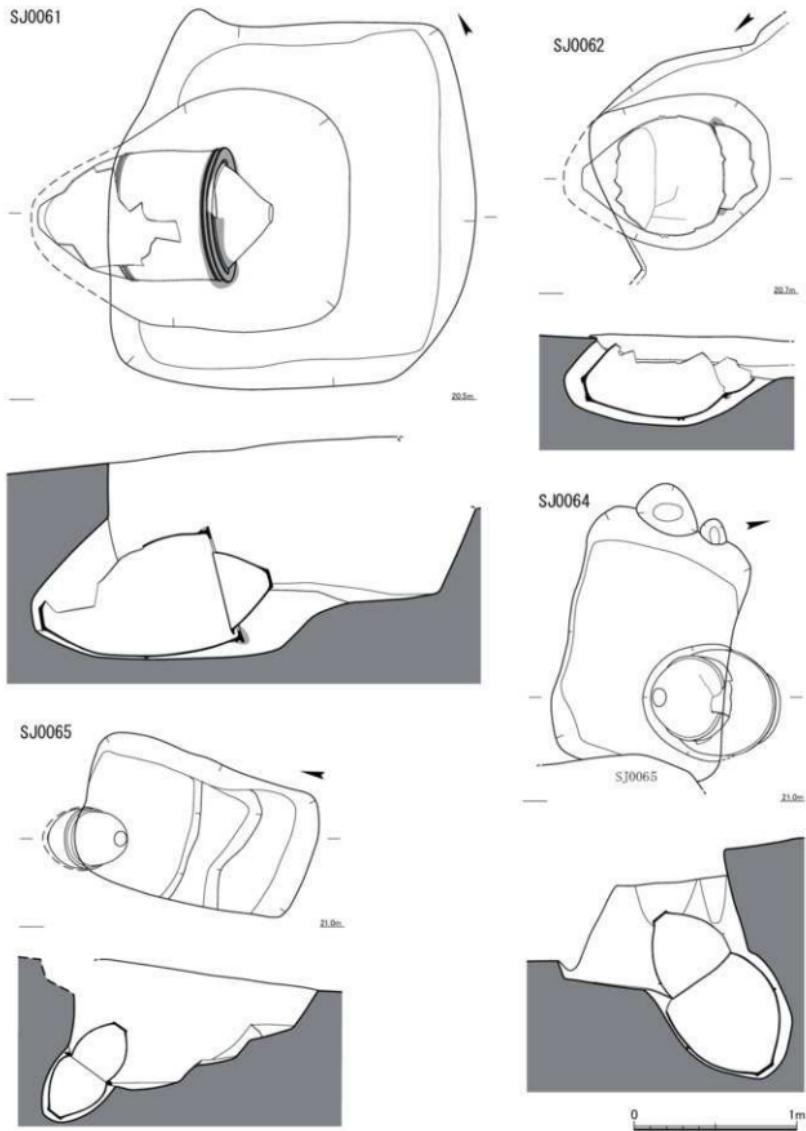


図 114 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窫棺墓 1 (1/30)

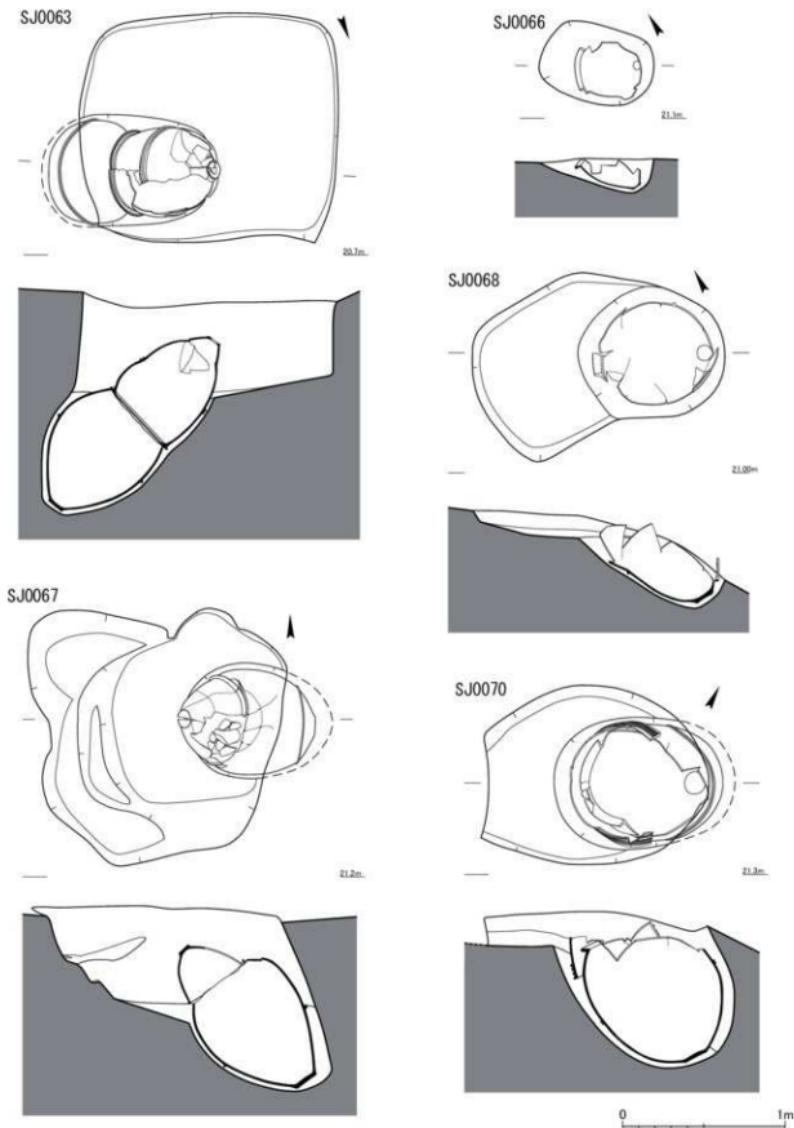
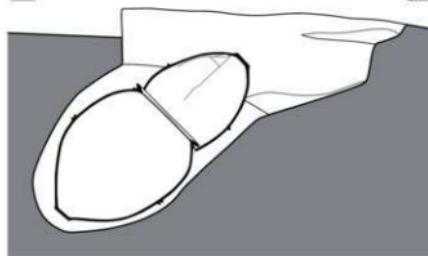
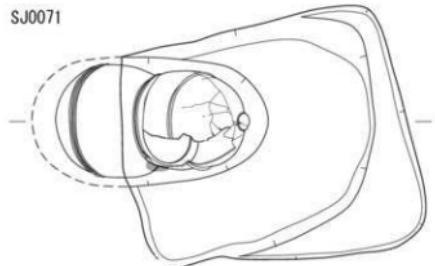


図 115 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窫棺墓 2 (1/30)

SJ0071



SJ0072

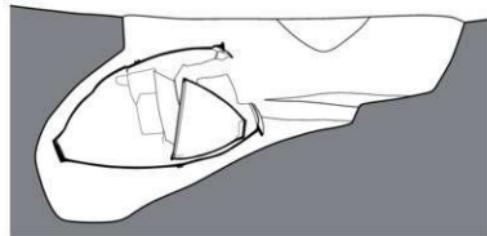
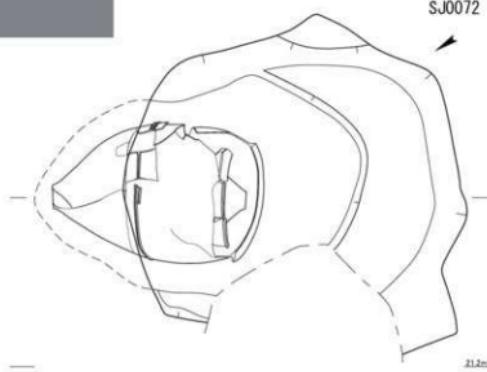


図 116 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窫棺墓 3 (1/30)

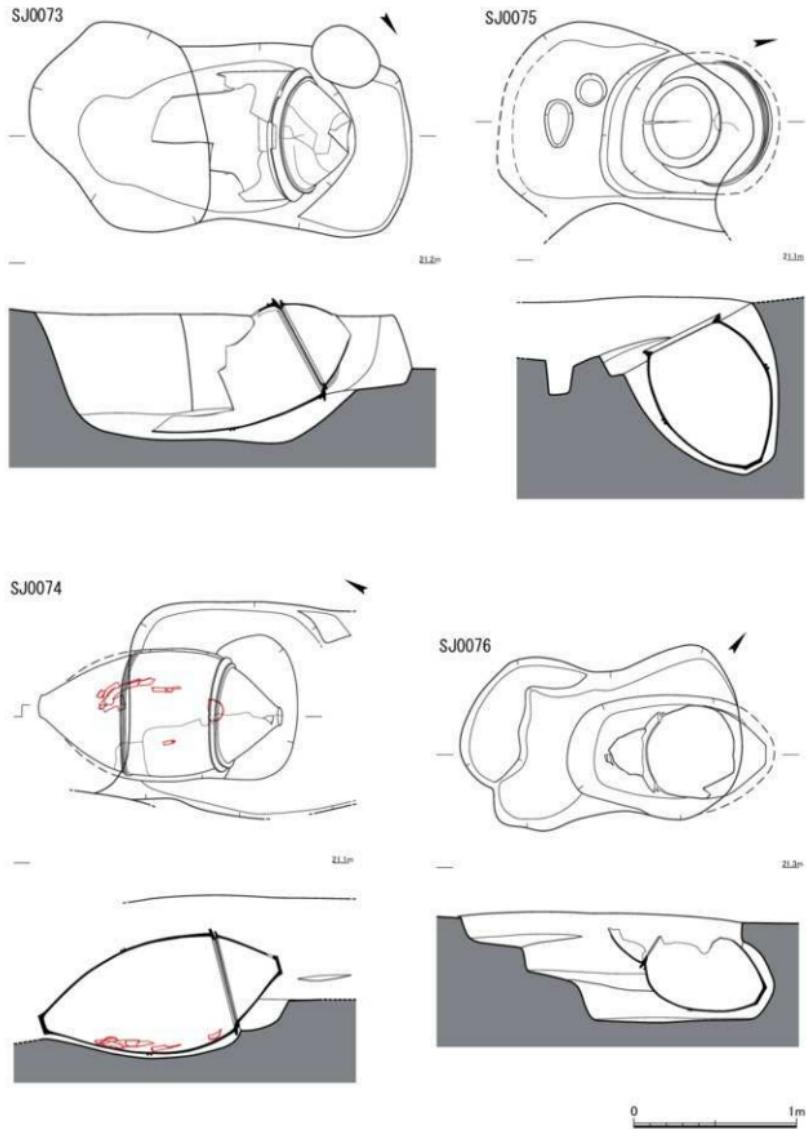


図 117 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 4 (1/30)

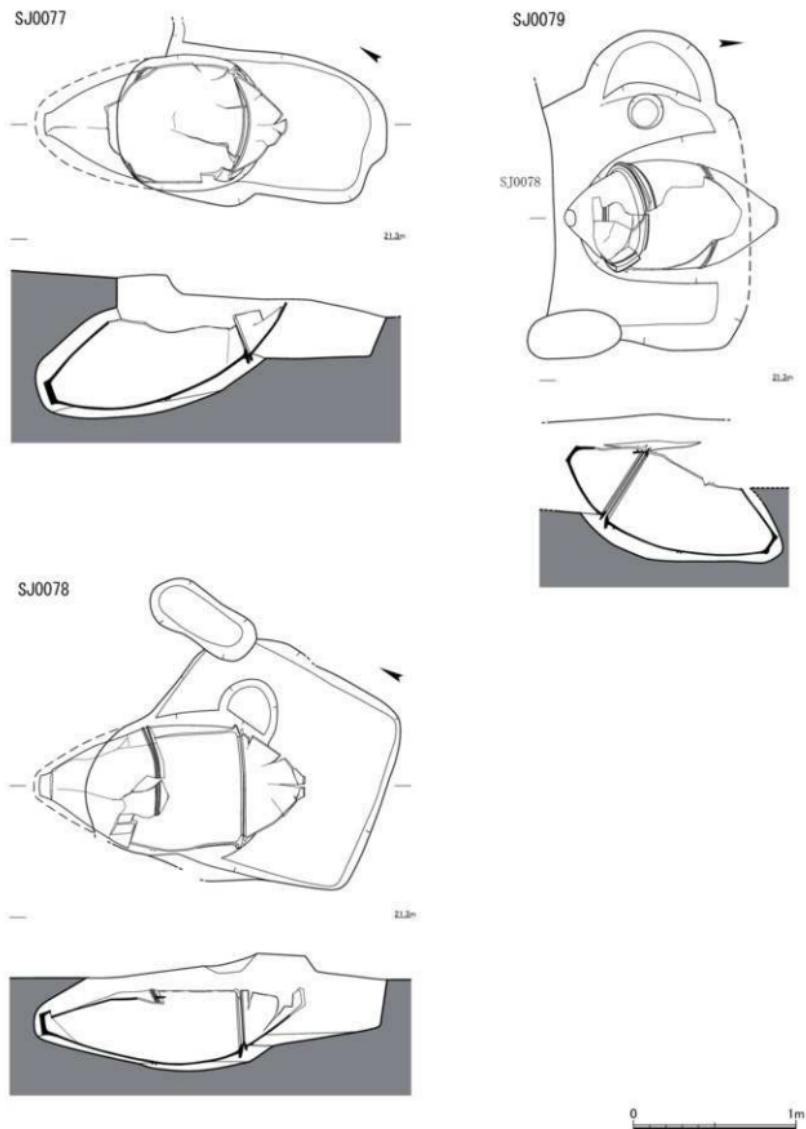


図 118 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窫棺墓 5 (1/30)

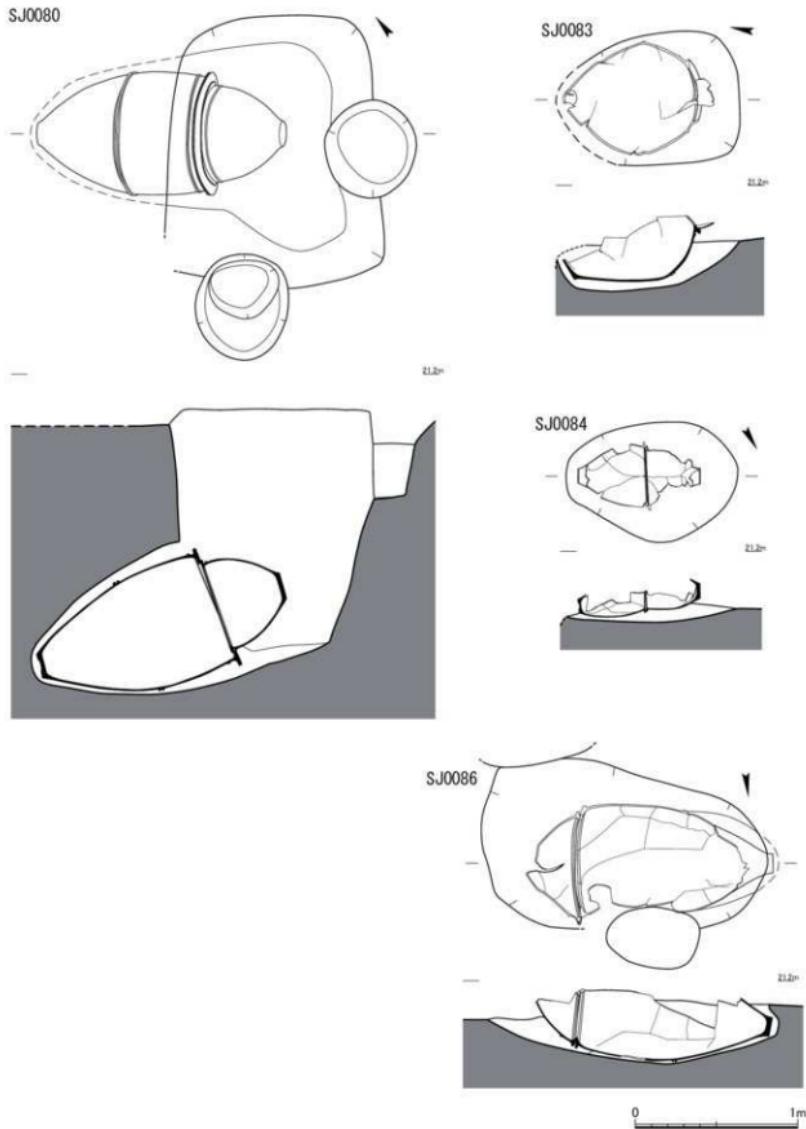
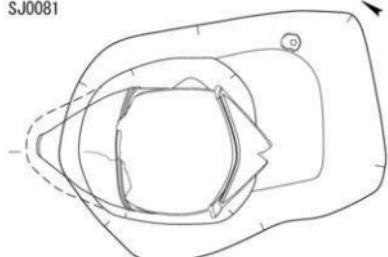
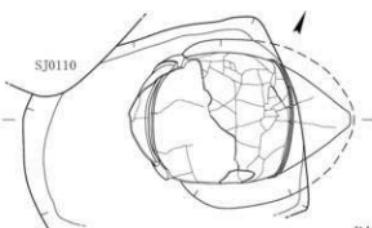


図 119 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 6 (1/30)

SJ0081

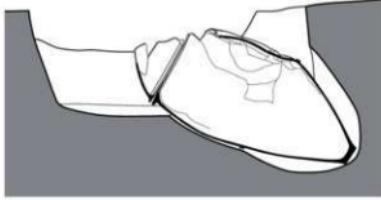
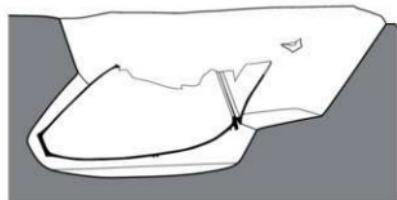


SJ0085

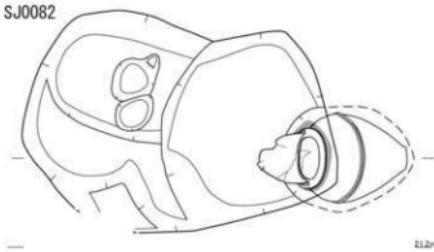


21.2m

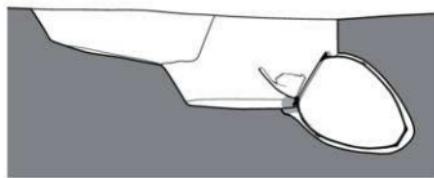
21.4m



SJ0082



21.2m



0 1m

図 120 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 7 (1/30)

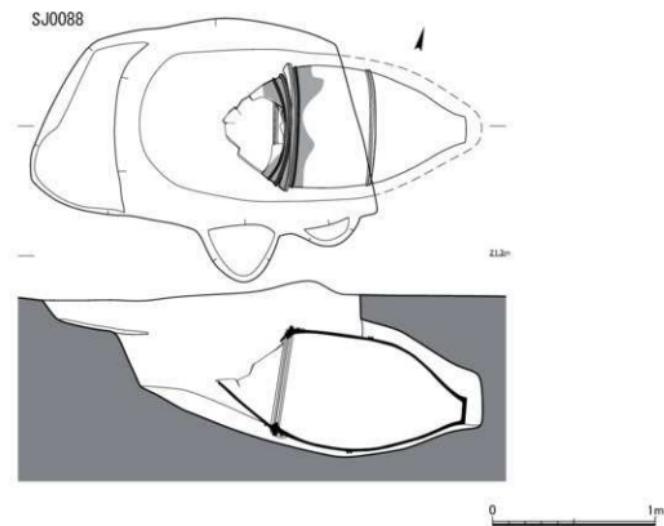
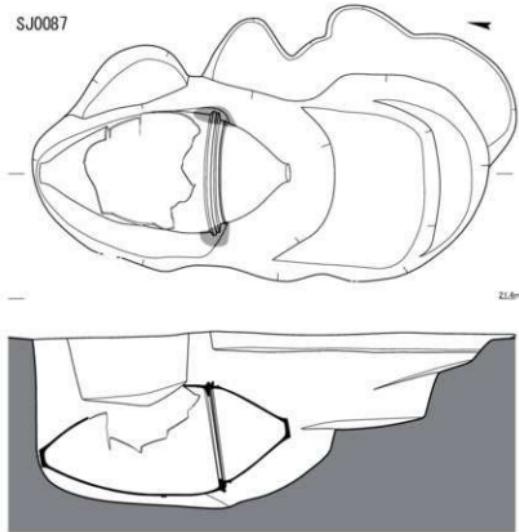


図 121 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 8 (1/30)

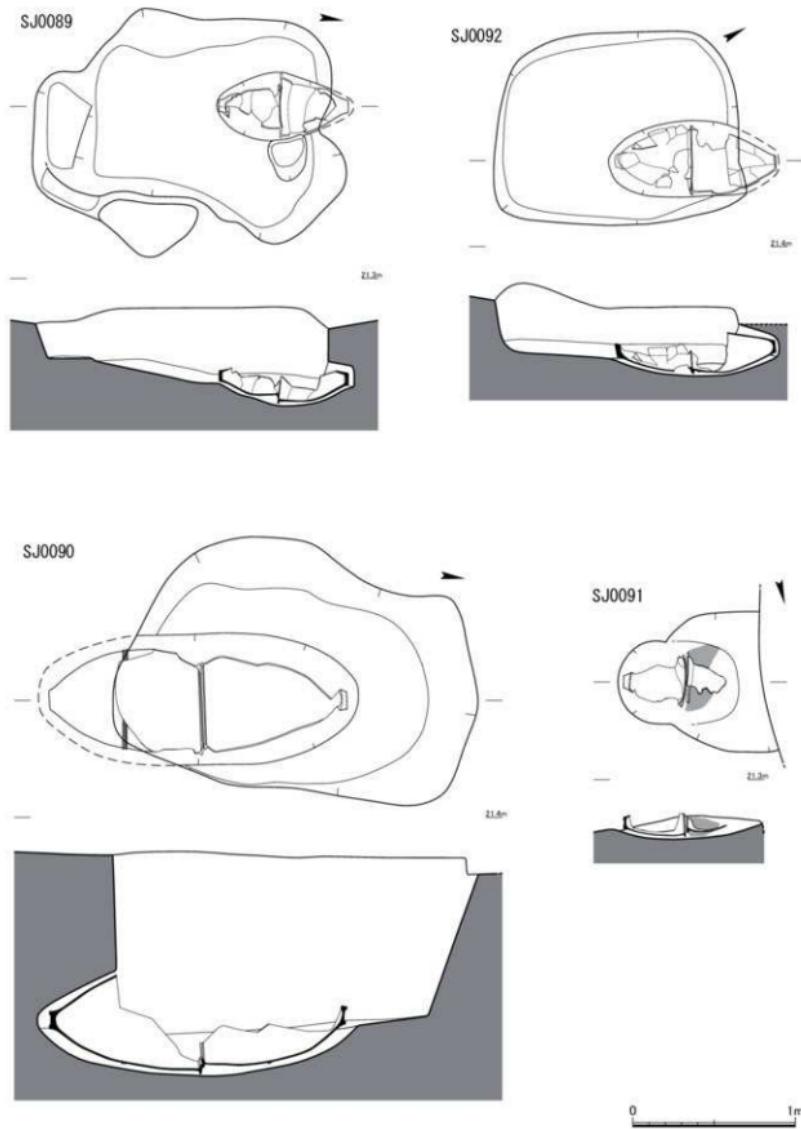


図 122 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 9 (1/30)

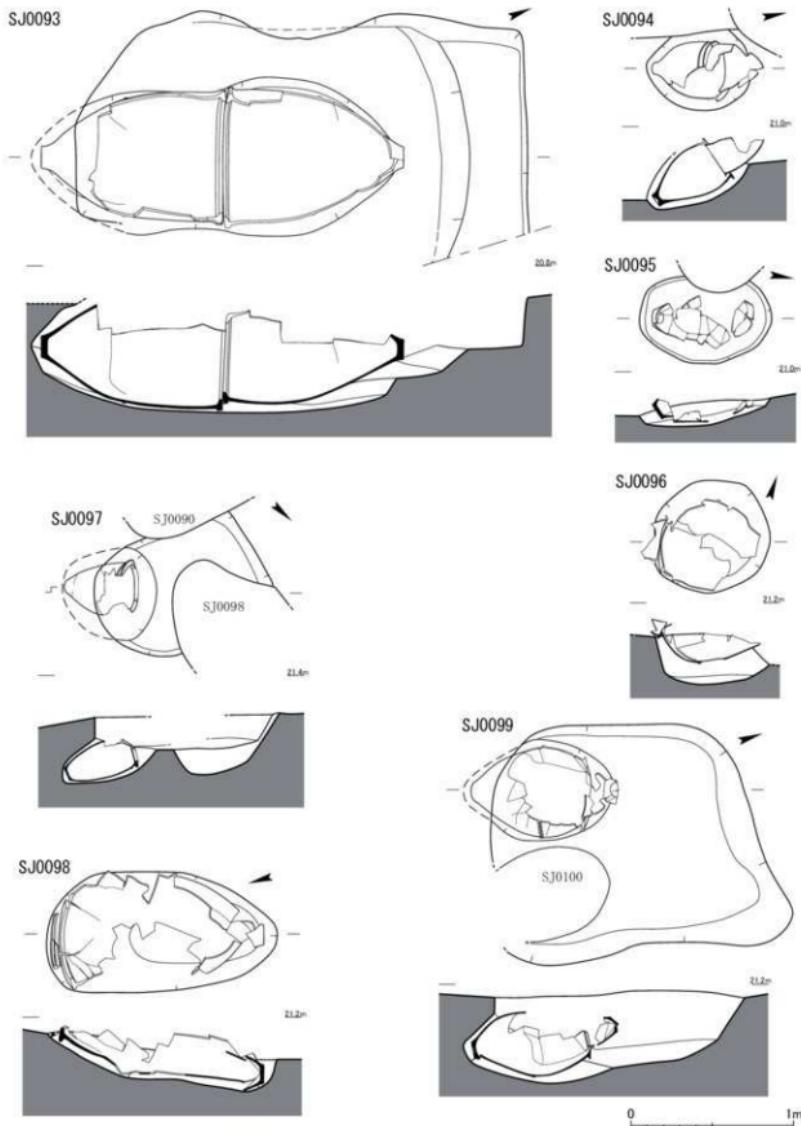


図 123 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 10 (1/30)

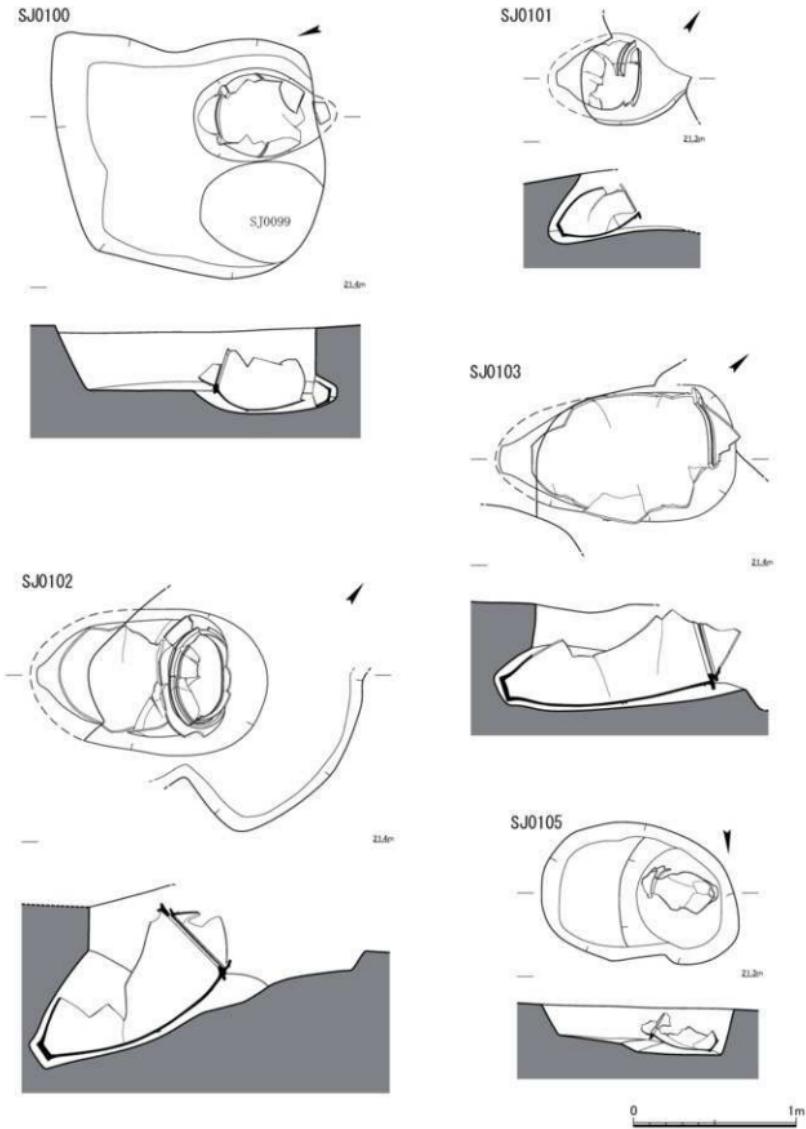


図 124 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 11 (1/30)

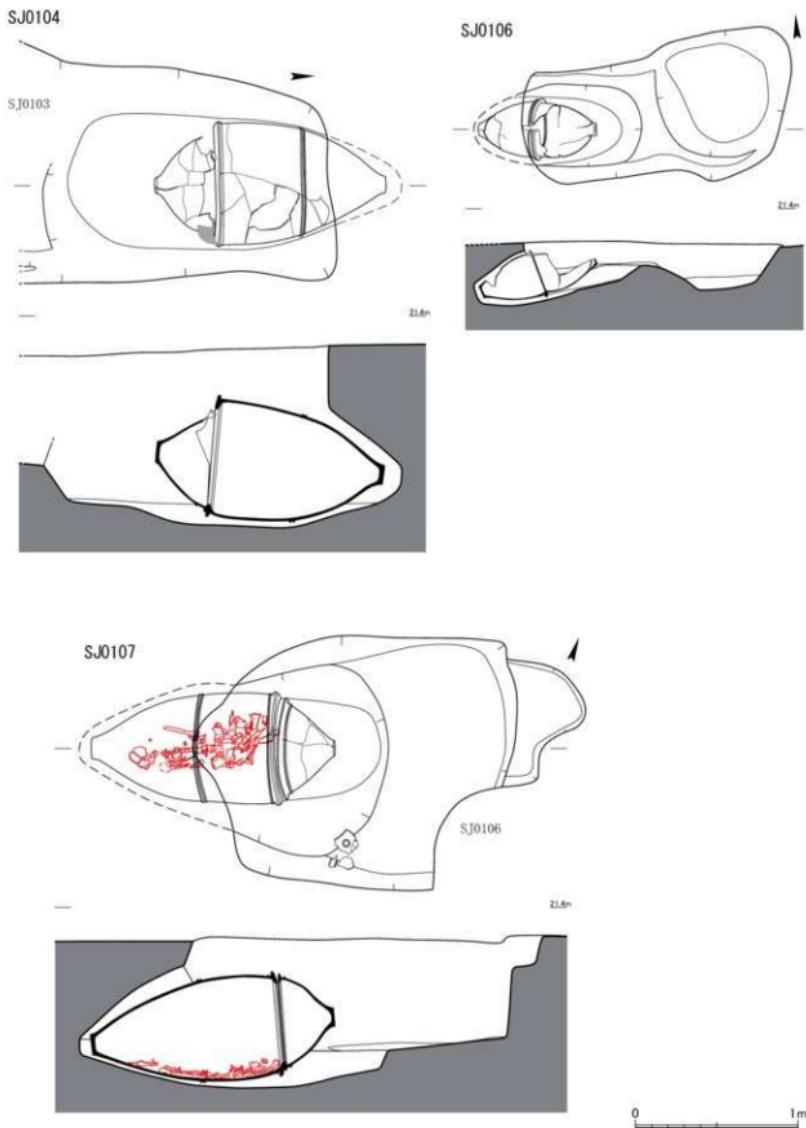
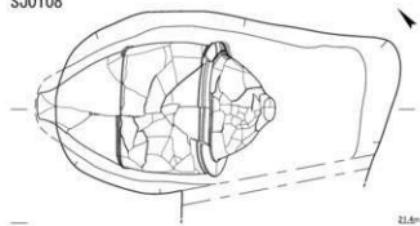


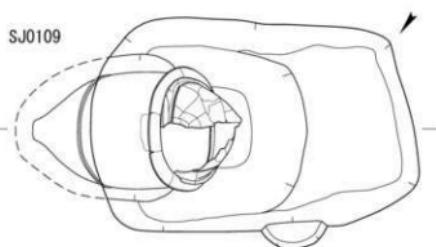
図 125 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓室墓 12 (1/30)

SJ0108

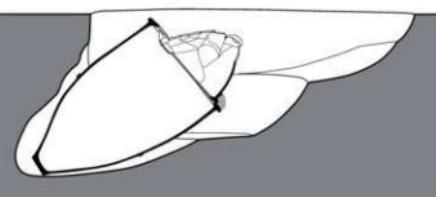


21.5m

SJ0109



21.2m



0 1m

図 126 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 織棺墓 13 (1/30)

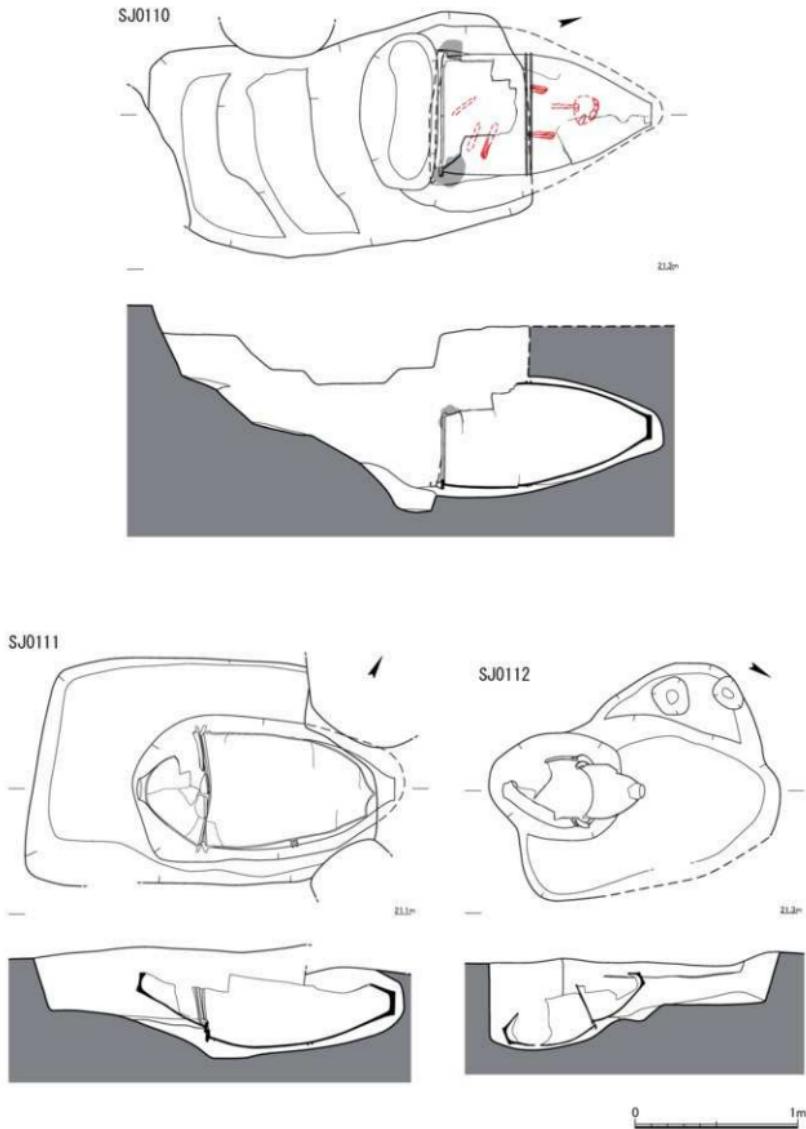
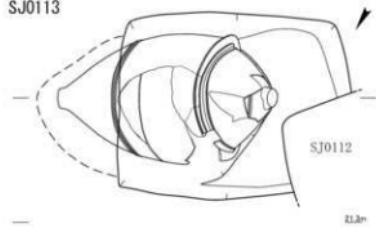


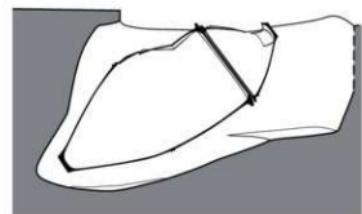
図 127 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓棺墓 14 (1/30)

SJ0113

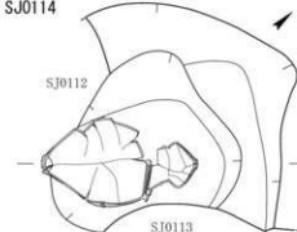


SJ0112

21.3m



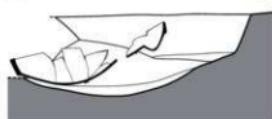
SJ0114



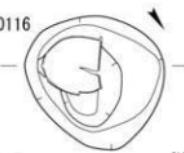
SJ0112

SJ0113

21.2m



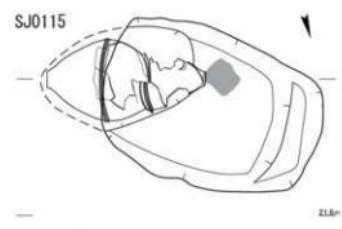
SJ0116



21.2m



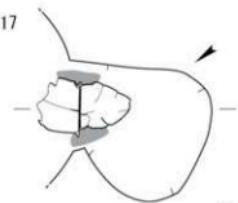
SJ0115



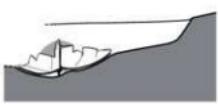
21.6m



SJ0117



21.2m



0

1m

図 128 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 繋棺墓 15 (1/30)

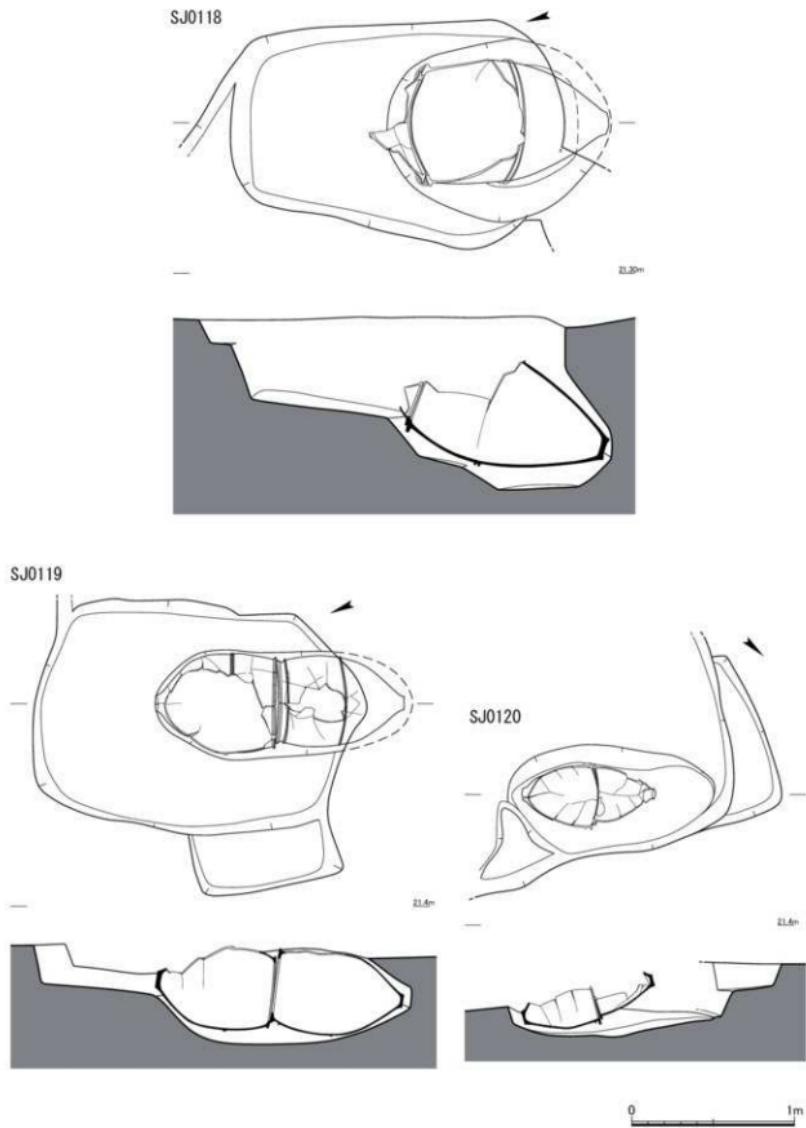


図129 吉野ヶ里丘陵地区II区 墓棺墓16 (1/30)

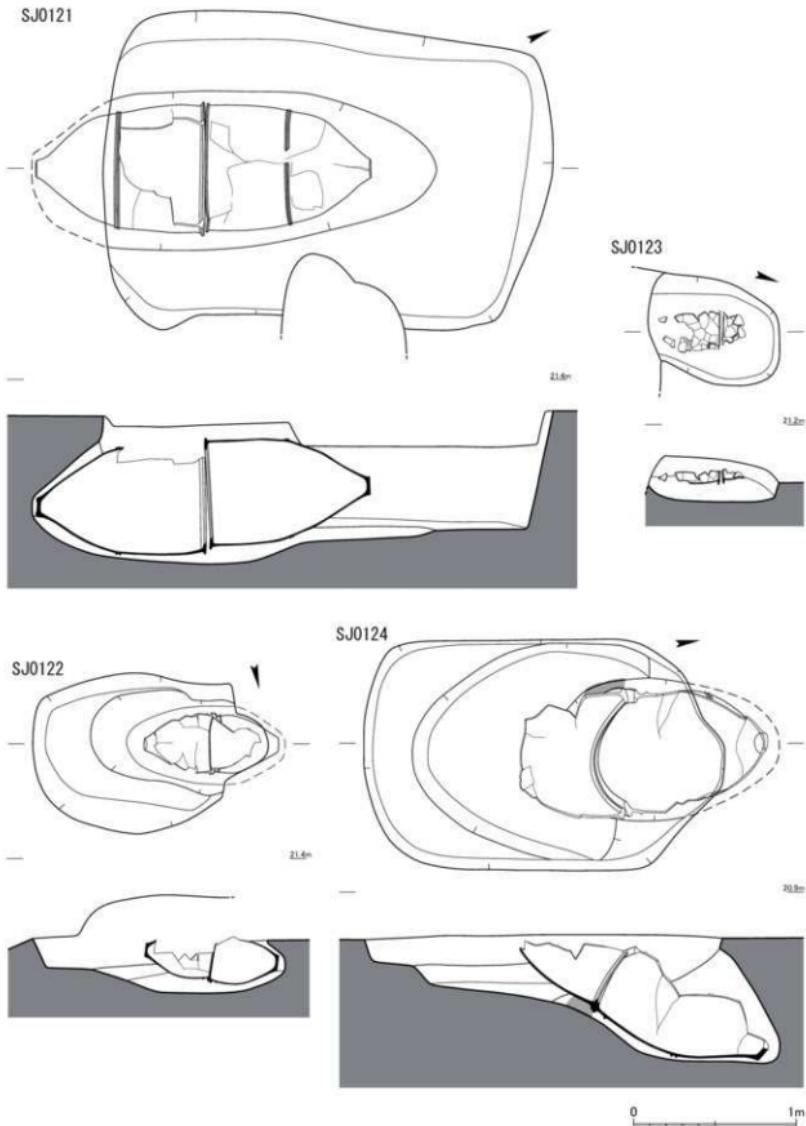


図 130 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 17 (1/30)

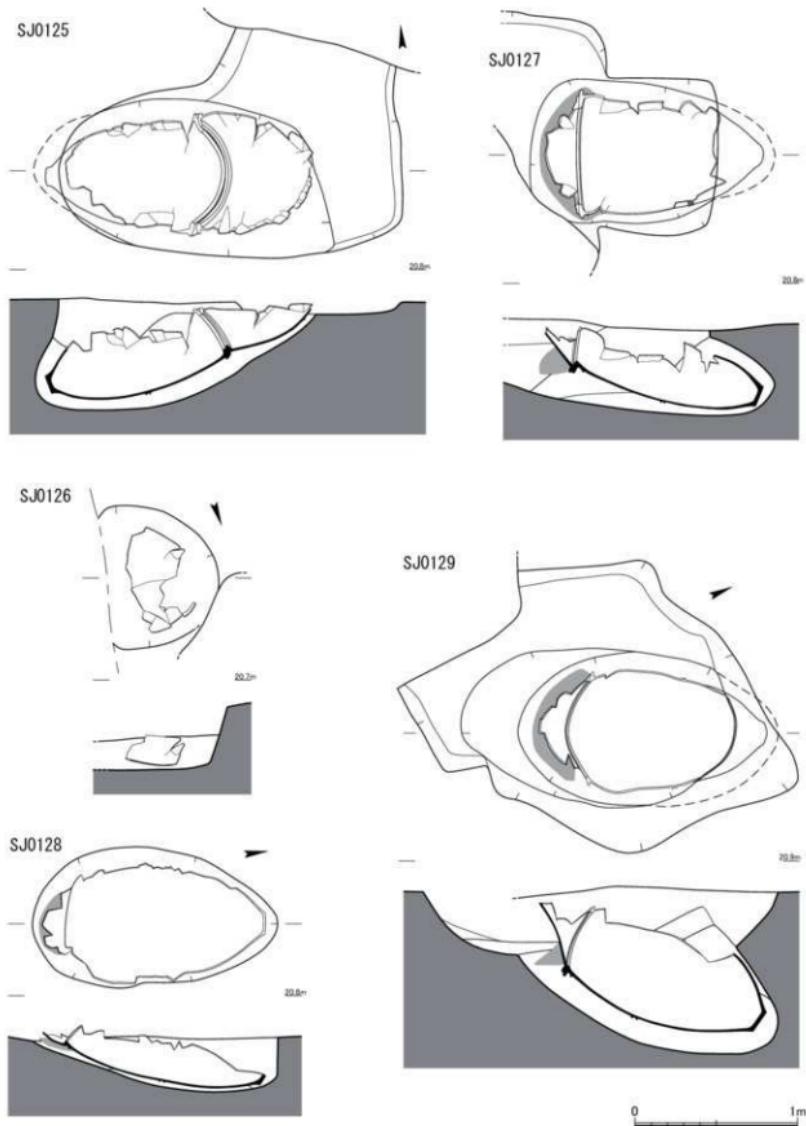
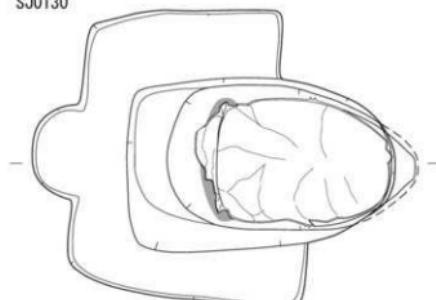
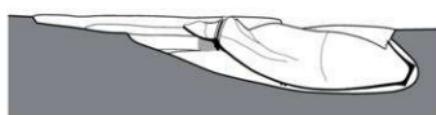


図 131 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓棺墓 18 (1/30)

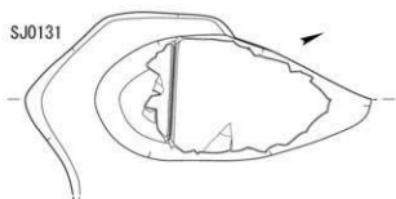
SJ0130



20.0m



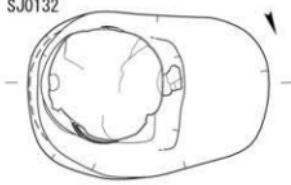
SJ0131



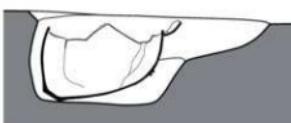
20.0m



SJ0132



20.0m



0 1m

図 132 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 繋棺墓 19 (1/30)

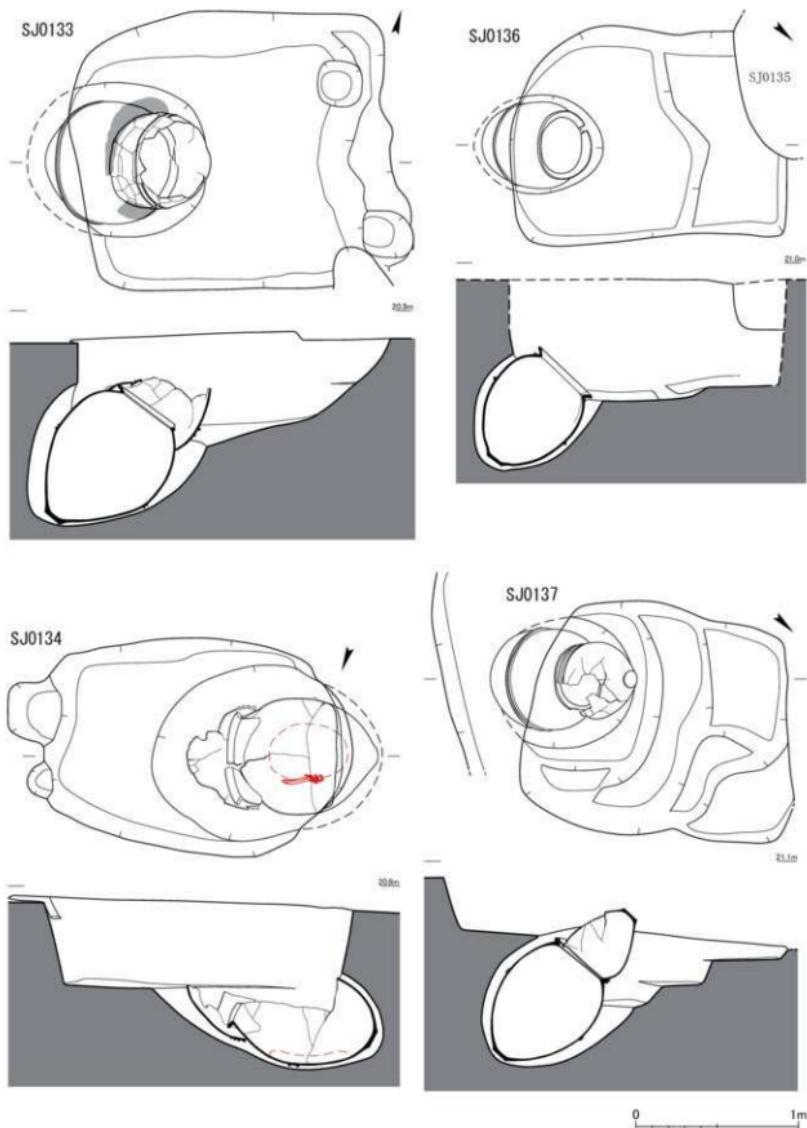


図 133 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 20 (1/30)

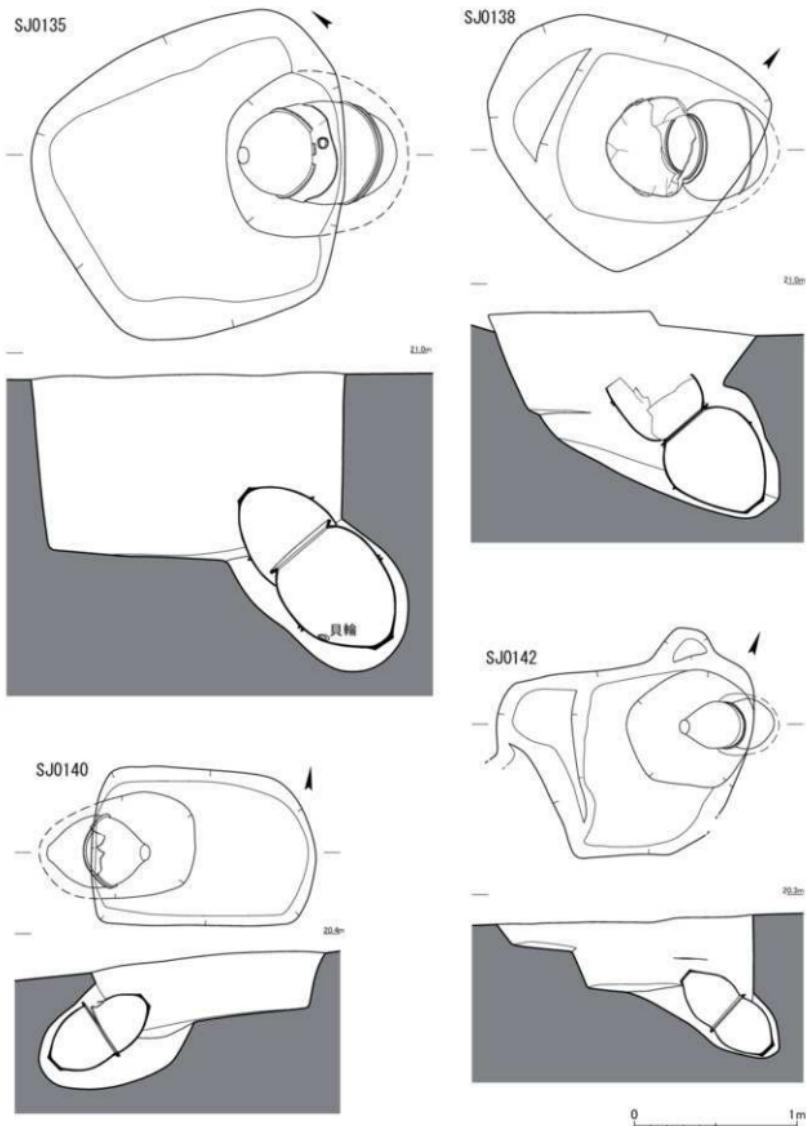


図 134 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 21 (1/30)

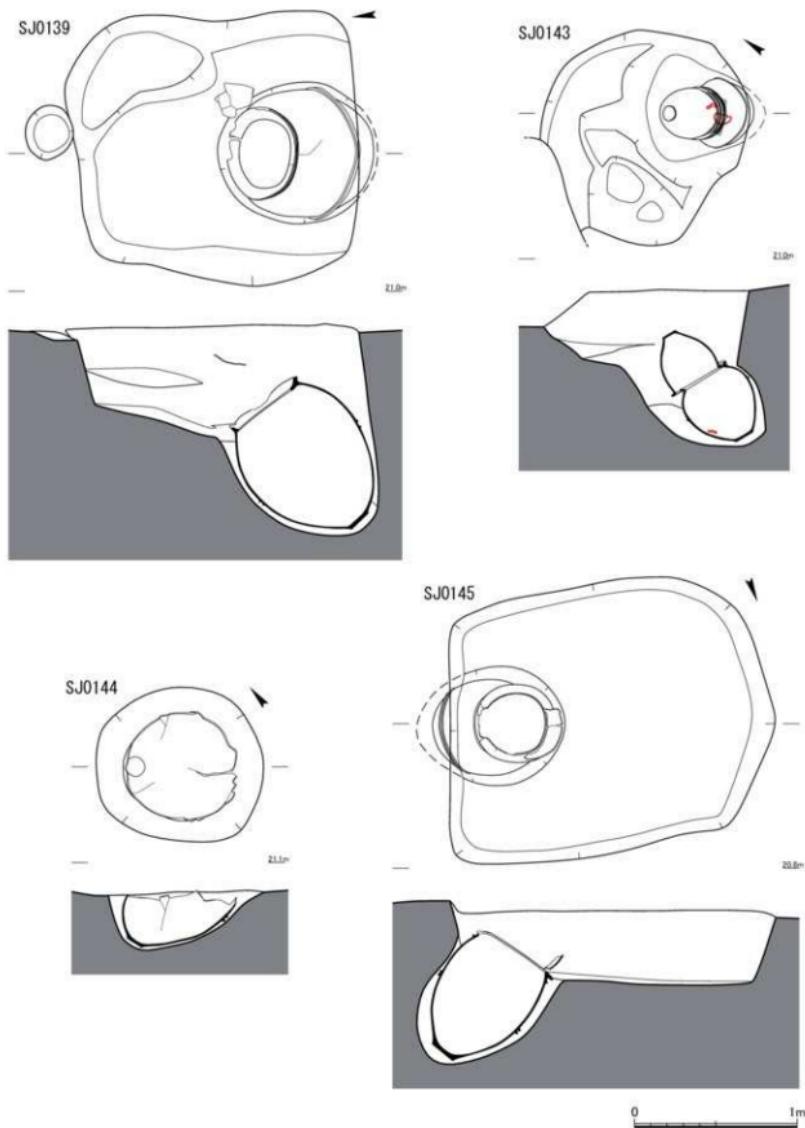


図 135 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓棺墓 22 (1/30)

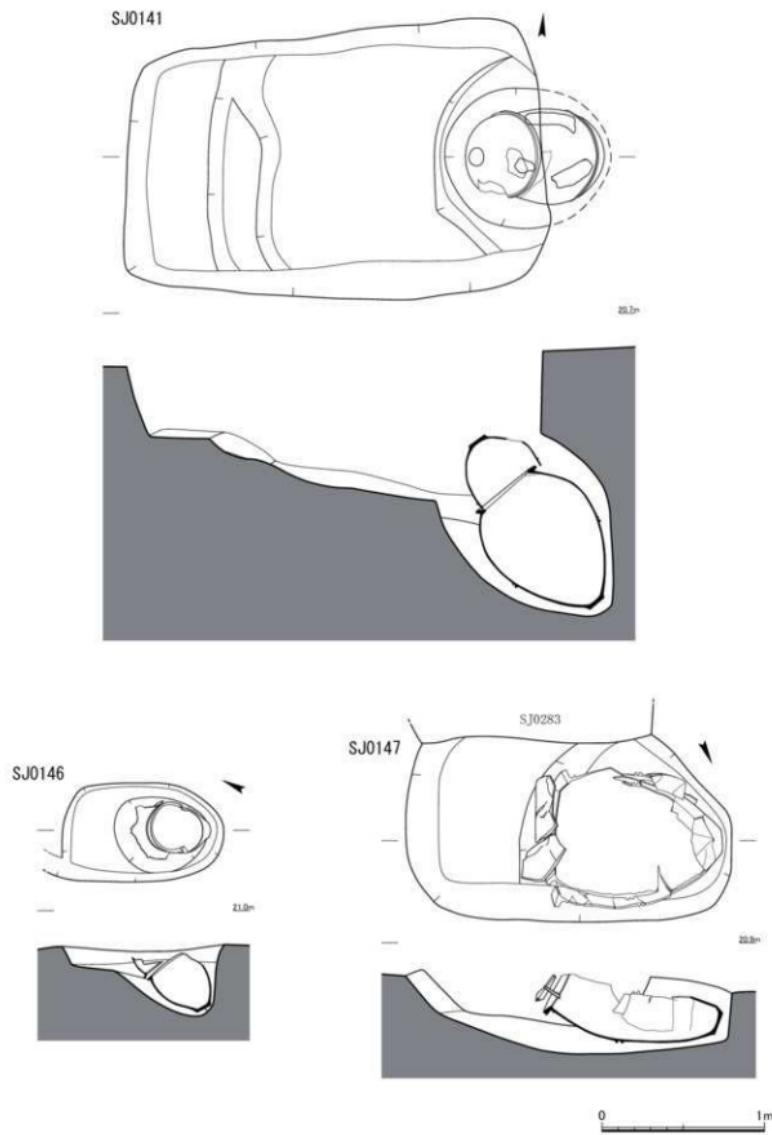


図 136 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 窯棺墓 23 (1/30)

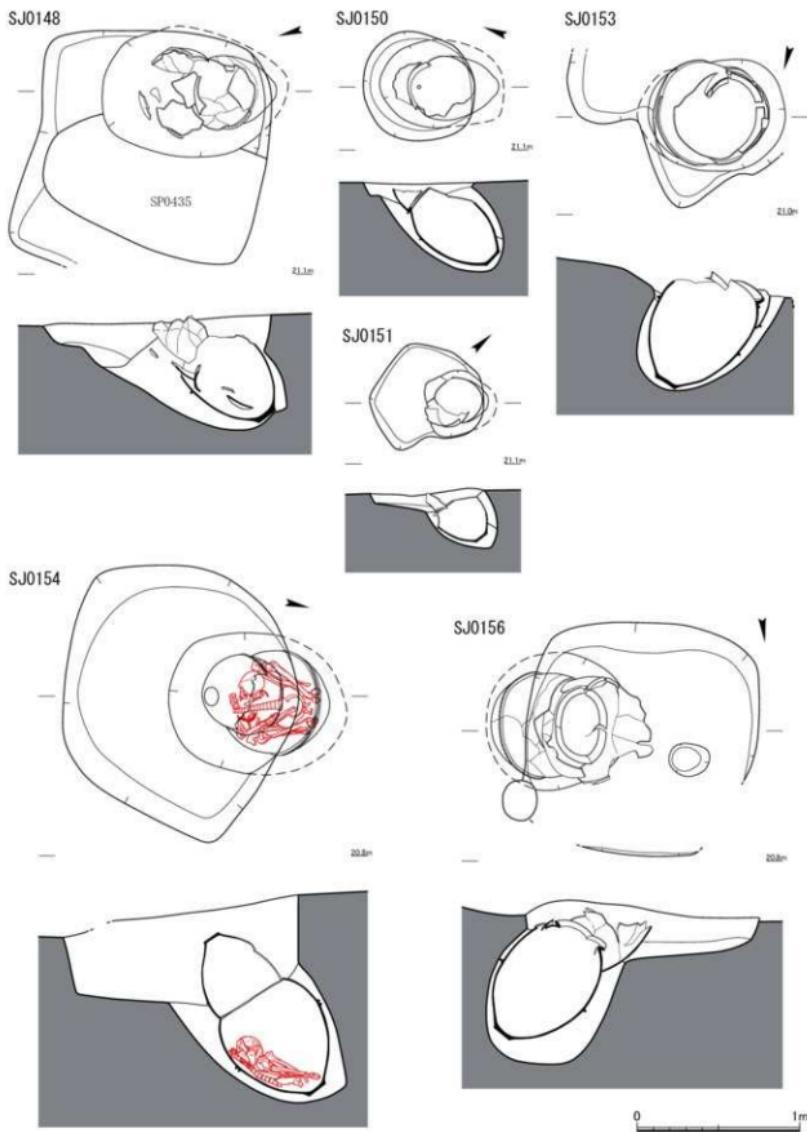


図 137 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 繁栄墓 24 (1/30)

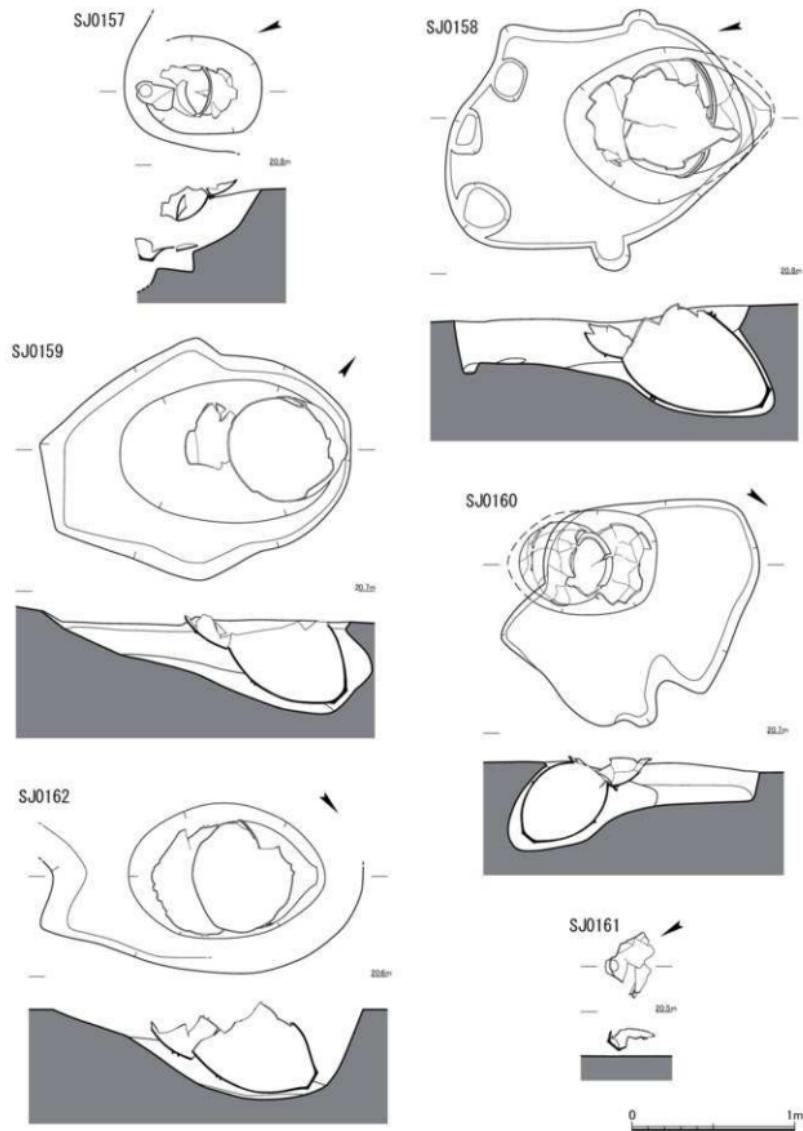


図 138 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 25 (1/30)

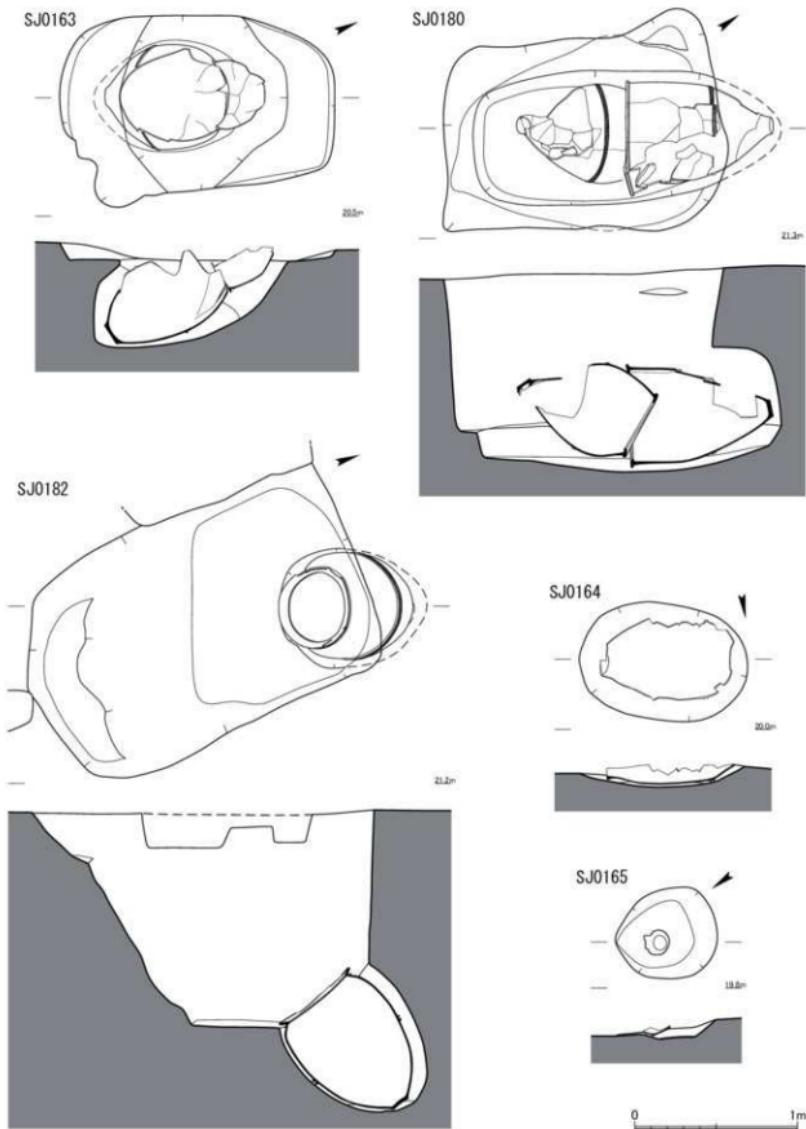


図 139 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓 26 (1/30)

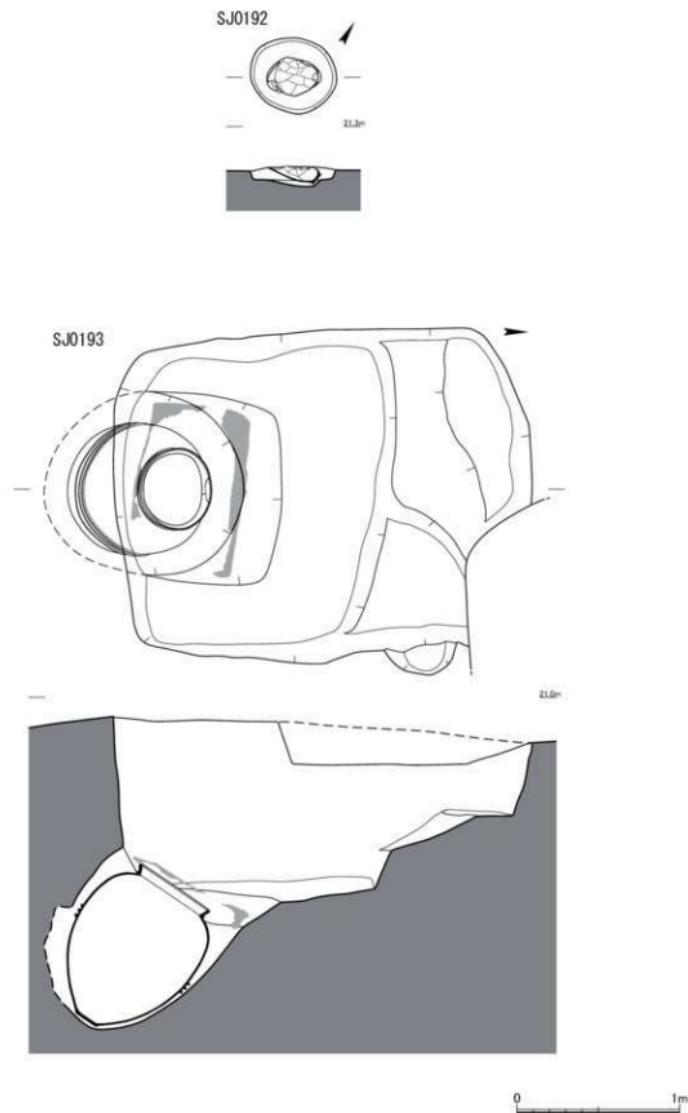


図 140 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 窯棺墓 27 (1/30)

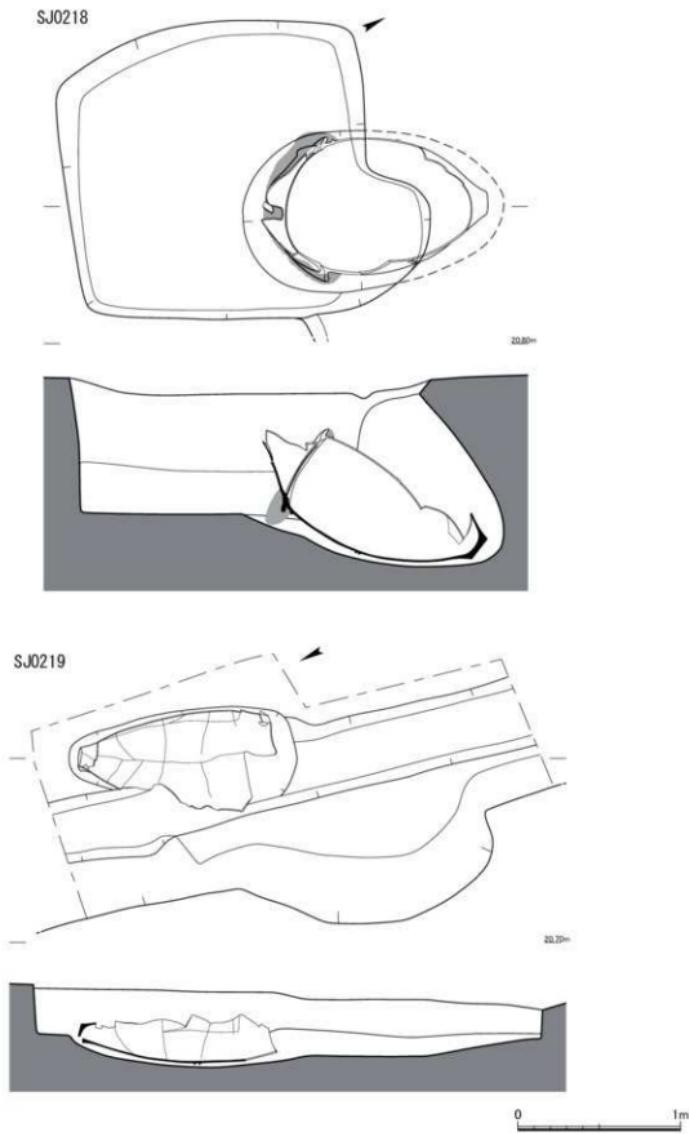


図 141 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 28 (1/30)

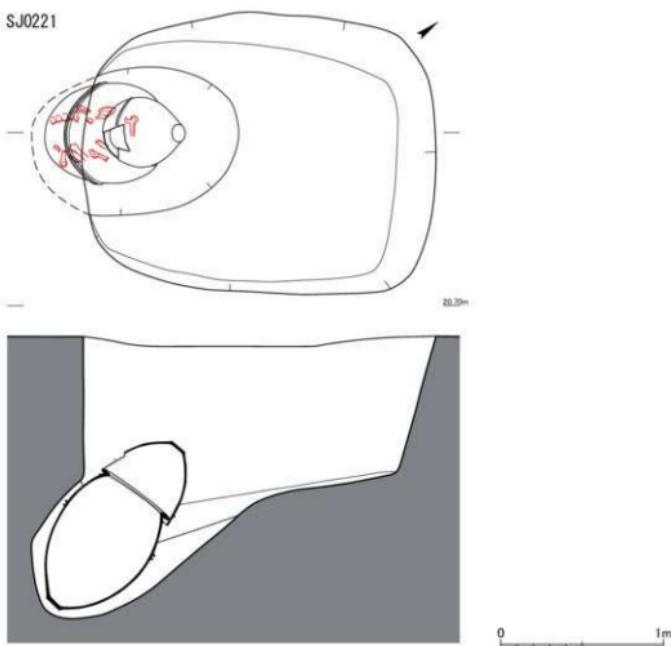


図 142 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 29 (1/30)

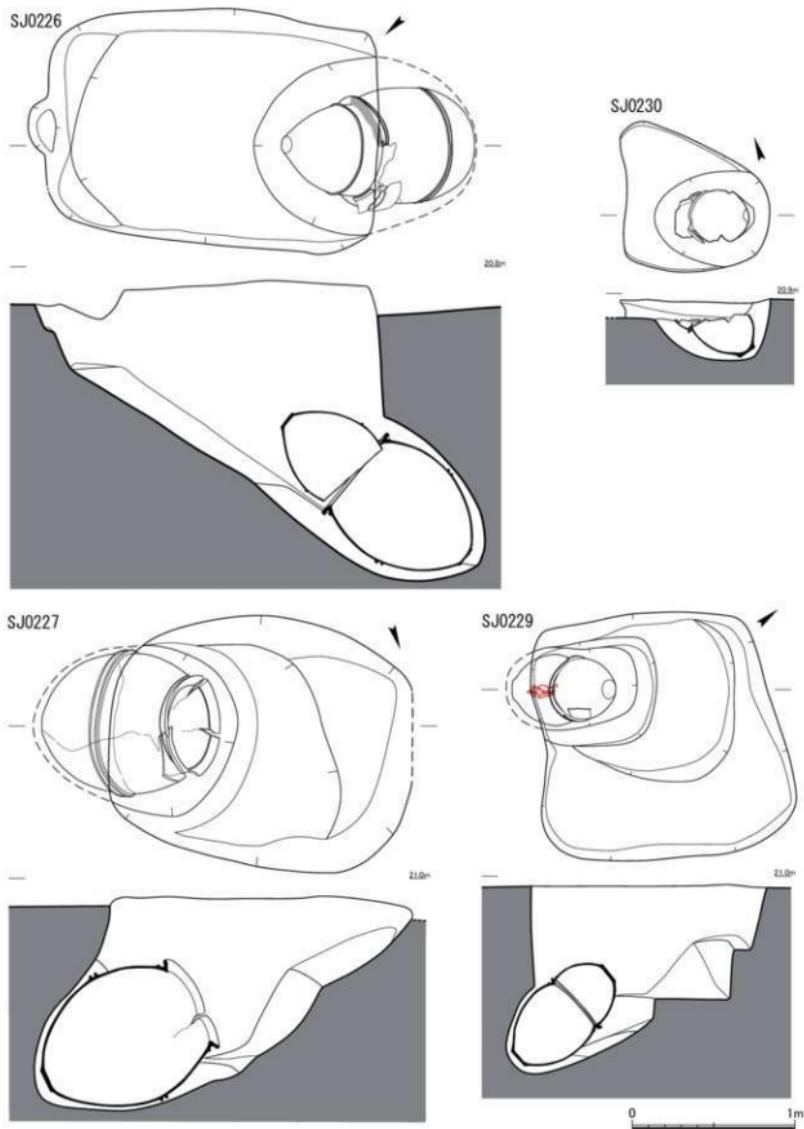


図 143 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 30 (1/30)

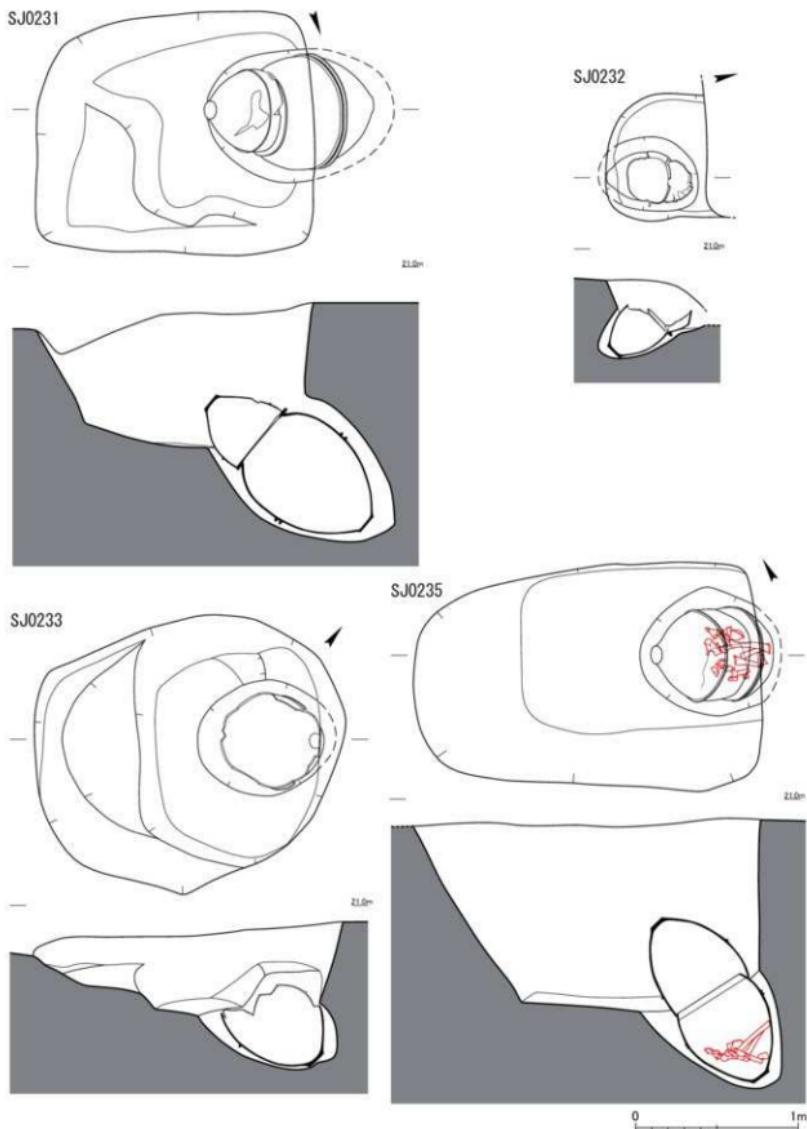


図 144 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 31 (1/30)

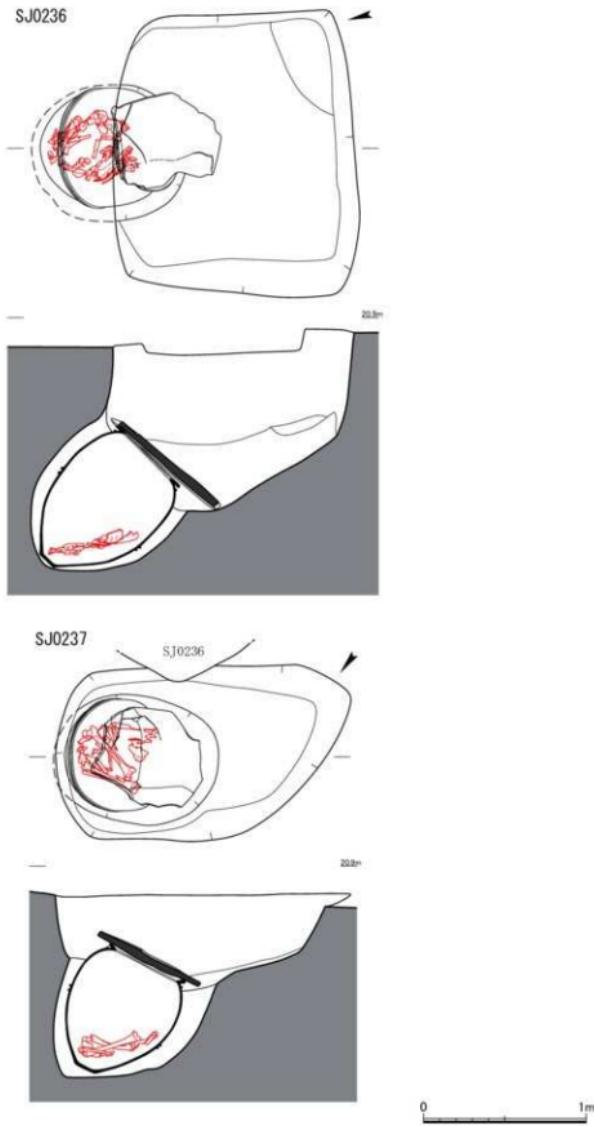


図 145 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 32 (1/30)

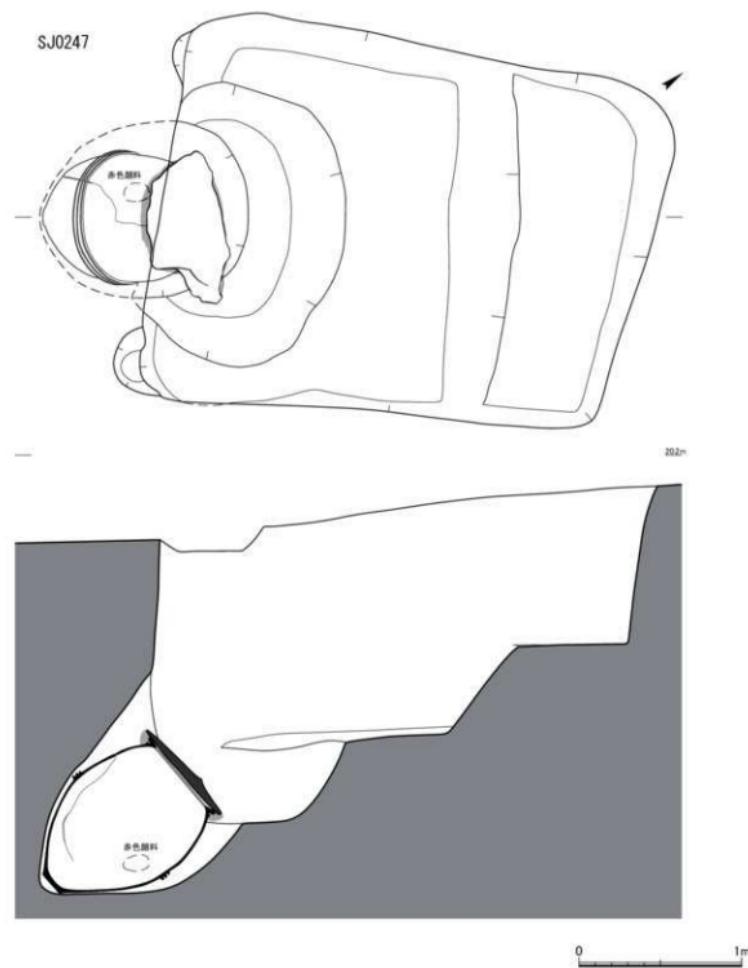


図 146 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 瓦棺墓 33 (1/30)

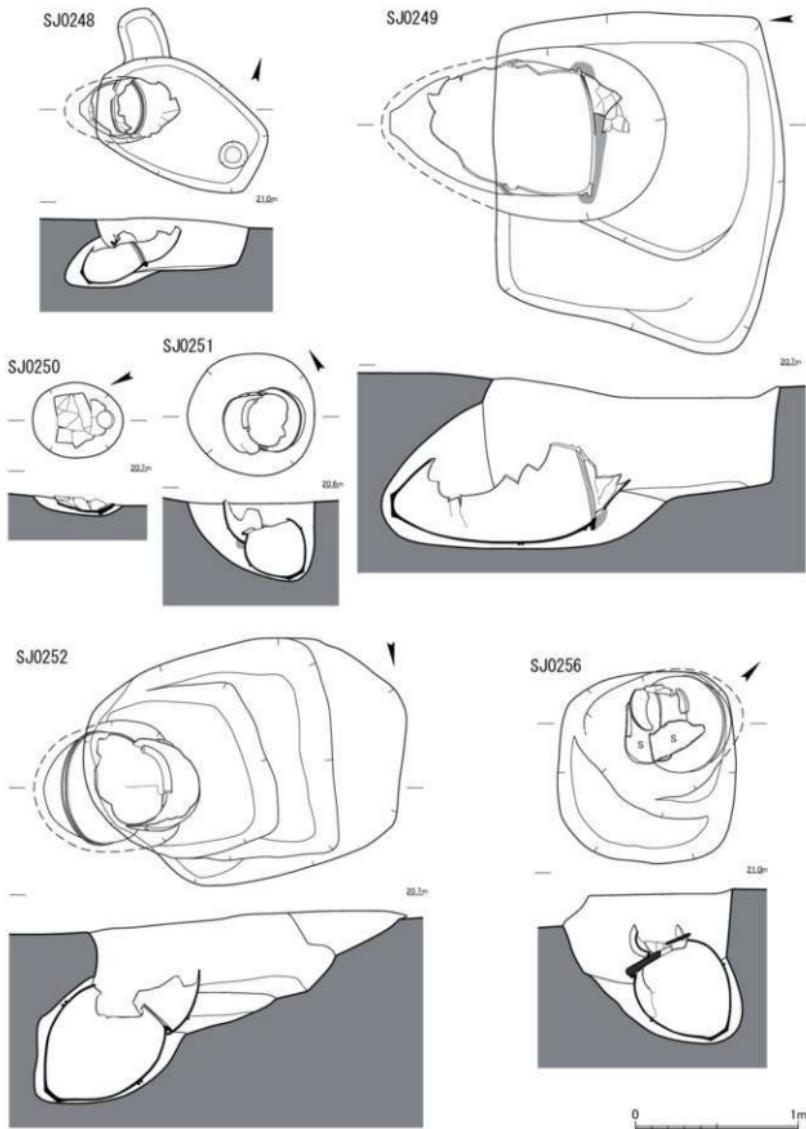


図 147 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 34 (1/30)

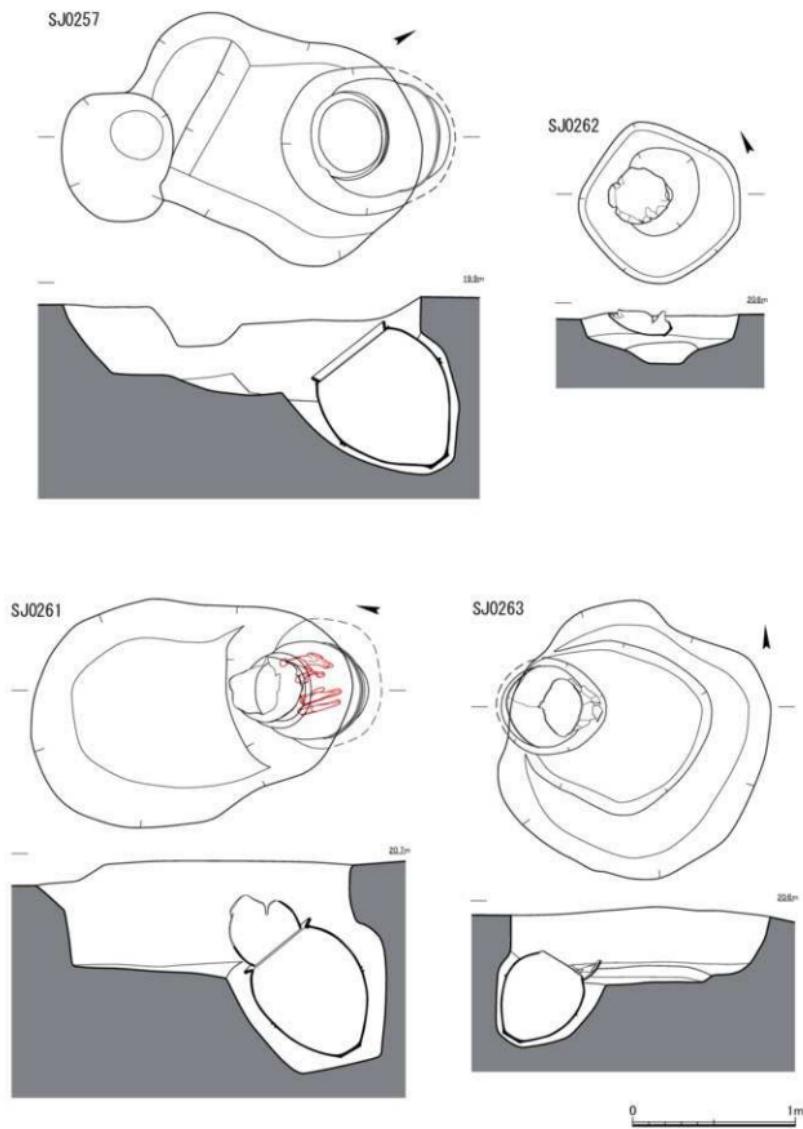


図 148 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 35 (1/30)

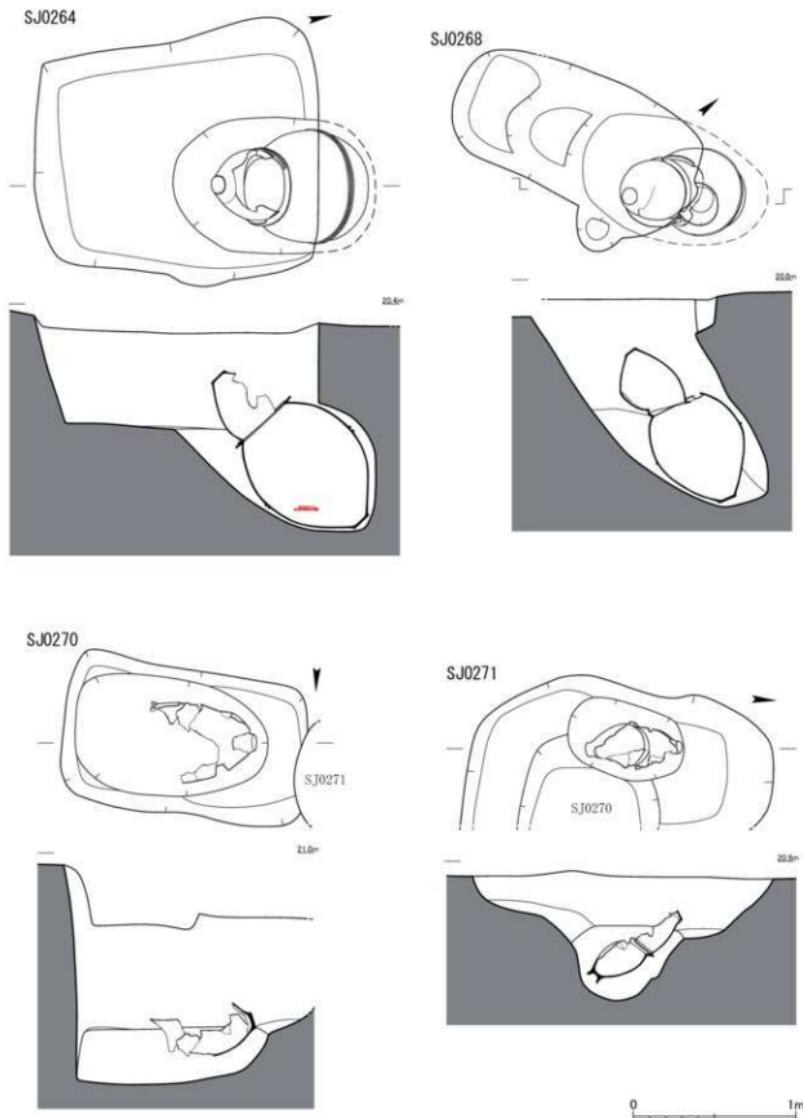
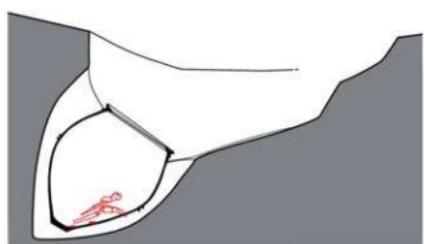
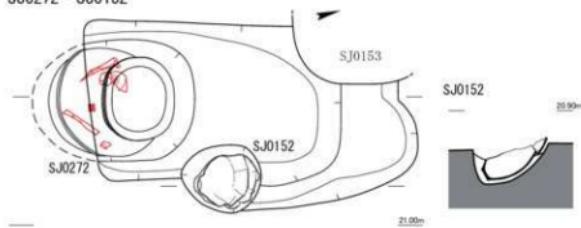
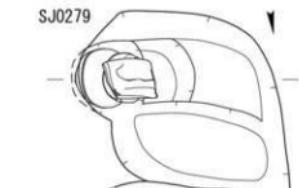
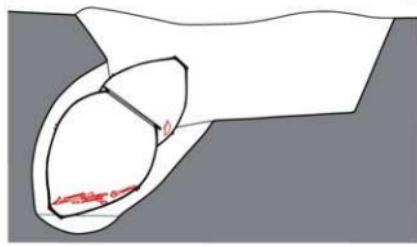
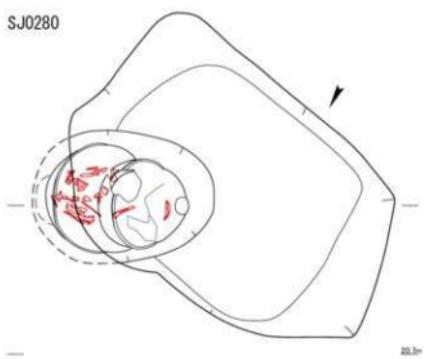


図 149 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 36 (1/30)

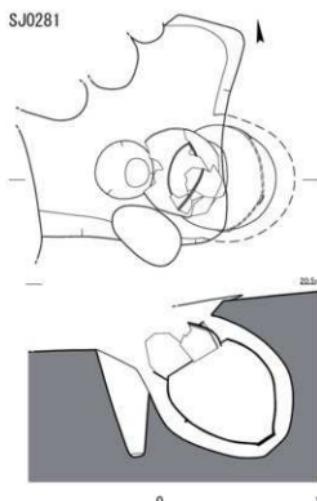
SJ0272・SJ0152



SJ0280



SJ0281



0 1m

図 150 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 繁栄墓 37 (1/30)

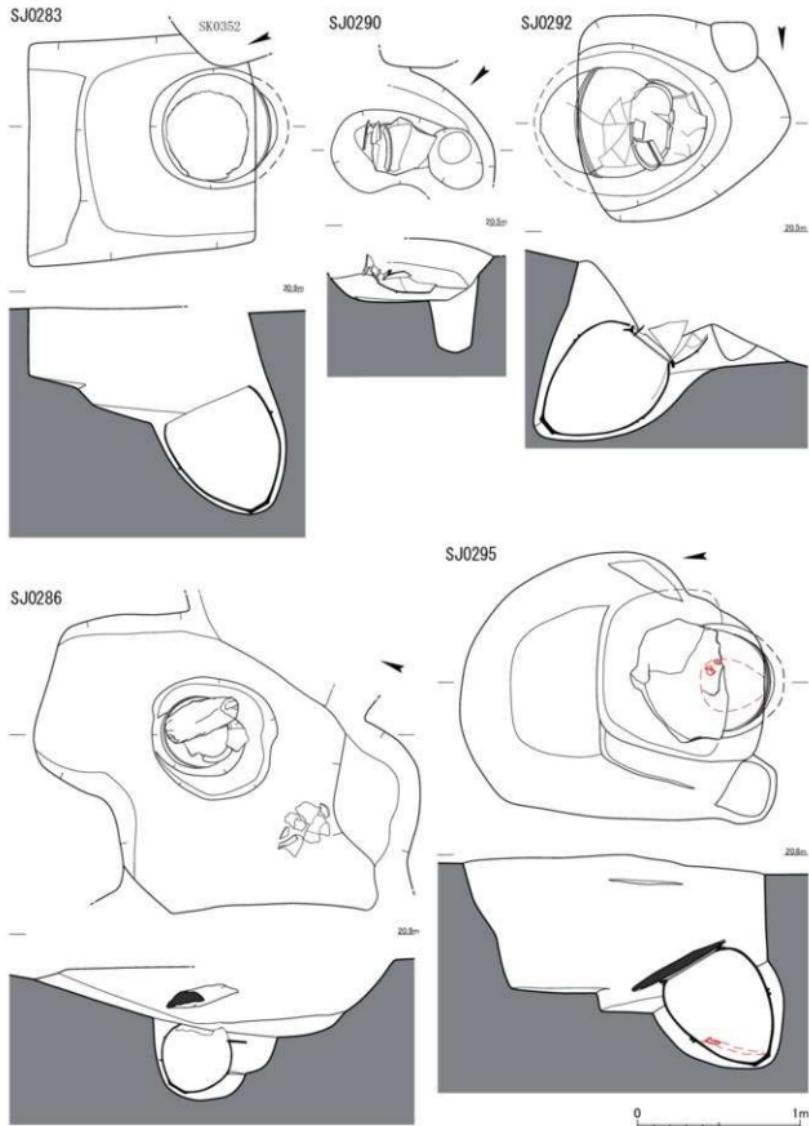


図 151 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 38 (1/30)

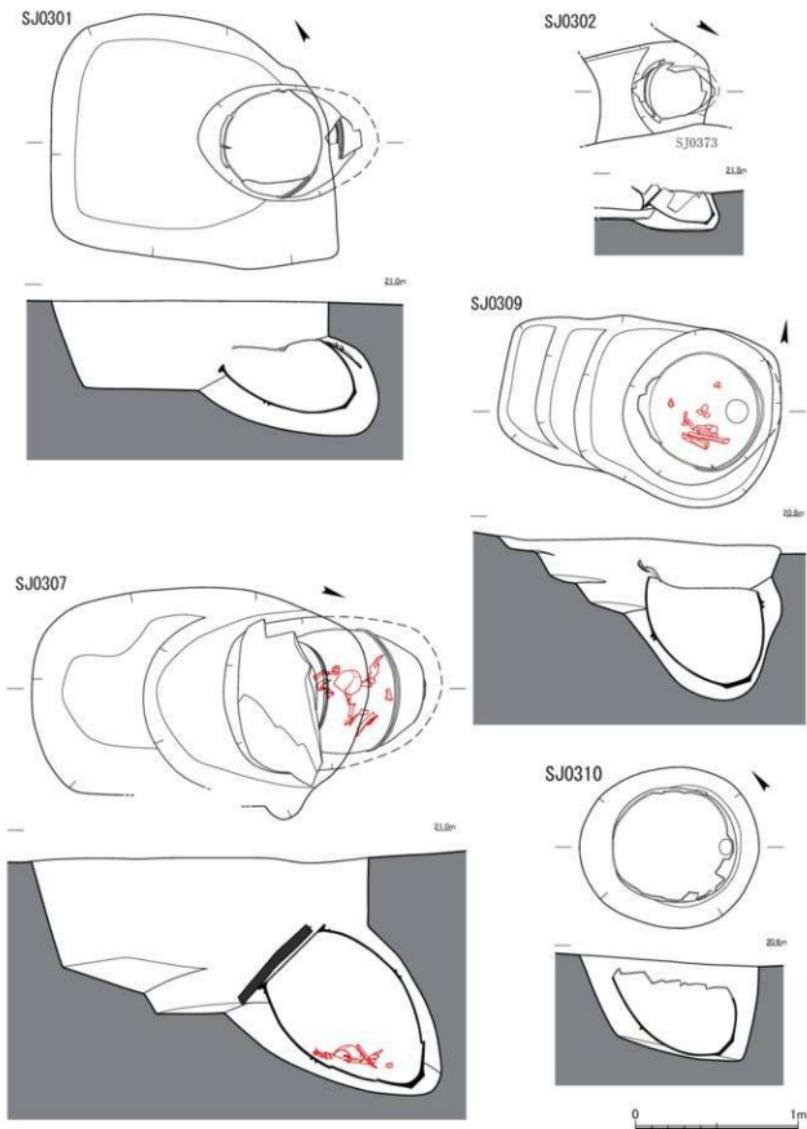


図 152 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 39 (1/30)

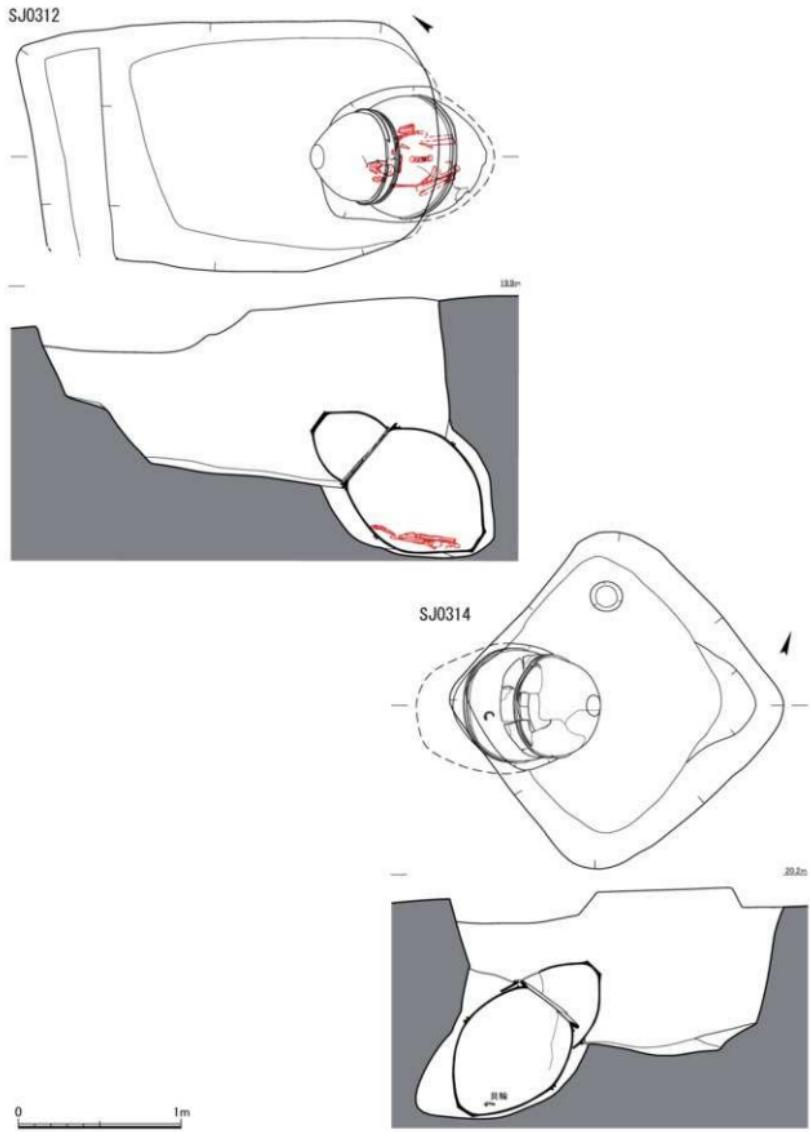


図 153 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 40 (1/30)

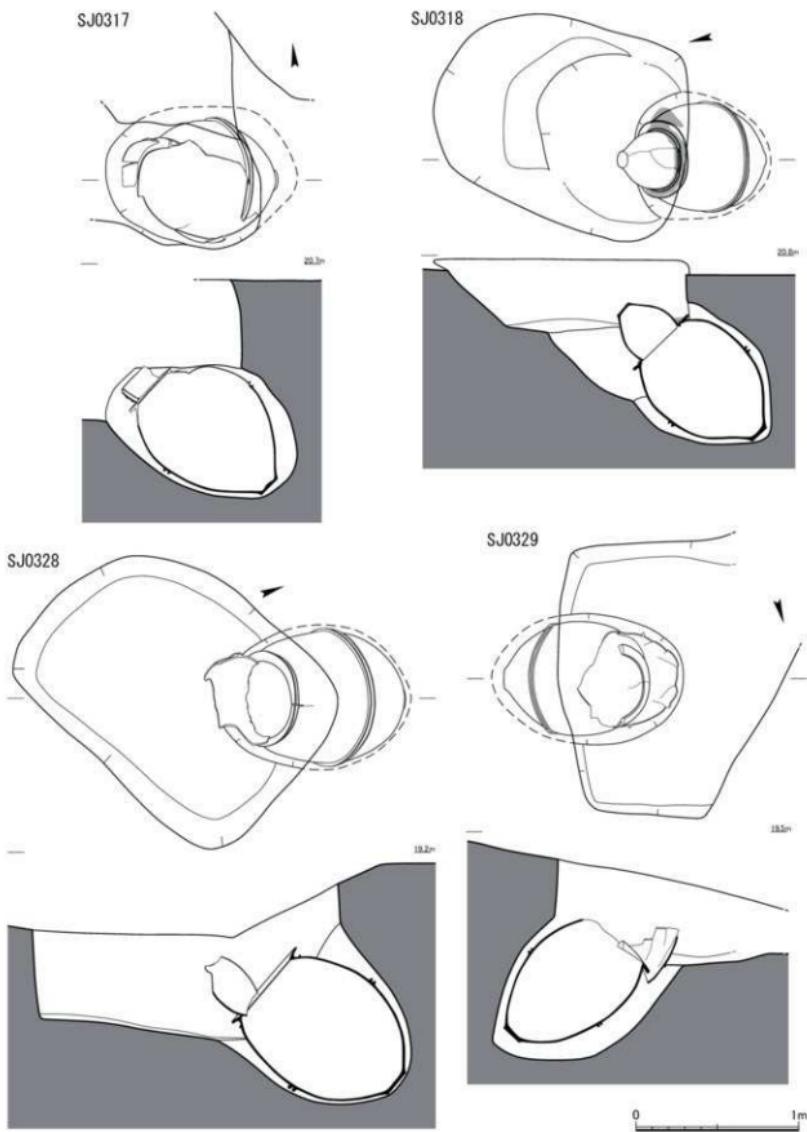


図 154 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 41 (1/30)

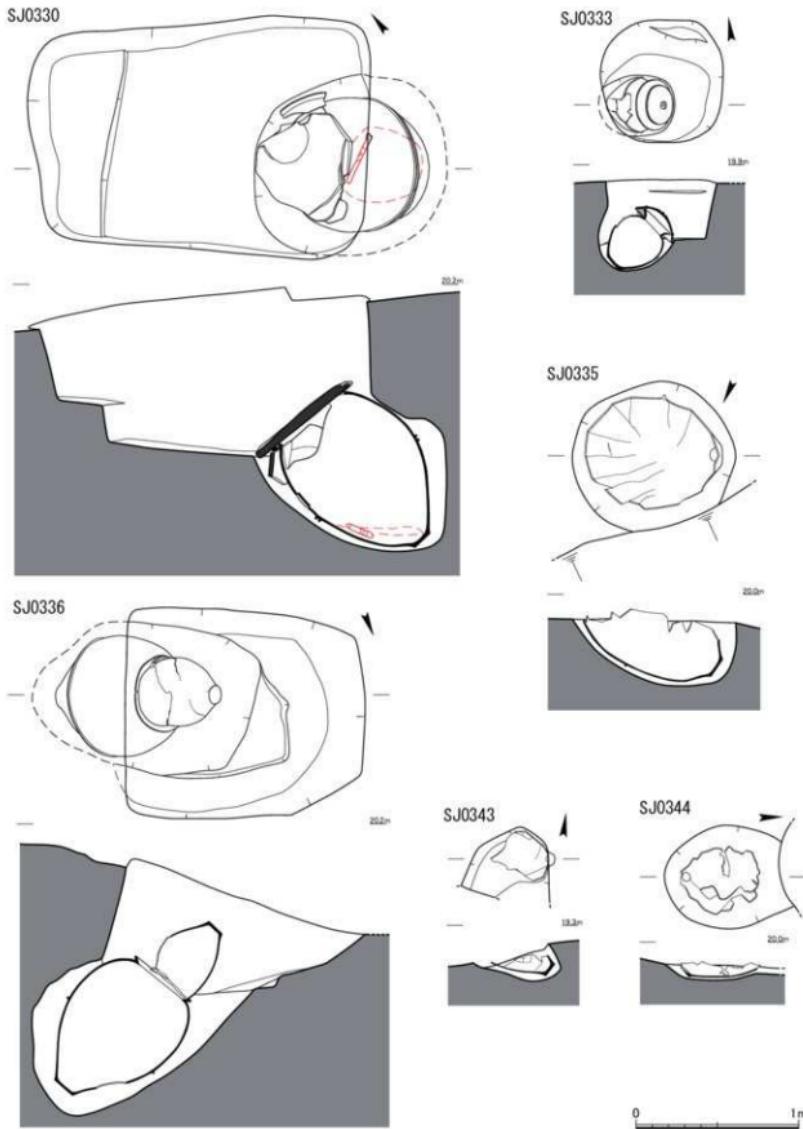


図155 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓42 (1/30)

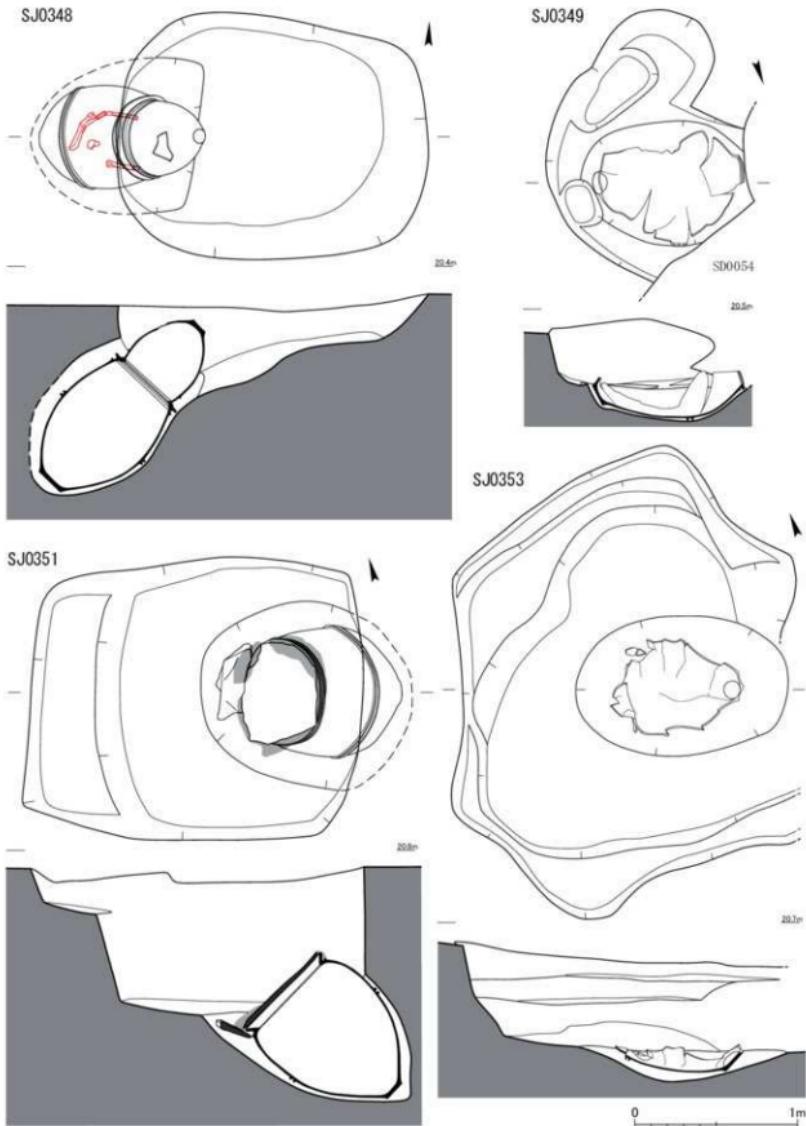


図 156 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 窯棺墓 43 (1/30)

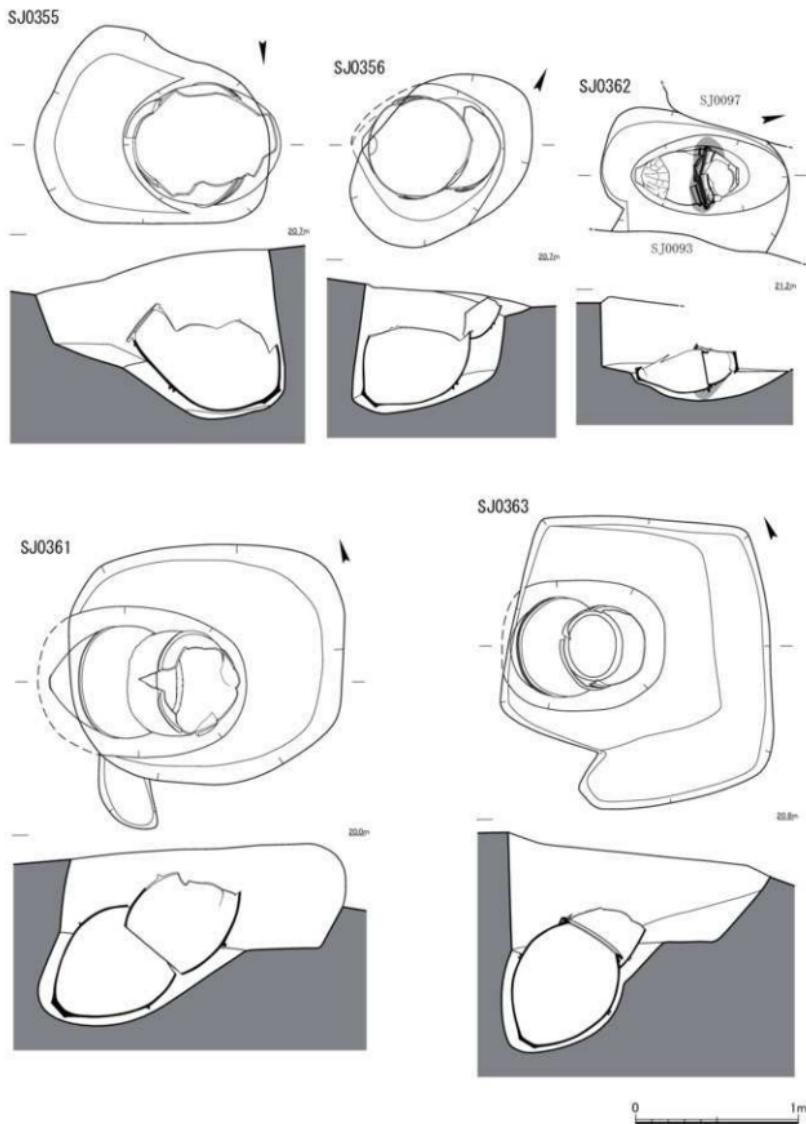


図 157 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 44 (1/30)

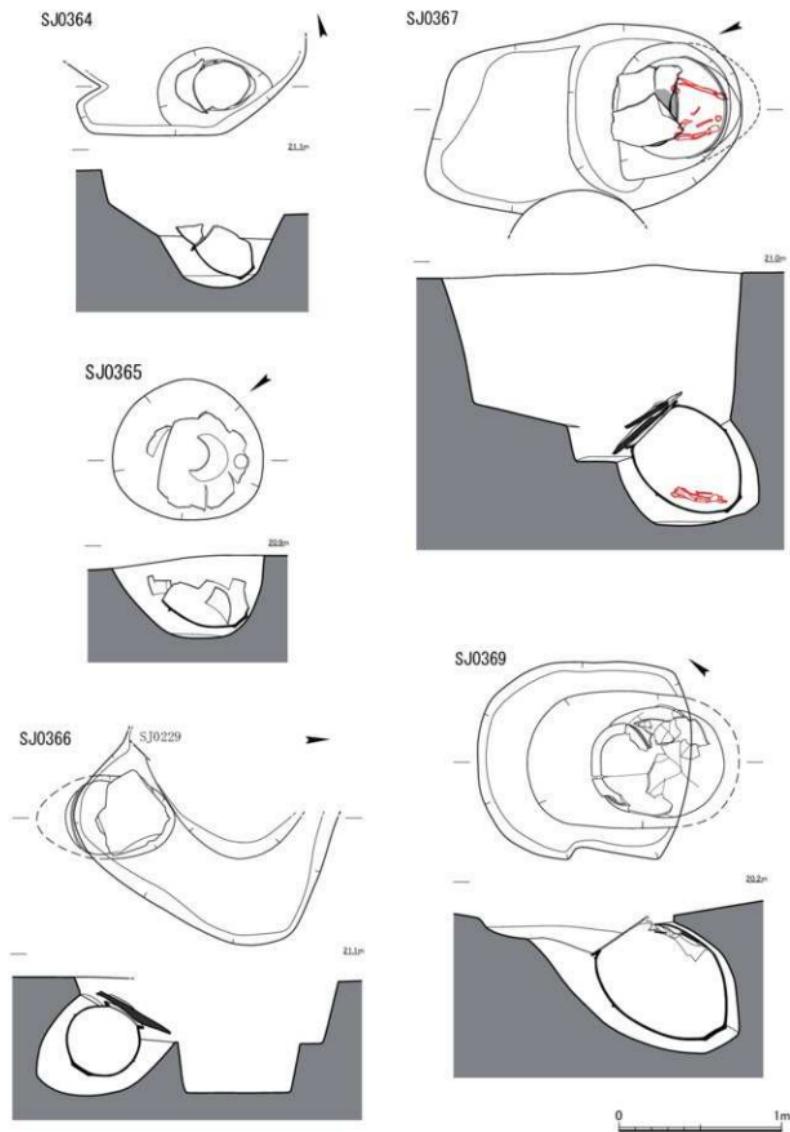


図 158 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 45 (1/30)

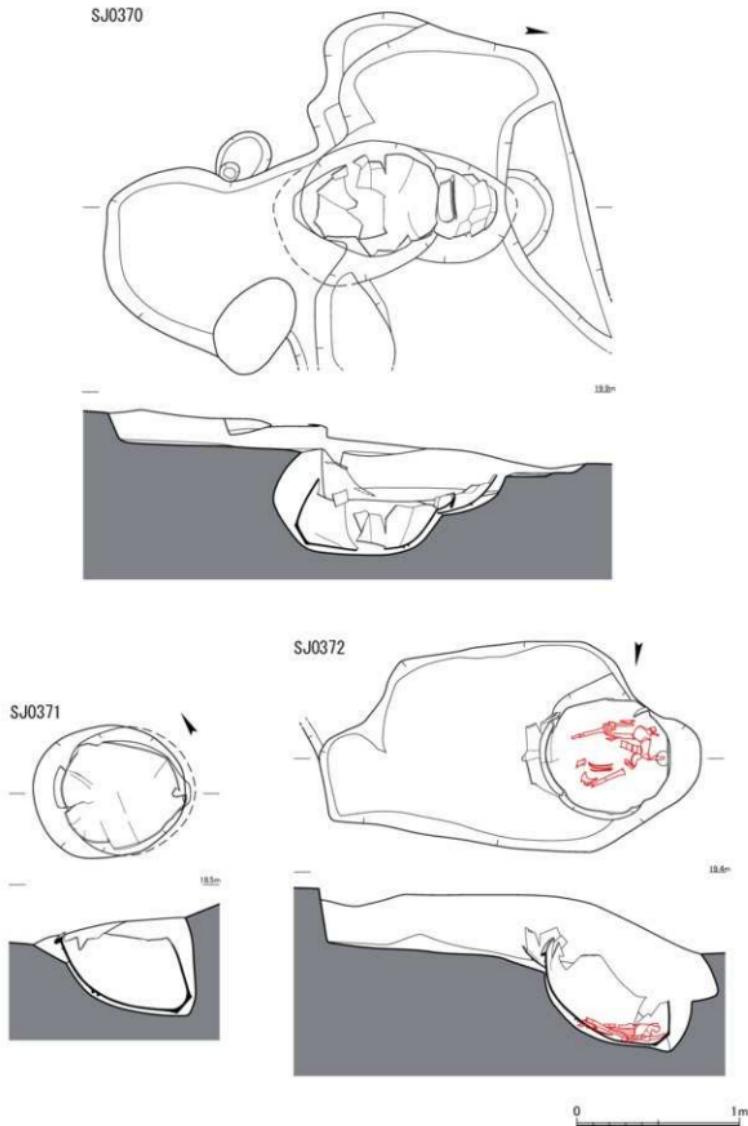


図 159 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 46 (1/30)

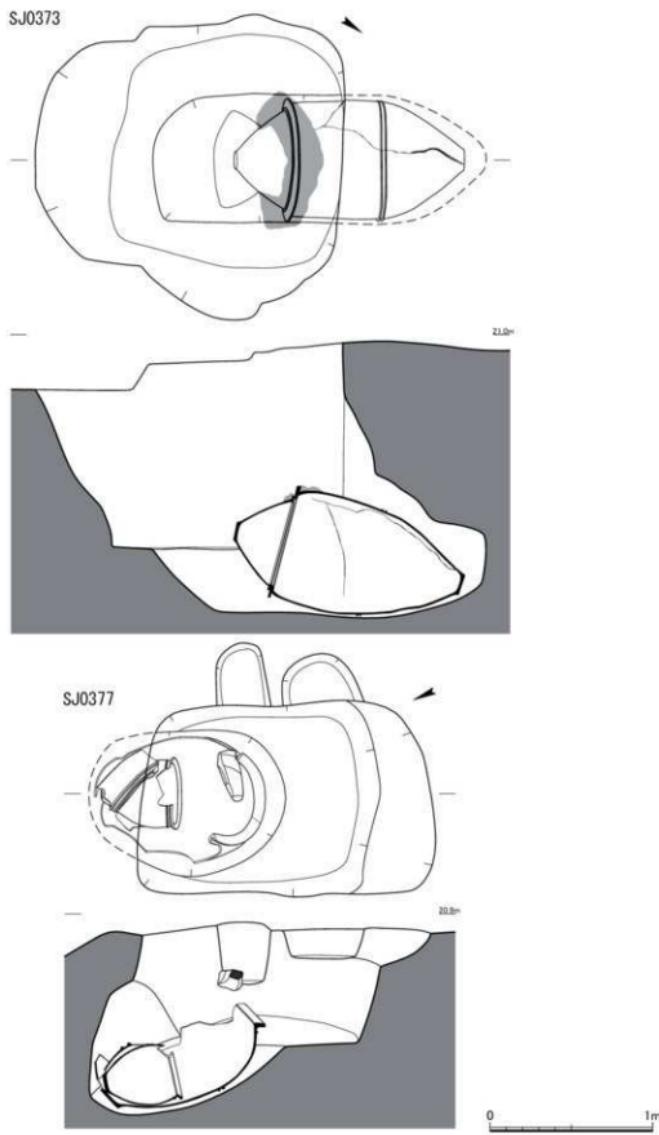


図 160 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 窯塚墓 47 (1/30)

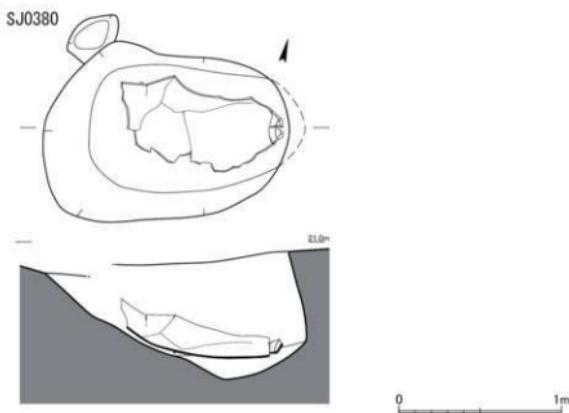
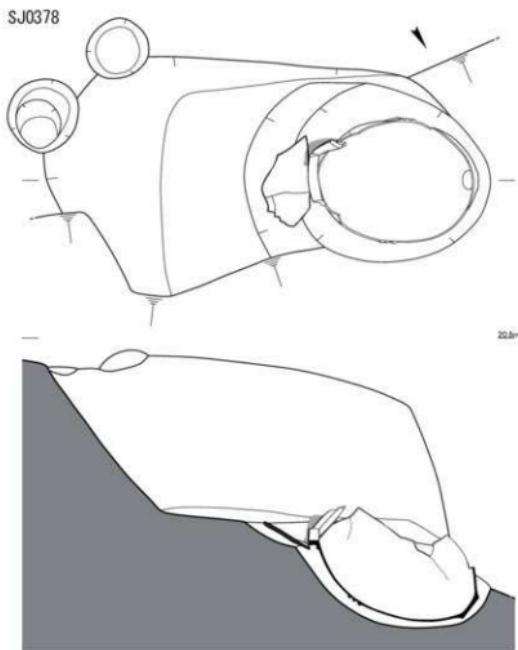


図 161 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓 48 (1/30)

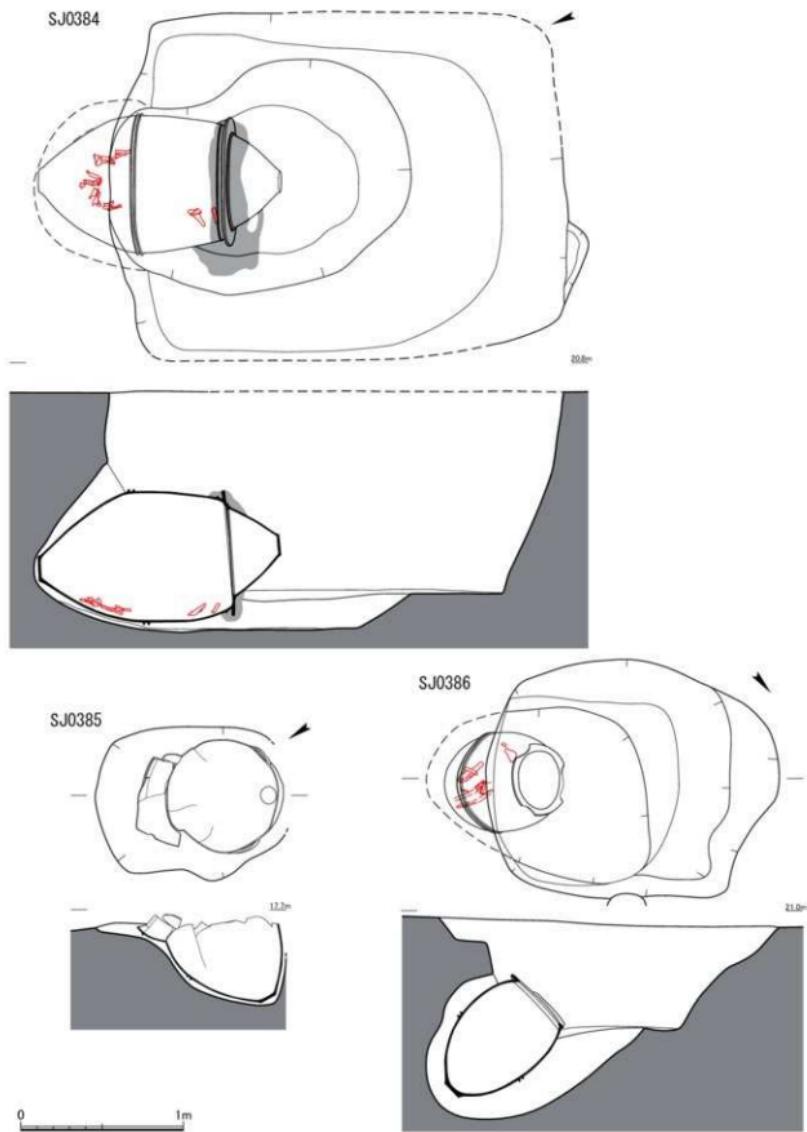


図 162 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 49 (1/30)

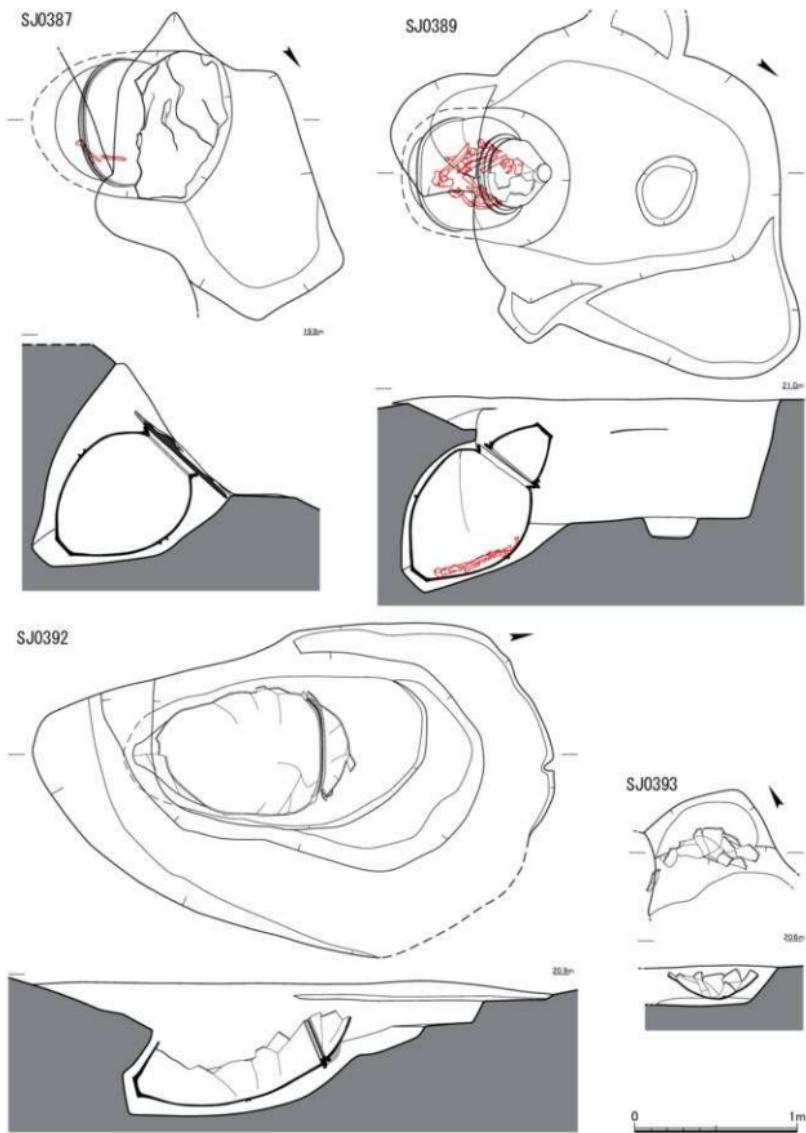


図 163 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 織棺墓 50 (1/30)

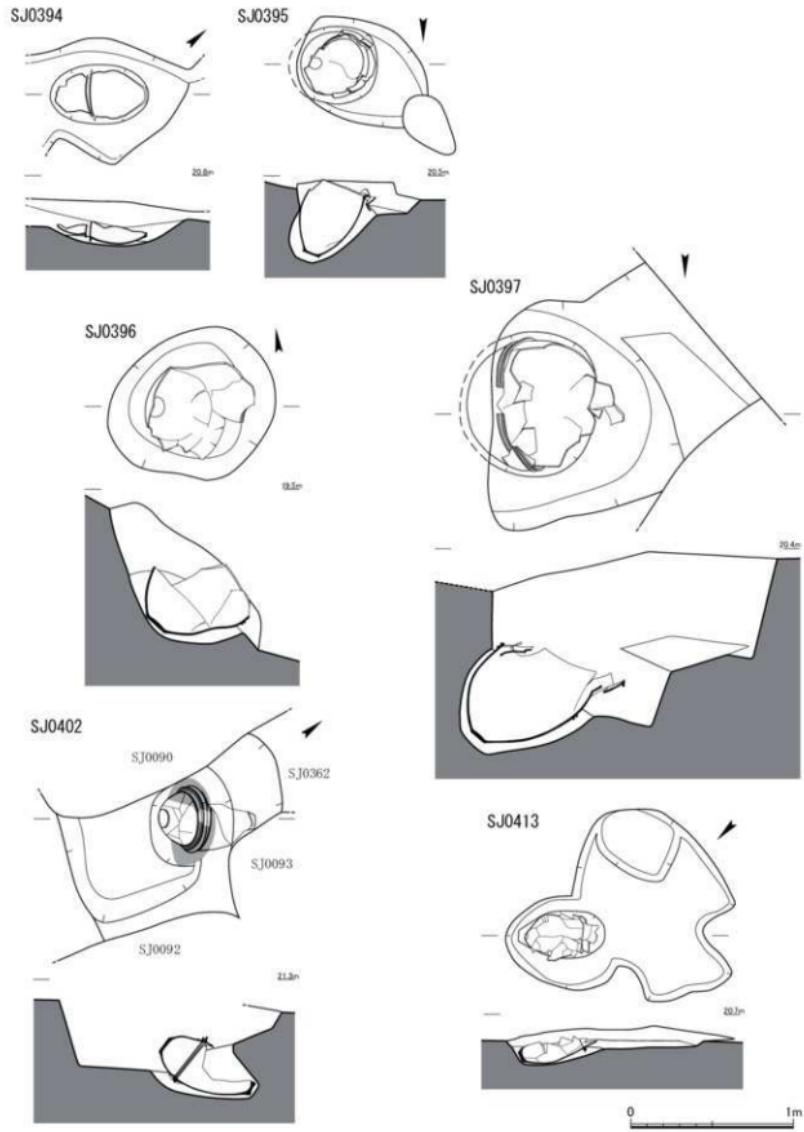
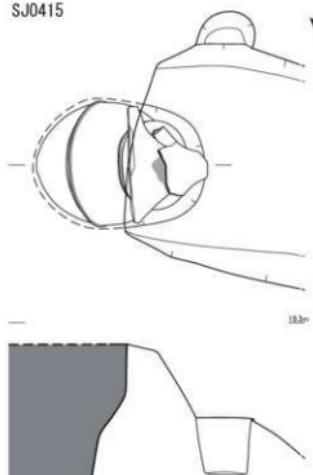
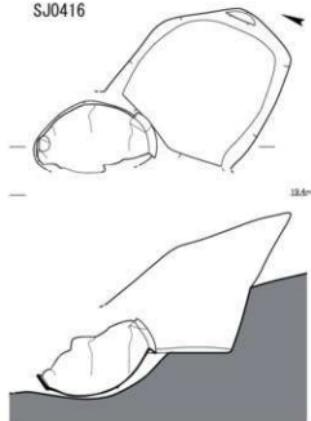


図 164 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 繁栄墓 51 (1/30)

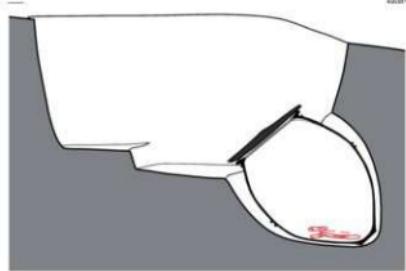
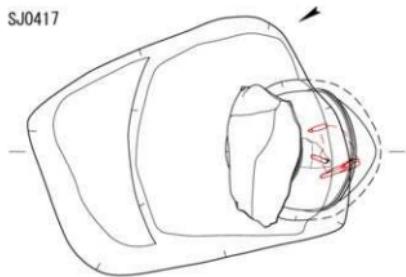
SJ0415



SJ0416



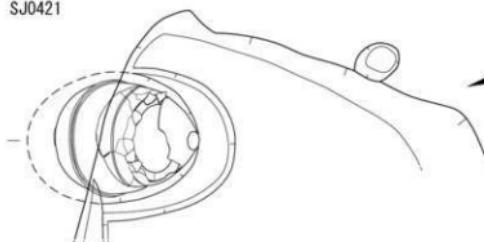
SJ0417



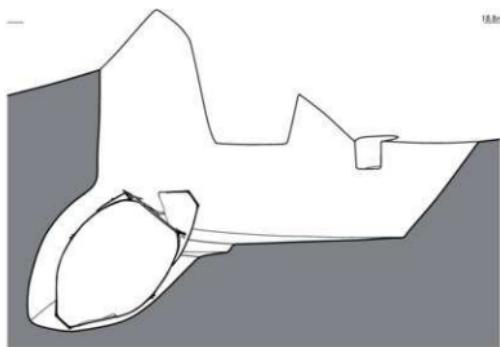
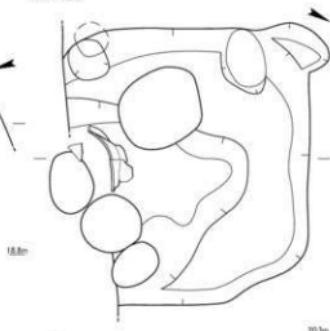
0 1m

図 165 吉野ヶ里丘陵地区II区 瓦棺墓 52 (1/30)

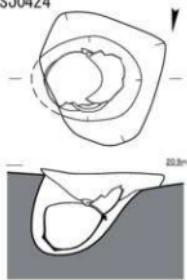
SJ0421



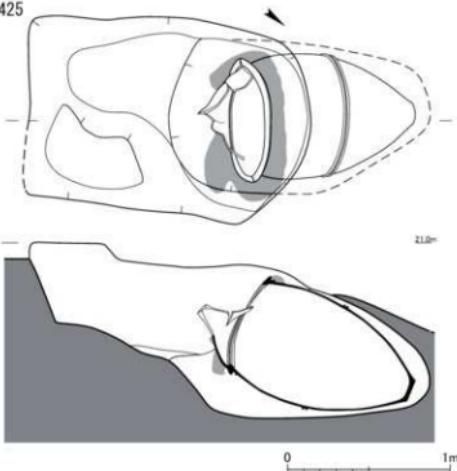
SJ0422



SJ0424



SJ0425



0 1m

図 166 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 繁栄墓 53 (1/30)

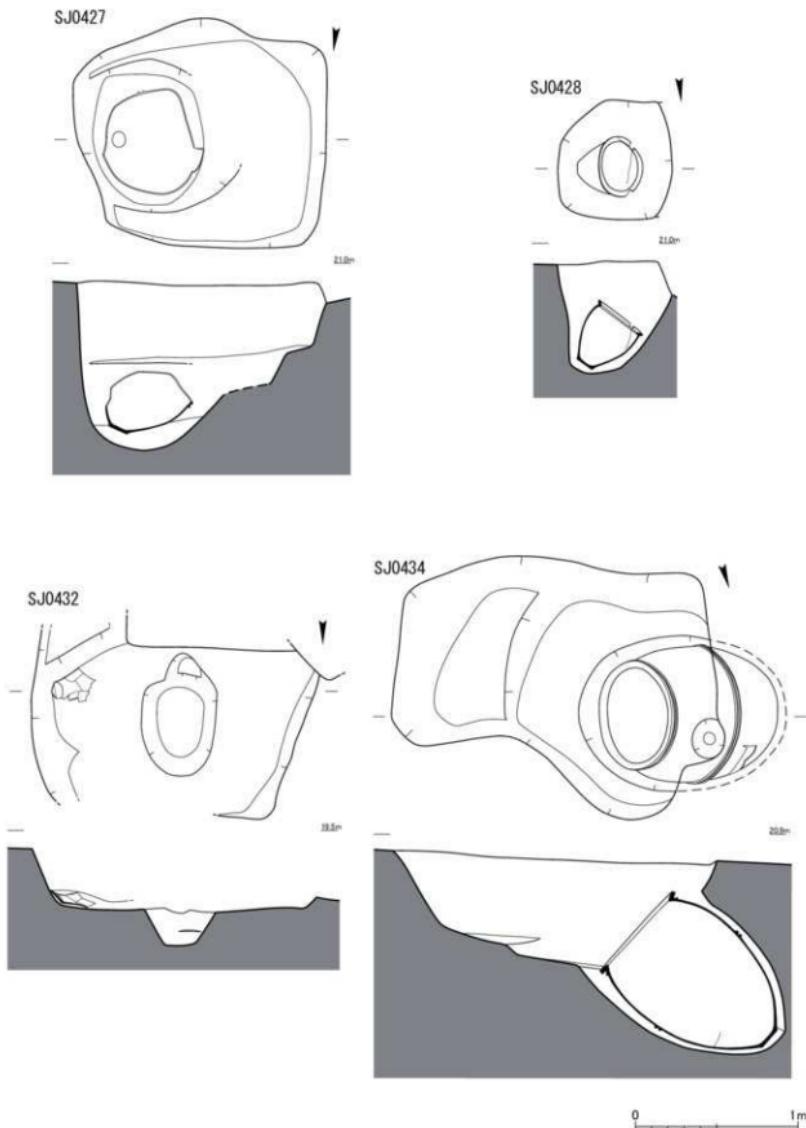


図 167 吉野ヶ里丘陵地区II区 窯棺墓54 (1/30)



図 168 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窯棺墓 55 (1/30)

表12 吉野ヶ里丘陵地区II区 墓

遺構番号	墓棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項	
	構造	上底	下底	主軸方位	角度	長	幅	深	計		性別	年齢		
SJ0061	杏口	跡	痕	N117E	10	2.26	2.24	1.0		中期末	不明	不明	骨片	
SJ0062	合口	妻	痕	N135.5W	19					中期末	-	-		
SJ0063	合口	妻	痕	N71W	46	1.6	1.4	0.68		中期末	-	-	上杏口縁一部打欠	
SJ0064	合口	妻	痕	N167.5W	54.5	1.5+	1.1	0.85		SJ0065	中前期～後期初頭？	-	-	上杏口縁打欠
SJ0065	合口	妻	痕	N169E	37	1.46	0.8	0.76	SJ0064	後期初頭	-	-		
SJ0066	不明		痕	N58.5W	42					後期初頭	-	-		
SJ0067	合口	跡	痕	N86.5W	50	1.8	1.7	0.7		中前期～後期初頭？	-	-	下杏口縁打欠	
SJ0068	不明		痕	61.5W	51					中期末	-	-		
SJ0070	覆口	跡	痕	N117.5W	60					SJ0069	後期初頭	-	-	
SJ0071	合口	妻	痕	N89W	43	1.9	1.52	0.6		SJ0052	中前期～後期初頭？	-	-	上杏口縁打欠
SJ0072	杏口	跡	痕	N144W	20	2.1	1.6+	0.55+		中期末	-	-		
SJ0073	合口	跡	痕	N54.5W	29.5				SJ0074	中期末	-	-		
SJ0074	合口	跡	痕	N154.5E	15				SH0056	SJ0073 SJ0075	中前期後半	不明	不明	
SJ0075	木蓋？		痕	N169.5W	63				SJ0074	SP0179	中前期	-	-	
SJ0076	合口	妻	痕	N127W	29.5	1.75	1.08	0.4+		中期末	-	-		
SJ0077	合口	跡	痕	N146.5E	22.5				SH0056		中前期後半～未	-	-	
SJ0078	合口	跡	痕	N154E	8.5	1.5	1.3	0.56+	SJ0079 SP0429		中前期後半	-	-	
SJ0079	合口	跡	痕	N178W	25				SH0056	SJ0078	中期末	-	-	
SJ0080	合口	跡	痕	N130.5E	17.5	1.68	1.35	1.44	SP0191		中前期	-	-	
SJ0081	合口	跡	痕	N146E	21	2.0	1.4	0.8			中前期後半	-	-	
SJ0082	合口	妻	痕	N146E	31.5	1.95		0.6+			中前期後半	-	-	
SJ0083	合口	妻	痕	N8W	31				SJ0084 SJ0111		中前期後半	-	-	
SJ0084	合口	妻	痕	N120.5E	7.5				SJ0111	SJ0083	中前期後半	-	-	
SJ0085	合口	跡	痕	N113W	30.5				SK0196		中前期後半	-	-	
SJ0086	合口	跡	痕	N83.5W	7				SK0185		中前期後半	-	-	
SJ0087	合口	跡	痕	N171E	7	2.8	1.6	0.6	SK0185		中前期後半	-	-	
SJ0088	合口	跡	痕	N106.5W	8	2.15	1.25		SH0055		中前期後半	不明	不明	
SJ0089	合口	妻	痕	N172E	2	1.95	1.37	0.46			中前期後半	-	-	
SJ0090	合口	妻	痕	N5.5W	1.5	2.25	1.5	1.03	SJ0097	SJ0091 SJ0402	中前期後半	-	-	
SJ0091	合口	妻	痕	N75.5W	3				SJ0093 SJ0402		中前期後半	-	-	
SJ0092	合口	妻	痕	N151W	0.3	1.5	1.18	0.3+	SJ0093		中前期前半（新）	-	-	

表12 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 墓

遺構番号	墓相形式			格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新		性別	年齢	
SJ0093	合口	妻	妻	N11E	0				SJ0091 SJ0094		中期前半	-	-	
SJ0094	合口	妻	妻	N11E	37.5				SJ0093 SJ0096		中期後半	-	-	
SJ0095	不明	妻	妻	N10.5W	-				SJ0096		中期	-	-	
SJ0096	合口	妻	妻	N109W	-				SJ0095 SJ0098		中期後半	-	-	
SJ0097	不明	妻	妻	N41W	20				SJ0094 SJ0095 SJ0096		中期後半	-	-	
SJ0098	不明	跡	妻	N15E	-				SJ0097 SJ0096		中期後半	-	-	
SJ0099	合口	跡	妻	N18E	11	1.6	1.45	0.5+			中期後半	-	-	SJ0100 と 一次墓坑共有
SJ0100	合口	跡	妻	N18E	16	1.6	1.45	0.36+			中期後半	-	-	SJ0099 と 一次墓坑共有
SJ0101	不明	妻	妻	N55E	24				SJ0102		中期後半	-	-	
SJ0102	合口	跡	妻	N51.5E	37				SJ0101		中期後半	-	-	
SJ0103	合口	跡	妻	N42.5E	17.5				SJ0104		中期後半	-	-	
SJ0104	合口	跡	妻	N179.5W	5.5	1.8	1.3	0.95	SJ0103		中期後半	-	-	
SJ0105	合口	妻	妻	N94E	35.5						中期後半	-	-	
SJ0106	合口	妻	妻	N93.5E	22				SJ0107		中期後半	-	-	
SJ0107	合口	跡	妻	N70E	6.5	2.0	1.55	0.68	SJ0106		中期後半	不明	不明	
SJ0108	合口	跡	妻	N132E	16	2.1	1.1	0.6+			中期後半	-	-	
SJ0109	合口	跡	妻	N125.5W	35	2.0	1.2	0.8			中期後半	-	-	
SJ0110	木蓋?	-	妻	N163W	0	2.4	1.33	1.05+			中期後半	不明	不明	
SJ0111	合口	跡	妻	N119W	5.5	2.15	1.4		SJ0083 SJ0084		中期後半	-	-	
SJ0112	合口	妻	妻	N30.5W	22.5	1.8	1.3*	0.4+	SJ0113 SJ0114		中期後半	-	-	
SJ0113	合口	跡	妻	N60E	35.5	1.4+	1.15	0.8	SJ0112 SJ0114		中期後半	-	-	
SJ0114	合口	妻	妻	N42E	26.5				SJ0113 SJ0112		中期後半	-	-	
SJ0115	合口	妻	妻	N75W	11	1.38	0.98	0.6			中期末～ 後期初頭?	-	-	
SJ0116	不明	妻	妻	N55W	-4				SH0200		中期後半	-	-	
SJ0117	合口	妻	妻	N143W	1.5				SJ0118		中期前半	-	-	
SJ0118	合口	跡	妻	N16E	20	2.05	1.4	0.6	SH0200 SJ0117		中期後半	-	-	
SJ0119	合口	妻	妻	N127E	5.5	2.05	1.44				中期末	-	-	
SJ0120	合口	妻	妻	N52W	26						中期後半	-	-	
SJ0121	合口	妻	妻	N24.5E	9	2.77	1.86	0.75+	SJ0122		中期	-	-	
SJ0122	合口	妻	妻	N103E	6.5	1.25	1.0		SJ0121		中期後半	-	-	
SJ0123	合口	妻	妻	N19W	-						中期後半	-	-	

表12 吉野ヶ里丘陵地区II区 墓誌

遺構番号	墓誌形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新		性別	年齢	
SJ0124	合口	妻	妻	N171W	34	2.21	1.42				中期前半(新)	不明	不明	
SJ0125	合口	妻	妻	N95.5E	20.5						中期後半	不明	不明	骨片
SJ0126	不明		妻	N110E	-						中期	-	-	
SJ0127	合口	跡	妻	N129W	22						中期後半	-	-	
SJ0128	合口	妻	妻	N172.5W	26				SJ0129		中期	-	-	上蓋口縁打欠
SJ0129	合口	跡	妻	N155W	35				SJ0128 SJ0218		中期後半	-	-	
SJ0130	合口	跡	妻	N19.5W	26.5						中期後半	-	-	
SJ0131	合口	跡	妻	N158W	3						中期後半	-	-	
SJ0132	合口	妻	妻	N68W	46						中期末～ 後期初頭	-	-	上下口縁打欠
SJ0133	覆口	妻	妻	N75E	49.5	1.9	1.7	0.7		SH0059	中期末～ 後期初頭	-	-	上口縁打欠
SJ0134	覆口	跡	妻	N69.5W	18	1.9	1.3	0.54			後期初頭	不明	不明	
SJ0135	覆口	妻	妻	N40W	47	2.0	1.85	1.14	SJ0136		後期初頭	不明	不明	貝輪1・綿布・麻布片 毛髮。朱?
SJ0136	木蓋?	-	妻	N43W	51	1.7	1.34	0.75		SJ0135	中期末	-	-	
SJ0137	合口	妻	妻	N44.5W	48					SH0214	中期末	-	-	下蓋胸部穿孔
SJ0138	合口	妻	妻	N128W	49	1.74	1.48	0.65			後期初頭	不明	不明	
SJ0139	木蓋?	-	妻	N6E	49.5	1.8	1.7	0.68			中期末	-	-	
SJ0140	合口	妻	妻	N84.5E	42	1.38	0.98	0.42+			中期末	不明	不明	腐
SJ0141	合口	妻	妻	N95W	50	2.62	1.68	0.92			中期末	-	-	上蓋打欠
SJ0142	合口	妻	妻	N111W	42	1.58	1.13	0.5			中期末	-	-	
SJ0143	合口	妻	妻	N35W	58.5	1.32	1.3	0.45		SJ0226	後期初頭	不明	不明	下蓋胸部穿孔
SJ0144	不明	-	妻	N130E	57.5						中期末～ 後期初頭?	-	-	
SJ0145	合口	妻	妻	N69W	54.5	2.0	1.64	0.5			中期末	-	-	上蓋口縁打欠
SJ0146	合口	妻	妻	N25.5W	60	1.0	0.6			SK0352	中期末	不明	不明	
SJ0147	石蓋	-	妻	N115E	20					SJ0283	中期末	-	-	
SJ0148	不明	妻	妻	N20E	49				SP0435	SJ0286	中期前半	-	-	
SJ0150	合口	妻	妻	N20.5W	43.5						中期末	-	-	下蓋胸部穿孔
SJ0151	合口	妻	妻	N137.5W	51.5						後期初頭?	-	-	
SJ0152	不明	妻	妻	N15E	43				SJ0272		後期初頭?	-	-	
SJ0153	覆口	妻	妻	N105W	62					SP0273	後期初頭	-	-	上蓋口縁打欠
SJ0154	合口	妻	妻	N167E	53.5	1.7	1.5	0.66	SJ0279		後期初頭	男性	壯年	毛髮
SJ0156	覆口	妻	妻	N119W	51						中期末	-	-	上蓋口縁打欠

表12 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 墓

遺構番号	葬棺形式		格の埋置		墓坑の規模		新旧関係		時期	人骨		特記事項		
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	旧	新	性別	年齢		
SJ0157	不明	喪	喪	N158W	-						中期末	-	-	
SJ0158	合口	喪	喪	N14E	28				SJ0159	中期末	-	-	上下口縁打欠	
SJ0159	覆口	喪	喪	N127.5W	43.5				SJ0158	中期末	-	-	上下口縁打欠	
SJ0160	合口	喪	喪	N38W	50.5					後期初頭	-	-		
SJ0161	不明			N149W	-					中期末	-	-		
SJ0162	覆口	喪	喪	N130E	29					中期末	-	-	上下口縁打欠	
SJ0163	合口	喪	喪	N23.5E	34.5				SP0347	中期末	-	-	下口縁打欠	
SJ0164	不明		喪	N81W	-					中期末～後期初頭？	-	-		
SJ0165	不明		喪	N37E	-					中期	-	-		
SJ0180	存口?	喪	喪	N146W	-2	1.75	1.15	1.0		中前期半	-	-		
SJ0182	木蓋?	-	喪	N161W	53	2.2	1.37	1.3	SP0375	中期末	-	-		
SJ0192	不明		喪	N122W	41				SK0184	中期	-	-		
SJ0193	木蓋	-	喪	N1.5W	57	2.57	2.0	1.1	SP0376	SP0374	後期前半	-	-	
SJ0218	合口	鉢	喪	N153.5W	31	2.3	1.82	0.84	SJ0129 SJ0384	中期末	-	-		
SJ0219	不明		喪	N153W	0					中前期～後期初頭？	-	-		
SJ0221	覆口	喪	喪	N37E	51	2.18	1.7	1.03		中期末	不明	不明	上口縁打欠	
SJ0226	存口	喪	喪	N137W	40	2.05	1.5	1.25	SJ0143	SH0382	中期末	-	-	上口縁打欠
SJ0227	木蓋	-	喪	N70W	26.5	1.86	1.52		SJ0230		中期末	不明	不明	
SJ0229	合口	鉢	喪	N39E	43	1.5	1.4	0.7			後期前半	不明	不明	
SJ0230	合口	喪	喪	N70W	41				SJ0227		中期末	-	-	
SJ0231	合口	喪	喪	N109E	38.5	1.7	1.5	0.9			中期末	不明	不明	上口縁打欠
SJ0232	合口	喪	喪	N13E	44		0.8		SJ0270		後期初頭	-	-	
SJ0233	不明		喪	N129W	50	1.9	1.6				後期初頭	不明	不明	
SJ0235	覆口	喪	喪	M61.5W	56	2.15	1.4	1.2	SK0234	SP0238	中前期～後期初頭？	不明	不明	上下口縁打欠
SJ0236	石蓋	-	喪	N8.5E	46	1.75	1.5	1.1	SJ0237 SJ0434		中期末	不明	不明	
SJ0237	石蓋	-	喪	N129W	60	1.8	1.05	0.6	SJ0236		後期初頭	不明	不明	
SJ0247	石蓋	-	喪	N37E	40	3.0	2.4	2.04			中期末	不明	不明	赤色顔料
SJ0248	合口	喪	喪	N75E	34	1.1	0.7	0.3+			後期初頭	-	-	磨製石器工点
SJ0249	合口	鉢	喪	N175.5W	11	2.08	1.8	0.74	SJ0384		中前期	不明	不明	骨片
SJ0250	不明		喪	M35E	-						中期	-	-	
SJ0251	覆口	喪	喪	N58W	59						後期初頭	-	-	

表12 吉野ヶ里丘陵地区II区 墓

遺構番号	墓相形式		格の埋置			墓坑の規模 m			新旧関係			時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	計	新	性別		性別	年齢	
SJ0252	覆口	喪	喪	N82W	47	2.0	1.44	0.75				中期末	不明	不明	上蓋口縁打欠
SJ0256	石蓋	喪石	喪	N133W	53.5	1.18	1.08	0.56+				中期末	不明	不明	上は蓋石と喪石を使用
SJ0257	木蓋	-	喪	N151.5W	50.5	1.8	1.35	0.58+				後期初頭	-	-	
SJ0261	呑口	喪	喪	N12.5W	55	2.0	1.4	0.72				後期初頭	不明	不明	上蓋口縁打欠
SJ0262	不明		喪	N64W	42							中期	-	-	
SJ0263	覆口	喪	喪	N93E	49.5	1.75	1.7	0.5+				中期末	-	-	
SJ0264	合口	喪	喪	N168W	45	1.75	1.58	0.7				中期末	不明	不明	
SJ0268	合口	喪	喪	N134.5W	62.5	1.6	0.8					後期初頭	不明	不明	
SJ0270	不明	喪		N94W	-				SJ0232	SJ0271		中期末	-	-	
SJ0271	合口	喪	喪	N4W	36				SJ0270			中期末	-	-	
SJ0272	木蓋	-	喪	N15.5E	49.5	1.6	0.96	0.78	SP0238	SJ0152 SJ0153		中期末	不明	不明	
SJ0279	石蓋	-	喪	N82W	45					SJ0154 SJ0280		中期末～後期初頭？	-	-	
SJ0280	覆口	喪	喪	N118W	50	2.18	1.4	0.7	SJ0279			中期末～後期初頭？	不明	不明	上蓋口縁打欠
SJ0281	覆口?	喪	喪	N83W	54		1.4			SD00054		中期末～後期初頭？	-	-	
SJ0283	不明		喪	N22E	62.5	1.4	1.37	0.7	SJ0147 SK0352			中期末～後期初頭？	不明	不明	下蓋口縁打欠
SJ0286	石蓋?	-	喪	N158E	59							中期末	-	-	
SJ0290	不明			N46E	-					SD00054		中期末	-	-	
SJ0292	覆口	喪	喪	N88W	32					SD00054		後期初頭	-	-	上蓋口縁打欠
SJ0295	石蓋	-	喪	N5.5E	55	1.87	1.63	0.95				中期末	不明	不明	
SJ0299	不明				-							発生	-	-	
SJ0301	不明		喪	N59W	30	1.8	1.5	0.55+				中期末	-	-	
SJ0302	合口	跡	喪	N31.5E	33					SJ0373		中期後半	-	-	
SJ0307	石蓋	-	喪	N28W	44.5	2.07	1.32	0.95		SP0308		中期末	女性	高年	板状鉄笄 1
SJ0309	不明		喪	N94W		1.73	1.1	0.5+				中期末	不明	不明	骨片
SJ0310	不明		喪	N50W	47							中期末～後期初頭？	-	-	
SJ0311	不明	-	-	-	-	-	-	-				発生	-	-	痕跡のみ
SJ0312	合口	跡	喪	N39W	37	2.5	1.54	1.16		SJ0334		中期末	男性	壮年	人骨中から鐵 10点 下腰胸郭部穿孔
SJ0314	覆口	喪	喪	N71E	48	1.7	1.7	0.93				中期末	不明	不明	貝殻 1 骨片
SJ0317	合口	喪	喪	N84.5W	45							中期末～後期初頭	-	-	
SJ0318	合口	跡	喪	N12E	42	1.6	1.2	0.86				中期末	不明	不明	
SJ0328	呑口	喪	喪	N160W	39	1.82	1.38	0.96	SJ0421			中期末？	不明	不明	

表 12 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 墓棺墓

遺構番号	墓棺形式		格の埋置		墓坑の規模			新旧関係		時期	人骨		特記事項	
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	旧		性別	年齢		
SJ0329	覆口	喪	喪	N73.5W	41.5		1.7	0.6+			中期末	不明	不明	上蓋口縁打欠
SJ0330	石蓋	-	喪	N51W	46.5	2.1	1.5	1.05			中期末	不明	不明	
SJ0333	覆口	高坪	恵	N97E	42.5	0.76	0.75	0.37			中期末?	-	-	
SJ0334	合口	喪	喪	N70W	33				SJ0312		中期末	-	-	SJ0312一次墓坑内
SJ0335	不明		喪	N61E	36						中明末~後期初頭?	-	-	
SJ0336	合口	喪	喪	N70W	47	1.48	1.3	0.8	SP0339		後期初頭	不明	不明	
SJ0343	不明		喪	N97W	36						中明後半	-	-	
SJ0344	不明		喪	N15E	-						中期末	-	-	
SJ0345	不明			-	-						男生	-	-	個別同なし
SJ0348	合口	喪	喪	N88E	46	1.9	1.5	0.63+			中期末	不明	不明	
SJ0349	不明		喪	N71W	20				SD0054		中期末	-	-	
SJ0351	石蓋	-	喪	N75W	32	2.06	1.73	0.9			中期末	不明	不明	
SJ0353	不明		喪	N69.5W	-				SJ0393		中期末	不明	不明	
SJ0355	不明		喪	N88W	51	1.5	1.2	0.76+			中期末	不明	不明	骨片
SJ0356	覆口	喪	喪	N65.5E	49.5						中期末	不明	不明	入骨に赤色顔料付着
SJ0361	呑口	喪	喪	N106E	36.5	1.7	1.48	0.65+	SD0054		中明末~後期初頭?	-	-	上下口縁打欠
SJ0362	合口	跡	喪	N12.5E	7				SJ0094 SJ0097		中明前半	-	-	
SJ0363	覆口	喪	喪	N110.5E	57	1.8	1.68	0.68	SJ0365		中明後半	-	-	
SJ0364	合口	喪	喪	N75W	47				SJ0365		中明末?	-	-	
SJ0365	不明	喪	喪	N38.5E	46				SJ0363 SJ0364		中明末~後期初頭?	-	-	
SJ0366	石蓋	-	喪	N4E	51.5						中期末	-	-	
SJ0367	石蓋	-	喪	N25E	45	2.0	1.14	1.2			中期末	不明	不明	
SJ0369	不明		喪	N39W	45.5				SD0054		中明末	不明	不明	
SJ0370	覆口	喪	喪	N6.5W	30						中期末	-	-	上蓋口縁打欠
SJ0371	不明		喪	N57W	40						中期末	-	-	
SJ0372	覆口	喪	喪	N84E	51						中明末~後期初頭?	不明	不明	
SJ0373	合口	跡	喪	N145E	13.5	1.9	1.88	1.25	SP0177		中明後半	不明	不明	
SJ0377	不明	喪	喪	N156W	45	1.83	1.18	0.7			後期初頭	-	-	
SJ0378	石蓋	-	喪	N120E	38						後期初頭	-	-	
SJ0380	不明		喪	N105W	-				SH0055		中明後半	-	-	
SJ0384	合口	跡	喪	N157.5W	5.5	2.8	2.1*	1.24*	SJ0218 SJ0249		中明後半	不明	不明	上下棺黒塗り 貝輪8 前輪

表12 吉野ヶ里丘陵地区II区 墓棺墓

遺構番号	墓棺形式		格の埋置		墓坑の規模 m			新旧関係		時期	人骨		特記事項
	構造	上蓋	下蓋	主軸方位	角度	長	幅	深	計		性別	年齢	
SJ0385	覆口	鉢	蓋	N33.5E	61					中前期～後期初頭？	-	-	
SJ0386	木蓋	-	蓋	N49.5W	45	1.8	1.45	0.6		SJ0214	中前期	不明	不明
SJ0387	石蓋	-	蓋	N52.5W	41.5					後期初頭	不明	不明	
SJ0389	合口	鉢	蓋	N38.5W	51	2.5	1.9	0.75		後期初頭	不明	不明	
SJ0392	合口	鉢	蓋	N10E	24					中前期後半	-	-	
SJ0393	不明		蓋	N59.5W	-				SJ0353	後期初頭	-	-	
SJ0394	合口	鉢	蓋	N140W	7					後期初頭	-	-	
SJ0395	覆口	鉢	蓋	N90W	67					弥生	-	-	
SJ0396	不明		蓋	N97.5E	43				SD0054	後期初頭	-	-	
SJ0397	不明		蓋	N91.5W	45				SD0054	中前期	-	-	
SJ0402	合口	鉢	蓋	N142W	28				SJ0090	SJ0091	中前期後半	-	-
SJ0413	合口	鉢	蓋	N135W	20.5						中前期後半	-	-
SJ0415	石蓋	-	蓋	N75W	41			1.73			中前期	-	-
SJ0416	不明		蓋	N159E	33						中前期	-	-
SJ0417	石蓋	-	蓋	N32E	45	1.83	1.44	1.0	SH0060		中前期後半	不明	不明
SJ0421	覆口	鉢	蓋	N161.5W	41			1.15		SJ0328	中前期後半	-	-
SJ0422	不明			-					SD0054		中前期後半	-	-
SJ0424	合口	鉢	蓋	N97.5W	42						後期初頭	-	-
SJ0425	合口	鉢	蓋	N142E	54.5	1.75	1.2		SJ0083		中前期後半	-	-
SJ0427	不明		蓋	N97W	56	1.55	1.4	0.7			中前期～後期初頭？	-	-
SJ0428	木蓋？	-	蓋	N85W	51.5						中前期	-	-
SJ0432	不明			-							中期	-	-
SJ0434	木蓋	-	蓋	N107.5E	39.5	2.0	1.5	0.7	SJ0236		中前期	不明	不明
SJ0437	不明	蓋	蓋	N111E	46						中前期	-	-
SJ0438	不明		蓋	N62W	15						中前期	-	-
SJ0439	不明			-							弥生	-	-
SJ0440	不明		蓋	N74W	52.5						弥生	-	-
SJ0451	不明			-							弥生	-	-
SJ0452	不明			-							201区	個別図なし	
SJ0453	不明			-							弥生	-	-
											201区	個別図なし	

土坑墓・木棺墓

本区域で確認した96基の土坑墓・木棺墓のうち、弥生時代に属すると考えられる64基について報告する。SP0069は不整楕円形の一次墓坑に横掘りの二次墓坑が設けられ、妻を斜めに被せて蓋としたものとみられる。新旧関係はSJ0070より新しく、SP0383より古い。SP0166は隅丸長方形をなす大型の一次墓坑の中央やや南に隅丸長方形の二次墓坑が設けられ、両側の短辺がさらに一段掘り込まれている。木棺墓か。新旧関係はSJ0070より新しい。

SP0170は不整楕円形の一次墓坑の片側に横掘りの二次墓坑が設けられ、複数枚の板石を蓋として被せている。SP0172は平面長方形をなす大型の一次墓坑の短辺に長方形の二次墓坑を持ち、さらに一段掘り下げられている。

SP0175は平面隅丸長方形をなし、内部は約半分が段掘りである。中末期～後期初頭のSK0174祭祀土坑と重複し、新旧関係はこれより新しい。

SP0210は一次墓坑が平面長方形で、構造は四段掘りをなす。三段目の面で横掘りの二次墓坑が形成されている。

SP0238は一次墓坑が平面隅丸長方形をなし、内部は三段掘りである。新旧関係はSJ0235より新しく、SJ0272より古い。

SP0260は一次墓坑が隅丸長方形で、その中央に長辺1.6m、短辺0.95mの平面長方形をなす二次墓坑が設けられている。二次墓坑の短辺には板石が立てられている。木棺墓か。

SP0265・SP0266・SP0267は2基が重複しており、新旧関係はSP0266が新しい。いずれも平面不整長方形をなし、SP0265・SP0267は段掘り、SP0266は段掘りで底面がさらに横掘りである。SP0267からは打製石礫2点が出土している。SP0269は上面を削平されているが、一次墓坑が平面隅丸長方形で、片側に楕円形の二次墓坑を持つ。SP0274は一次墓坑が平面不整楕円形をなし、片側に横掘りの二次墓坑を持つ。二次墓坑内から土器片が出土しており、土器蓋であった可能性がある。

SP0276は一次墓坑が平面隅丸方形をなし、片側に浅い段掘りによる二次墓坑を持つ。本来は横掘りであつた可能性がある。SP0277は平面不整円形で、構造は二段掘りである。SP0278と重複し、新旧関係はこれより新しい。SP0278は平面不整形で、中央に小型の浅い段掘りを持つ。SP0282は一次墓坑が平面不整方形をなし、段掘りによる二次墓坑を持つ。埋土から打製石礫が1点出土している。

SP0288は平面不整形をなし、構造は二段掘りで逆台形をなす。SJ0157、SP0448と重複し、新旧関係はこれより古い。SP0289は一次墓坑が平面不整楕円形をなす。片側が二段掘りで、そこから横掘りによる二次墓坑を持つ。SP0297は平面不整円形をなし、構造は二段掘りをなす。底面から横掘りによる二次墓坑を持つ。SP0306は平面隅丸方形で、構造は段が不明瞭な三段掘りをなす。埋土から石剣切先が出土している。

SP0315は平面楕円形をなし、周囲に小穴を伴う。SP0319は平面長方形をなし、長辺片側に横掘りによる二次墓坑を持つ。SP0322は平面不整形をなし、構造は三段掘りである。底面に板石が残存するほか、遺構上面から柱状の石が出土している。SP0324は平面長方形で、底面の一部が円形に深く掘り下げられている。弥生時代後期の外環壕SD0054と重複し、新旧関係はこれより新しいとみられることがから、所属時期は古墳時代初頭以降の可能性がある。SP0326は平面不整形をなす大型の一次墓坑に長方形の二次墓坑が掘り込まれ、四隅がさらに一段掘り下げられている。木棺墓か。中期後半のSK0327祭祀土坑と重複し、

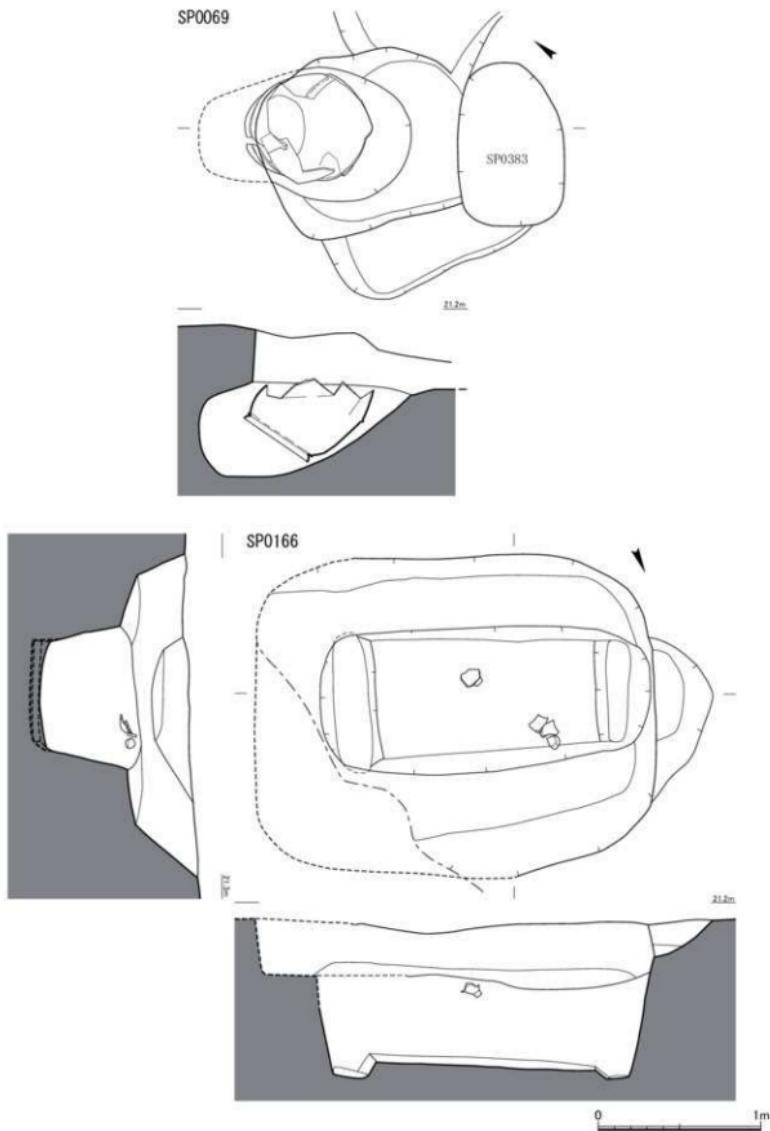


図 169 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 1 (1/30)

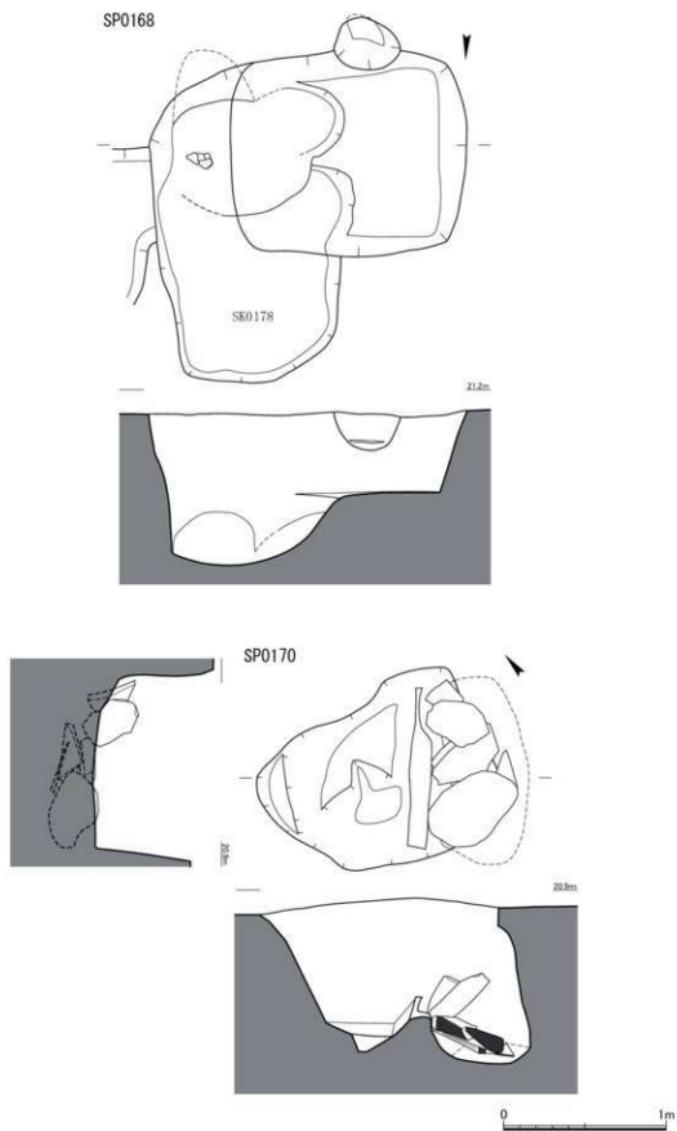


図 170 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 2 (1/30)

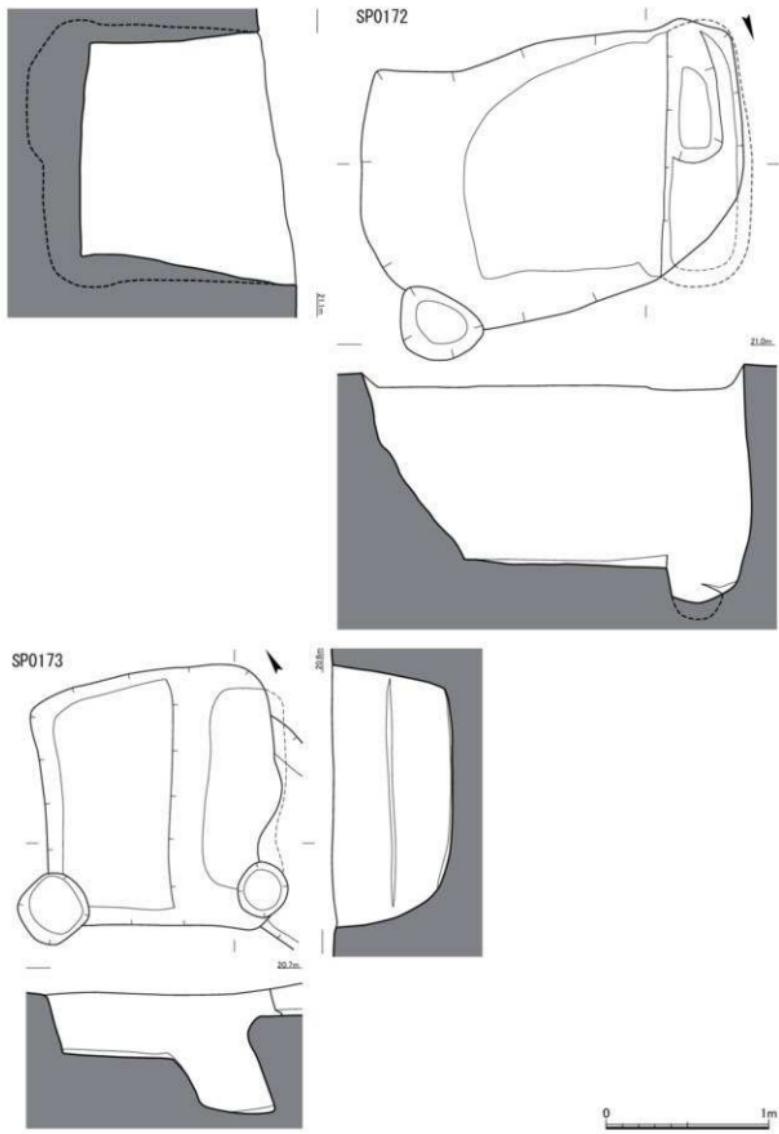


図 171 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 3 (1/30)

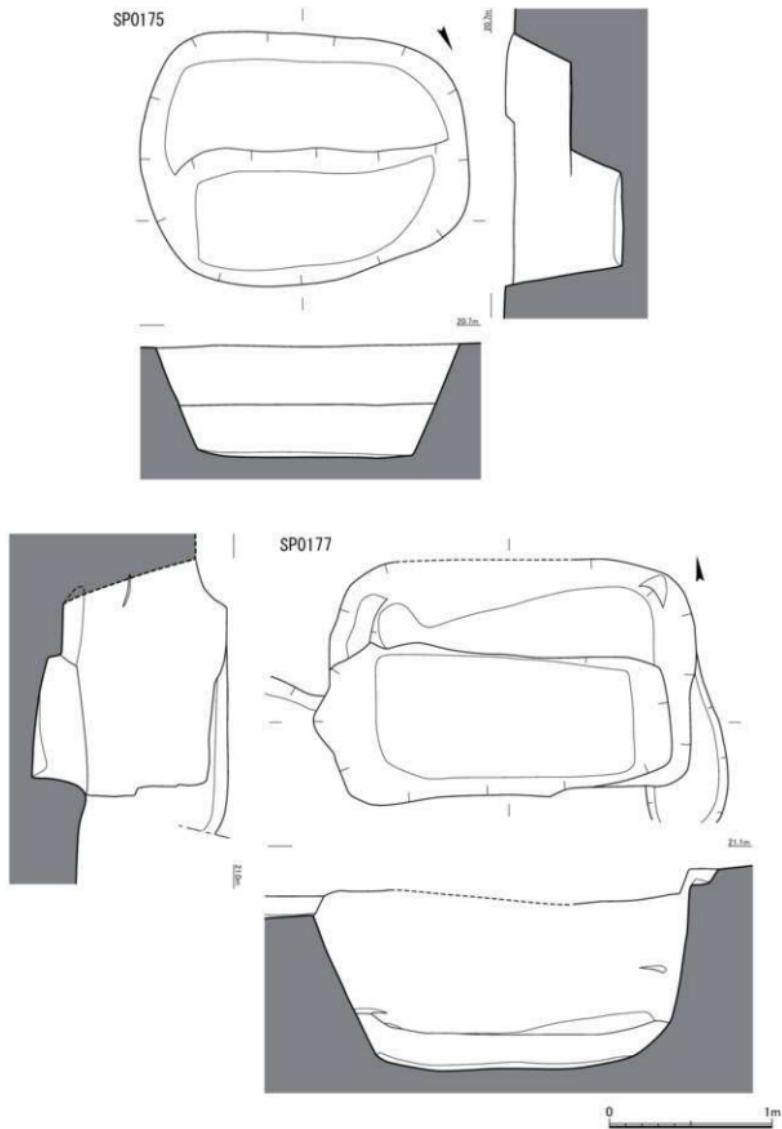


図 172 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 4 (1/30)

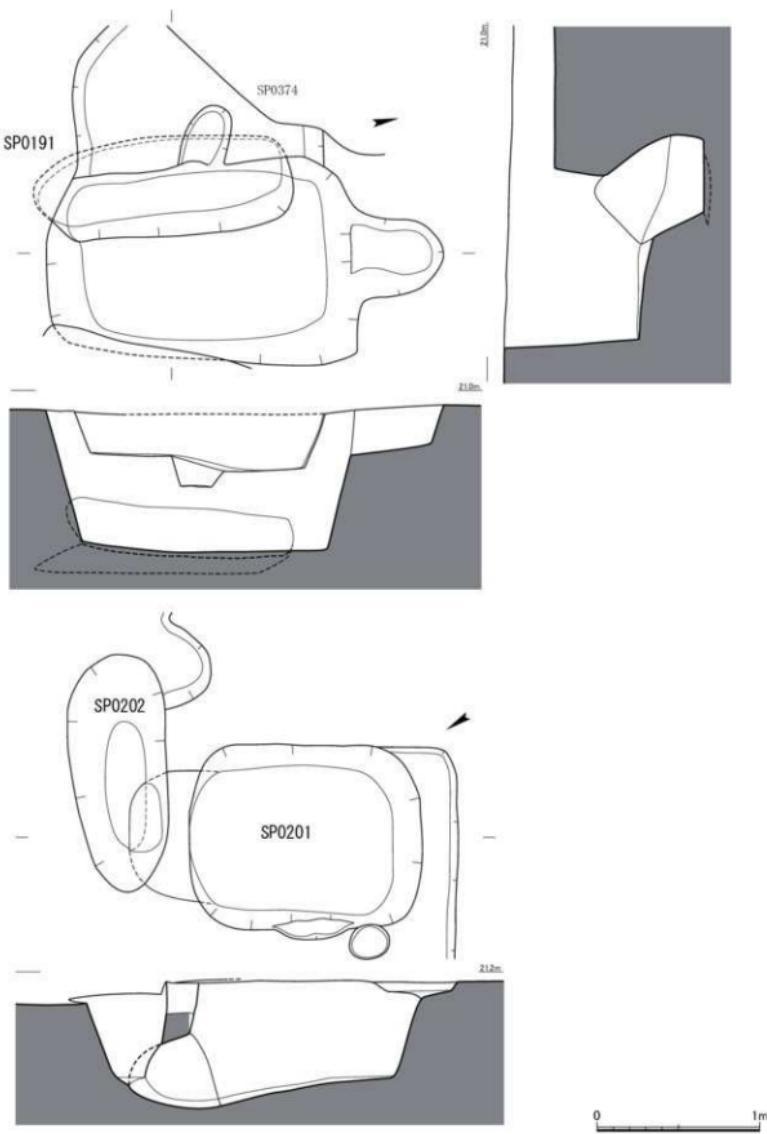
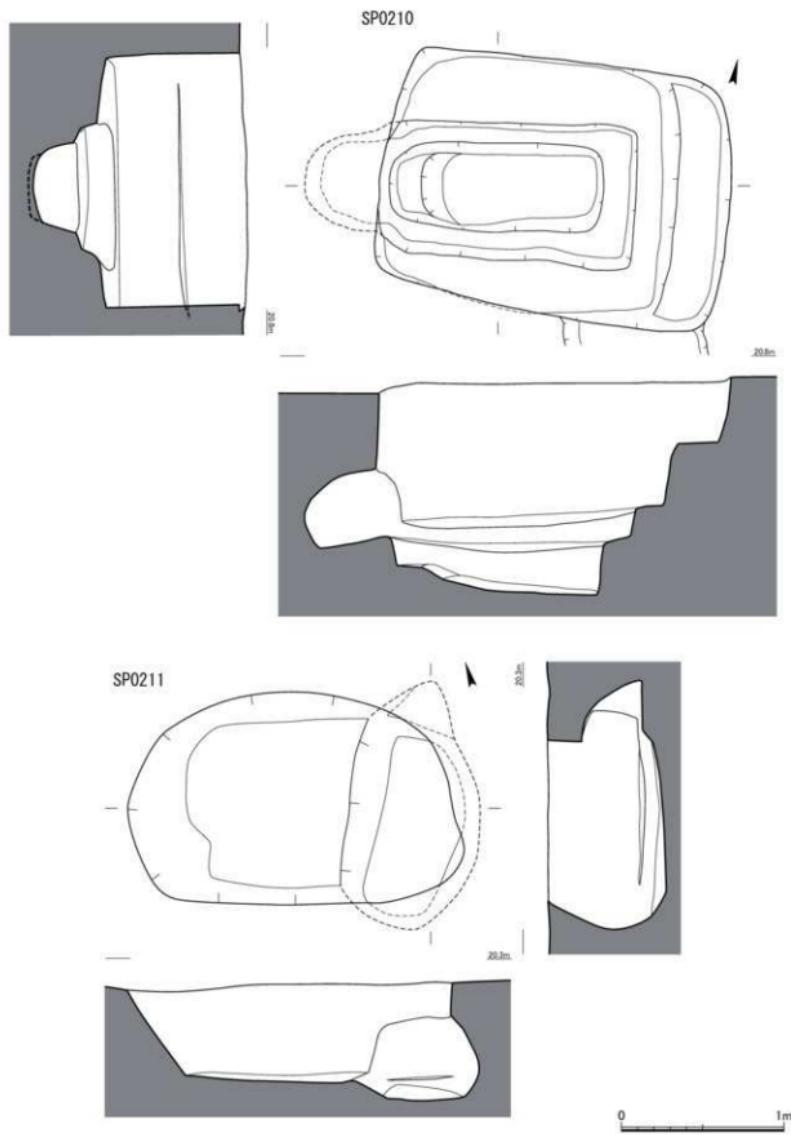


図 173 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 5 (1/30)



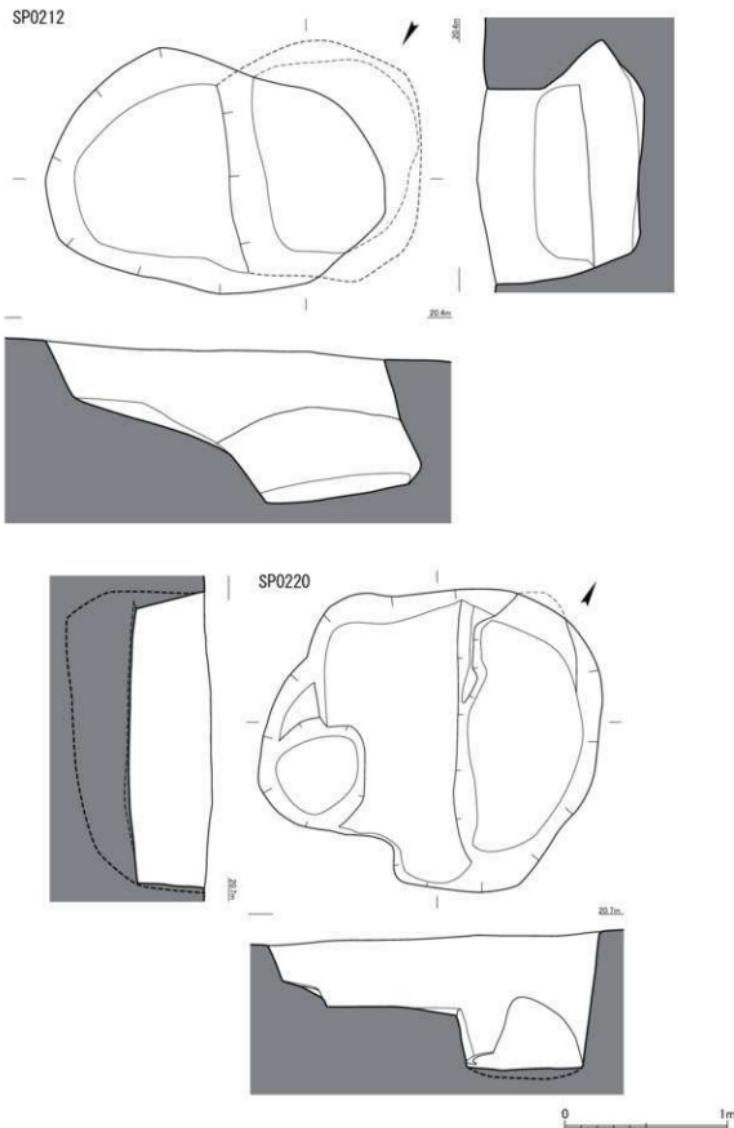


図175 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓7 (1/30)

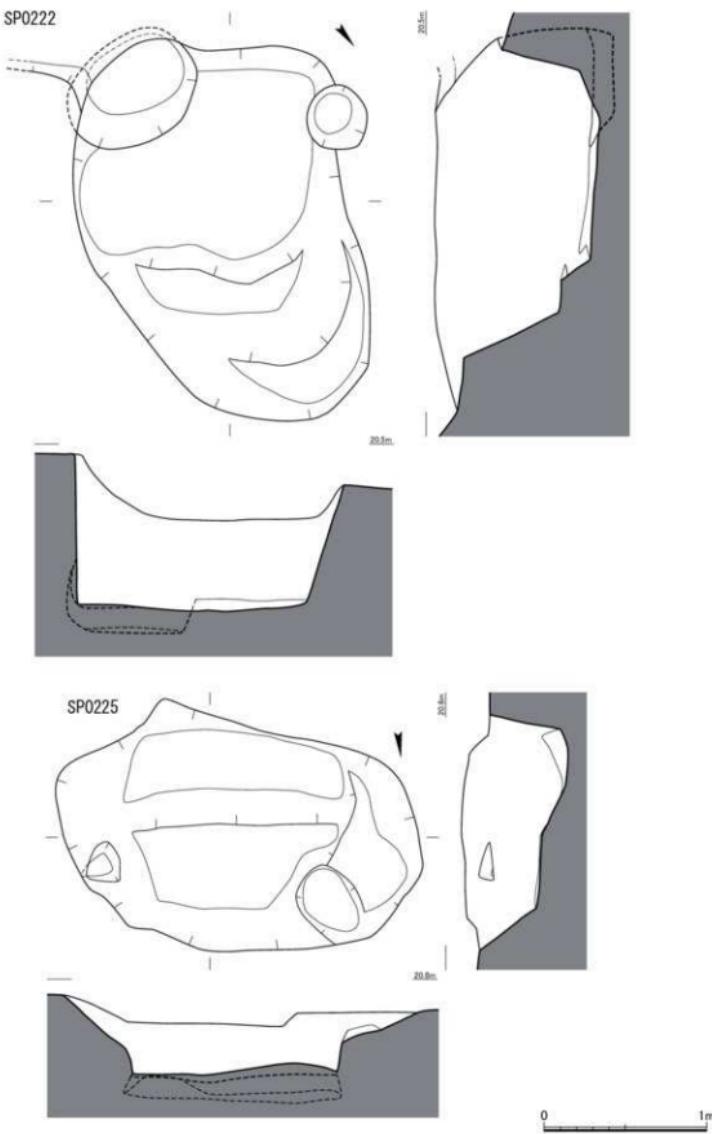


図 176 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 8 (1/30)

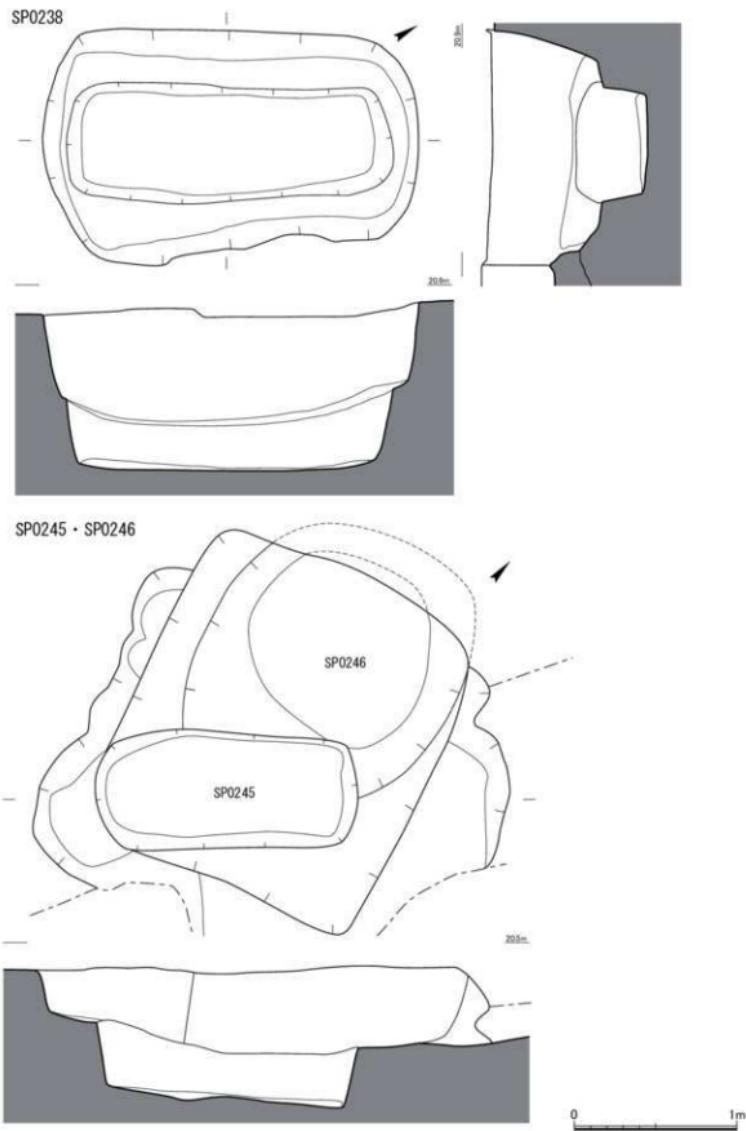


図 177 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 9 (1/30)

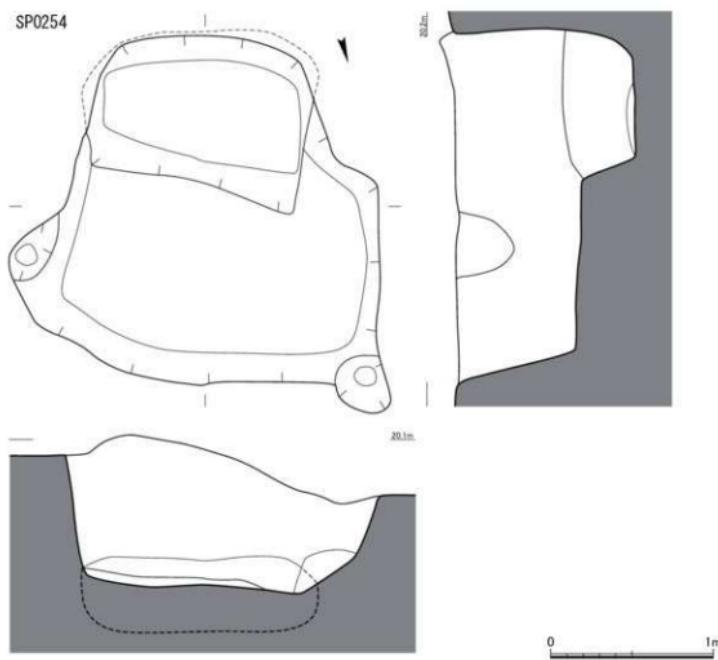


図 178 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 土坑墓 10 (1/30)

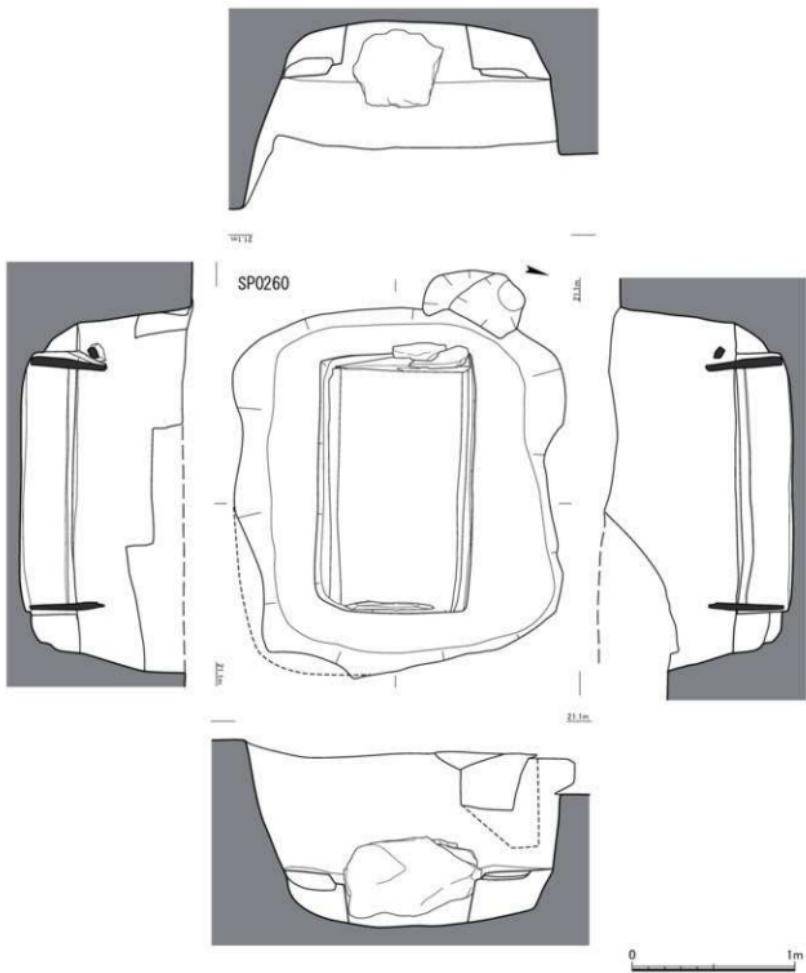


図179 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓11 (1/30)

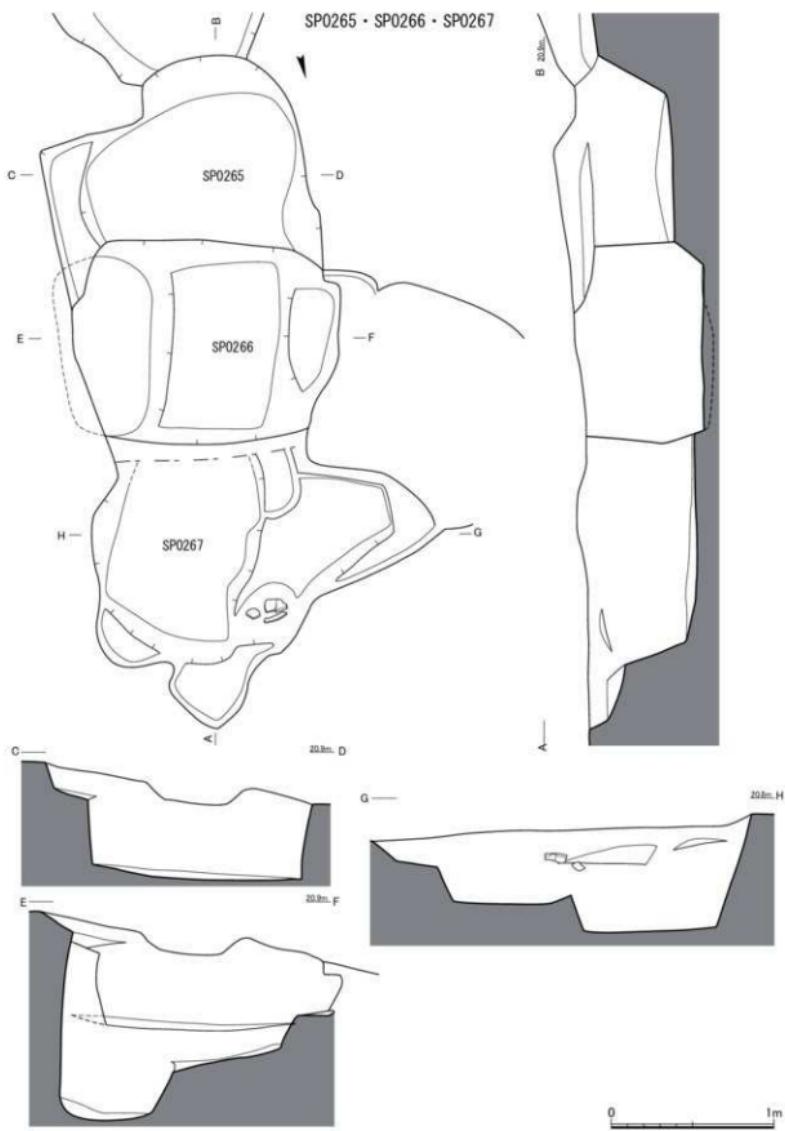


図180 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓12 (1/30)

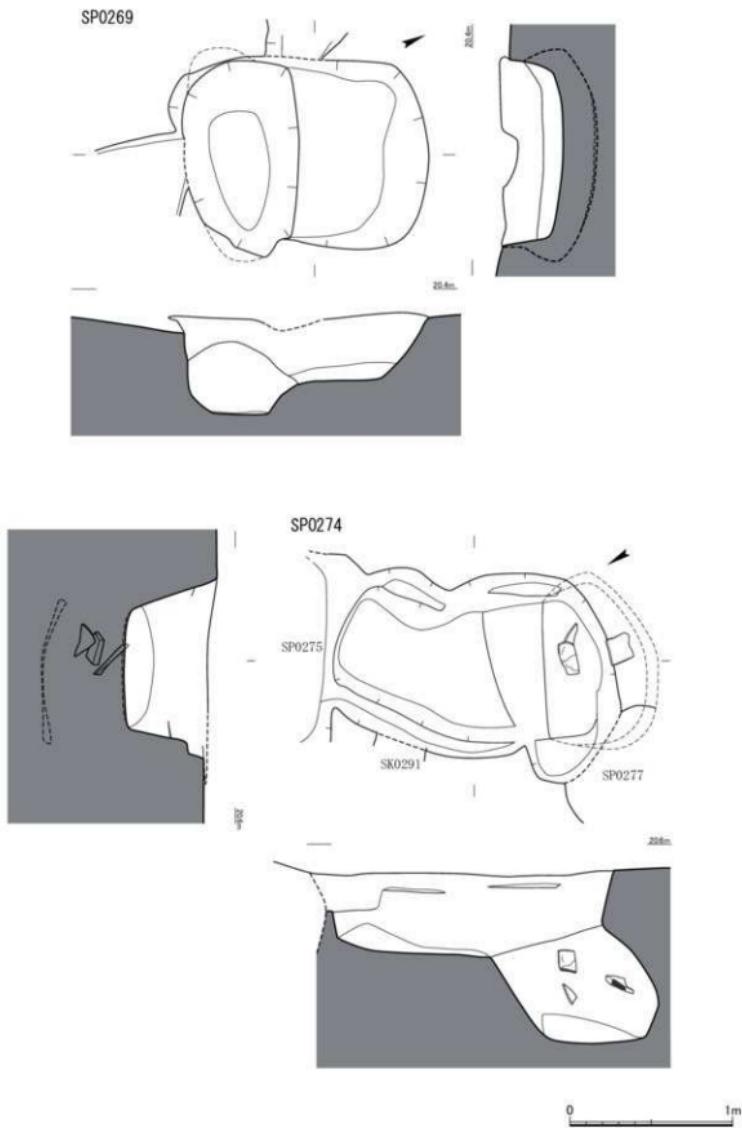


図 181 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓 13 (1/30)

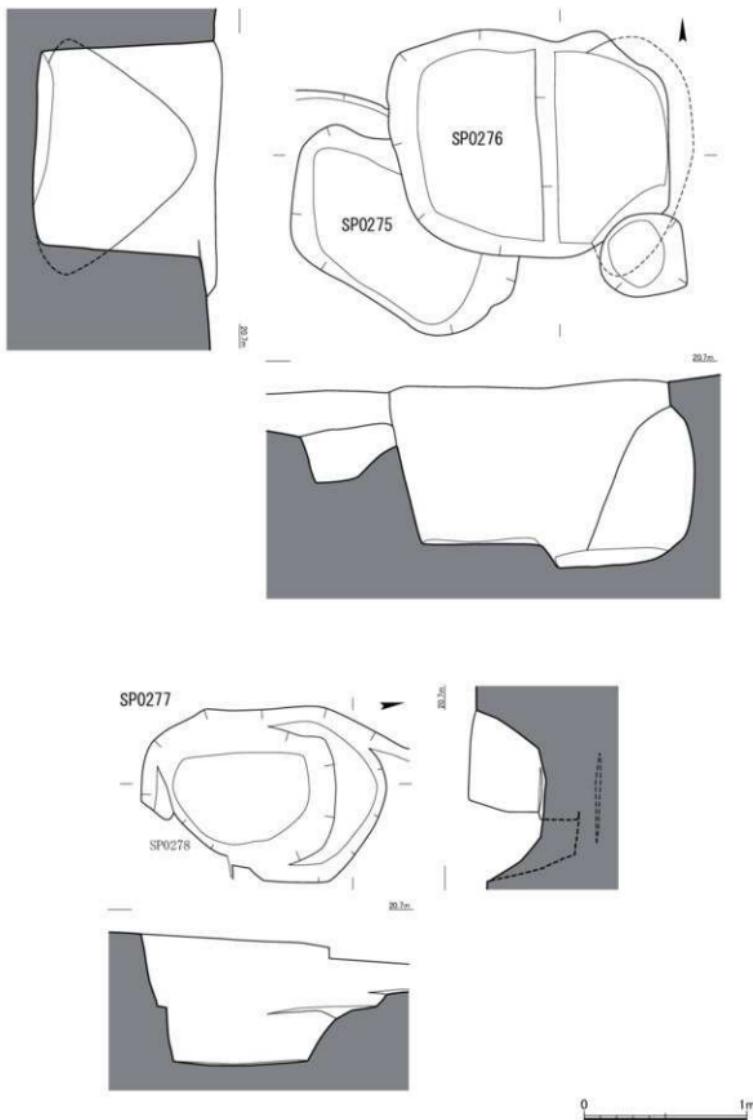


図 182 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 土坑墓 14 (1/30)

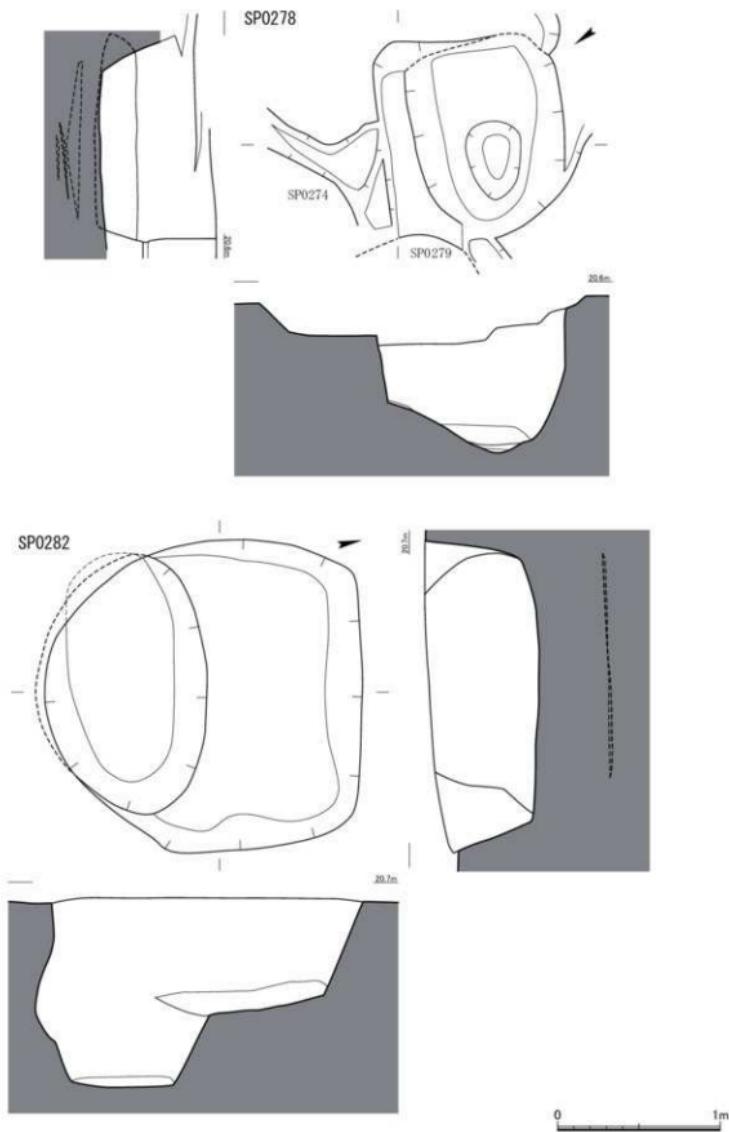


図 183 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 15 (1/30)

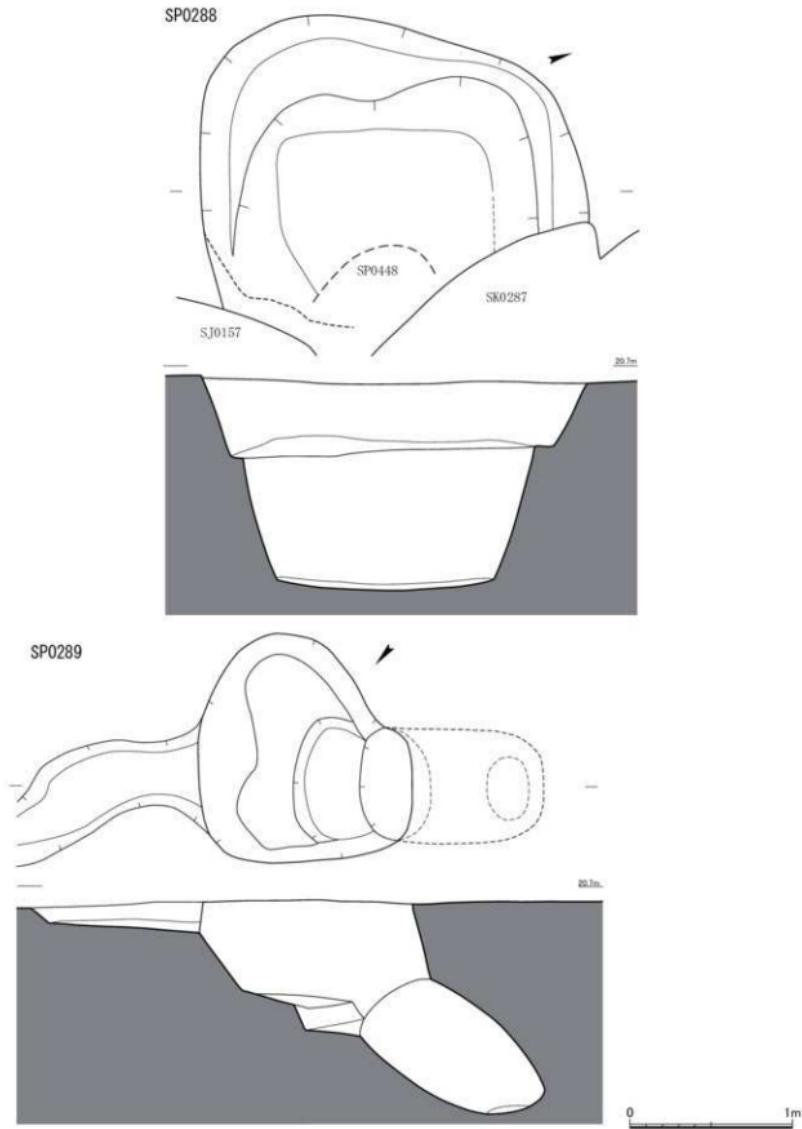


図 184 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 土坑墓 16 (1/30)

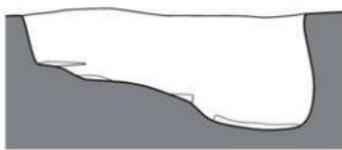
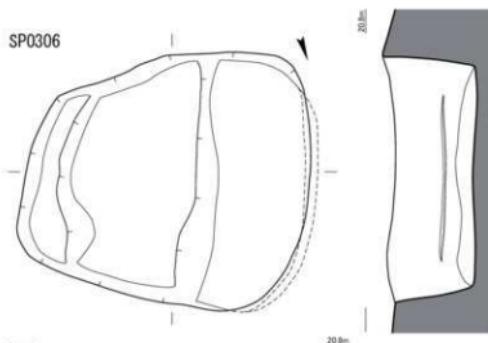
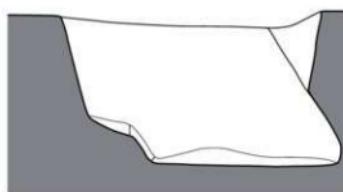
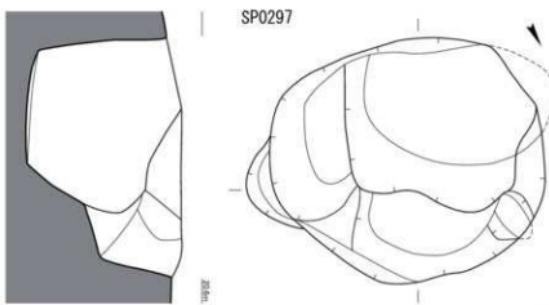


図 185 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 17 (1/30)

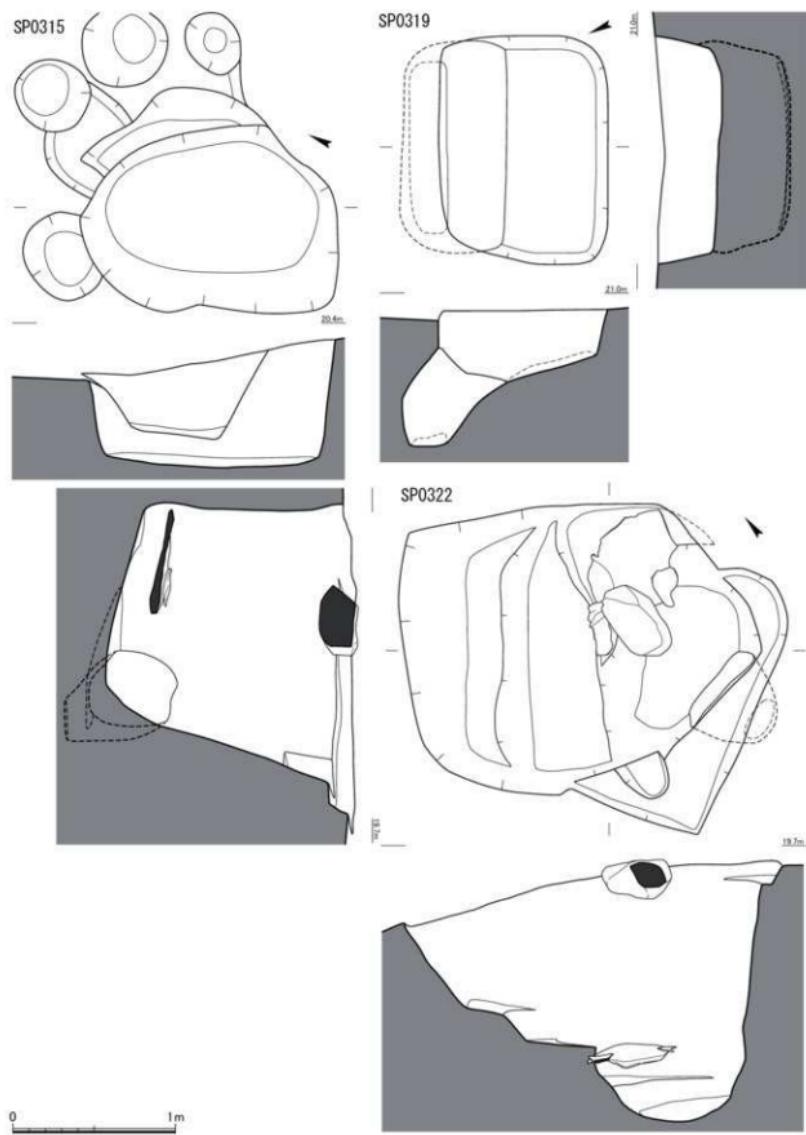


図 186 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 土坑墓 18 (1/30)

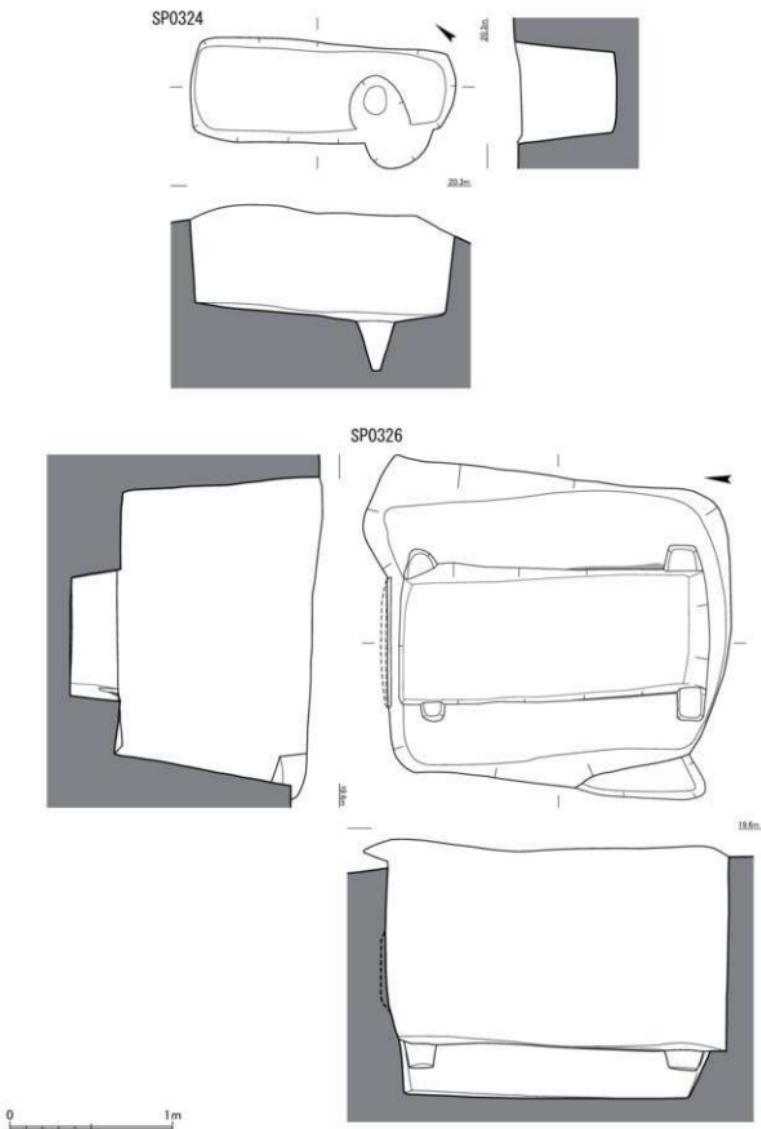
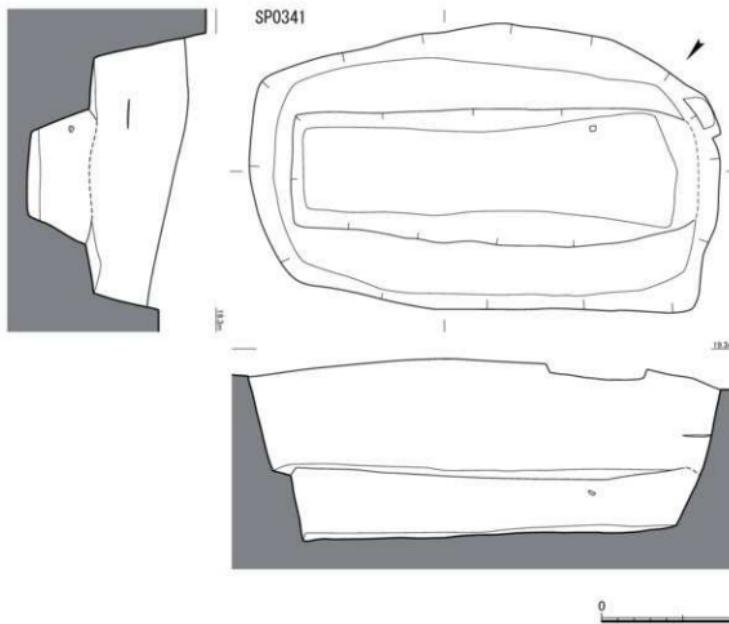
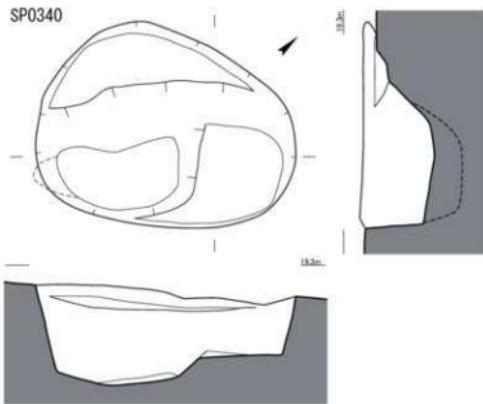


図 187 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 19 (1/30)



0 1m

図 188 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 20 (1/30)

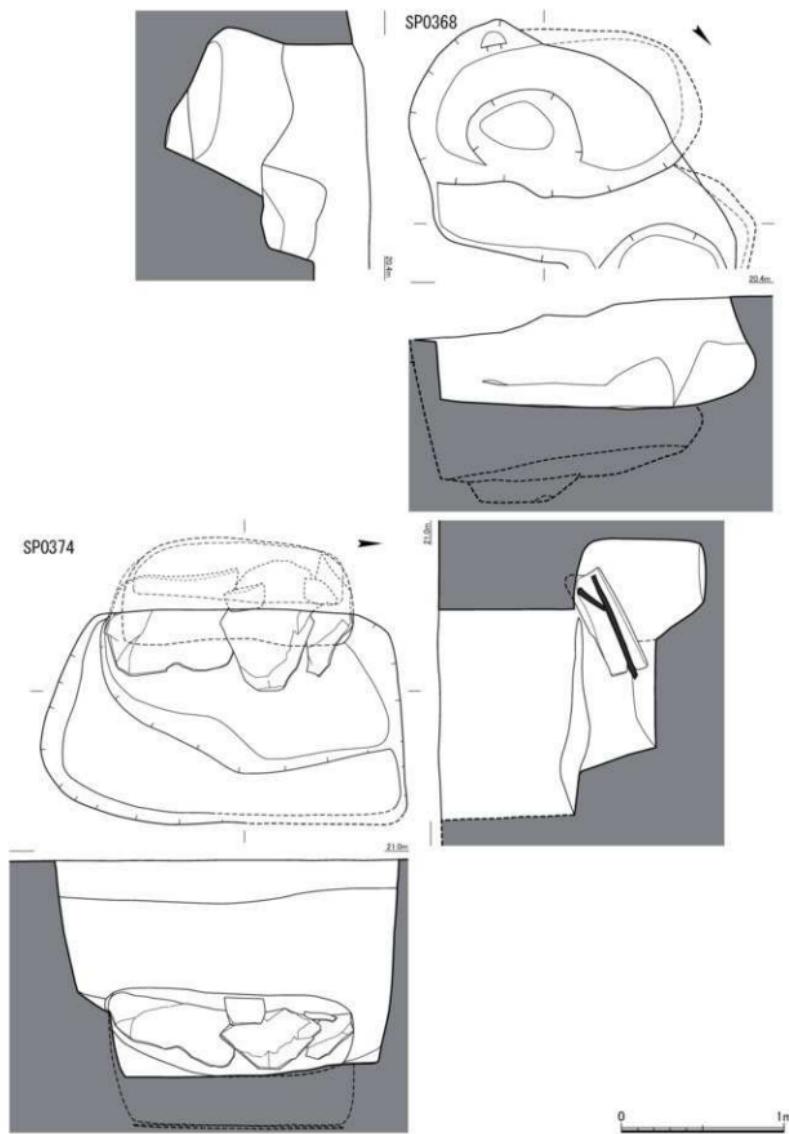


図189 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓21 (1/30)

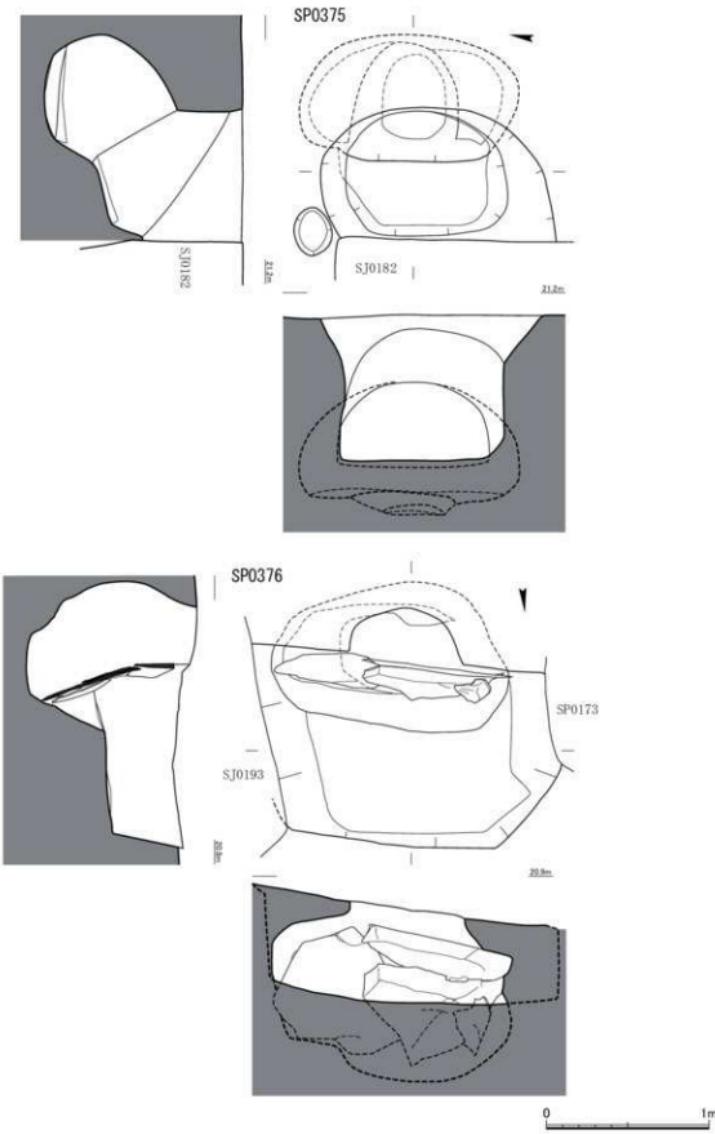
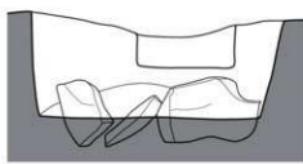
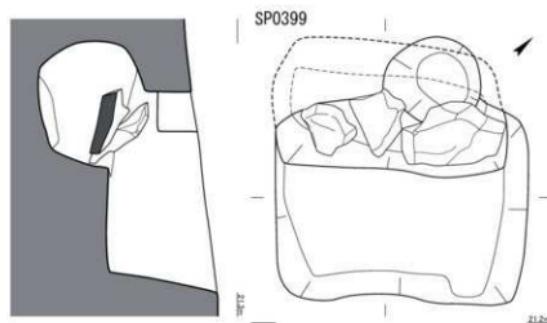
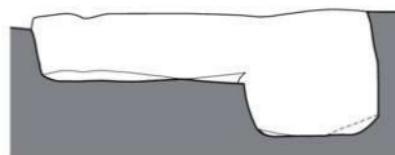
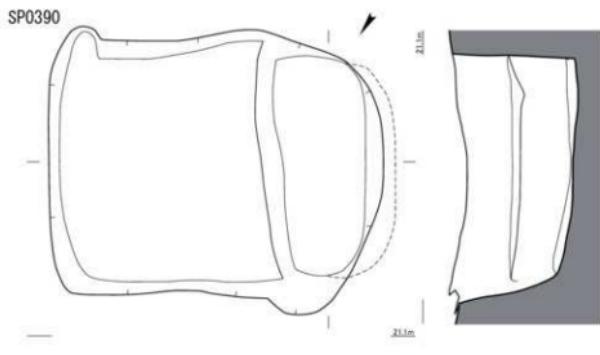


図 190 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 22 (1/30)



0 1m

図 191 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓 23 (1/30)

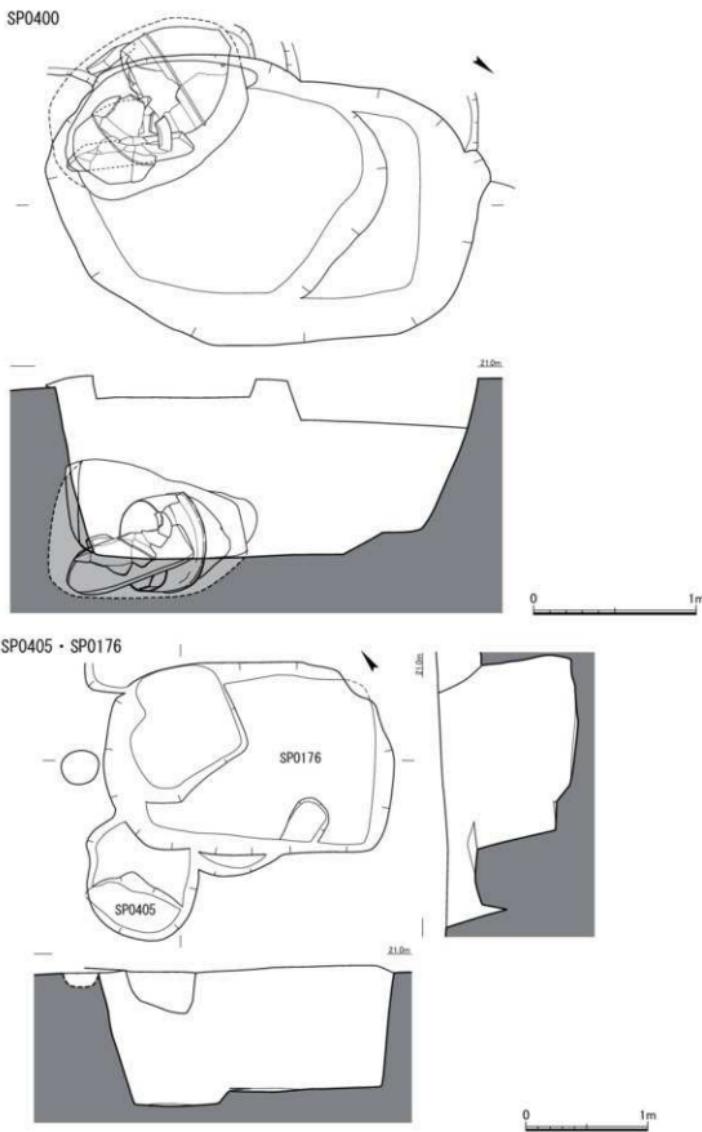
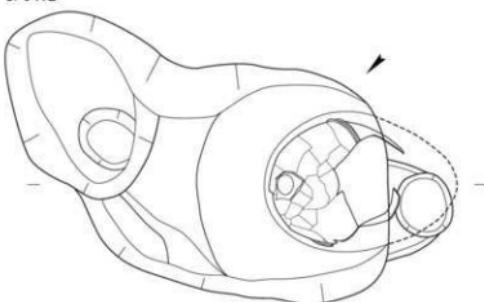
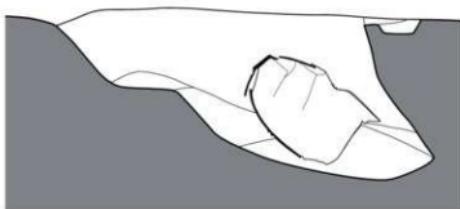


図 192 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓 24 (1/30・1/40)

SP0412

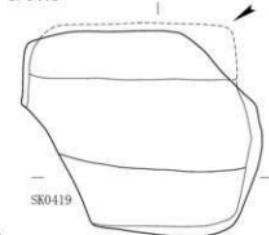


20cm



20cm

SP0418



20cm

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

|

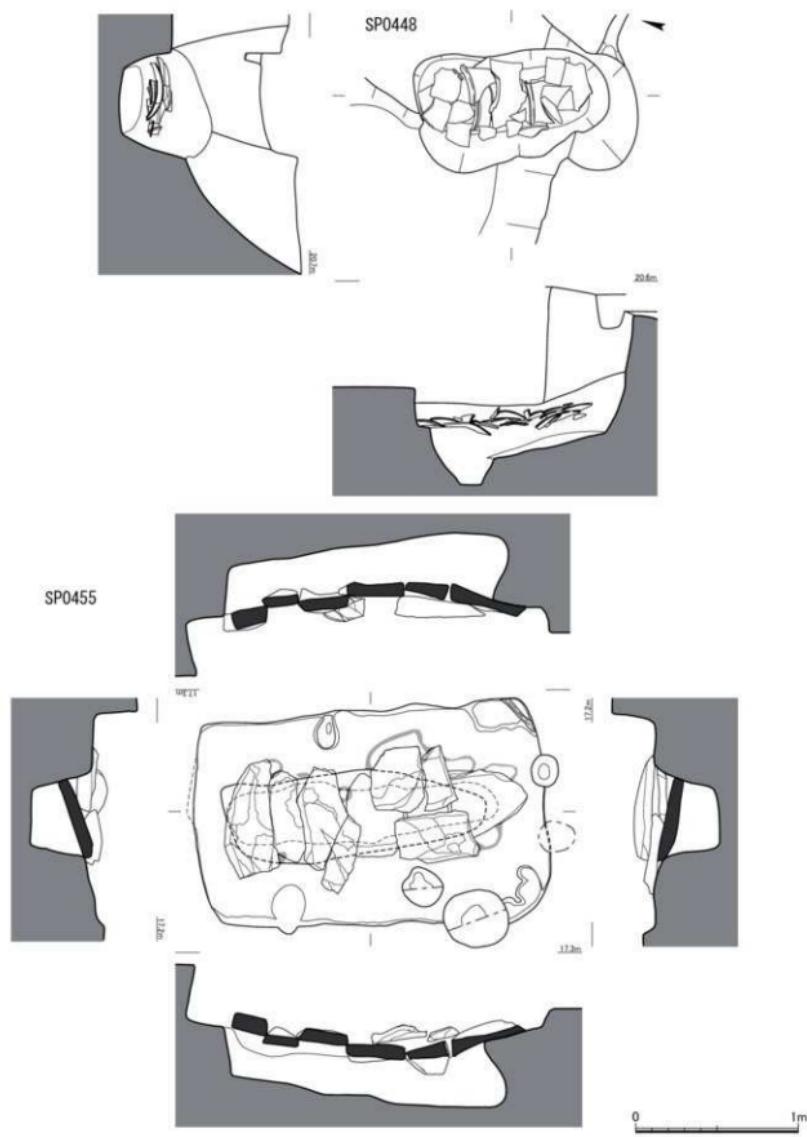


図 194 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 土坑墓 26 (1/30)

新旧関係はこれより古い。

SP0374 は一次墓坑が平面隅丸長方形をなし、長辺に段掘りと横掘りによる二次墓坑が設けられ、複数枚の板石を蓋として被せている。SP0376 は一次墓坑が不整方形をなし、段掘りと横掘りによる二次墓坑が設けられ、大型の板石を斜めに被せて蓋としている。SP0173, SJ0193 と重複し、新旧関係はこれらより古い。

SP0400 は一次墓坑が平面梢円形をなし、段掘りした底面の角部分に喪棺が据えられ、手前側が複数の板石で塞がれている。SP0412 は横掘りによる二次墓坑に蓋が斜めに被せられている。

SP0448 は一次墓坑が平面不整梢円形をなし、底面は片側が一段深く掘り込まれている。墓坑中位に複数の土器片が重なり合っており、蓋として被せられたものとみられる。内部からは人骨が出土している。SP0455 は一次墓坑が長方形をなし、中央に不整梢円形の二次墓坑が掘り込まれ、その上に約 10 枚の板石が蓋として被せされており、一部粘土が残存する。一次墓坑の南西角部からガラス製小玉が出土している。

表 13 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 土坑墓・木棺墓

遺構番号	平面形	主軸方位	構造	一次墓坑		深さ	二次墓坑		新旧関係		時期	特記事項
				長軸	短軸		長軸	短軸	旧	新		
SP0069	不整	N45W	横口式	1.28	1.19	0.90	0.96	0.83	SJ0070	SP0383	後期初頭～後期前半	土器蓋
SP0166	不整	N109E	木棺墓？	2.47*	1.99	0.98	2.03	0.92	SJ0070		後期初頭以降	
SP0168	隅丸方	N94W	横口式？	2.05	1.96	0.96			SK0178		後期？	
SP0170	不整	N49W	横口式	1.49	1.26	0.96					後期	石蓋
SP0172	不整	N108E	横口式？	2.36	1.92	1.56	1.65	0.55			後期	人骨片
SP0173	隅丸方	N151W	横口式？	1.63	1.55	0.85	1.63	0.70			後期	
SP0175	隅丸長方	N117.5E		2.03	1.57	0.73	2.03	0.86	SK0174		後期初頭以降	
SP0176	隅丸長方	N55W		2.38	1.57	1.12			SP0405		骨生？	SP0405 と同様
SP0177	隅丸長方	N86W		2.37	1.52	1.26	2.22	0.99	SP0374	SJ0373	中期後半以前	
SP0191	不整長方	N115E	横口式	2.45	1.29	1.22	1.60	0.65	SJ0080		中期後半以降	人骨片
SP0201	隅丸方	N150W	横口式？	1.44	1.21	0.78			SP0202		弥生？	
SP0202	梢円	N116E		1.46	0.6	0.53			SP0201		弥生？	
SP0210	長方	N86E		2.19	1.75	1.34	1.50	1.33			後期	足元屈込？
SP0211	隅丸長方	N105E	横口式？	2.07	1.3	0.72					後期	
SP0212	不整円	N142W	横口式？	2.08	1.52	1.0					後期	
SP0216	不整長方			2.2	1.5						弥生？	個別開なし
SP0220	不整円	N116W		2.12	1.87	0.91	2.12	0.92			後期	
SP0222	不整円	N142W		2.35	1.83	1.01					後期	

表13 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓・木棺墓

遺構番号	平面形	主軸方位°	構造	一次墓坑		深さ	二次墓坑		新旧關係		時期	特記事項	
				長軸	短軸		長軸	短軸	旧	新			
SP0225	不整長方	N101E		2.26	1.56	0.55	2.26	0.81			弥生?		
SP0238	圓丸長方	N149E	二段掘	2.3	1.46	1.04	2.01	0.75	SJ0235	SJ0272	後期初頭?		
SP0245	長方	N130W		1.61	0.76	0.86			SP0246		弥生?		
SP0246	方	N164E		2.17	1.92	3.17			SP0245		弥生?		
SP0254	不整	N67W	横口式?	2.28	2.15	1.13	1.39+	1.10			後期	人骨片	
SP0259											弥生?	削平	
SP0260	圓丸方		木棺墓	2.29	2.05	1.06	1.60	0.80			中期後半?	小L字板石	
SP0265	不整	N98W		1.74	1.13+	0.74			SP0266		弥生		
SP0266	不整	N105E	横口式	1.65	1.26+	1.29			SP0265 SP0267		後期	人骨片	
SP0267	不整			2.17	1.74+	0.72			SP0266		弥生	打製石劍2	
SP0269	圓丸長方	N155.5W	横口式?	1.60	1.23	0.62	1.24	0.72			後期		
SP0274	不整	N148W	横口式	1.77	1.33	1.06	1.09	0.85	SP0275 SP0277		後期前半以降		
SP0275	椭円	N122E		1.55	0.9+		1.20	0.7+		SJ0274 SP0276		後期前半?	
SP0276	圓丸方	N90.5E		1.75	1.41	1.13	1.41	0.83	SP0275		後期前半以降		
SP0277	不整円	N20E		1.51	1.08	0.80			SP0278		弥生?		
SP0278	不整方	N143W		1.25	1.18	0.88			SP0277		弥生?		
SP0282	不整方	N12E	横口式?	1.95	1.93	1.13	1.60	0.99			弥生	打製石劍1	
SP0288	不整方			2.40	1.72	1.32				SJ0157 SP0448		後期初頭以前	
SP0289	不整椭円	N53W	横口式	1.41	1.32	1.30	0.69	0.43			弥生?		
SP0297	不整円	N120E		1.83	1.52	0.92					後期		
SP0306	圓丸方	N71W		1.79	1.59	0.59					中期	磨製石劍1	
SP0315	不整	N155.5E		1.60	1.39	0.78					弥生?		
SP0319	長方	N112E	横口式	1.41	1.04	0.84					中期後半~ 中期末		
SP0322	不整方	N124E		2.24	1.79	1.58					後期	板石出土	
SP0324	長方	N40W		1.64	0.66	0.62			SD0054		古墳初期以前		
SP0326	長方	N3W	木棺墓	2.27	2.05	1.53	1.91	0.87	SK0327		中期後半以降		
SP0340	椭円	N50E		1.60	1.28	0.62					弥生?		

表13 吉野ヶ里丘陵地区II区 土坑墓・木棺墓

遺構番号	平面形	主軸方位°	構造	一次墓坑		深さ	二次墓坑		新旧關係		時期	特記事項
				長軸	短軸		長軸	短軸	旧	新		
				2.90	1.78	1.02	2.51	0.86			後期	
SP0341	圓丸長方	N124W	二段掘	2.02	1.51	1.16	1.51	0.95			後期	
SP0368	不整	N50W		2.26	1.33	1.63			SJ0193		後期前半以降	石蓋 人骨片
SP0374	圓丸長方	N91E	横口式	1.46	0.82+	1.22			5J0182		後期初頭以前	
SP0375	不整楕円	N171E	横口式?	1.90+	1.48+	1.05			SP0173		後期前半以前	石蓋
SP0376	不整方	N80W	横口式	1.0	0.65				SJ0193		後期前半以前	石蓋
SP0383	楕円	N127W		2.06	1.78	0.77	1.59	0.80	SP0069		後期前半以降	個別団なし
SP0390	方	N157E	横口式?	1.55	1.30	1.10					後期	
SP0399	方	N134W	横口式	2.74	1.78	1.36					後期	石蓋
SP0400	不整	N37.5W	横口式?	2.39	1.58	1.10					後期前半	土器蓋・板石
SP0405	不整方	N69W		1.49	0.76	0.69			SP0176		弥生?	
SP0412	不整	N50E	横口式	1.23	0.8	0.98					中期末～後期前半?	土器蓋 人骨片
SP0414	不整楕円			1.21	0.77	1.13					弥生?	個別団なし
SP0418	不整	N144W	横口式?	1.33	0.76	0.69			SK0419		中期～後期	
SP0423	楕円	N70W		1.23	0.8	0.25	0.86	0.65			中期末～後期前半	鐵鉗片
SP0429	楕円			1.21	0.77	1.13			SJ0078		中期後半以前	個別団なし
SP0435	不整	N29E		1.21	0.77	1.13			5J0148 SJ0286		後期初頭以前	
SP0448	不整楕円	N17W	土器蓋	1.21	0.77	1.13			SP0288		後期前半?	人骨
SP0455	長方			1.20	0.76	0.69					202区 粘土ガラス小玉2	
SP0456	不整円		二段掘	1.21	0.77	1.13					後期	202区

祭祀土坑

本区域で確認した弥生時代墳墓に伴う祭祀土坑として、9基を報告する。

SK0167は小規模な二つの楕円形の土坑が連結したような状態をなす。遺構上層より土器が少量出土している。SK0174は平面不整形で、複数の土坑が連結した状態をなす。埋土から弥生時代中期末と古墳時代前期初頭の土器が混在して出土していることから、時期の異なる遺構が重複している可能性がある。

SK0206は平面楕丸長方形で、構造は不明瞭な三段掘り状をなす。底面の中位付近から土器が少量出土している。SK0228は浅い楕円形の土坑とやや深い円形の土坑が連結した遺構である。上面付近から完形に近い土器がまとまって出土している。SK0291は不整形の大型土坑で、全体が一段掘り込まれ、2ヶ所がさらに一段掘り込まれている。弥生時代のSPO274・SPO275・SPO277土坑墓と重複し、新旧関係はこれらより古い。中央上面から土器が出土しているほか、南角部付近から完形の甕が口を下に向けた状態で出土している。

SK0296は平面不整円形で、構造は三段掘りをなす。上面付近より完形に近い土器がまとまって出土している。SK0327は平面楕丸長方形とみられるが、遺構の残存状況が悪く、かつSJ0328・SJ0415甕棺墓の墓坑によって西側が破壊されている。中央上面から土器がまとまって出土している。SK0407はSK0325と重複し、新旧関係はこれより新しい。平面楕丸長方形で、構造は二段掘りをなし、横断面U字状である。中位～上位にかけて多量の土器が折り重なった状態で出土している。

表14 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑

遺構名	平面形	規模 m			新旧関係		時期	特記事項
		長軸	短軸	深さ	旧	新		
SK0167	不整	1.84	1.4	0.65			中期末	
SK0174	不整	3.2	3.15	0.56		SPO175	中期末	古墳前期の遺物が混入か
SK0206	楕円	1.56	0.85	0.51			中期後半～末	
SK0228	不整	1.77	1.65	0.72		SPO287	中期末	
SK0291	不整	2.88	2.09	0.62		SPO275 SPO277	中期末	
SK0296	円	1.5	1.45	0.79			中期末	
SK0313	不整円	1.5	1.3+				中期後半～末	個別図なし
SK0327	長方	1.44	1.12	0.16		SJ0328 SJ0415	中期後半	
SK0407	長方	1.53	0.81	0.54	SK0325		中期前半～後半	

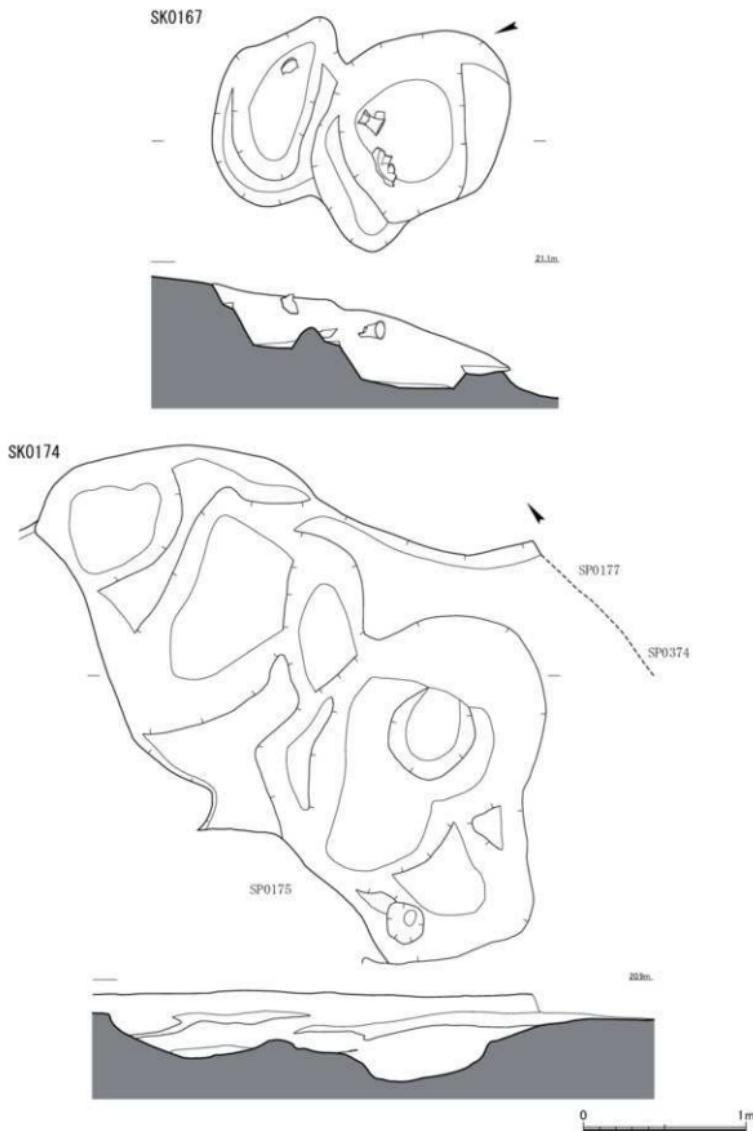
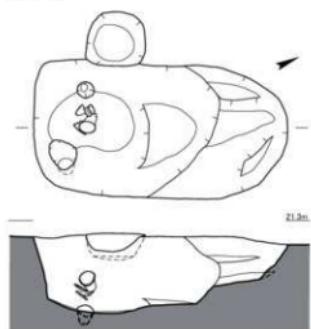
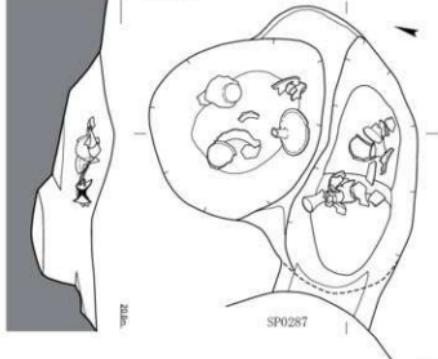


図195 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑1 (1/30)

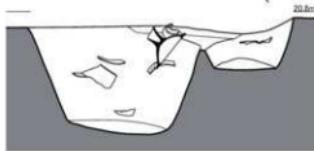
SK0206



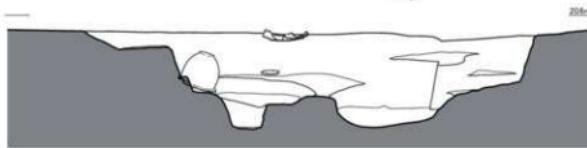
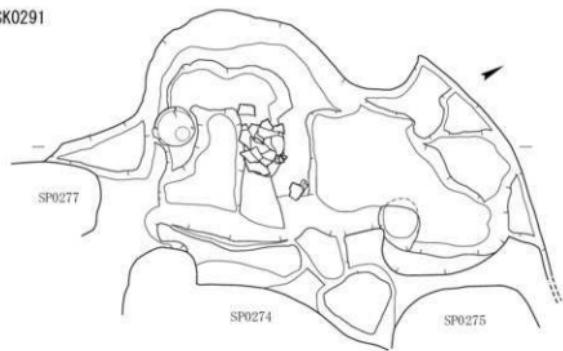
SK0228



SP0287



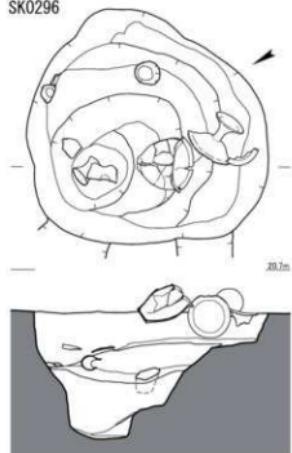
SK0291



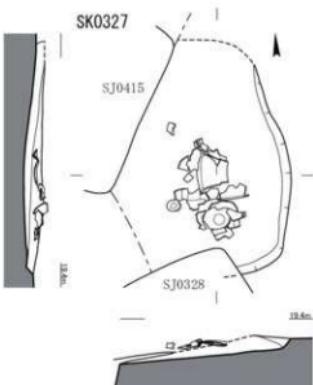
0 1m

図 196 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 祭祀土坑 2 (1/30)

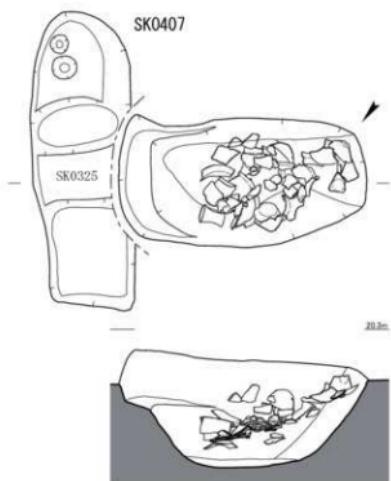
SK0296



SK0327



SK0407



0 1m

図 197 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑3 (1/30)

(3) 出土遺物

弥生時代の墳墓に関連する遺物として、甕棺、土器、石器、鉄器、ガラス製品、貝製品、繊維製品等が出土している。

甕棺

1はSJ0064上甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、胸部上位を最大径とする。突帯の位置は胸部中位やや下で、断面台形状が1条巡る。外面細かいハケメが施される。2はSJ0064下甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中央やや上位を最大径とする。突帯の位置は胸部やや下位で、刻み目を施した断面台形が1条巡る。外面細かいハケメ、内面粗いハケメと細かいハケメが施される。3はSJ0067下甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、底部は欠損する。胸部中央付近に刻み目を施した断面台形の突帯が1条巡る。4はSJ0070上鉢。大型の鉢で、底部を欠損する。口縁は外へ短く突出し、その下に断面M字形の突帯が3条巡る。内外面に丹塗りが施され、外面に細かいハケメが残る。5はSJ0070下甕で、口縁は「く」字状に立ち上がり、口縁内面に明確な稜を持つ。胸部は中央から下位にかけて膨らみ、全体的に不整形である。突帯は剥落しており形状は不明であるが、貼り付けの痕跡から2条巡るとみられる。外面細かいハケメが施され、内面は工具痕が残存する。7はSJ0135下甕で、口縁は「く」字状に短く立ち上がる。胸部は丸みを帯び、中央やや下位を最大径とする。突帯は胸部最大径の位置に断面台形状が2条巡る。外面ハケメ、口縁内面ハケメが施され、口縁外には工具痕が残る。8はSJ0137下甕で、口縁は短く立ち上がり気味である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は胸部中位に断面台形状が2条巡る。外面ハケメ調整で、胸部中央やや下位に2ヶ所穿孔が施される。

9はSJ0142上甕。小型の甕で、口縁は萌芽的な「く」字状をなす。胸部上位が丸みを帯びる。外面ハケメが施される。10はSJ0142下甕。口縁は上甕に比べやや明瞭な萌芽的「く」字状をなす。胸部上位が丸みを帯び、底部は上甕よりも幅広である。外面ハケメが施される。11はSJ0143下甕。中型の甕で、口縁は「く」字に短く立ち上がる。突帯は口縁下と胸部中位にそれぞれ1条巡る。胸部は中央やや上位を最大径とする。外面ハケメが施され、下位に穿孔が施されている。

12はSJ0154上甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中央やや下位に断面台形が1条巡る。外面ハケメが施される。13はSJ0154下甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中央やや下位に断面台形が2条巡る。外面ハケメが施される。14はSJ0156上甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中位に高さの異なる断面台形が2条巡る。摩耗のため調整は不明である。15はSJ0156下甕。口縁は断面「く」字状に立ち上がり気味で、内面に打欠が施される。胸部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帯は中央やや下位にあり、刻み目を施した断面台形が1条巡る。内外面ハケメが施される。16はSJ0157上甕、17はSJ0157下甕である。小型の甕で、口縁は萌芽的な「く」字状をなす。下甕は胸部上位が膨らみ、底部は平底をなす。外面及び口縁内面にハケメが施される。18はSJ0158上甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、最大径の位置に断面台形の突帯が1条巡る。外面ハケメが施される。19はSJ0158下甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中央やや上位を最大径とする。胸部中位に断面三角形の突帯が2条巡る。外面ハケメが施される。20はSJ0159下甕で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帯は断面三角形が中位に2条巡る。21はSJ0160上甕で、胸部中央以下を欠損する。口縁断面は萌芽的な「く」

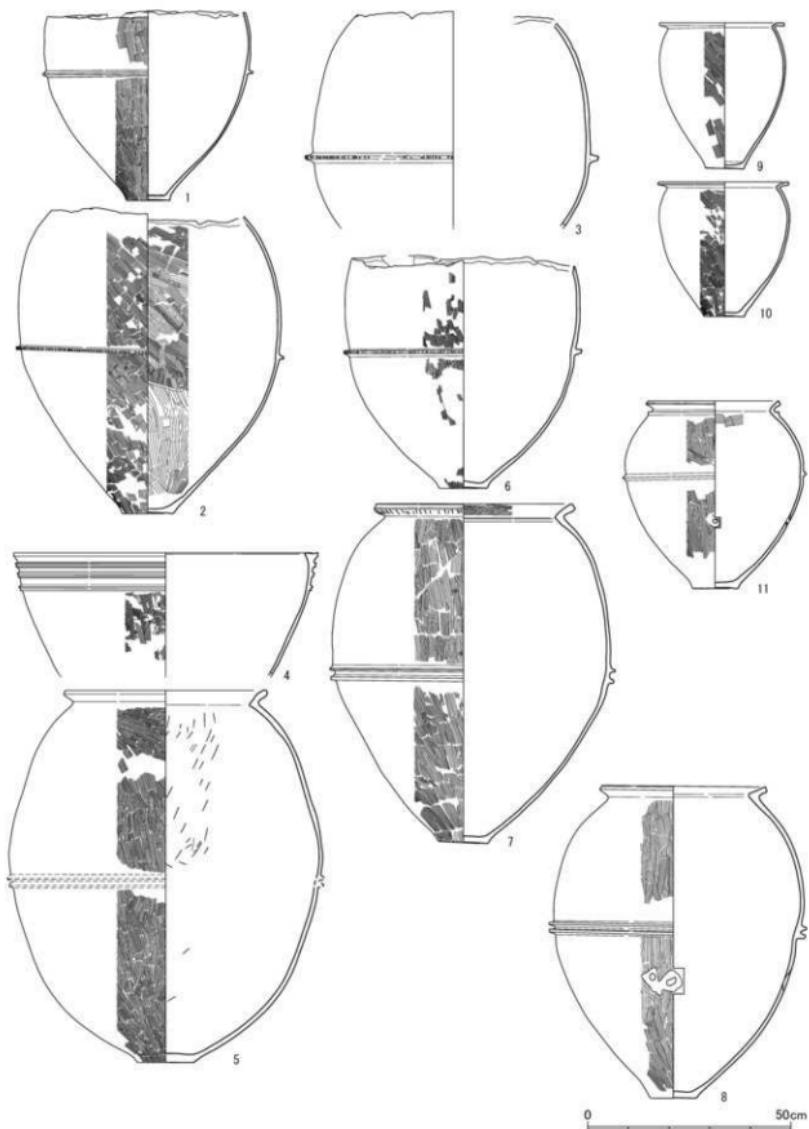


図198 吉野ヶ里丘陵地区II区 羅棺1 (1/12)

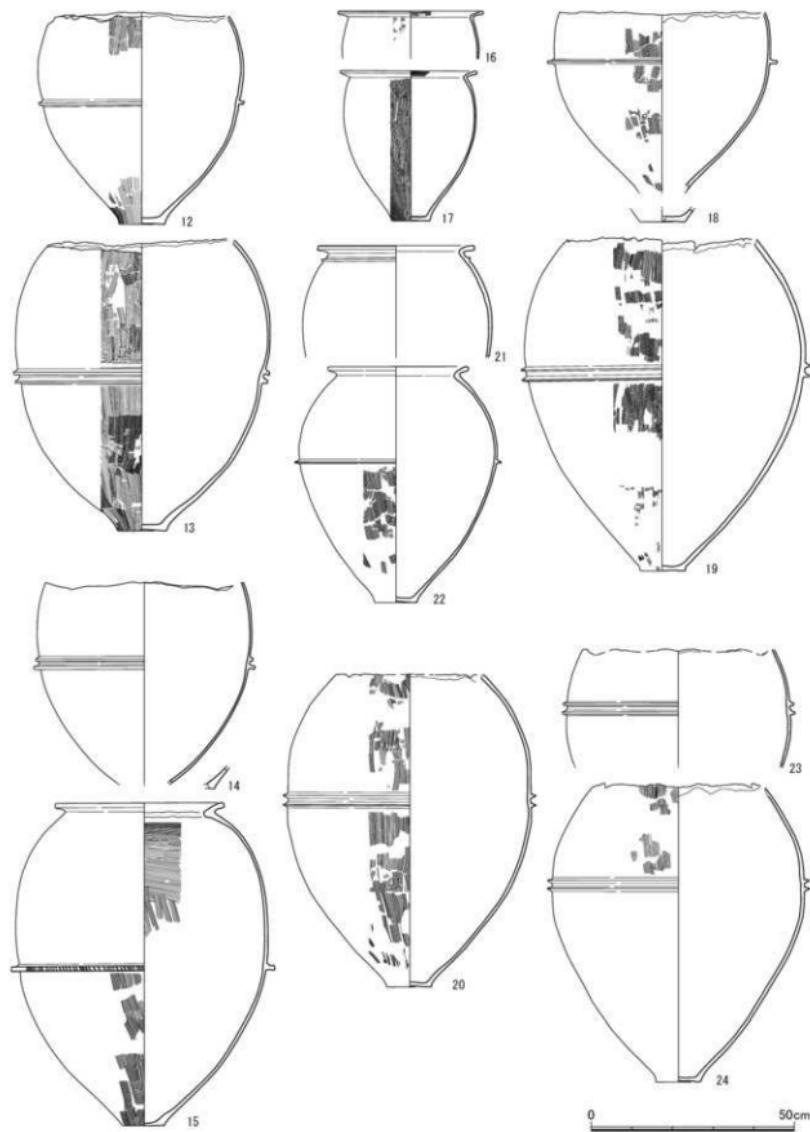


図 199 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 窫棺 2 (1/12)

字状をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。22はSJ0160下表で、口縁は上表よりも「く」字状に立ち上がる。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。胸部中央やや上位に断面三角形の突帯が1条巡る。胸部外面下半にハケメが施される。23はSJ0162上表で、口縁は打欠である。胸部下半以下を欠損するが、中央やや上位が最大径とみられ、胸部上位に断面台形の突帯が2条巡る。24はSJ0162下表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は胸部最大径の位置に断面三角形が2条巡る。胸部外面上位にハケメが施される。

25はSJ0163上表。小型の表で、口縁断面は萌芽的な「く」字状に立ち上がり、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。底部付近外面にハケメが残る。26はSJ0163下表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中央やや下位に断面台形が1条巡る。外面ハケメが施され、胸部下位に穿孔を持つ。27は木蓋単柾のSJ0193で、口縁は「く」字に短く立ち上がる。口縁下に断面台形の突帯が1条巡る。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。胸部中位に断面台形の突帯が3条巡る。外面ハケメ後ナデ、内面ナデである。28はSJ0226上表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帯は胸部中央に位置し、刻み目を施した断面台形が1条巡る。外面ハケメが施される。29はSJ0264上表。小型の表で、口縁は「く」字に立ち上がり、直下に断面三角形の突帯が1条巡る。外面摩耗のため調整不明、内面ナデである。30はSJ0264下表で、口縁断面は「く」字状に立ち上がり氣味である。胸部は丸みを帯び、中央やや上位を最大径とし、その下に断面台形の突帯が2条巡る。胸部中央下位に不整形の大きな穿孔が施されている。外面ハケメ、内面ナデである。31はSJ0268下表で、口縁内面に打欠が施される。口縁断面は「く」字に立ち上がる。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯の位置は胸部中位で、刻み目を施した断面台形が1条巡る。内外面ハケメが施される。胸部外面下半に焼成時破裂とみられる剥離痕が複数認められる。32はSJ0280上表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は胸部中位に細長い断面台形が1条巡る。全体的に摩耗しているが、外面ハケメ、内面ナデである。33はSJ0280下表で、口縁内側に打欠が施される。口縁断面は「く」字状に立ち上がり氣味である。胸部は丸みを帯び、中央やや上位を最大径とする。突帯は中央やや下位に断面三角形状が2条巡る。外面ハケメが施される。34はSJ0281上表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中央やや下位に断面三角形が1条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。胸部外面上位に焼成時破裂とみられる剥離痕が認められる。35はSJ0281下表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帯は中位に断面台形が1条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。36・37はSJ0290で、上下は不明である。36は小型の表で、口縁断面が萌芽的な「く」字状をなす。全体的に摩耗している。37は胸部突帯で、断面三角形の1条である。

38はSJ0292上表で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帯は胸部中位に断面三角形が1条巡る。外面ハケメが施されるが、摩耗のため不明瞭である。39はSJ0292下表で、口縁断面は「く」字状に短く立ち上がる。胸部上位が丸みを帯び、中央やや上位を最大径とする。胸部突帯は断面台形が2条巡る。外面ハケメ、内面ナデで、胸部内面上位に工具痕が残る。40は石蓋単柾のSJ0307である。口縁は断面「く」字に短く立ち上がり、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。胸部中位を最大径とし、中央下位に断面台形状の突帯が2条巡る。調整は胸部外面下半がハケメ後ナデ、胸部外面上半と内面がナデである。41はSJ0312上鉢で、口縁は断面「く」字状に外反し、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。胸部上位を最大径とする。外面ハケメ、内面ナデである。42はSJ0312下表で、口縁は外に長く突出し上

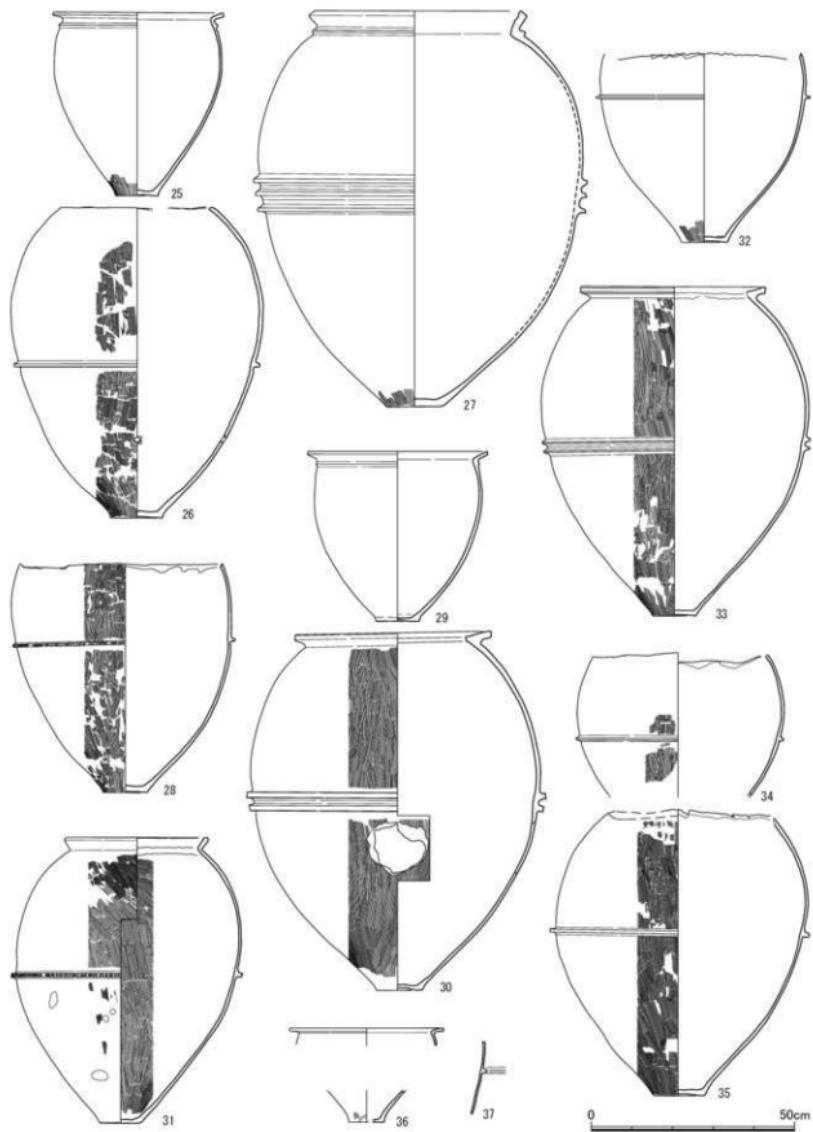


図 200 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 瓦棺 3 (1/12)

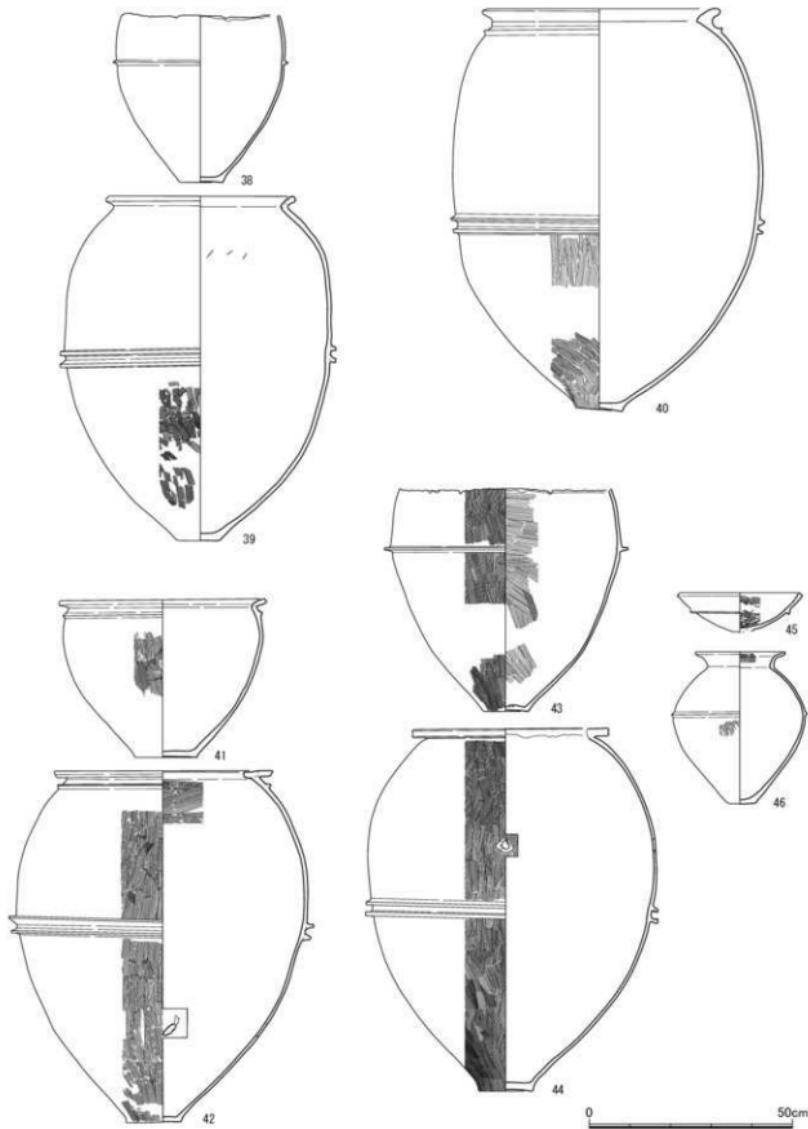


図201 吉野ヶ里丘陵地区II区 羅棺4 (1/12)

面は僅かに内傾する。胴部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帶は口縁下に断面三角形が1条、胴部中位に断面台形が2条巡る。外面及び口縁内面にハケメが施される。下位に長楕円形の穿孔が施される。43はSJ0329上甕で、口縁は打欠である。胴部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帶は断面三角形が1条巡る。内面粗いハケメ、外面細かいハケメが施される。44はSJ0329下甕。口縁上面は平坦で、内面に打欠が施される。胴部は丸みを帯び、中位を最大径とする。突帶は下位に断面台形が2条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。胴部上位に穿孔が施される。45はSJ0333上。粘土接合部で脚部を欠損した高环である。口縁下に断面台形の突帶が1条巡る。外面は摩耗のため調整不明であるが、内面に横方向のミガキが残る。46はSJ0333下甕である。口縁は屈曲して外反し、胴部は丸みを帯びる。胴部中将やや上位を最大径とし、断面三角形の突帶が1条巡る。全体的に摩耗しているが、調整は外面ハケメ後ナデ、口縁内面ハケメ、胴部内面ナデである。

47は石蓋單棺のSJ0330である。口縁は断面「く」字に立ち上がり、屈曲部は内側に突出する。胴部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帶は口縁下に断面三角形が1条、胴部下位に断面台形が2条巡る。外面ハケメ、内面ナデで、胴部外面上位に焼成時破裂とみられる剥落痕が残る。48はSJ0336上甕。小型の甕で、口縁は断面「く」字に外反し、口縁下に断面三角形の突帶が1条巡る。胴部上位を最大径とする。外面ハケメが施される。49はSJ0336下甕。口縁は断面「く」字に立ち上がり、内側に打欠が施される。胴部中央上位を最大径とする。突帶は胴部下位に位置し、刻み目を施した断面台形が1条巡る。外面細かいハケメが施される。50はSJ0349下甕で、口縁内面打欠である。口縁は外に延び、僅かに立ち上がる。胴部上位を最大径とし、突帶は中央やや下位に断面台形が2条巡る。摩耗のため調整不明である。51は石蓋單棺のSJ0351である。口縁は断面「く」字に立ち上がり、内面は内側に長く突出する。胴部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帶は中央やや下位に断面台形が2条巡る。調整は外面ナデ、内面上半は横方向のナデ、内面下半は縱方向ナデで、口縁内面に工具痕が残る。52はSJ0356上甕で、口縁から胴部突帶付近まで打欠が施される。突帶は断面台形が2条巡る。下位に円形の穿孔が施される。内外面ナデである。53はSJ0356下甕で、口縁は短く湾曲して外反する。胴部は丸みを帯び、中央やや上位を最大径とし、その位置に断面台形の突帶が2条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。

54はSJ0361上甕で、口縁は打欠である。胴部上位を最大径とする。突帶は下位に位置し、刻み目を施した断面台形が1条巡る。内外面ハケメが施される。55はSJ0361下甕で、口縁は打欠である。胴部上位を最大径とする。突帶は中央やや下位に位置し、刻み目を施した断面台形が1条巡る。内外面細かいハケメが施される。56は石蓋單棺のSJ0367である。口縁は断面「く」字に立ち上がり、内側に突出する。胴部は丸みを帯び、上位を最大径とする。突帶は口縁下に断面三角形が1条、胴部中央下位に断面台形が1条巡る。57はSJ0373上鉢で、口縁は内側に短く突出し外へ長く延びる。胴部から底部にかけて直線的な器形である。外面摩耗、内面ナデで、底部内面に指オサエが残る。58はSJ0373下甕で、器形は長胴の砲弾形をなす。口縁断面は外に長く延びるT字状、突帶は胴部下位に断面三角形が2条巡る。内外面ナデである。59はSJ0384上鉢で、口縁は外へ延びる。胴部から底部にかけてほぼ直線的な器形である。調整は外面下半にハケメが施され、外面上半と内面ナデで、底部内面に指オサエが残る。内外面黒塗りが施されている。60はSJ0384下甕で、器形は胴部中位を最大径とする砲弾形である。口縁断面は外に長く延びるT字状で、上面は僅かに外傾する。突帶は口縁下に断面三角形が1条、胴部中央やや下位に断面台形が2条巡る。調整は内外面ナデで、黒塗りが施されている。61はSJ0422で、上下不明であるが上鉢と考えられる。口縁断

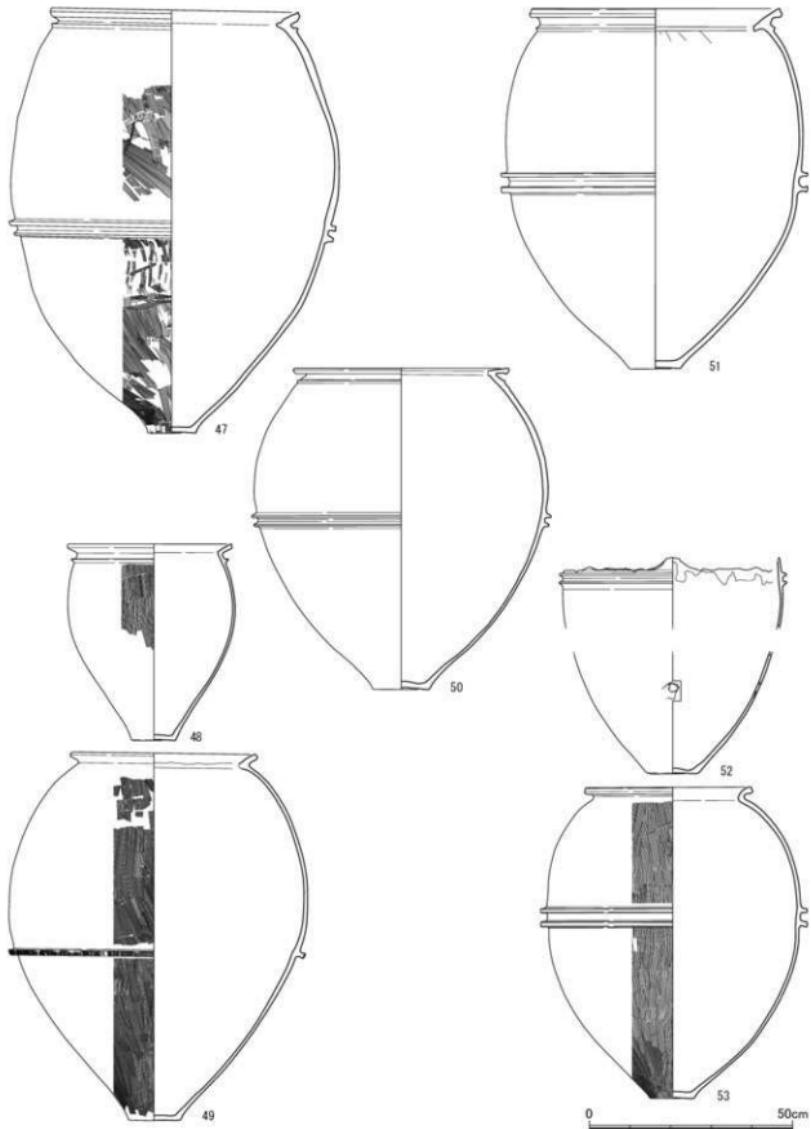


図202 吉野ヶ里丘陵地区II区 羅棺5 (1/12)

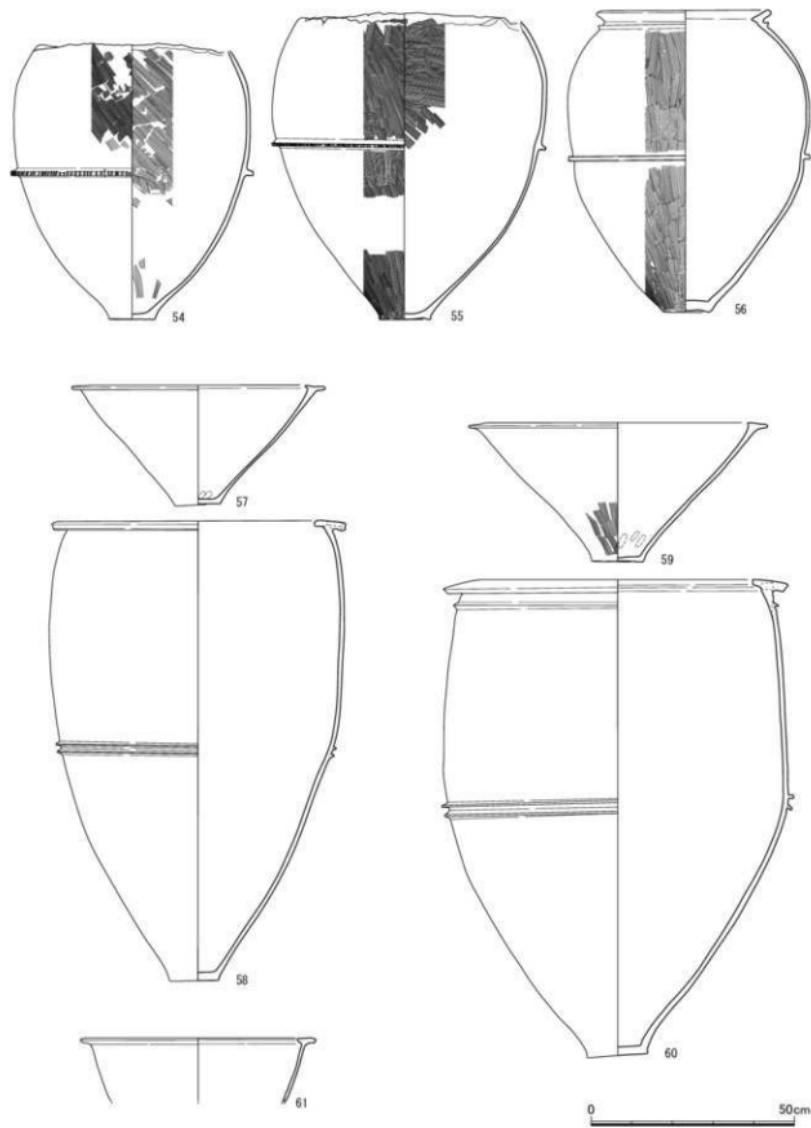


図 203 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 瓢棺 6 (1/12)

面は内外に突出するT字状をなす。摩耗のため調整は不明である。

62はSP0400土坑墓の東腰である。口縁は全体の約5/6に打欠が施されている。口縁断面は「く」字をなし、胸部上位を最大径とする。突帯は中央や下位に位置し、橢円形の刻み目を施した断面台形が1条巡る。底部中央に穿孔とみられる穴を持つ。63はSP0400土坑墓の西腰で、口縁は打欠である。胸部は丸みを帯び、中央の最大径の位置に断面台形の突帯が1条巡る。外面ハケメ、内面ナデである。

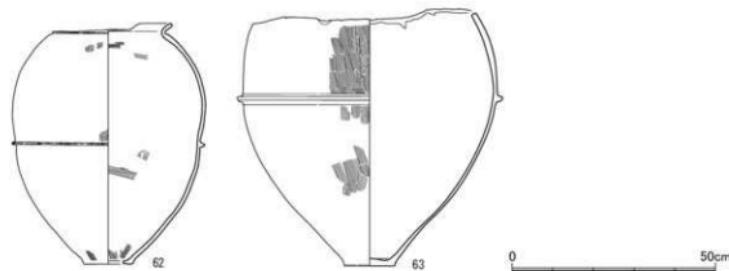


図204 吉野ヶ里丘陵地区II区 豊棺7 (1/12)

表15 吉野ヶ里丘陵地区II区 出土豊棺

特徴・番号	佐賀県遺物登録番号	造構番号	器種	寸法 cm			色調		特記事項
				口径	底径	器高	外面	内面	
岡198-1	13000160	SJ0064 上	甕	48.6	10.8	46.1	淡褐	淡褐	口縁打欠
岡198-2	15001316	SJ0064 下	甕	47.3	12.7	75.2	黄褐	明黄褐	口縁打欠
岡198-3	12002069	SJ0067 下	甕			52.8+	淡褐	淡褐	口縁打欠
岡198-4	12002070	SJ0070 上	鉢	74.8*		30.0+	淡褐	淡褐	内外面丹塗
岡198-5	12002071	SJ0070 下	甕	50.1	13.8		淡褐	淡褐	文帶剥落
岡198-6	12002072	SJ0135 上	甕		11.8	57.4	明黄褐	明黄褐	口縁打欠
岡198-7	12002073	SJ0135 下	甕	49.6	12.4	83.2	淡褐	淡褐	
岡198-8	11001171	SJ0137 下	甕	41.0	11.4	76.7	淡褐	淡褐	胸部穿孔
岡198-9	14000860	SJ0142 上	甕	30.7	9.4	36.0	淡褐	淡褐	
岡198-10	13000161	SJ0142 下	甕	32.2*	10.1	33.2	淡褐	淡褐	
岡198-11	13000162	SJ0143 下	甕	33.0	11.4	46.1	淡褐	淡褐	胸部穿孔
岡199-12	15001317	SJ0154 上	甕	44.5	11.3	52.2	褐	明褐	口縁打欠
岡199-13	15001318	SJ0154 下	甕	46.2	12.0	71.8	明黄褐	明黄褐	口縁打欠
岡199-14	14001828	SJ0156 上	甕	48.8*			明黄褐	明黄褐	口縁打欠
岡199-15	14001664	SJ0156 下	甕	41.6	10.5	79.3	褐	褐	口縫内面打欠
岡199-16	14000861	SJ0157 上	甕	35.6*		11.5+	淡明黄褐	淡明黄褐	
岡199-17	14000862	SJ0157 下	甕	33.8	9.4	36.9	淡褐	淡褐	
岡199-18	15001319	SJ0158 上	甕	51.6*	11.2*		褐	褐	口縁打欠
岡199-19	15001320	SJ0158 下	甕	46.6	11.2	82.0	褐	褐	口縁打欠
岡199-20	15001321	SJ0159 下	甕	36.0*	11.1	76.8	褐	褐	口縫打欠

表15 吉野ヶ里丘陵地区II区 出土櫛棺

撲回・番号	佐賀県遺物登録番号	遺構番号	器種	寸法 cm			色調		特記事項
				口径	底径	器高	外面	内面	
岡199-21	140000863	SJ0160 上	甕	38.6		27.3+	淡褐	淡褐	
岡199-22	140000864	SJ0160 下	甕	34.6*	10.4	58.0	淡褐	淡褐	
岡199-23	15001322	SJ0162 上	甕	47.2*	11.2		褐	赤褐色・褐	口縁打欠
岡199-24	15001323	SJ0162 下	甕	43.0*	11.0	73.5	褐	褐	口縁打欠
岡200-25	14001829	SJ0163 上	甕	42.0	10.6	45.2	淡黄褐	淡黄褐	
岡200-26	14001830	SJ0163 下	甕	37.8*	12.9	76.4	明黄褐	明黄褐	口縫打欠 脚部穿孔
岡200-27	130000814	SJ0193	甕	53.4	14.1	97.5	淡褐	淡褐	木蓋單格
岡200-28	130000824	SJ0226 上	甕	49.8	10.8	56.2	明黄褐	明黄褐	口縫打欠
岡200-29	15001324	SJ0264 上	甕	44.2*	10.8	41.8	褐	に赤い黄褐	
岡200-30	15001325	SJ0264 下	甕	48.6	11.0	88.2	褐	褐	脚部穿孔
岡200-31	13000163	SJ0268 下	甕	35.2*	10.6	70.3	淡褐	淡褐	口縫打欠
岡200-32	140000865	SJ0280 上	甕	46.4	11.3	48.2	淡褐	淡褐	口縫内面打欠
岡200-33	15001326	SJ0280 下	甕	44.6	10.7	81.0	褐	に赤い黄褐	口縫内面打欠
岡200-34	15001327	SJ0281 上	甕	43.1		35.2+	黄褐	に赤い黄褐	口縫打欠
岡200-35	15001328	SJ0281 下	甕	40.8	12.4	70.4	明黄褐	に赤い黄褐	口縫打欠
岡200-36	140000866	SJ0290	甕	38.0*	8.8*		明黄褐	明黄褐	上下不明
岡200-37	140000867	SJ0290	甕			17.6+	明黄褐	明黄褐	上下不明
岡201-38	15001329	SJ0292 上	甕	38.8*	10.8	41.1	明黄褐	に赤い黄褐	口縫打欠
岡201-39	15001330	SJ0292 下	甕	46.8	11	84.7	黄褐	黄褐	
岡201-40	12002074	SJ0307	甕	58.2		99.3	淡褐	淡褐	石蓋單格
岡201-41	92001284	SJ0312 上	鉢	50.2	15.2	39.0	淡褐・褐	淡褐・褐	
岡201-42	92001285	SJ0312 下	甕	53.8	13.6	86.2	褐	褐	脚部穿孔
岡201-43	15001331	SJ0329 上	甕		11.0		褐	褐	口縫打欠
岡201-44	15001332	SJ0329 下	甕	48.6	13.4	89.2	褐	褐	口縫内面打欠
岡201-45	140000868	SJ0333 上	高环	30.65		9.9	明褐	明褐	粘土接合部で脚部欠損
岡201-46	92001283	SJ0333 下	壺	22.0		37.5	淡褐	暗褐	
岡202-47	15001333	SJ0330	甕	60.6	12.0	104.4	に赤い黄褐・褐灰	に赤い黄褐・褐灰	石蓋單格
岡202-48	150000605	SJ0336 上	甕	40.8	10.8	48.3	明黄褐	明黄褐	
岡202-49	15001334	SJ0336 下	甕	46.0	12.6	90.6	褐	褐	口縫内面打欠
岡202-50	15001335	SJ0349 下	甕	53.0*	14.0	79.0	明黄褐	明黄褐	口縫内面打欠
岡202-51	11001172	SJ0351	甕	62.4*	12.6	88.5	淡褐	淡褐	石蓋單格
岡202-52	14001716	SJ0356 上	甕	52.0*	12.4		褐	褐	口縫打欠 脚部穿孔
岡202-53	14001717	SJ0356 下	甕	41.5	11.0	76.6	褐	褐	
岡203-54	15001336	SJ0361 上	甕	48.8*	11.2	67.6	褐	に赤い褐	口縫打欠
岡203-55	15001337	SJ0361 下	甕	55.0	12.8	75.4	浅黄褐	浅黄褐	口縫打欠
岡203-56	11001173	SJ0367	甕	43.0	11.8	74.2	明黄褐	明黄褐	石蓋單格
岡203-57	92001286	SJ0373 上	鉢	52.8		29.7	暗褐	褐	
岡203-58	92001287	SJ0373 下	甕	72.4		113.1	明褐	明褐	
岡203-59	92001292	SJ0384 上	鉢	73.4	12.8	34.3	明褐	明褐	墨塗り
岡203-60	92001293	SJ0384 下	甕	84.6	15.0	116.9	黄褐	明褐	墨塗り
岡203-61	140000869	SJ0422	鉢	58.0*			明黄褐	明黄褐	上か
岡204-63	130000185	SP0400 東	甕	29.4	12.2	59.1	淡褐	淡褐	口縫約5/6打欠
岡204-62	130000186	SP0400 西	甕	55.0	12.4	63.2	淡褐	淡褐	口縫部打欠

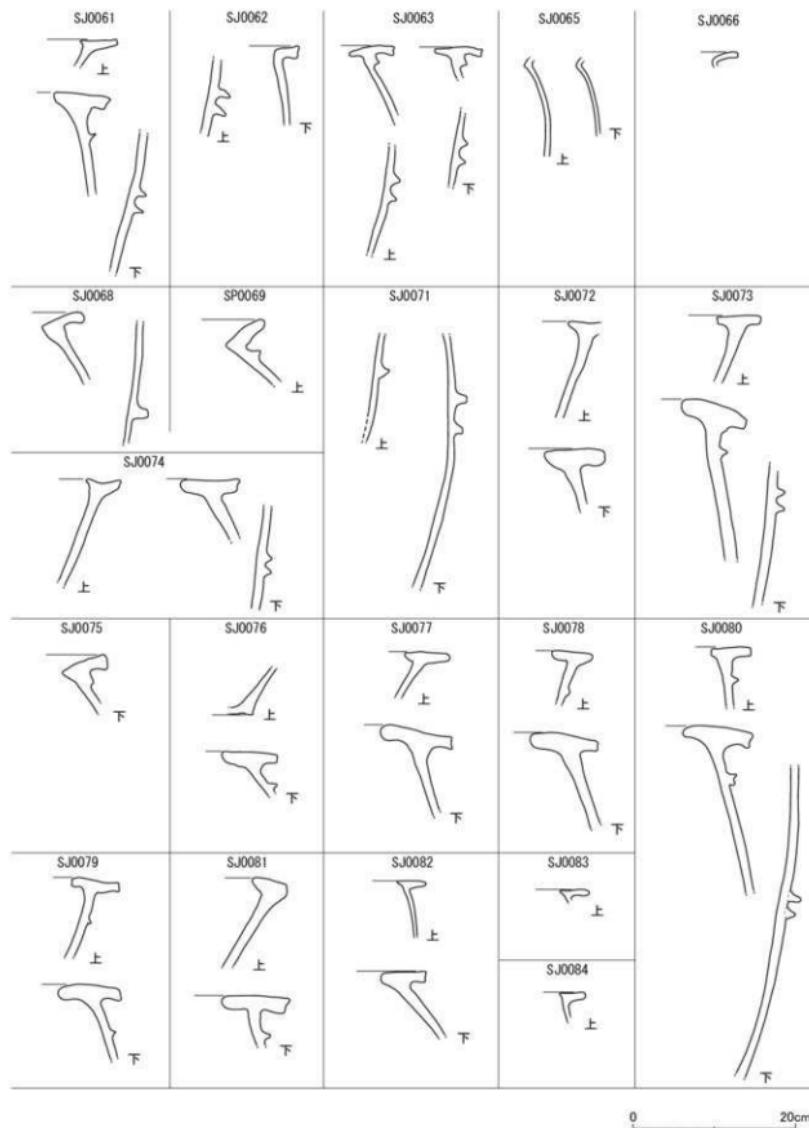


図205 吉野ヶ里丘陵地区II区 鰭骨部分実測図1 (1/6)

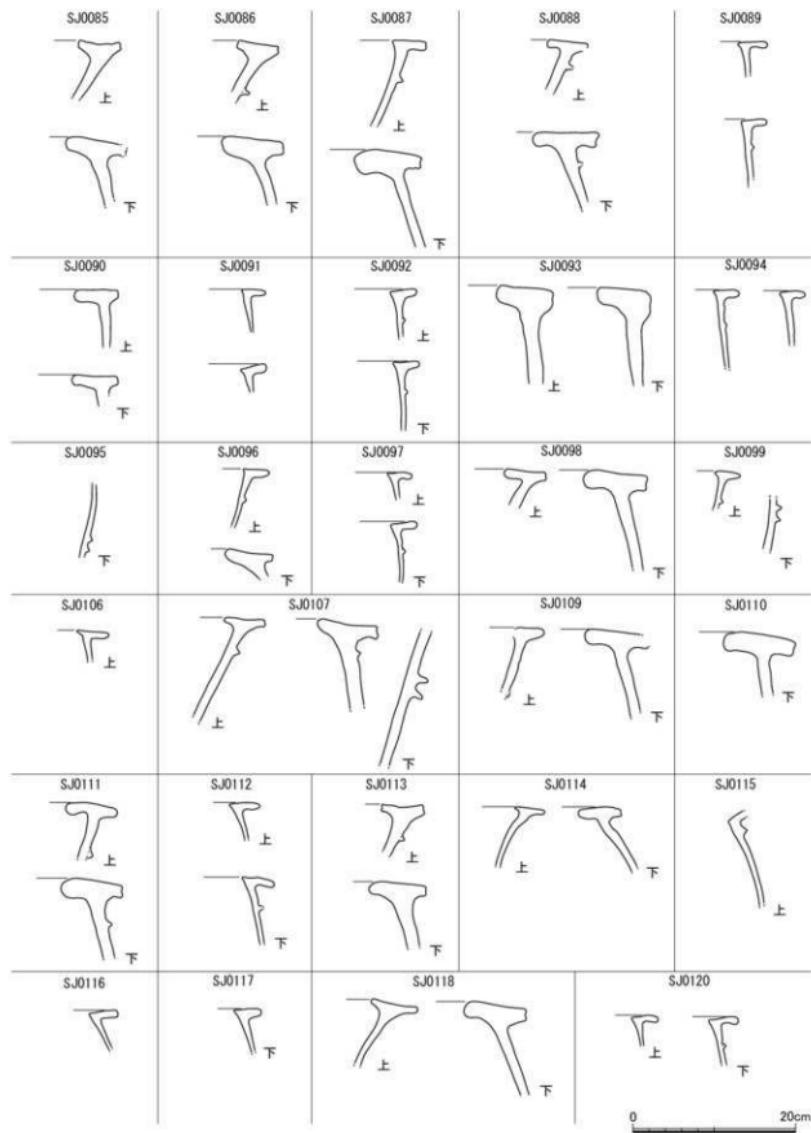


図206 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 障棺部分実測図2 (1/6)

表16 吉野ヶ里丘陵地区II区 豊檜部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	遺種	備考	遺種	備考		
SJ0061	鉢		甕			14000612・14000613
SJ0062	甕	口縁打欠	甕			14000614・14001616
SJ0063	甕		甕			14000615・14000616
SJ0065	甕	口縁端部欠損	甕	口縁端部欠損		14001618・14001619
SJ0066					上下不明(下甕か)	14000617
SJ0068					上下不明(下甕か)	14000619
SJ0069	甕				土坑墓の甕蓋	14001621
SJ0071	甕	口縁打欠	甕			14000620・14000621
SJ0072	鉢	口縁外側欠損	甕			14001590・14001591
SJ0073	鉢		甕			14000623・14000624
SJ0074	鉢		甕			14000625・14000626
SJ0075			甕		單柄(木蓋か)	14001592
SJ0076	甕		甕			14001593・14001594
SJ0077	鉢		甕			14001595・14001596
SJ0078	鉢		甕			14001597・14001598
SJ0079	鉢		甕			14001599・14001600
SJ0080	鉢		甕			14000629・14000630
SJ0081	鉢		甕			14001601・14001602
SJ0082	甕		甕			14001603・14001604
SJ0083	甕					14001605
SJ0084	甕					14001607
SJ0085	鉢		甕 口縁外側欠損			14001608・14001609
SJ0086	鉢		甕			14001610・14001611
SJ0087	鉢		甕			14001612・14001613
SJ0088	鉢	口縁外側欠損	甕			14001614・14001615
SJ0089	甕		甕		上下不明	14000627・14000628
SJ0090	甕		甕			14001541・14001540
SJ0091	甕		甕		上下不明	14001542・14001543
SJ0092	甕		甕			14001544・14001545
SJ0093	甕		甕			14001551・14001552
SJ0094	甕		甕			14000631・14000632
SJ0095			甕			14001546
SJ0096	鉢		甕			14000633・14000634
SJ0097	甕		甕			14001547・14001548
SJ0098	鉢		甕			14001549・14001550
SJ0099	鉢		甕			14000635・14000636
SJ0106	甕					14000637
SJ0107	鉢		甕			14000638・14000639
SJ0109	鉢	口縁内側欠損	甕 口縁外側欠損			14001624・14001625
SJ0110			甕		木蓋單柄か	14001626
SJ0111	鉢		甕			14001628・14001629
SJ0112	甕		甕			14001630・14001631
SJ0113	鉢		甕			14001632・14001633
SJ0114	壺	肩口壺	甕			14001634・14001635
SJ0115	甕	口縁外側欠損				14001636
SJ0116					上下不明	14001637
SJ0117			甕			14001638
SJ0118	鉢		甕			14001639・14001640
SJ0120	甕		甕			14001641・14001642

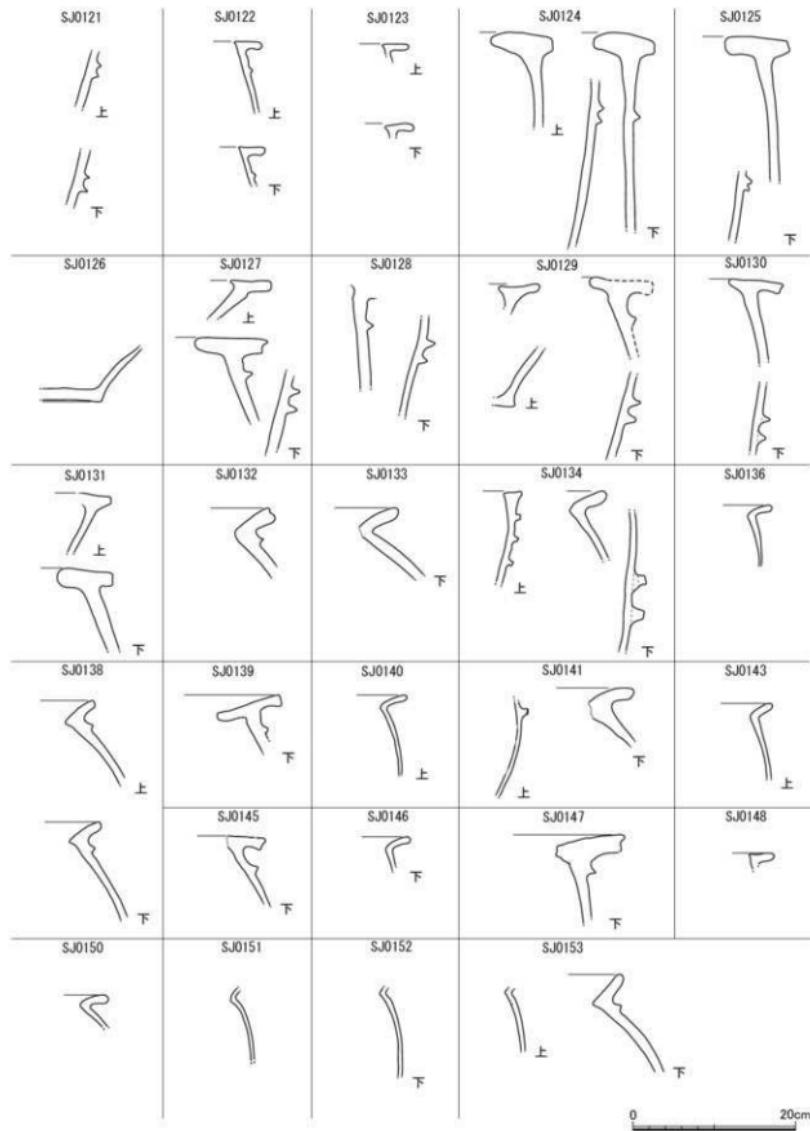


図 207 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 隅棺部分実測図 3 (1/6)

表 16 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 豊棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0121	甕		甕			14000640・14000641
SJ0122	甕		甕			14000642・14000643
SJ0123	甕		甕			14000644・14000645
SJ0124	甕		甕			14000646・14000647
SJ0125			甕			14000648
SJ0126				上下不明		14001652
SJ0127	鉢		甕			14000649・14000650
SJ0128			甕	口縁打欠か		14000651
SJ0129	鉢		甕	口縁外側剥落		14000652・14000653
SJ0130			甕			14000654
SJ0131	鉢	口縁内側欠損	甕			14001653・14001654
SJ0132				上下不明(下甕か)		14001655
SJ0133			甕	口縁内面打欠		14001656
SJ0134	鉢	三集突帯・丹唐	甕			14000656・14000655
SJ0136				木蓋單柾・蓋入か		14001553
SJ0138	甕		甕			14001554・14001555
SJ0139			甕		木蓋單柾か	14001556
SJ0140	甕					14001557
SJ0141	甕	口縁打欠	甕	口縁内面打欠		14001558・14001559
SJ0143	甕					14001560
SJ0145			甕	口縁内面打欠		14001561
SJ0146			甕			14001562
SJ0147			甕	石蓋單柾		14001563
SJ0148				上甕または假入か		14001658
SJ0150				上下不明(下甕か)		14001659
SJ0151				上下不明 口縁端部欠損		14001660
SJ0152			甕	口縁端部欠損		14001661
SJ0153	甕	口縁端部欠損	甕			14001662・14001663

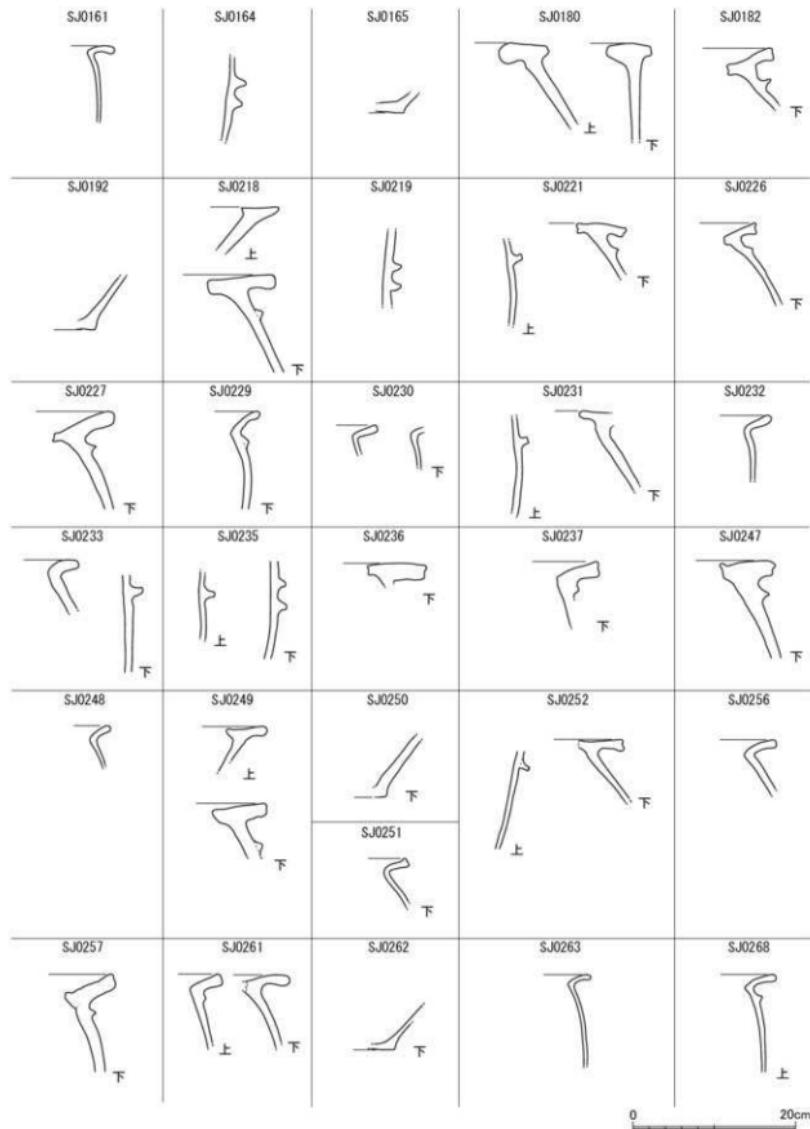


図 208 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 骨格部分実測図 4 (1/6)

表 16 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 豊棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0161					上下不明	14001643
SJ0164					上下不明	14001644
SJ0165					上下不明	14001645
SJ0180	甕		甕			14001646・14001647
SJ0182			甕		木蓋單柵か	14001648
SJ0192					上下不明	14001649
SJ0218	鉢		甕			14001650・14001651
SJ0219					上下不明	14001679
SJ0221	甕	口縁打欠	甕			14001680・14001681
SJ0226			甕			14001682
SJ0227			甕		木蓋單柵か	14001683
SJ0229			甕			14001685
SJ0230			甕			14001686・14001687
SJ0231	甕		甕	口縁外側欠損		14001688・14001689
SJ0232					上下不明	14001690
SJ0233			甕			14001691・14001692
SJ0235	甕	口縁打欠	甕	口縁打欠		14001693・14001694
SJ0236			甕		石蓋單柵	14001695
SJ0237			甕		石蓋單柵	14001696
SJ0247			甕		石蓋單柵	14001665
SJ0248					上下不明	14001666
SJ0249	鉢		甕			14001667・14001668
SJ0250			甕			14001669
SJ0251			甕			14001690
SJ0252	甕	口縁打欠	甕	口縁内側打欠		14001671・14001672
SJ0256					石・甕蓋 上下不明	14001673
SJ0257			甕		木蓋單柵か	14001674
SJ0261	甕		甕	口縁内側欠損		14001675・14001676
SJ0262			甕			14001677
SJ0263					上下不明(蓋入か)	14001678
SJ0268	甕					14001698

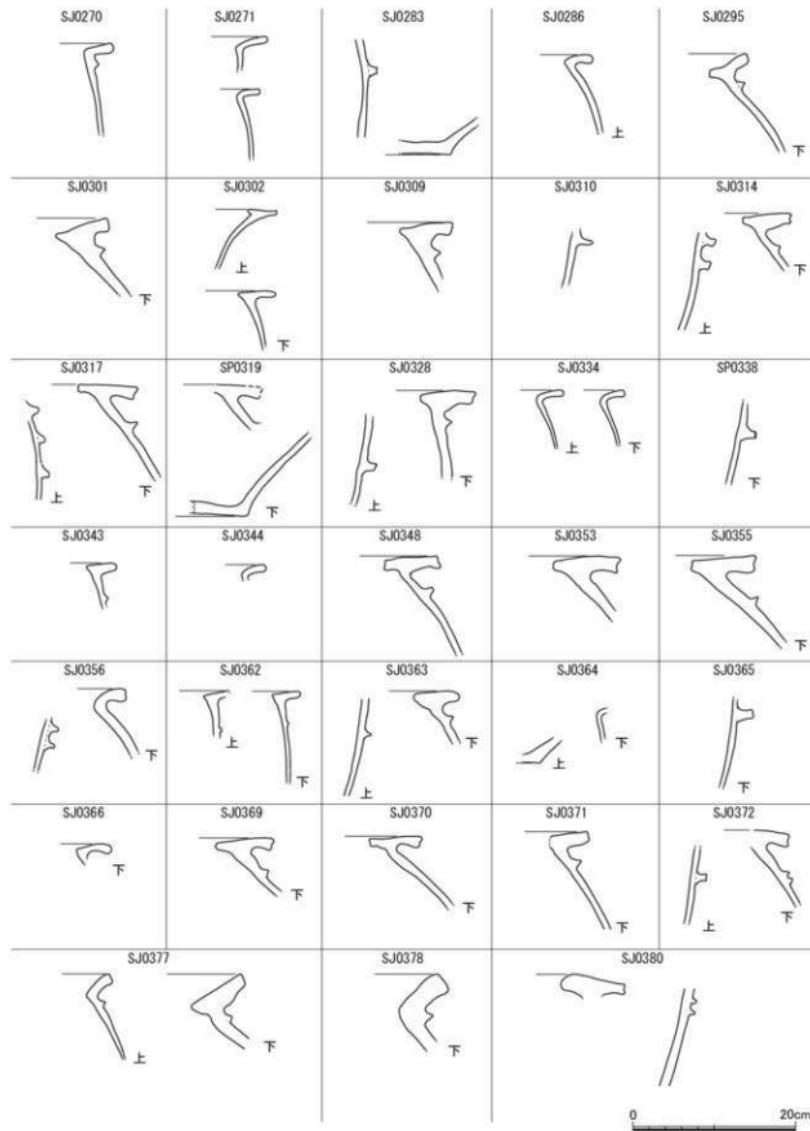


图 209 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 双棺部分実測図 5 (1/6)

表16 吉野ヶ里丘陵地区II区 豪棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0270					上下不明	14001699
SJ0271	甕		甕		上下不明	14001700・14001701
SJ0283					上下不明(下底丸)	14001702・14001703
SJ0286	甕				石蓋・混入か	14001704
SJ0295			甕		石蓋単柾	14001704
SJ0301			甕			14001565
SJ0302	壺	口縁打欠	甕			14001566・14001567
SJ0309					上下不明	14001569
SJ0310					上下不明	14001570
SJ0314	甕	口縁打欠	甕			14001571・14001572
SJ0317	甕	三条突帯	甕			14001573・14001574
SP0319			甕	口縁端部欠損		14001575・14001576
SJ0328	甕	口縁打欠	甕			14001705・14001706
SJ0334	甕		甕			14001707・14001708
SJ0338			甕			14001709
SJ0343					上下不明	14001710
SJ0344					上下不明	14001711
SJ0348					上下不明	14001712
SJ0353					上下不明	14001714
SJ0355			甕			14001715
SJ0356			甕		突帯は上下不明	14001716・14001717
SJ0362	鉢	口縁外側欠損	甕			14001718・14001719
SJ0363	甕	口縁打欠	甕			14001720・14001721
SJ0364	甕		甕	口縁端部欠損		14001722・14001723
SJ0365			甕	口縁打欠		14001724
SJ0366			甕		石蓋単柾	14001725
SJ0369			甕			14001727
SJ0370			甕			14001728
SJ0371			甕	口縫内面打欠		14001729
SJ0372	甕	口縁打欠	甕	口縫内面欠損		14001730・14001731
SJ0377	甕		甕			14001732・14001733
SJ0378			甕		石蓋単柾	14001734
SJ0380					上下不明	14001735・14001736

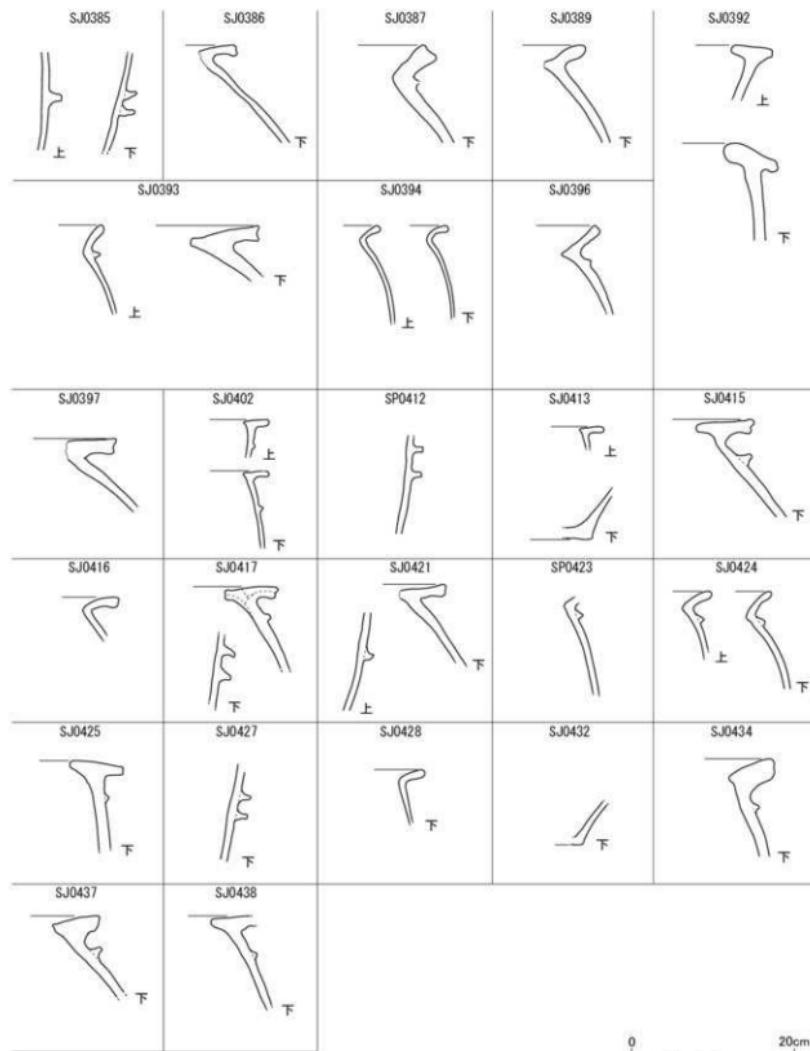


図 210 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 麦稭部分実測図 6 (1/6)

表16 吉野ヶ里丘陵地区II区 豪棺部分実測

遺構番号	上		下		特記事項	佐賀県遺物登録番号
	器種	備考	器種	備考		
SJ0385	甕	口縁打欠	甕	口縁打欠		14001739・14001740
SJ0386			甕	口縁内面打欠	木蓋單柾か	14001741
SJ0387			甕		石蓋單柾	14001742
SJ0389			甕	口縁内面打欠		14001578
SJ0392	鉢		甕			14001579・14001580
SJ0393	甕		甕			14001581・14001582
SJ0394	甕		甕			14001583・14001584
SJ0396					上下不明	14001585
SJ0397					上下不明 口縁内面打欠	14001586
SJ0402	鉢		甕			14001587・14001588
SP0412					上下不明	14001589
SJ0413	甕		甕			14001743・14001744
SJ0415			甕		石蓋單柾	14001745
SJ0416					上下不明	14001746
SJ0417			甕		石蓋單柾	14000657
SJ0421	甕	口縁打欠	甕			14001747・14001748
SP0423					上下不明 口縁端部欠損	14001749
SJ0424	甕		甕			14001750・14001751
SJ0425			甕			14001752
SJ0427			甕			14001753
SJ0428			甕		木蓋單柾か	14001754
SJ0432			甕			14001755
SJ0434			甕		木蓋單柾か	14001756
SJ0437			甕			14001757
SJ0438			甕	口縁外側欠損		14001758

土器

64～137は祭祀土坑から出土した土器である。64～82はSK0174から出土した。64は甕で、口縁断面逆L字状をなす。摩耗のため調整不明。65は鋤先口縁の広口壺である。外面にハケメが残るが、全体的に摩耗している。66は鋤先口縁の高坏で、口縁端部は長く延びる。脚部内面に絞り痕がみられ、かつ丹塗りとみられる痕跡がある。全体的に摩耗が激しい。67～69は甕で、口縁断面形は萌芽的な「く」字状をなす。70～81は古墳時代前期初頭頃とみられる古式土師器である。70～75は甕で、71は内面にヘラケズリが施される。76は甕で、口縁は直線的に外反する。胴部外面と内面にハケメ、口縁外面にミガキが施され、外面胴部下半はナデである。77～79は高坏、80・81は鉢である。82は甕棺で、周囲からの流れ込みとみられる。

83～86はSK0167から出土した。83は甕口縁部で、断面形は萌芽的な「く」字状をなす。84は鋤先口縁の高坏で、摩耗のため調整不明である。85は平底の壺底部である。86は器台で、受部に比べ裾部がやや広い。外面ハケメが施される。87～93はSK0206から出土した。87は甕口縁部で、内面に僅かに突出する。88は袋状口縁壺で、口縁の屈曲部は丸みを帯びる。摩耗が激しいが、丹塗りの痕跡が残る。89は広口壺で、外面に縦方向のミガキが施される。90は上げ底の壺底部、91は器台である。92・93は鋤先口縁の高坏で、ともに口縁上面に暗文が施され、外面丹塗りが施される。

94～106はSK0228から出土した。94・95は甕口縁部で、断面形は萌芽的な「く」字状をなす。96・97は平底の壺底部である。98は鋤先口縁の高坏で、外面丹塗りが施される。99は小型の甕で、器高に対し底径が大きいため樽型状を呈する。100は小型の短頸壺で、外面に丹塗りとミガキが施され、内面ナデである。101は袋状口縁壺で、頭部を欠損する。口縁部下と頭部下にそれぞれ1条と2条の断面三角突帯が巡る。胴部は膨らみが強く、上位を最大径とする。外面丹塗りが施される。胴部内面に爪痕とみられる痕跡が複数残る。102は高坏で、受部は直口の椀状をなし、口縁下に断面三角突帯が1条巡る。受部外面にミガキが施され、脚部外面に工具痕が残る。103・104は鋤先口縁の高坏で、ともに外面丹塗りが施される。105は器台で、内外面ハケメが施される。106は筒形器台で、筒部2ヶ所を折損する。口縁は外反し、その下に断面台形の突帯が3条巡る。全体的に摩耗しているが、外面ミガキ、内面ナデである。外面から受部内面に丹塗りが施される。

107～111はSK0291から出土した。107は甕口縁部で、断面形は「く」字状をなす。108・109は平底の甕底部で、外面ハケメが施される。110は甕で、口縁断面「く」字状をなし、胴部上位を最大径とする。底部は僅かに上げ底をなす。111は甕で、口縁断面「く」字状をなす。胴部上位は強く膨らみ、最大径の位置に断面三角形の突帯が1条巡る。外面ハケメが施される。

112～115はSK0296から出土した。112・113は甕で、口縁断面逆L字形をなす。114は壺底部で、僅かに上げ底をなす。115は甕で、口縁断面は萌芽的「く」字状をなす。胴部上位が膨らみ、底部は僅かに上げ底をなす。外面ハケメ、内面ナデである。

116・117はSK0313から出土した。116は断面逆L字形口縁の甕、117は断面萌芽的「く」字状の甕である。摩耗のため調整は不明である。

118～120はSK0327から出土した。118は甕で、口縁断面逆L字形をなす。外面ハケメが施される。119・120は鋤先口縁壺の口縁と胴部で、同一個体の可能性がある。胴部上位が強く膨らみ、最大径の位置に断面M字形の突帯が1条巡る。外面ミガキが施される。

SK0174

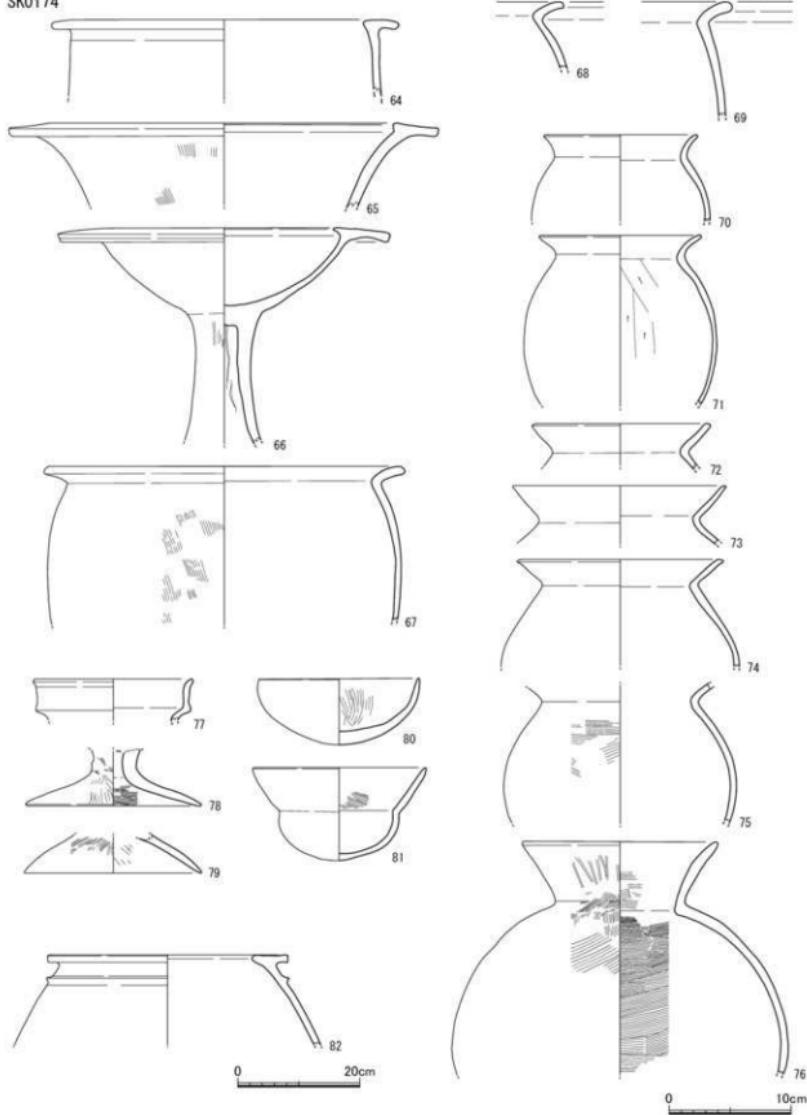
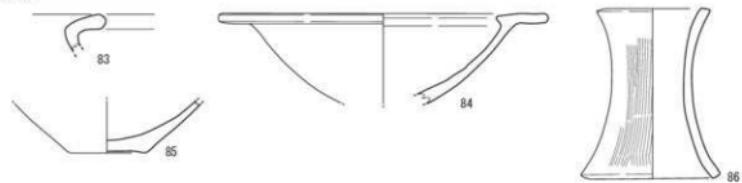
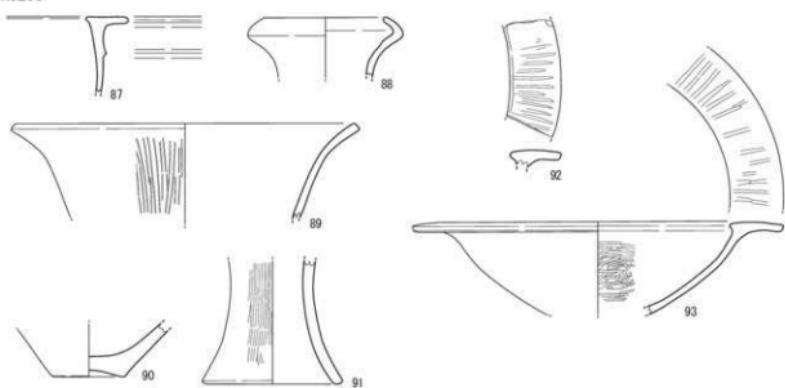


図211 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑出土土器1 (82は1/8、他は1/4)

SK0167



SK0206



SK0228

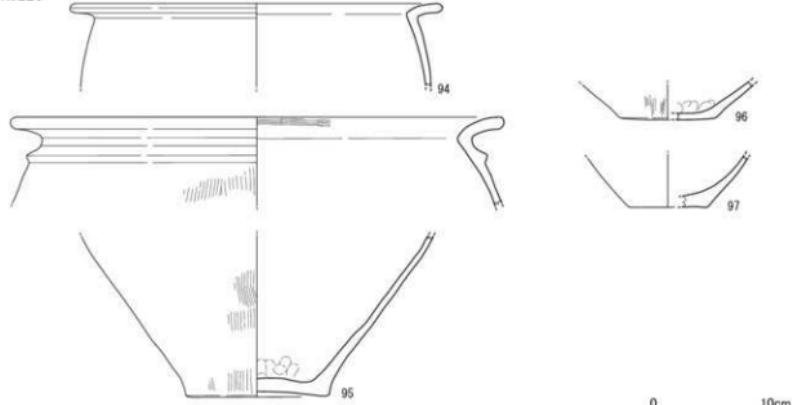


図 212 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 祭祀土坑出土土器 2 (1/4)

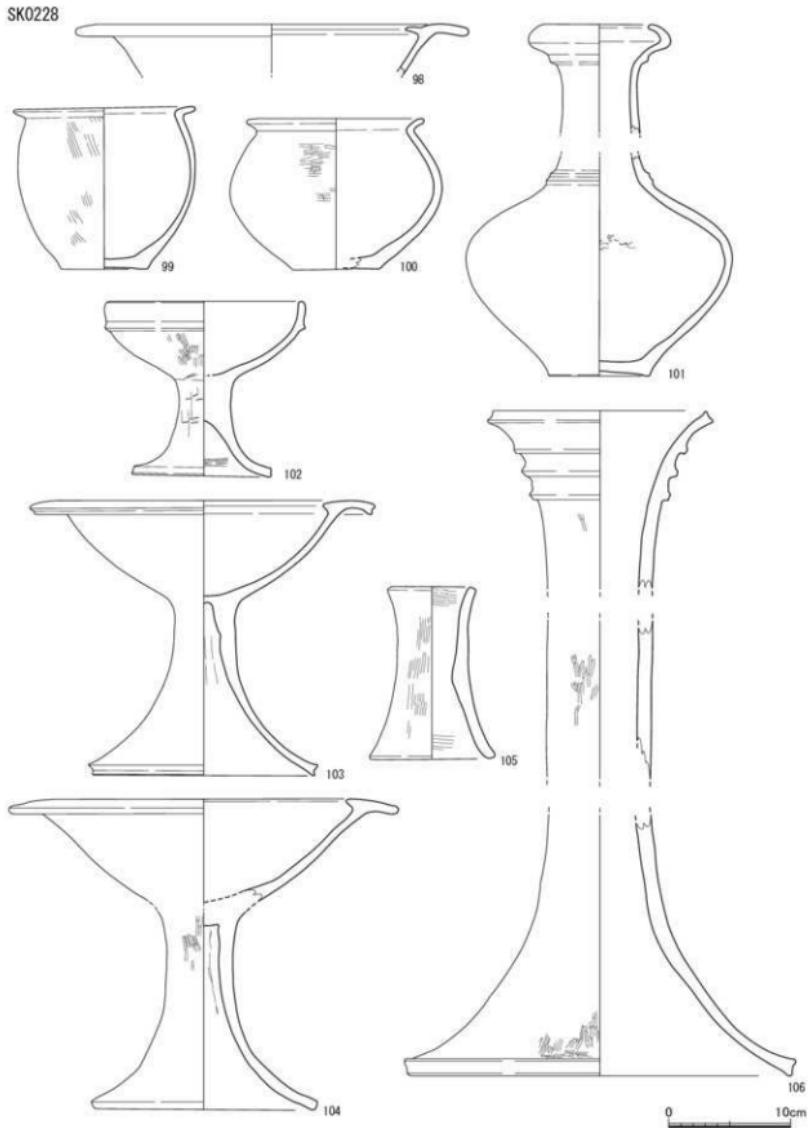
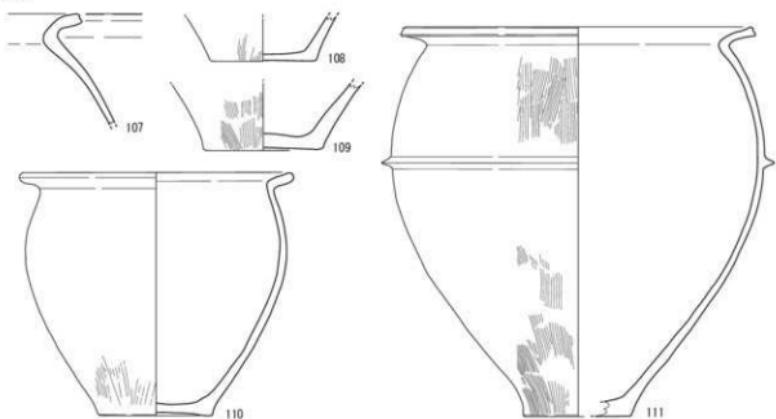
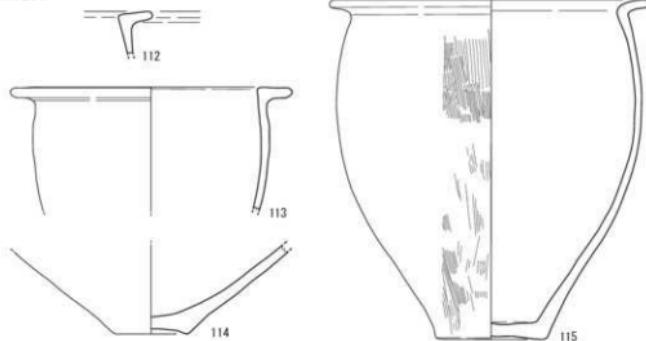


図213 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑出土土器3 (1/4)

SK0291



SK0296



SK0313

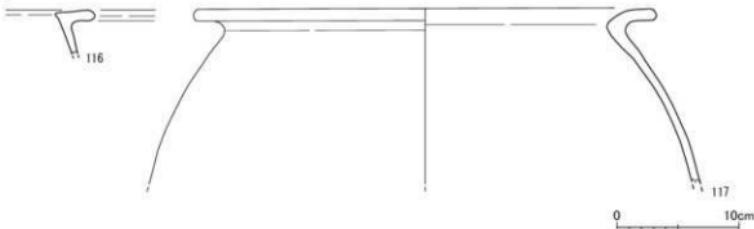


図 214 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 祭祀土坑出土土器 4 (1/4)

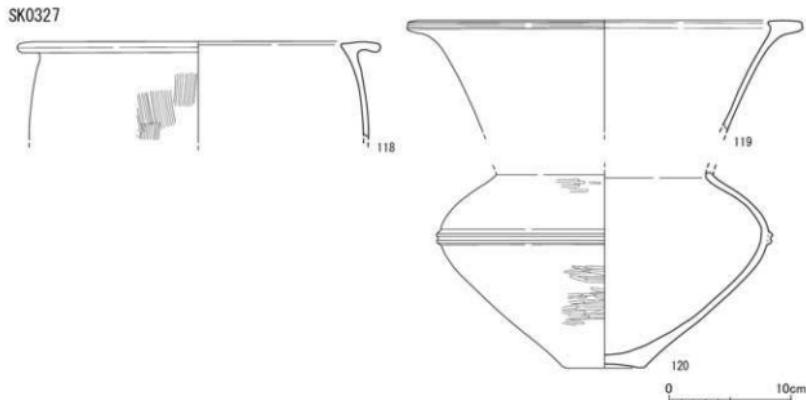


図215 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑出土土器5 (1/4)

121～137はSK0407から出土した。121～127は甌で、口縁は内側に僅かに突出する断面逆L字状をなす。128～133は底部片で、128・129は上げ底状の甌、130・131・133は平底の甌または樽型甌とみられる。132は平底の甌底部で、外面ハケメが施される。134は鋤先口縁甌で、頭部下位に断面三角形の突帯が1条巡る。135は鉢で、口縁断面逆L字状をなし、口縁下に断面三角形の突帯が1条巡る。136・137は器台で、ともに受部より裾部がやや広がる。

その他

138～164は墳墓に伴って出土した遺物である。138はSJ0248墓坑出土の磨製石鎌で、表面の一部を欠損するがほぼ完形である。扁平身薄で基部は凹基をなす。石材は堆積岩系。139・140はSP0267から出土した打製石鎌である。139は主要剥離面を残しており、未完成の可能性がある。石材は黒曜石。140は先端と両脚端部を欠損し、基部は凹基をなす。石材は安山岩。141はSP0282から出土した打製石鎌である。平面形は不整な菱形をなし、基部は幅狭で平坦をなす。大型で全体的に厚手である。

142～151はSJ0312の棺内から人骨に伴って出土した鎌10点である。142はサメ歯を加工した鎌、143～145は打製石鎌、146～151は磨製石鎌で、材質、形態、法量に違いがみられる。152はSP0306から出土した磨製石剣の切先部分で、先端をわずかに欠損する。両面とも中央に鶴がとおり、断面形は厚手の菱形をなす。石材は赤紫色泥岩。

153はSJ0307の棺内から出土した板状鉄斧である。平面長方形で、刃部はややバチ形に広がる。刃部は偏刃で、断面は片刃をなす。154・155は202区SP0455埋土から出土したガラス小玉で、色調は水色である。

156はSJ0135から出土した貝製腕輪で、イモガイ製の横切り型である。157～164はSJ0384から出土した貝製腕輪で、ゴホウラ製の縱切り型である。また、図示していないがSJ0314からイモガイ製とみられる貝製腕輪の小片が出土している。その他、156が出土したSJ0135からは、絹布片、麻布片、毛髮が出土している。

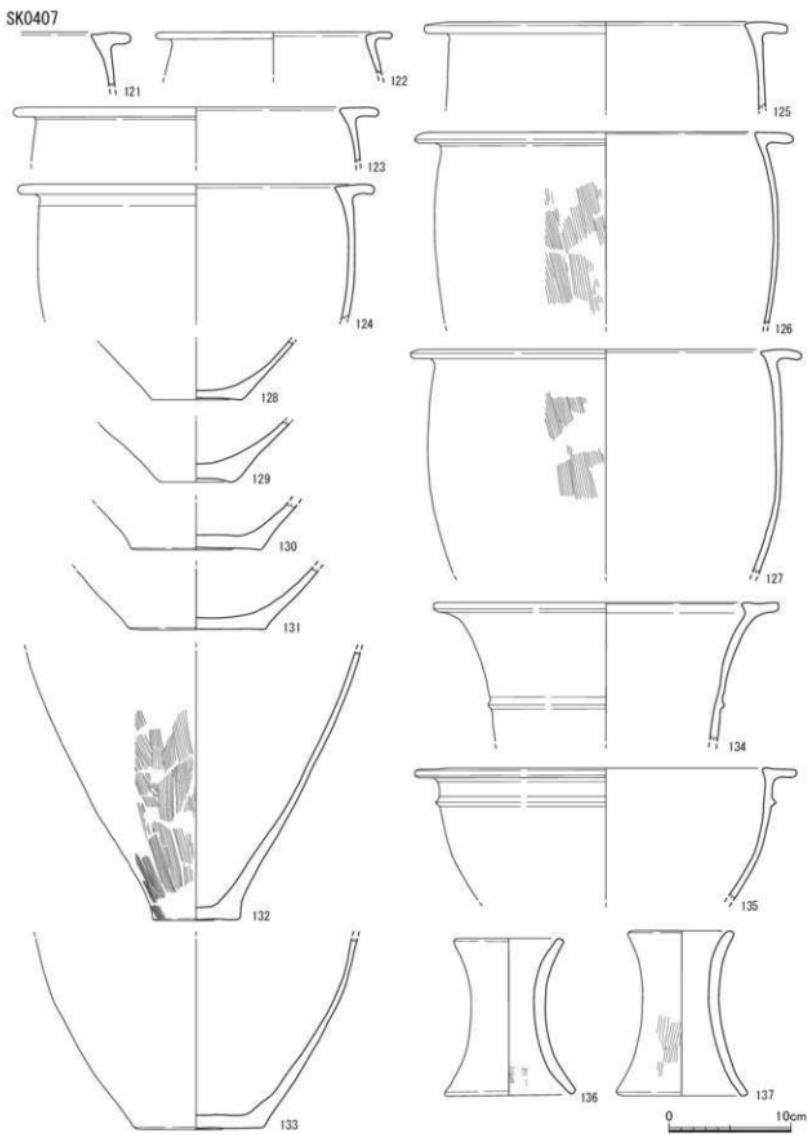


図 216 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 祭祀土坑出土土器 6 (1/4)

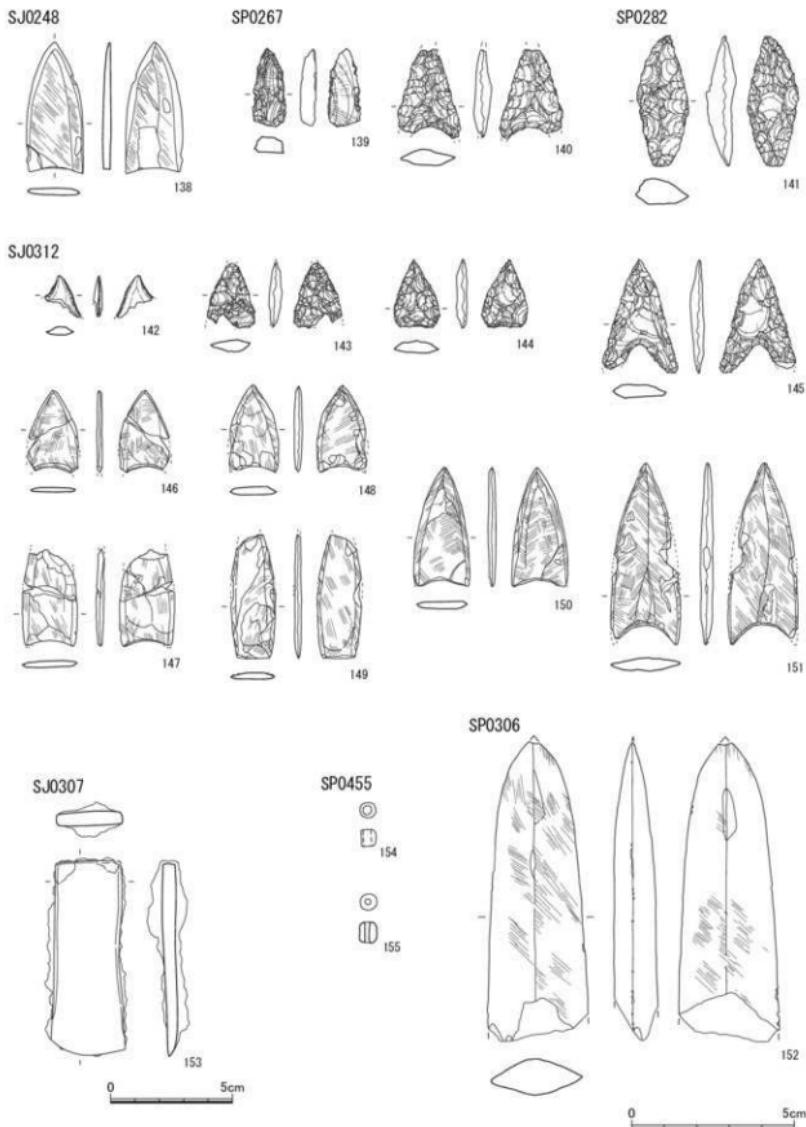
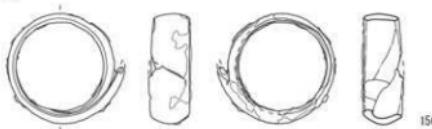


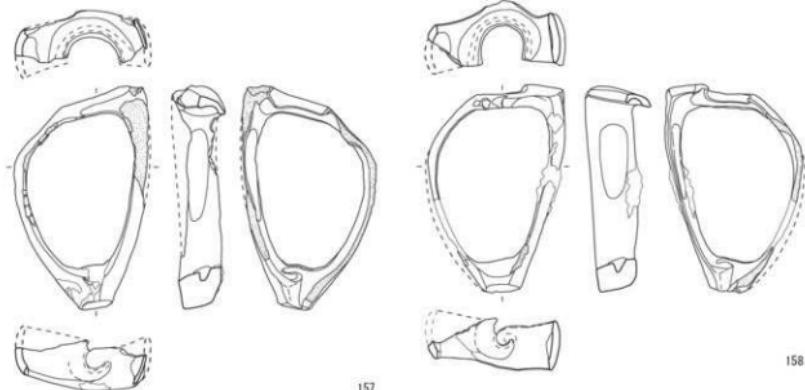
図 217 吉野ヶ里丘陵地区 II 区 墓出土遺物 1 (153 は 1/2、他は 2/3)

SJ0135



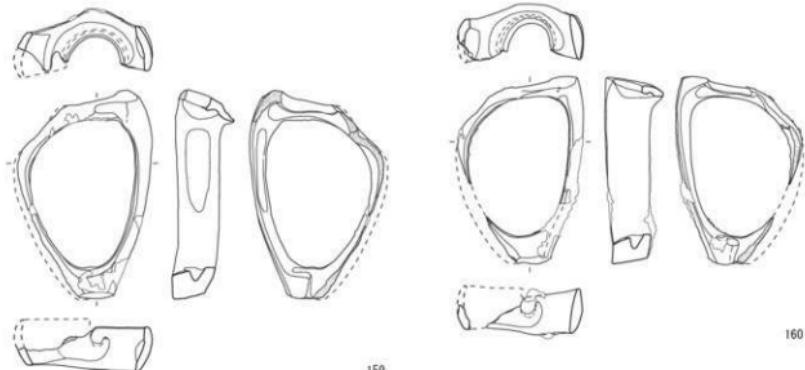
156

SJ0384



157

158



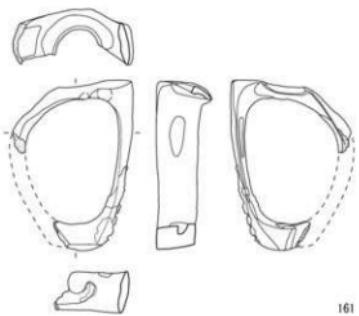
159

160

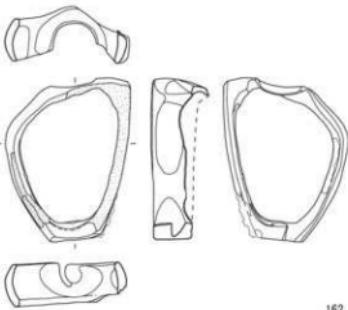
0 10cm

図218 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 墓出土遺物2 (1/3)

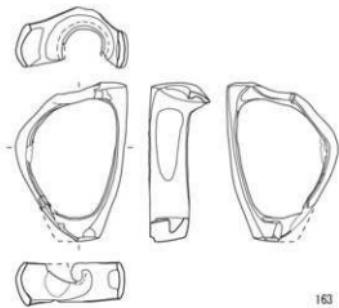
SJ0384



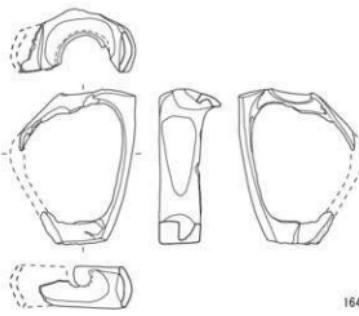
161



162



163



164

0 10cm

図219 吉野ヶ里丘陵地区II区 填墓出土遺物3 (1/3)

表 17 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 祭祀土坑出土土器

排列・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	種別	器種	寸法 cm			色調		備考
					口径	底径	器高	外面	内面	
岡211-64	13001934	SK0174	弥生土器	甕	28.6*		6.2+	柾	柾	
岡211-65	12001777	SK0174	弥生土器	壺	35.2*		7.0+	明黄褐色	明黄褐色	
岡211-66	12001779	SK0174	弥生土器	高环	27.2*		17.7+	明黄褐色	明黄褐色	脚部内面に丹塗痕
岡211-67	12001773	SK0174	弥生土器	甕	29.5*		13+	淡褐色	淡褐色	
岡211-68	13001932	SK0174	弥生土器	甕			5.4+	浅黄褐色	浅黄褐色	
岡211-69	13001933	SK0174	弥生土器	甕			9.4+	にぶい黄褐色	柾	
岡211-70	12001774	SK0174	土師器	甕	12.6*		7.1+	明褐色	明褐色	
岡211-71	12001781	SK0174	土師器	甕	13.2		13.9+	明黄褐色	明黄褐色	内面ヘラケズリ
岡211-72	12001775	SK0174	土師器	甕	14.6*		3.8+	淡褐色	淡褐色	
岡211-73	13001931	SK0174	土師器	甕	17.5*		4.9+	明黄褐色	明黄褐色	
岡211-74	12001776	SK0174	土師器	甕	16.9*		8.7+	淡褐色	淡褐色	
岡211-75	13001924	SK0174	土師器	甕		14.4*	3.2+	にぶい・柾	柾	
岡211-76	12001784	SK0174	土師器	壺	16.0*		19.1+	明黄褐色	明黄褐色	
岡211-77	12001778	SK0174	土師器	高环	13.1*		3.5+	淡褐色	淡褐色	
岡211-78	12001780	SK0174	土師器	高环		14.4	4.6+	暗淡褐色	暗淡褐色	
岡211-79	13001930	SK0174	土師器	高环		14.4*	3.2+	にぶい・柾	柾	
岡211-80	12001783	SK0174	土師器	砵	13.1		5.4	明黄褐色	明黄褐色	
岡211-81	12001782	SK0174	土師器	砵	14.2		7.6	明黄褐色	明黄褐色	
岡211-82	13001939	SK0174	弥生土器	甕	39.4*		14.8+	柾	柾	柾相
岡212-83	13001922	SK0167	弥生土器	甕			3.1*	柾	柾	
岡212-84	12001767	SK0167	弥生土器	高环	27.0*		7.4+	明黄褐色	明黄褐色	
岡212-85	12001768	SK0167	弥生土器	壺		6.4	4.3+	暗褐色・明黄褐色	明黄褐色	
岡212-86	12001766	SK0167	弥生土器	器台	9.3	11.4	14.0	明黄褐色	明黄褐色	
岡212-87	12001817	SK0206	弥生土器	甕			6.2+	明黄褐色	明黄褐色	
岡212-88	12001818	SK0206	弥生土器	壺	9.6*		4.9+	淡褐色・明黄褐色	明黄褐色	丹塗
岡212-89	12001819	SK0206	弥生土器	壺	28.6*		7.9+	明黄褐色	明黄褐色	
岡212-90	13001929	SK0206	弥生土器	甕		6.1	4.4+	柾	黄褐色	
岡212-91	12001820	SK0206	弥生土器	器台		11.5	10.2+	淡褐色	淡褐色	
岡212-92	13001910	SK0206	弥生土器	高环			1.4+	柾	柾	丹塗・暗文
岡212-93	12001821	SK0206	弥生土器	高环	30.4*		7.6+	淡褐色	赤褐色・灰褐色	丹塗・暗文
岡212-94	13001918	SK0228	弥生土器	甕	30.6*		6.8+	柾	柾	
岡212-95	12001836	SK0228	弥生土器	甕	40.4*	11.6	20.6+	淡褐色	黑褐色	柾相
岡212-96	13001920	SK0228	弥生土器	壺	8.0*	3.1+	明赤褐色	にぶい・黄柾		
岡212-97	13001919	SK0228	弥生土器	壺		6.4*		柾	柾	
岡213-98	13001921	SK0228	弥生土器	高环	32.2*			柾	柾	丹塗
岡213-99	12001832	SK0228	弥生土器	甕	14.9	7.1*	13.3+	淡明黄褐色	淡明黄褐色	
岡213-100	12001831	SK0228	弥生土器	壺	14.5	7.1	12.4	明黄褐色・柾	明黄褐色・柾	丹塗
岡213-101	12001830	SK0228	弥生土器	壺	8.8	8.3*		柾	柾・黒褐色	
岡213-102	12001833	SK0228	弥生土器	高环	16.2	11.4	14.3	淡明褐色	淡明褐色	
岡213-103	06003756	SK0228	弥生土器	高环	28.2	18.2	22.5	赤褐色・暗褐色	赤褐色・暗褐色	丹塗
岡213-104	12001834	SK0228	弥生土器	高环	31.9		25.4*	淡褐色・赤褐色	淡褐色	丹塗
岡213-105	12001835	SK0228	弥生土器	器台	7.2	10.3	14.1	淡明黄褐色	淡明黄褐色	
岡213-106	12001829	SK0228	弥生土器	器台	18.6*	32.0*	49.0+	淡明黄褐色・柾	淡明黄褐色・柾	筒形器台 丹塗
岡214-107	13001914	SK0291	弥生土器	甕			9.1+	にぶい・黄柾	にぶい・黄柾	

表17 吉野ヶ里丘陵地区II区 祭祀土坑出土土器

排列・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	種別	器種	寸法 cm			色調		備考
					口径	底径	器高	外面	内面	
国214-108	13001913	SK0291	弥生土器	甕		8.7	3.7+	に赤い黄緑	に赤い黄緑	
国214-109	13001912	SK0291	弥生土器	甕		9.8	5.5+	に赤い黄緑	明黄緑	
国214-110	12001854	SK0291	弥生土器	甕	22.5	9.4	20.0	淡褐	淡褐	
国214-111	12001855	SK0291	弥生土器	甕	29.0*	8.9	32.0	明黄緑	明黄緑	
国214-112	13001915	SK0296	弥生土器	甕			3.6+	柏	柏	
国214-113	12001859	SK0296	弥生土器	甕	23.0*		10.2+	明黄緑	明黄緑	
国214-114	13001916	SK0296	弥生土器	甕		6.0	7.3+	柏	柏	
国214-115	12001860	SK0296	弥生土器	甕	26.3	9.1	27.8	淡褐	淡褐	
国214-116	13001917	SK0313	弥生土器	甕			3.7+	柏	柏	
国214-117	12001861	SK0313	弥生土器	甕	37.8*		14.4+	淡褐	淡褐	
国215-118	12001871	SK0327	弥生土器	甕	29.8*		8.1+	淡褐	淡褐	
国215-119	12001869	SK0327	弥生土器	甕	32.4*		9.2+	淡褐	淡褐	
国215-120	12001870	SK0327	弥生土器	甕		6.5	16.2+	明黄緑	明黄緑	
国216-121	12001884	SK0407	弥生土器	甕			4.5+	淡明黄緑	淡明黄緑	
国216-122	12001883	SK0407	弥生土器	甕	19.4*		3.5+	明黄緑	明黄緑	
国216-123	12001882	SK0407	弥生土器	甕	30.0*		4.6+	明褐	明褐	
国216-124	15000389	SK0407	弥生土器	甕	29.3*		11.2+	柏	柏	
国216-125	15000390	SK0407	弥生土器	甕	29.8*		7.2+	柏	柏	
国216-126	12001881	SK0407	弥生土器	甕	30.9		15.7+	明黄緑	明黄緑	
国216-127	12001886	SK0407	弥生土器	甕	31.9		18.4+	淡明黄緑	淡明黄緑	
国216-128	15000391	SK0407	弥生土器	甕		7.3	4.8+	明黄緑	明黄緑	
国216-129	15000392	SK0407	弥生土器	甕		6.0	5.0+	柏	明黄緑	
国216-130	12001890	SK0407	弥生土器	甕		10.8	3.9+	明黄緑	明黄緑	
国216-131	12001889	SK0407	弥生土器	甕		11.2	5.0+	明黄緑	明黄緑	
国216-132	12001885	SK0407	弥生土器	甕		7.05	22.2+	明褐	明褐	
国216-133	12001888	SK0407	弥生土器	甕		10.6	15.5+	淡褐・淡赤褐	淡褐	
国216-134	12001892	SK0407	弥生土器	甕	28.2*		11.4+	淡褐	淡褐	
国216-135	12001893	SK0407	弥生土器	鉢	31.2*		10.8+	淡明黄緑	淡明黄緑	
国216-136	12001887	SK0407	弥生土器	器台	9.0	10.7	12.8	明黄緑	明黄緑	
国216-137	12001891	SK0407	弥生土器	器台	8.7*	10.8	13.6	淡明黄緑	淡明黄緑	

表 18 吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区 墓出土石器・鉄器・ガラス製品・貝製品

博団・番号	佐賀県遺物登録番号	出土位置	種別	器種	法量 cm			重量 g	材質	備考
					長さ	幅	厚さ			
国 217-138	12002464	SJ0248 棚坑	磨製石器	石鏃	4.0	1.8	0.2	1.8	堆積岩系	
国 217-139	08003658	SP0267	打製石器	石鏃	2.4	1.0	0.5	1.2	黒曜石	
国 217-140	08003648	SP0267	打製石器	石鏃	2.75+	1.95+	0.55	2.1+	安山岩	
国 217-141	08003644	SP0282	打製石器	石鏃	4.0	1.6	0.9	4.6	安山岩	
国 217-142	08003583	SJ0312 棚内	骨角製品	牙鑷	3.7+	1.7+	0.2	1.8+	サメ歯	メジロザメ科
国 217-143	08003576	SJ0312 棚内	打製石器	石鏃	2.0+	1.5+	0.4	0.9+	黒曜石	
国 217-144	08003577	SJ0312 棚内	打製石器	石鏃	2.1	1.4	0.3	0.8	安山岩	
国 217-145	08003579	SJ0312 棚内	打製石器	石鏃	3.4	2.3	0.4	2.4	安山岩	
国 217-146	08003574	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	2.5+	1.6+	0.2	0.8+	堆積岩系	
国 217-147	08003575	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	1.4+	1.2	0.32	0.1+	蛇紋岩	
国 217-148	08003578	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	2.7	1.5	0.2	1.5+	蛇紋岩	
国 217-149	08003580	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	2.9+	1.7	0.21	1.4+	堆積岩系	
国 217-150	08003582	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	3.8	1.4	0.2	1.5	蛇紋岩	
国 217-151	08003581	SJ0312 棚内	磨製石器	石鏃	5.5	2.1	0.4	5.0+	堆積岩系	
国 217-152	12002466	SP0206	磨製石器	石劍	9.2+	2.8+	3.1+	36.4+	赤紫色泥岩	
国 217-153	13000224	SJ0307 棚内	鍛器	鍛矛	7.9	3.05	0.55	-	板状	
国 217-154	13001116	SP0455 埋土	ガラス製品	小玉	0.5		0.5	-	水色	
国 217-155	13001117	SP0455 埋土	ガラス製品	小玉	0.5		0.65	-	水色	
国 218-156	92004122	SJ0135 棚内	貝製品	腕輪	7.2	6.8	2.5		イモガイ	模型
国 218-157	92004123	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	13.7	8.1+	0.33		ゴホウラ	擬型
国 218-158	92004124	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	12.6	8.4	4.0		ゴホウラ	擬型
国 218-159	92004125	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	13.0	8.2	3.6		ゴホウラ	擬型
国 218-160	92004126	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	11.5	7.8	3.6		ゴホウラ	擬型
国 219-161	92004127	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	10.3	7.4+	3.4		ゴホウラ	擬型
国 219-162	92004128	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	9.9	7.7	3.4		ゴホウラ	擬型
国 219-163	92004129	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	9.9	6.8	3.7		ゴホウラ	擬型
国 219-164	92004130	SJ0384 棚内	貝製品	腕輪	9.6	7.0+	3.8		ゴホウラ	擬型
-	-	SJ0314 棚内	貝製品	腕輪					イモガイ	小片

(4) 吉野ヶ里丘陵地区II区の弥生時代墳墓について

吉野ヶ里丘陵地区II区では、中期前半～後期前半の甕棺墓、土坑墓、木棺墓からなる墳墓群を確認した。本区域では前期末と中期前半に属する竪穴建物跡がそれぞれ1棟ずつ確認されており、中期前半頃までは小規模な集落が展開していたとみられる(『207集』)。

墓地の造営は中期前半から始まっているが、数は少なく、分布は本区域の南東隅部に限られている。これらの墓群は、本区域と県道吉田・鶴線を挟んで南に隣接する吉野ヶ里丘陵地区III区東部で確認された南北方向の甕棺墓列と連続する可能性がある。

中期後半になると甕棺墓の数は急増し、主に本区域南半部に偏って分布している。このうち東側の墓群は南北方向の列状をなし、西側の墓群は径約15mの範囲に集中して分布している。東側の列状墓の北側に位置するSJ0384からは貝輪8点と網片が出土している。この時期には甕棺墓に近接して土坑墓・木棺墓や祭祀土坑が形成されている。

中期末～後期初頭になると、それまでの墓域の中心部であった本区域南半部での埋葬は少くなり、新たに本区域北半一帯に墳墓群が形成されるようになる。特に、本区域北半中央部では、貝輪、鉄斧、石鎚といった副葬品を伴う甕棺墓、土坑墓が集中しているほか、墳墓に伴う祭祀土坑も形成されている。これらの墓群は後期前半まで継続して営まれていたとみられるが、後期後半以降の墳墓については時期を明確に判断できるものが多く、詳しい様相は不明である。しかし、後期後半には本区域中央～南半部に竪穴建物跡からなる小規模な集落が営まれ、その北側には吉野ヶ里集落を取り囲む外環壕の一部であるSD0054が北西～南東方向に掘削されており、既存の墓地の一部は破壊されている。のことから、後期後半～終末期には本区域が墓地として利用されなくなったと考えられる。

写真図版



吉野ヶ里遺跡全景（上空から 昭和 23 年米軍撮影）

写真図版2

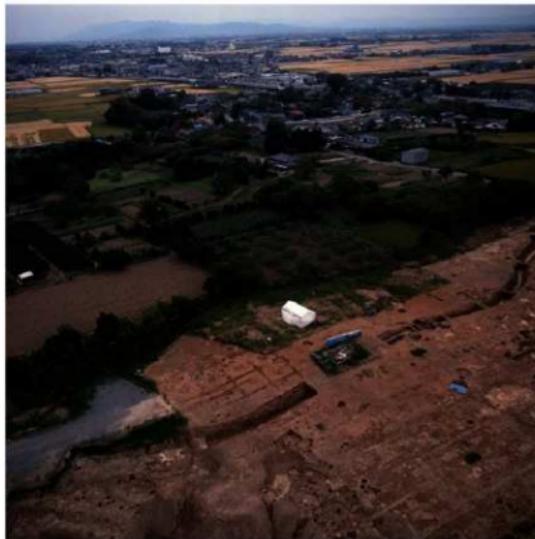


吉野ヶ里遺跡南部・中央部全景（国土地理院撮影の空中写真：昭和 42 年撮影）



吉野ヶ里遺跡全景（南から）

写真図版 4



田手二本黒木地区 II 区 東部（北東から）



田手二本黒木地区 II 区 遠景（北から）



SK0125 (北東から)



SK0125 遺物出土状況 (南西から)



SP0126 (北から)



SJ0135・SJ0134 (手前) (南から)



SJ0136 (東から)



SJ0137 (南から)



SJ0138 (西から)



SJ0139 (西から)

写真図版 6



SJ0140・0141（右）（南から）



SJ0142（東から）



SJ0155（南から）



SJ0157（南から）



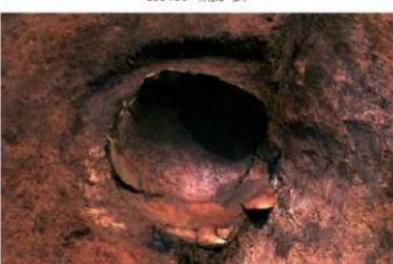
SJ0158（南から）



SJ0159（南から）



SJ0160（北から）



SJ0161（北から）



SJ0162 (北から)



SJ0163 (北から)



SJ0580 (西から)



SJ0581 (南から)



SJ0582 (南から)



SJ0583 (北東から)



SJ0584 (北西から)



SJ0585 (南東から)

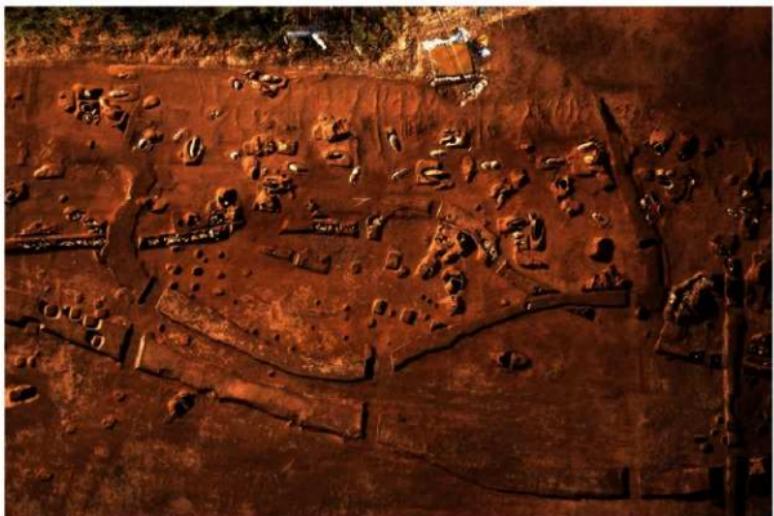
写真図版 8



吉野ヶ里丘陵地区III区 全景（南から）



吉野ヶ里丘陵地区III区 墓列全景（南から）



吉野ヶ里丘陵地区 III区 墓列中央部（上空から 上が東）



吉野ヶ里丘陵地区 III区 墓列北部（上空から 上が東）



SJ0624 (東から)



SJ0625 (北から)



SJ0626 (西から)



SJ0655 (東から)



SJ0659 (北から)



SJ0660 (大)・0661 (小) (北西から)



SJ0662 (北から)



SJ0663 (北から)



SJ0664 (東から)



SJ0665 (東から)



SJ0666 (北から)



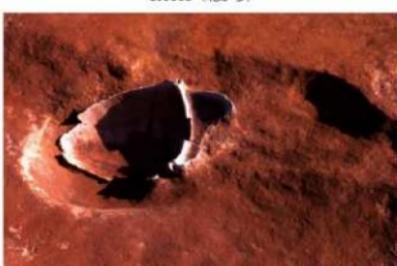
SJ0667 (北から)



SJ0668 (北から)



SJ0669 (北から)



SJ0670 (西から)



SJ0671 (東から)



SJ0672 (北東から)



SJ0673 (西から)



SJ0674 (前)・0675・0676 (東から)



SJ0674 (東から)



SJ0675 (北から)



SJ0676 (北から)



SJ0677 (東から)



SJ0678 (東から)



SJ0679 (東から)



SJ0680 (東から)



SJ0681 (東から)



SJ0682 (南から)



SJ0683 (北から)



SJ0685 (北から)



SJ0687 (西から)



SJ0688 (西から)



SJ0689 (左)・0690・SJ0691 (南から)



SJ0692 (西から)



SJ0693 (西から)



SJ0694 (東から)



SJ0695 (西から)



SJ0696 (南から)



SJ0697 (西から)



SJ0698 (北から)



SJ0699 (西から)



SJ0700 (東から)



SJ0701 (大)・SJ0702 (小) (東から)



SJ0703 (南から)



SJ0704 (東から)



SJ0705 (小)・SJ0706 (大) (東から)



SJ0707 (前)・SJ0708 (奥) (東から)



SJ0709 (南から)



SJ0710 (南から)



SJ0711 (北から)



SJ0712 (東から)



SJ0713 (東から)



SJ0714 (北から)



SJ0715 (西から)



SJ0716 (北から)



SJ0717 (東から)



SJ0718 (東から)



SJ0719 (北から)



SJ0721 (北から)



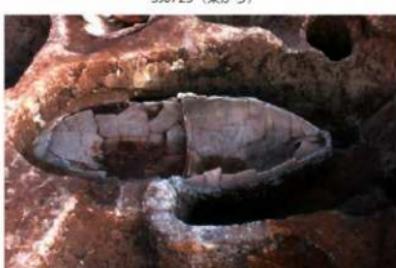
SJ0722 (東から)



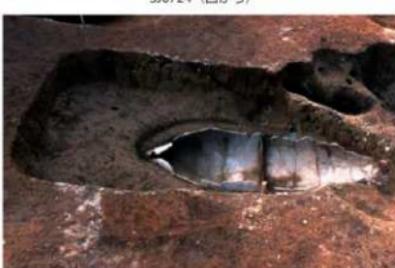
SJ0723 (東から)



SJ0724 (西から)



SJ0725 (西から)



SJ0726 (東から)



SJ0727 (東から)



SJ0728 (南から)



SJ0729 (南から)



SJ0730 (北から)



SJ0731 (南から)



SJ0735 (西から)



SJ0736 (東から)



SJ0737 (南から)



SJ0738 (南から)



SJ0739 (南から)



SJ0740 (西から)



SJ0741 (北から)



SJ0742 (南から)



SJ0743 (西から)



SJ0744 (北から)



SJ0745 (東から)



SJ0749 (大) - 0752 (小) (東から)



SJ0750 (右) - 0751 (左) (東から)



SJ0753 (北から)



SJ0754 (東から)



SJ0755 (東から)



SJ0756 (大) - 0757 (小) (東から)



SJ0757 (東から)



SJ0758 (東から)



SJ0759 (東から)



SJ0760 (西から)



SJ0761 (東から)



SJ0762 (東から)



SJ0763 (東から)



SJ0764 (手前)・0765 (東から)



SJ0766 (東から)



SJ0767 (北から)



SJ0768 (北から)



SJ0769 (西から)



SJ0770 (西から)



SJ0771 (南から)



SJ0772 (西から)



SJ0773 (北から)



SJ0774 (前)・0775 (奥) (東から)



SJ0779 (南から)



SJ0780 (西から)



SJ0781 (南から)



SJ0783 (西から)



SJ0784 (西から)



SJ0785 (西から)



SJ0786 (東から)



SJ0787 (北から)



SJ0788 (西から)



SJ0790 (北から)



SJ0789 (北から)



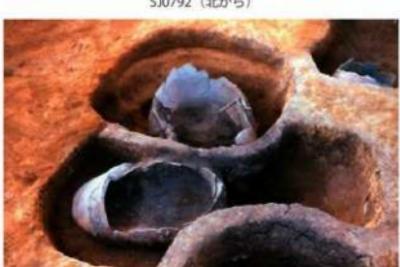
SJ0791 (南から)



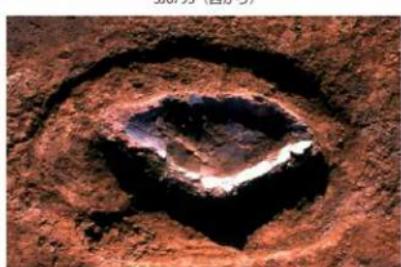
SJ0792 (北から)



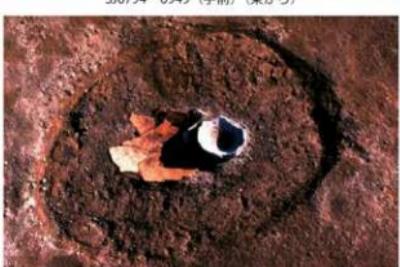
SJ0793 (西から)



SJ0794・0949(手前)(東から)



SJ0795 (北から)



SJ0796 (西から)



SJ0797 (北から)



SJ0798 (東から)



SJ0799 (東から)



SJ0800 (西から)



SJ0801 (東から)



SJ0802 (西から)



SJ0803 (北から)



SJ0804 (東から)



SJ0807 (南東から)



SJ0808 (東から)



SJ0809 (東から)



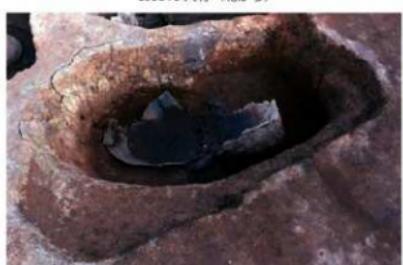
SJ0810 (東から)



SJ0810 人骨 (北から)



SJ0815 (西から)



SJ0817 (西から)



SJ0818 (南から)



SJ0820 (西から)



SJ0821 (東から)



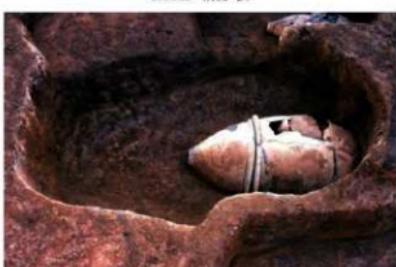
SJ0823 (西から)



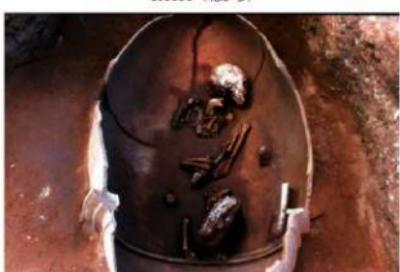
SJ0829 (東から)



SJ0830 (北から)



SJ0831 (北から)



SJ0831 人骨 (東から)



SJ0832 (南から)



SJ0833 (北から)



SJ0834 (西から)



SJ0835 (北から)



SJ0836 (西から)



SJ0837 (西から)



SJ0838 (北から)



SJ0855 (南から)



SJ0873 (東から)



SJ0882 (東から)



SJ0885 (右)・0886 (左) (北から)



SJ0887 (東から)



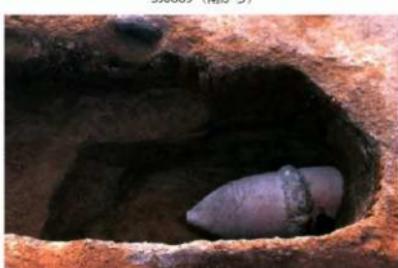
SJ0888 (西から)



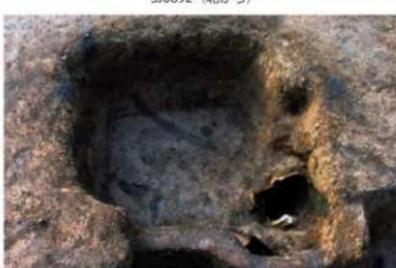
SJ0889 (南から)



SJ0892 (北から)



SJ0894 (東から)



SJ0897 (北から)



SJ0898 (東から)



SJ0899 (南から)



SJ0901 (北から)



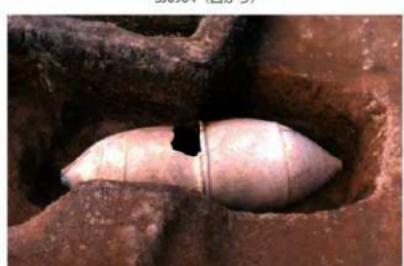
SJ0903 (南から)



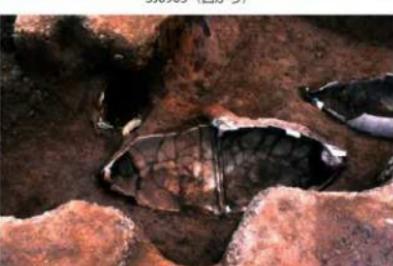
SJ0904 (西から)



SJ0905 (西から)



SJ0906 (東から)



SJ0914 (東から)



SJ0915 (東から)



SJ0916 (大)・0917 (小) (東から)



SJ0926 (西から)



SJ0928 (西から)



SJ0935 (東から)



SJ0937 (西から)



SJ0937 鋳型出土状況 (西から)



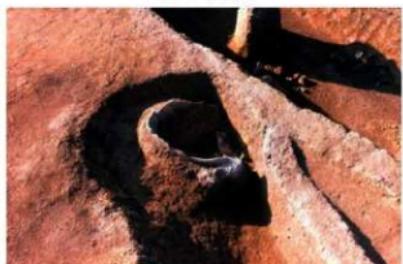
SJ0948 (北から)



SJ0950 (南から)



SJ0951 (東から)



SJ0952 (北から)



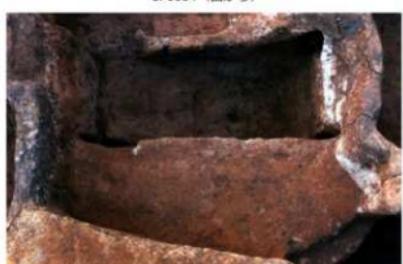
SJ0956 (真上から)



SP0684 (西から)



SP0720 (東から)



SP0802 (東から)



SP0803 (南から)



SP0890 (北から)



SP0891 (東から)



SP0896 (南から)



SP0900 (北から)



SP0912 (南から)



SP0912 棚内 (北から)



SP0923 (東から)



SP0927 (西から)



SP0934 (東から)



SP0957



SK0605 (西から)



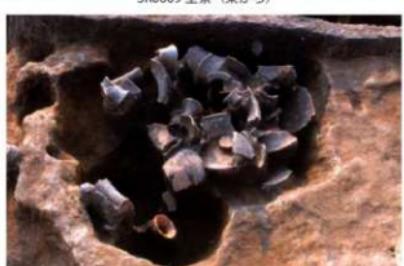
SK0606 (東から)



SK0609 全景 (東から)



SK0609A (東から)



SK0609B (東から)



SK0609C (東から)



SK0609D (北から)



SK0614 (北から)



SK0617 (東から)



SK0618 (東から)



SK0619 (東から)



SK0638 (東から)



SK0656 (東から)



SK0686 (北東から)



SK0748 (西から)



SK0782 (東から)



SK0811 (南から)



SK0813 (北から)



SK0814 (北から)



SK0881 (北から)



SK0895 (西から)



SK0902 (西から)





吉野ヶ里丘陵地区 III 区 祭祀土坑出土土器



吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区中央部（南西から）



吉野ヶ里丘陵地区Ⅱ区中央部（北東から）



SJ0135 貝輪出土状況（西から）



SJ0154 人骨・頭髪出土状況



SJ0307 人骨・鉄斧出土状況（南から）



SJ0312 人骨・鎌出土状況（南から）



SJ0314 貝輪出土状況（北から）



SJ0384 貝輪出土状況（南から）

写真図版 43



SJ0061 (北から)



SJ0065 (南から)



SJ0066 (南から)



SJ0067 (北から)



SJ0068 (南から)



SJ0070 (西から)



SJ0071 (東から)



SJ0072 (東から)



SJ0073 (北から)



SJ0074 (東から)



SJ0075 (東から)



SJ0076 (南から)



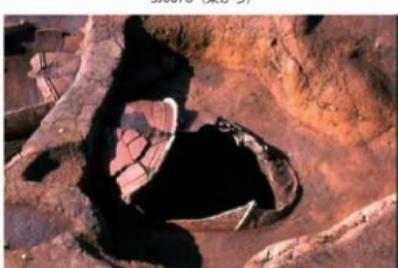
SJ0077 (東から)



SJ0078 (東から)



SJ0078・0079 (東から)



SJ0079 (東から)



SJ0080 (東から)



SJ0080 人骨 (南から)



SJ0081 (南から)



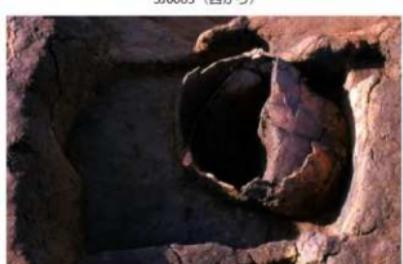
SJ0082 (西から)



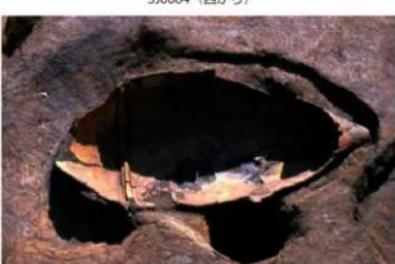
SJ0083 (西から)



SJ0084 (西から)



SJ0085 (東から)



SJ0086 (北から)



SJ0087 (東から)



SJ0088 (南から)



SJ0089 (西から)



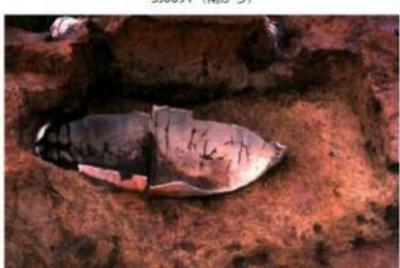
SJ0090 (西から)



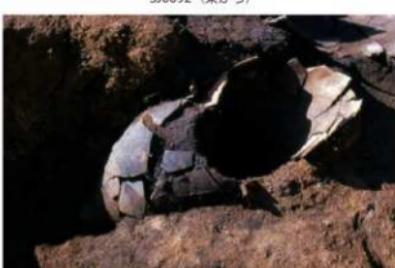
SJ0091 (南から)



SJ0092 (東から)



SJ0093 (東から)



SJ0094 (東から)



SJ0095 (東から)



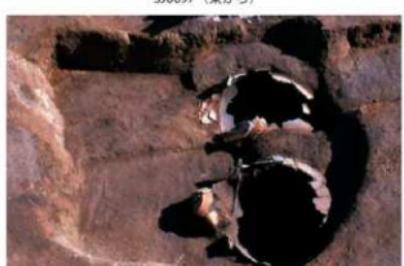
SJ0096 (北から)



SJ0097 (東から)



SJ0098 (西から)



SJ0099 (前) - 0100 (奥) (西から)



SJ0101 (東から)



SJ0102 (西から)



SJ0103 (西から)



SJ0104 (西から)



SJ0105 (北から)



SJ0106 (東から)



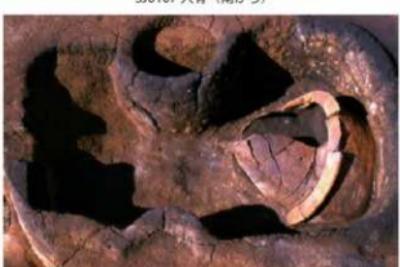
SJ0107 (東から)



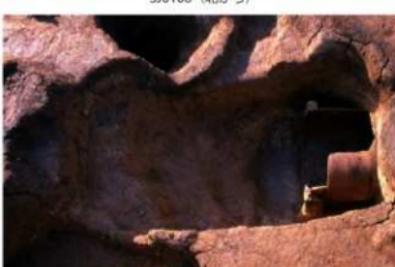
SJ0107 人骨 (南から)



SJ0108 (北から)



SJ0109 (東から)



SJ0110 (東から)

写真図版 49



SJ0111 (西から)



SJ0113 (北から)



SJ0112 (左)・0114 (右) (東から)



SJ0115 (北から)



SJ0116 (北から)



SJ0117 (南から)



SJ0118 (東から)



SJ0119・0120 (小) (東から)



SJ0121 (西から)



SJ0122 (北から)



SJ0123 (西から)



SJ0124 (北から)



SJ0125 (北から)



SJ0126 (東から)



SJ0127 (西から)



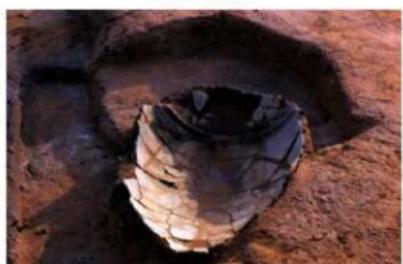
SJ0128 (東から)



SJ0129 (東から)



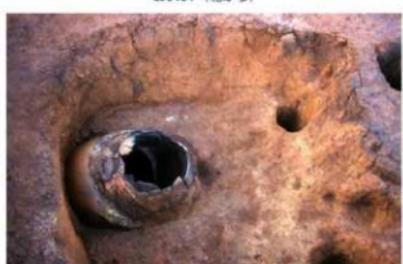
SJ0130 (東から)



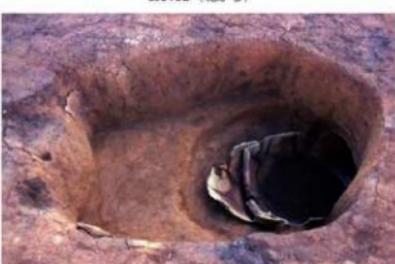
SJ0131 (北から)



SJ0132 (北から)



SJ0133 (南から)



SJ0134 (北から)



SJ0134 人骨 (東から)



SJ0135 (北から)



SJ0135 人骨・貝輪（西から）



SJ0136（西から）



SJ0137（東から）



SJ0138（西から）



SJ0139（西から）



SJ0140（北から）



SJ0141（北から）



SJ0142（南から）



SJ0143 (北から)



SJ0144 (南から)



SJ0145 (北から)



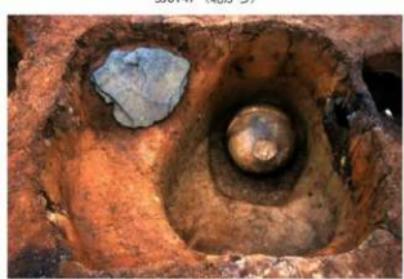
SJ0146 (東から)



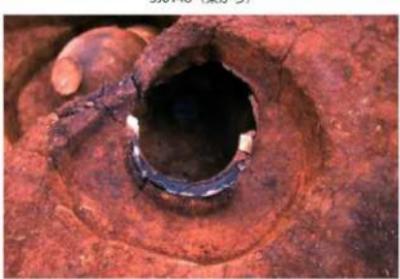
SJ0147 (北から)



SJ0148 (東から)



SJ0229・0366



SJ0150 (北から)



SJ0151 (南から)



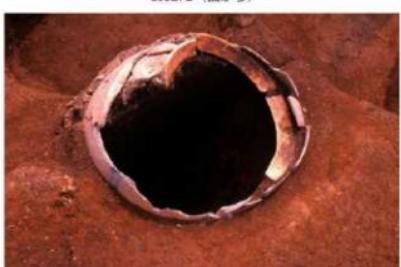
SJ0152 (東から)



SJ0272 (西から)



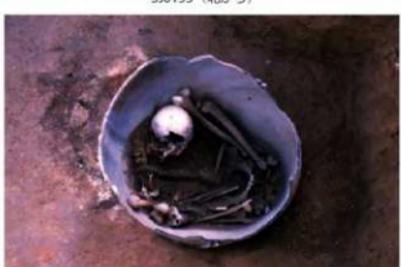
SJ0152・0153・0272 (西から)



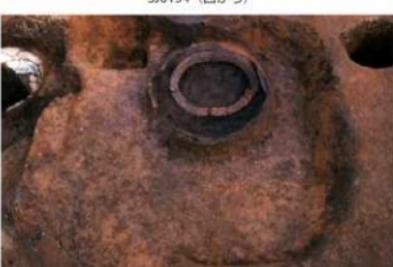
SJ0153 (北から)



SJ0154 (西から)



SJ0154 人骨 (東から)



SJ0156 (西から)



SJ0157 (南から)



SJ0158 (東から)



SJ0159 (南から)



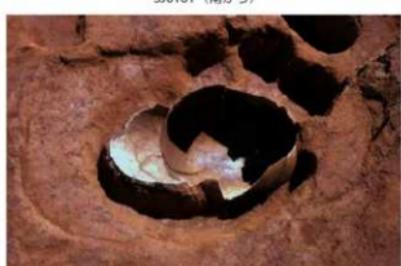
SJ0160 (北から)



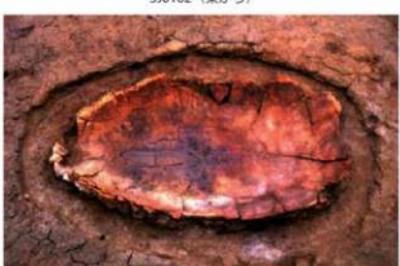
SJ0161 (南から)



SJ0162 (東から)



SJ0163 (北から)



SJ0164 (北から)



SJ0165 (東から)



SJ0180 (西から)



SJ0182 (東から)



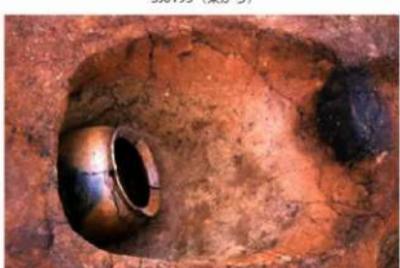
SJ0192 (西から)



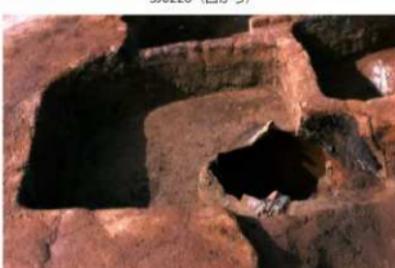
SJ0193 (東から)



SJ0226 (西から)



SJ0227 (北から)



SJ0218 (東から)



SJ0219 (東から)



SJ0221 (西から)



SJ0221 人骨 (北から)



SJ0230 (北から)



SJ0231 (東から)



SJ0232 - 0270 - 0271 (北から)



SJ0232 (西から)



SJ0233 (南から)



SJ0235 (北から)



SJ0235 人骨 (西から)



SJ0236 (東から)



SJ0236 人骨 (北から)



SJ0237 (南から)



SJ0237 人骨 (南から)



SJ0247 (南から)



SJ0247 人骨 (北から)



SJ0248 (北から)



SJ0249 (南から)



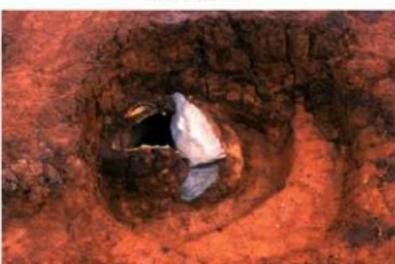
SJ0250 (西から)



SJ0251 (東から)



SJ0252 (北から)



SJ0256 (南から)



SJ0256 (北から)



SJ0257 (東から)



SJ0261 (西から)



SJ0261 人骨 (西から)



SJ0264 (西から)



SJ0268 (北から)



SJ0270 (北から)



SJ0271 (西から)



SJ0272 人骨 (南から)



SJ0279 (南から)

写真図版 61



SJ0280 (南から)



SJ0280 人骨 (北から)



SJ0281 (西から)



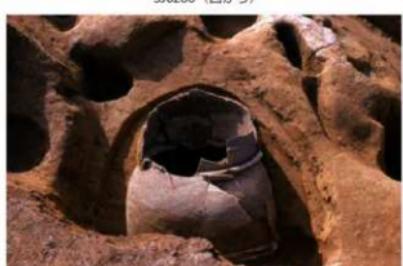
SJ0283 (東から)



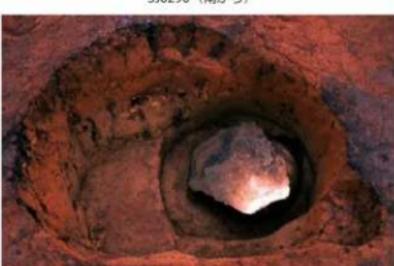
SJ0286 (西から)



SJ0290 (南から)



SJ0292 (東から)



SJ0295 (西から)



SJ0299 (南から)



SJ0301 (北から)



SJ0302 (東から)



SJ0307 (東から)



SJ0309 (北から)



SJ0309 人骨 (西から)



SJ0312 (大)・0334 (小) (西から)



SJ0314 (南から)



SJ0317 (北から)



SJ0318 (西から)



SJ0328 (南から)



SJ0329 (南から)



SJ0330 (東から)



SJ0333 (東から)



SJ0335 (南から)



SJ0336 (東から)



SJ0336 人骨（北から）



SJ0343（南から）



SJ0344（東から）



SJ0348（東から）



SJ0348 人骨（東から）



SJ0349（西から）



SJ0351（北から）



SJ0393・0353（西から）



SJ0355 (北から)



SJ0356 (南から)



SJ0361 (東から)



SJ0362 (西から)



SJ0363 (北から)



SJ0364 (西から)



SJ0365 (東から)



SJ0367 (東から)



SJ0367 (東から)



SJ0367 (北から)



SJ0369 (東から)



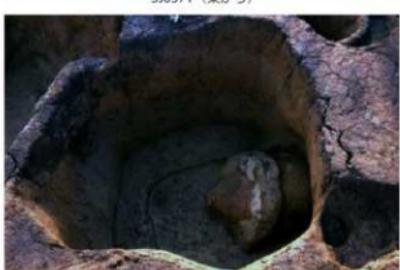
SJ0370 (北から)



SJ0371 (東から)



SJ0372 (南から)



SJ0373 (東から)



SJ0373 人骨 (東から)



SJ0377 (東から)



SJ0378 (東から)



SJ0380 (南から)



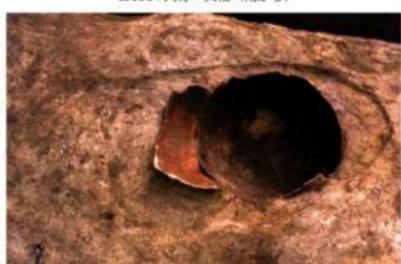
SJ0384 (西から)



SJ0384 人骨・貝輪 (南から)



SJ0384 貝輪 (東から)



SJ0385 (北から)



SJ0386 (南から)



SJ0386 人骨（北から）



SJ0387 (北から)



SJ0387 (北から)



SJ0389 (北から)



SJ0389 人骨（南から）



SJ0393 (西から)



SJ0394 (西から)



SJ0395 (北から)



SJ0396 (西から)



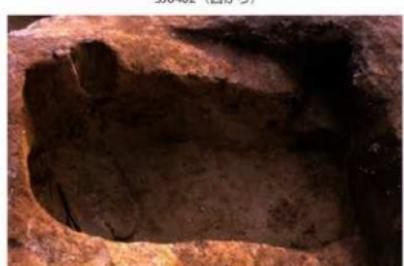
SJ0397 (南から)



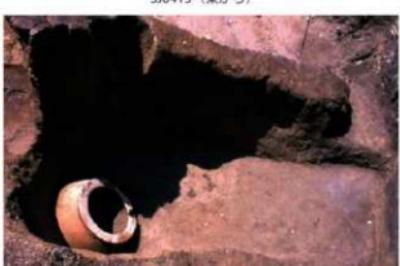
SJ0402 (西から)



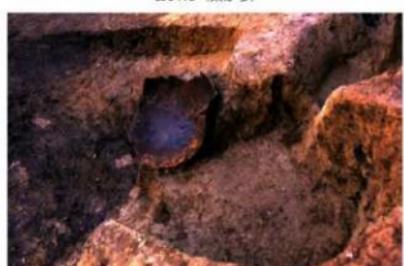
SJ0413 (東から)



SJ0415 (東から)



SJ0415 (東から)



SJ0416 (南から)



SJ0417 (東から)



SJ0421 (西から)



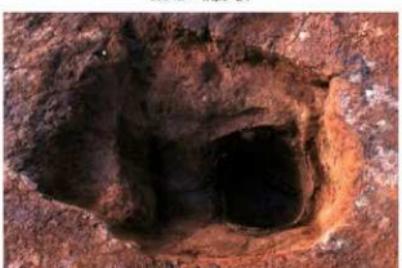
SJ0422 (北から)



SJ0424 (南から)



SJ0425 (西から)



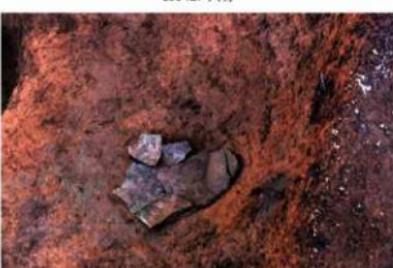
SJ0427 (南から)



SJ0427 人骨



SJ0428 (南から)



SJ0432 (南から)



SJ0434 (北から)



SJ0437 (北から)



SJ0438 (西から)



SJ0439 (東から)



SJ0440 (西から)



SJ0451



SJ0451・0452 (西から)



SJ0452 (西から)



SP0453 (北から)



SP0069 (西から)



SP0412 (南から)



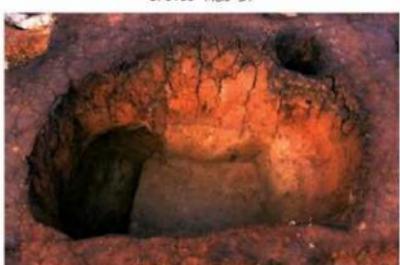
SP0166 (北から)



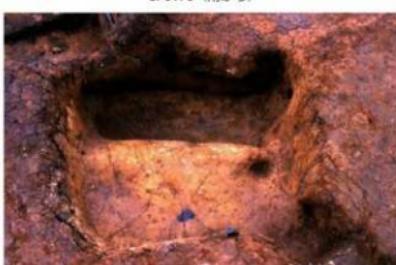
SP0168 (北から)



SP0170 (南から)



SP0172 (南から)



SP0173 (西から)



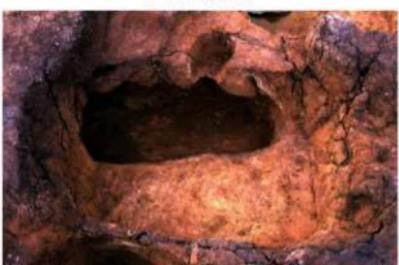
SP0175 (南から)



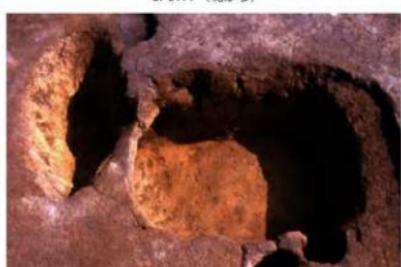
SP0176 (東から)



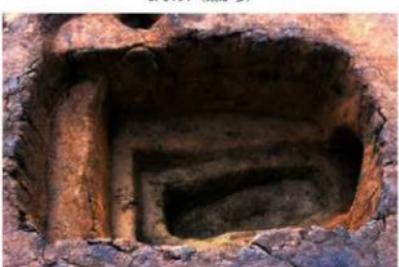
SP0177 (北から)



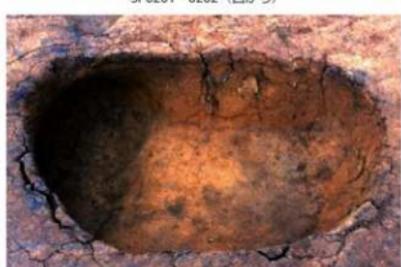
SP0191 (東から)



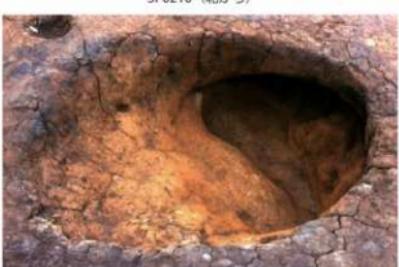
SP0201・0202 (西から)



SP0210 (北から)



SP0211 (北から)



SP0212 (北から)



SP0216 (北から)



SP0220 (北から)



SP0222 (北から)



SP0225 (北から)



SP0238 (西から)



SP0246 (東から)



SP0254 (西から)



SP0259 (南から)



SP0260 (北から)



SP0265 (右)・0266 (西から)



SP0267 (西から)



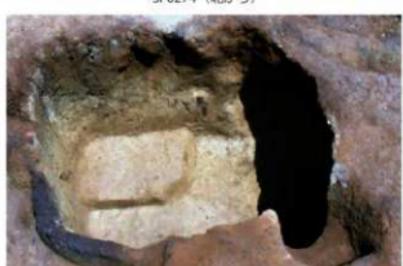
SP0269 (北から)



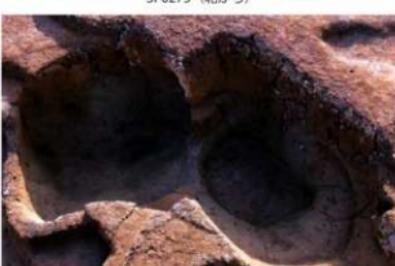
SP0274 (北から)



SP0275 (北から)



SP0276 (南から)



SP0277 (右)・0278 (東から)



SP0282 (南から)



SP0288 (西から)



SP0297 (東から)



SP0306 (北から)



SP0315 (西から)



SP0319 (南から)



SP0322 (北から)



SP0324 (東から)



SP0326 (東から)



SP0340 (北から)



SP0341 (南から)



SP0368 (東から)



SP0374 (北から)



SP0374 人骨



SP0375 (北から)



SP0376 (東から)



SP0383 (西から)



SP0390 (北から)



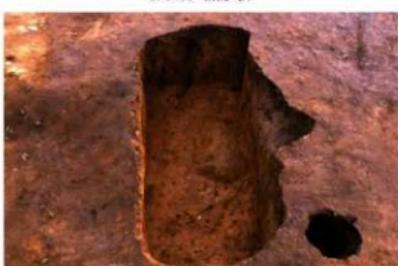
SP0399 (東から)



SP0400 (東から)



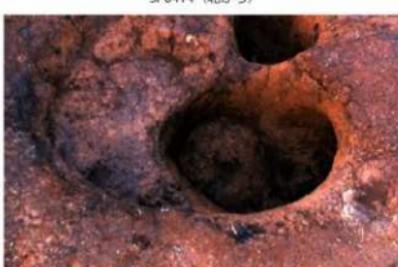
SP0405



SP0414 (北から)



SP0418 (西から)



SP0423 (南から)



SP0429 (東から)



SP0435 (西から)



SP0448 (南から)



SP0448 人骨 (東から)



SP0289 (南から)



SP0418 (西から)



SP0455 (北から)



SP0456 (北西から)



SK0167（西から）



SK0174（北から）



SK0206（西から）



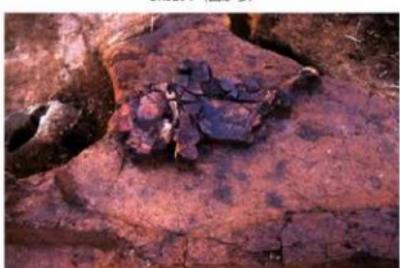
SK0228（西から）



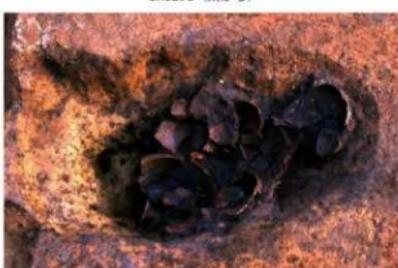
SK0291（西から）



SK0296（東から）



SK327（東から）



SK0407（北から）



SJ0064上
13000160



SJ0064下
15001316



SJ0067下
12002069



SJ0135上
12002072



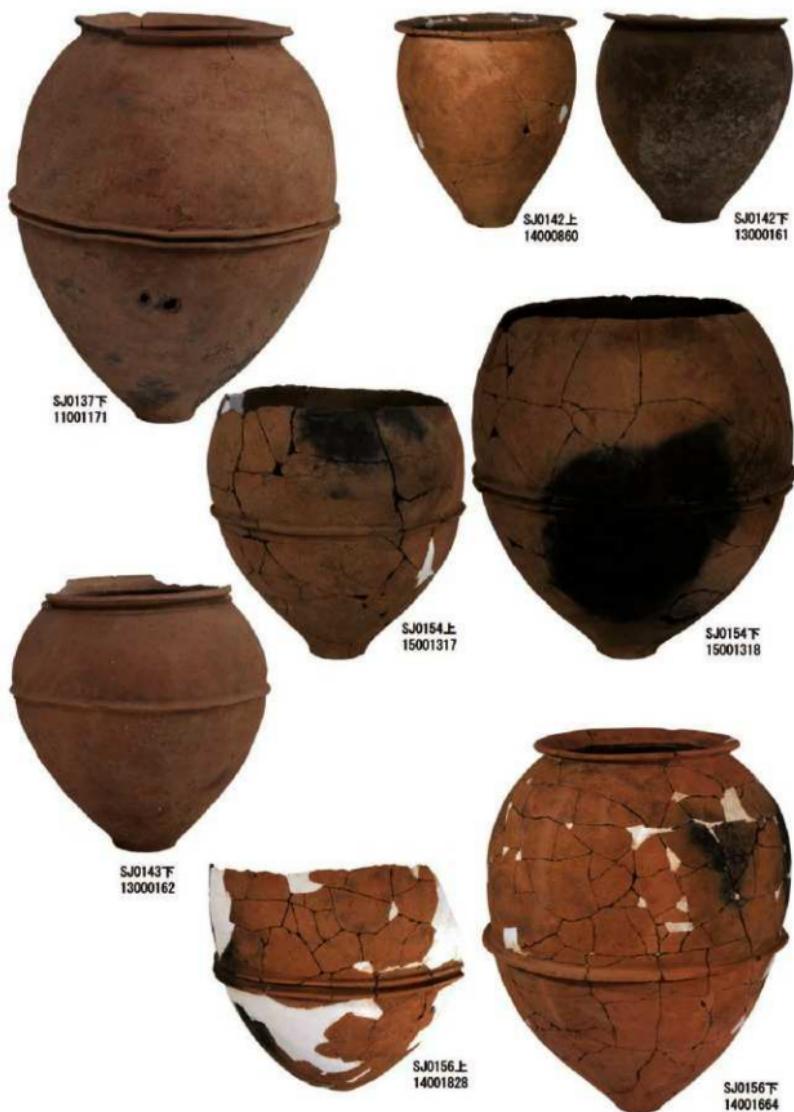
SJ0070上
12002070



SJ0135下
12002073



SJ0070下
12002071







SJ0163上
14001829



SJ0193
13000814



SJ0163下
14001830



SJ0264上
15001324



SJ0226上
13000183



SJ0264下
15001325



SJ0268下
13000163



SJ0280上
14000065



SJ0292上
15001329



SJ0281上
15001327



SJ0292下
15001330



SJ0312下
92001285



吉野ヶ里丘陵地区 II 区 出土要棺 6



SJ0349下
15001335



SJ0361下
15001337



SJ0356上
14001716



SJ0373上
92001286



SJ0356下
14001717



SJ0373下
92001287





SJ0384 出土貝輪



SJ0312 出土鏃



吉野ヶ里丘陵地区 II・III 区墳墓出土石器・鐵器



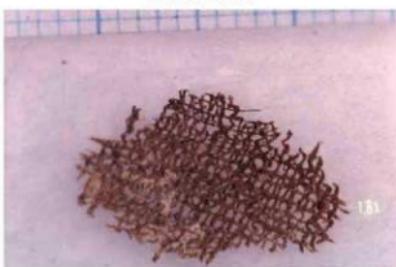
SJ0135 出土貝輪



SJ014 出土貝輪片



SJ0135 出土平網



SJ0135 出土網（縮れ織り）



SJ0135 出土透網



SJ0135 出土布片



SJ0135 出土布片



SJ0135 出土麻布

報告書抄録

ふりがな	よしのがりいせき						
書名	吉野ヶ里道路						
副書名	弥生時代の墓地						
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書						
シリーズ番号	第 214 集						
編著者名	渋谷格（編）渡部芳久						
編集機関	佐賀県教育委員会						
所在地	〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内 1 丁目 1 番 59 号 TEL : 0952-25-7233						
発行年月日	2016 (平成 28) 年 3 月 31 日						
ふりがな 所収道路名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東經	発掘期間	発掘原因
		市町村	遺跡番号				
よしのがりいせき 吉野ヶ里道路	佐賀県 神埼市大字志度屋・ 鶴・田道ヶ里 よしのがりいせき 吉野ヶ里町大字手・大曲	412104 413275	0215 0081	33° 19' 37" 日本測地系 (33° 19' 25")	130° 23' 10" 日本測地系 (130° 23' 18")	1986 ~ 2012	工業団地計画 遺跡の内容の把握、歴史公園整備に係る資料を得るため
	所収道路名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
吉野ヶ里道路	墓	弥生時代	糞棺墓 土坑墓・木棺墓 石棺墓 祭祀土坑	弥生土器、石器、鐵器、貝製品	弥生時代の大規模な墓地 糞棺墓の列状埋葬		
要約	<p>本書は、これまで実施された吉野ヶ里道路の発掘調査における弥生時代の墓地について報告書である。吉野ヶ里道路は、地元の教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が主体となり、継続して調査が行われてきた。平成 4 年に神埼工業団地計画に伴う調査の概要報告書が刊行されているが、それ以降の調査成果を含めて経括した報告書は刊行できていない。本書では、弥生時代の墓地について、糞棺墓や土坑墓などの基礎的なデータを報告した。</p> <p>吉野ヶ里道路では、前期初頭に集落が形成され始め、終末期にまで位置を変えながら、継続して集落が営まれ続ける。前期後半には道路南端で環濠が掘削され、神埼地域の中心的な集落と発展する。中期前半には集落が大規模化し、青銅器生産が行われており、環境を伴っていた可能性もある。中期後半の様相は不明な点が多いが、中期末には再び集落が拡大し始める。後期前半には、遺跡中央部から南部にかけて外環濠が掘削され始め、後期後半には大規模な環濠集落が形成される。後期後半～終末期には、その大規模環濠内に更に環濠で区画した内郭が形成され、また多数の高床倉庫が集中する地区も認められ、この時期の中核的な集落の様相が明確に判明している。</p>						

佐賀県文化財調査報告書第214集

吉野ヶ里遺跡

—弥生時代の墓地—

(遺跡南部・中央部1)

平成28年(2016)年3月31日

発行 佐賀県教育委員会

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1番59号

印刷 株式会社 佐賀印刷社

〒849-0921 佐賀市高木郷西6丁目11番7号
